

第2次さつま町環境基本計画



令和5年3月

鹿児島県 さつま町

はじめに

平成25年3月に環境保全に関する取り組みを推進するため、第1次の「さつま町環境基本計画（令和25年度～令和4年度）」を策定しました。

5年経過した平成29年度において中間見直しを行い、平成30年度から令和4年度までの計画として、本町の環境行政を実施してまいりました。

現在の国際状況や社会情勢や環境を取り巻く状況の変化等に柔軟かつ適切に対応するため、今回、「第2次さつま町環境基本計画」を策定しました。

平成30年4月からの計画実施以降、地球温暖化や気候変動が及ぼす影響は、世界規模で発生しており、日本各地においても今まで経験したことのない規模の災害が増加しております。このような状況を踏まえ、世界的に脱炭素社会に向けた動きが加速しています。

平成30年に公表された国連の気候変動に関する政府間パネルの特別報告書においては、「気温上昇2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、2050年（令和32年）までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされております。

国においてもこうした目標の達成に向け、2020年（令和2年）に「2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにし、脱炭素社会の実現を目指す」と方針を示しました。

本町では、令和4年9月に「持続可能な未来づくりカーボンニュートラルさつま町宣言」を行い、将来にわたって町民が豊かな自然の中で生きる喜びを感じ、健康で安心して暮らすことができる環境を次世代に引き継ぐため、町民・事業者・行政等が連携して、地球温暖化対策を積極的に推進し、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指していくことを宣言しました。

また、国、県においても地球温暖化対策や循環型社会の形成に加え、生物多様性の保全や再生可能エネルギーの利活用などの新たな課題に向けた枠組みの整備が行われるなど、環境を取り巻く状況は変化してきております。

なお、本町は「さつま町総合振興計画後期基本計画（令和3年度～令和7年度）」において、「ひと・まち・自然 みんなで紡ぐ さつま町」を将来像とし、紫尾山や川内川、温泉、ホテルなどの豊かな自然や生物等恵まれた自然環境の中にあります。この自然環境を未来の世代に引き継いでいかなければなりません。そのためには、身近な地域の環境保全はもとより、地球規模の環境保全を考えながら、日常の生活の中で町民、事業者、行政それぞれができる取り組みを推進していく必要があります。

最後に、本計画の策定にあたり、アンケート調査をはじめ、貴重なご意見やご提言等をいただきました方々、また、熱心にご審議いただきましたさつま町環境審議会委員のみなさまには、心から感謝申し上げます。

令和5年3月

さつま町長 上野 俊市

目 次

第1章	計画の基本的事項	1
1.1	計画策定の背景と目的	1
1.2	計画の位置付け	2
1.3	計画の期間と目標年度	4
1.4	計画の対象範囲	4
1.5	取り組み主体と役割	5
1.6	計画の構成	6
第2章	環境の現状と課題	7
2.1	さつま町の概況	7
2.2	さつま町の環境〔自然環境〕	17
2.3	さつま町の環境〔生活環境〕	20
2.4	さつま町の環境〔地球環境・資源循環〕	32
2.5	環境の意識調査	33
2.6	環境の現況評価と課題	45
第3章	計画の基本方針	46
3.1	さつま町の目指す環境像	46
3.2	計画の基本目標	46
第4章	施策の展開	47
4.1	施策の体系	47
4.2	項目別施策	48
4.3	地域別施策	72
4.4	重点プロジェクト	76
第5章	計画の推進体制	82
5.1	計画の推進体制	82
5.2	計画の進行管理	83

第1章 計画の基本的事項

1.1 計画策定の背景と目的

さつま町(以下、「本町」という。)は、公害対策や緑地等の保全、生活環境の向上など、環境への負荷を低減し、持続可能な社会を構築し、本町の環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、現在及び将来の町民の健康で文化的な生活を確保するために平成23年3月に制定された「さつま町環境基本条例」第8条に基づき、環境行政の目指すべき目標や施策の方向性などを示すものとして平成25年3月に「さつま町環境基本計画」を策定しました。平成30(2011)年3月には本計画を全面改定(以下「前計画」という。)するなど、取組を推進してきました。

その結果、本町の環境は一定の改善が図られるなど、取組の成果が挙がっています。一方で、樹林地・農地の減少やごみの更なる減量化・資源化などの地域での問題や、大気環境など広域で取り組むべき問題、資源・エネルギーといった地球規模の問題など様々な環境問題を抱えており、まだまだ取り組まなければならない課題があります。

特に、地球温暖化に関しては、世界の平均気温が上昇し、非常に強い台風やいわゆるゲリラ豪雨、猛暑日・熱帯夜の増加など、身近なところに様々な気候変動の影響が現れており、世界共通の喫緊の課題となっています。令和元(2019)年10月には、過去最大級の勢力で日本列島に上陸した「令和元年東日本台風」(台風第19号)により、千曲川や阿武隈川をはじめ、71の河川が決壊するなど、甚大な被害が生じ、本町も大きく被災しました。このような経緯から、本町では、将来にわたって町民が豊かな自然のなかで生きる喜びを感じ、健康で安心してくらすことが出来る環境を次世代に引き継ぐため、町民・事業者・行政等が連携して、地球温暖化対策を積極的に推進し、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、「持続可能な未来づくりカーボンニュートラルさつま町宣言」を令和4年9月に宣言しました。

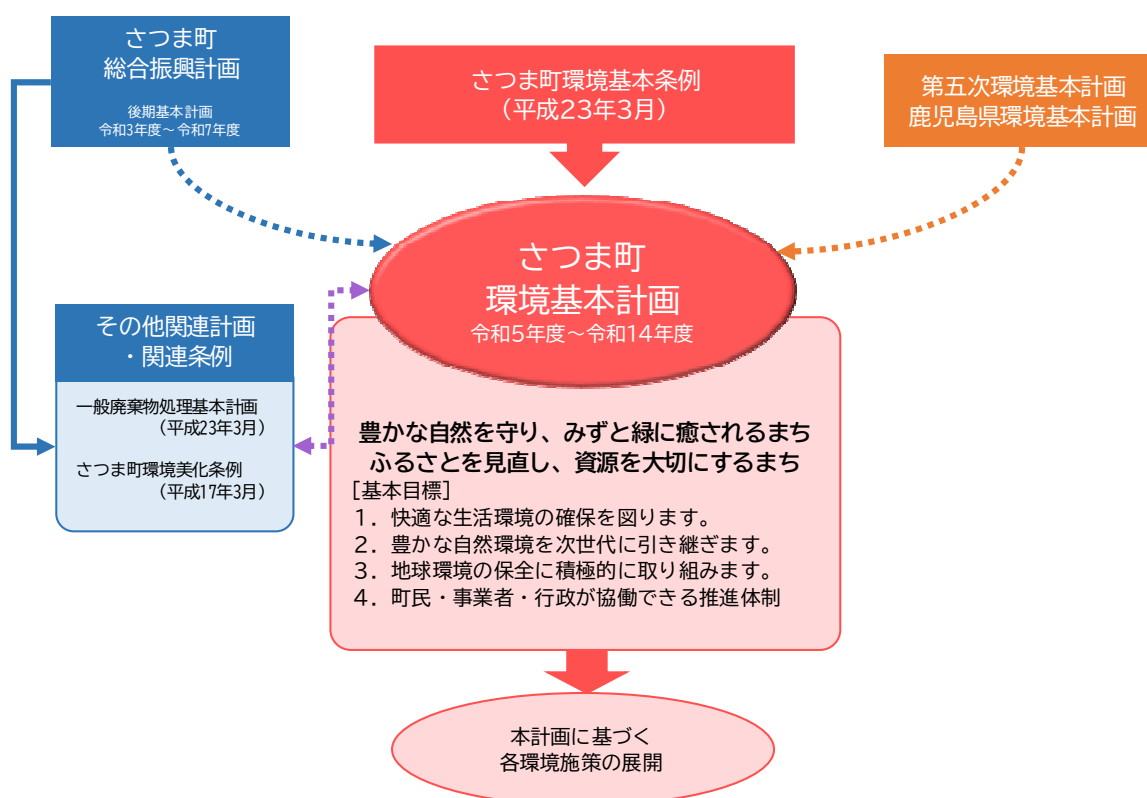
鹿児島県においては、基本目標に「自然と共生する地域社会づくり」、「地球環境を守る脱炭素社会づくり」、「再生可能エネルギーを活用した地域づくり」、「環境負荷が軽減される循環型社会の形成」の4つを基本目標(将来像)とした鹿児島県環境基本計画を令和3年3月策定したところです。

このような状況及び前計画が令和4年度に目標年度を迎えることから、社会状況の変化等に的確に対応し、持続可能なまちづくりを一層推進するため、本計画を策定します。

さらに本計画では、環境行政の究極目標である持続可能な社会づくりを目標に、SDGsの考え方も活用します。

1.2 計画の位置付け

本計画は、「さつま町環境基本条例」第8条に基づき、環境保全の施策を総合的かつ計画的に推進していくために策定するもので、本町の環境に関する計画の最上位に位置付けるものとします。また、本計画は、本町のすべての計画の最上位として位置づけられる「さつま町総合振興計画」の下位計画として、総合振興計画に掲げられている基本目標「自然と調和した便利で快適なまち」及び「人々の生活視点から創る環境美化のまち」を実現するためのものとして、本町における環境の保全と創造等に係る行政の施策に資するための指針として位置づけられます。



■第2次さつま町総合振興計画（後期基本計画：令和3年度～令和7年度）

<基本目標>

- ① まちぐるみで育む、子どもの笑顔が輝くまち
- ② 希望に満ちて、生涯をいきいきと暮らせるまち
- ③ とともに認めあい、支えあうまち
- ④ 安全・安心の輪を広げるまち
- ⑤ 価値ある資源が活かされるまち
- ⑥ さつま学の推進による人間性豊かなまち
- ⑦ みんなに優しく魅力あふれるまち
- ⑧ 豊かな自然を守り、水と緑に癒されるまち
- ⑨ ふるさつを見直し、資源を大切にすまち

■さつま町環境基本条例（平成23年3月制定）

<基本理念>

- ① 環境の保全は、町民の健康で文化的な生活を保つために必要な健全で恵み豊かな環境を維持し、これを将来の世代に継承していくことを目的として行われなければならない。
- ② 環境の保全は、町、事業者及び町民が公平な役割分担のもとに自主的かつ積極的に取り組み、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な循環型社会を構築することを目的として行われなければならない。
- ③ 地球環境の保全は、人類共通の課題であるとともに、町民の健康で文化的な生活を将来にわたって確保する上で重要であることから、あらゆる事業活動及び日常生活において、積極的に推進されなければならない。



1.3 計画の期間と目標年度

本計画の期間は、本町の目指すべき環境像を見据え、令和5年度から令和14年度までの10年間とします。最終的な目標年度は令和14年度としますが、社会情勢や環境を取り巻く状況の変化等に柔軟かつ適切に対応するため、本計画の中間年度である令和10年度に計画の見直しを行うものとします。



1.4 計画の対象範囲

本計画の対象範囲は、本町全域とします。広域的な環境問題や地球環境問題など、本町だけで解決できないものについては、近隣自治体や国・県などと連携し広域的に対応することとします。また、本計画で取り扱う環境の要素は自然環境、生活環境、地球環境の3要素とします。

■本計画で取り扱う環境の要素

自然環境：植物・動物

生態系等

生活環境：大気環境（大気質、騒音・振動、悪臭）

水環境

ごみ処理

景観

公園・森林

文化財

地球環境：地球環境問題

資源循環

1.5 取り組み主体と役割

環境基本計画の実行にあたっては、各主体(町民・事業者・行政(町))が各々の責務を自覚し自主的に行動するとともに、本町全体が一丸となり協働して取り組むことが必要です。さつま町環境基本条例には、各主体の責務として以下のことが掲げられています。

■町民

- ・基本理念にのっとり、日常生活に伴う環境への負荷の低減に努めなければならない。
- ・自然環境への配慮その他環境の保全に自ら努めるとともに、町が実施する環境の保全に関する施策に協力する責務を有する。

■事業者

- ・基本理念にのっとり、事業活動に伴う環境への負荷の低減その他環境の保全について、自己の責任と負担において、必要な措置を講ずる義務を有する。
- ・自然環境及び生活環境への配慮その他環境の保全に自ら努めるとともに、町が実施する環境の保全に関する施策に協力する義務を有する。

■行政(町)

- ・基本理念にのっとり、環境の保全に関する基本的かつ総合的な施策を策定し、及び実施する責務を有する。
- ・基本理念にのっとり、施策の実施にあたっては、環境への負荷の低減その他環境の保全に努めなければならない。
- ・環境の保全に関する教育及び情報の提供その他広報活動を通じて、町民の環境に対する意識の高揚に努めなければならない。



1.6 計画の構成

本計画の全体像及び構成内容は以下のとおりです。本町の環境基本計画は、全5章で構成されます。

第1章 計画の基本的事項

計画の背景や目的、位置付け等、計画の基本的事項を示します。

- 1.1 計画策定の背景と目的
- 1.2 計画の位置付け
- 1.3 計画の期間と目標年度
- 1.4 計画の対象範囲
- 1.5 取り組み主体と役割
- 1.6 計画の構成

第2章 環境の現状と課題

さつま町の自然環境や生活環境の現状を把握し、町の抱える課題・問題点を明らかにします。

- 2.1 さつま町の概況
- 2.2 さつま町の環境 [自然環境]
- 2.3 さつま町の環境 [生活環境]
- 2.4 さつま町の環境 [地球環境・資源循環]
- 2.5 環境の意識調査
- 2.6 環境の現況評価と課題

第3章 計画の基本方針

さつま町の目指す環境像を定め、それを実現させるための基本目標を示します。

- 3.1 さつま町の目指す環境像
- 3.2 計画の基本目標

第4章 施策の展開

目標を達成するための基本施策および重点プロジェクトを示します。

- 4.1 施策の体系
- 4.2 項目別施策
- 4.3 地域別施策
- 4.4 重点プロジェクト

第5章 計画の推進体制

計画を実行するにあたっての推進体制、進行管理の仕組みを定めます。

- 5.1 計画の推進体制
- 5.2 計画の進行管理

(2) 位置・地勢

本町は、鹿児島県北西部、北薩地域の中心部、鹿児島市より約50km、川内川河口より約34km上流に位置します。東は霧島市・湧水町に、西及び南は薩摩川内市に接し、北は紫尾連峰を境にして出水市・伊佐市に接しています。

町の北部にある紫尾山(標高1,067m)から分岐する山々に囲まれた盆地で、東西27.3km、南北22kmの範囲に及び、町の総面積は303.43km²と鹿児島県全体の3.3%を占めています。

町のほぼ中心部を一級河川川内川が東西に貫流し、前川・柳野川・夜星川・穴川・泊野川・久富木川等の支流が合流します。これらの流域に集落や耕地が形成されており、田園や森林、河川など、豊かな自然に囲まれた町です。



本町の位置

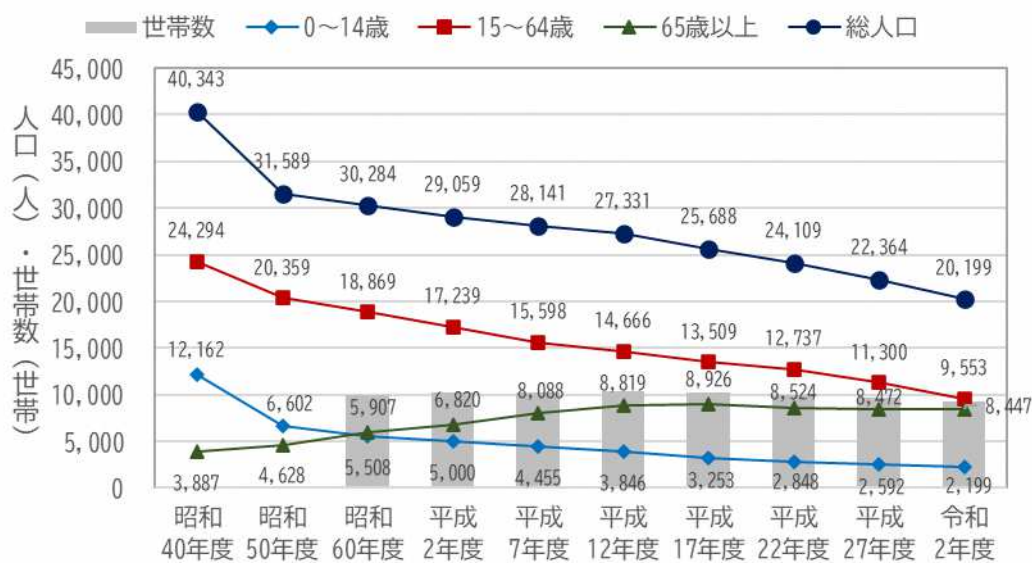
(3) 気候的特徴

本町は、夏季の降水量が多く、冬季に乾燥する太平洋岸気候区に属しています。周囲を山々に囲まれた盆地であるため、寒暖の差が激しく、夏は蒸し暑く、冬の冷え込みが厳しい内陸的な気候となっています。年間の平均気温は17℃で、冬は紫尾山に冠雪や樹氷が見られ、平地においても積雪を観測することがあります。

(4) 人口

本町の令和2年度の総人口は20,199人となっており、平成17年度の合併時25,688人から緩やかな減少傾向が続いています。

また、年齢別人口で見ると、年少人口（0～14歳）は平成27年の2,592人（11.6％）から令和2年には2,199人（10.9％）となり、393人減少しています。一方、老年人口（65歳以上）は平成27年の8,472人（37.9％）から令和2年の8,447人（41.8％）と25人減少しているものの、人口に占める割合は増加傾向にあります。



(さつま町町勢要覧2018)

総人口及び年齢別人口の推移



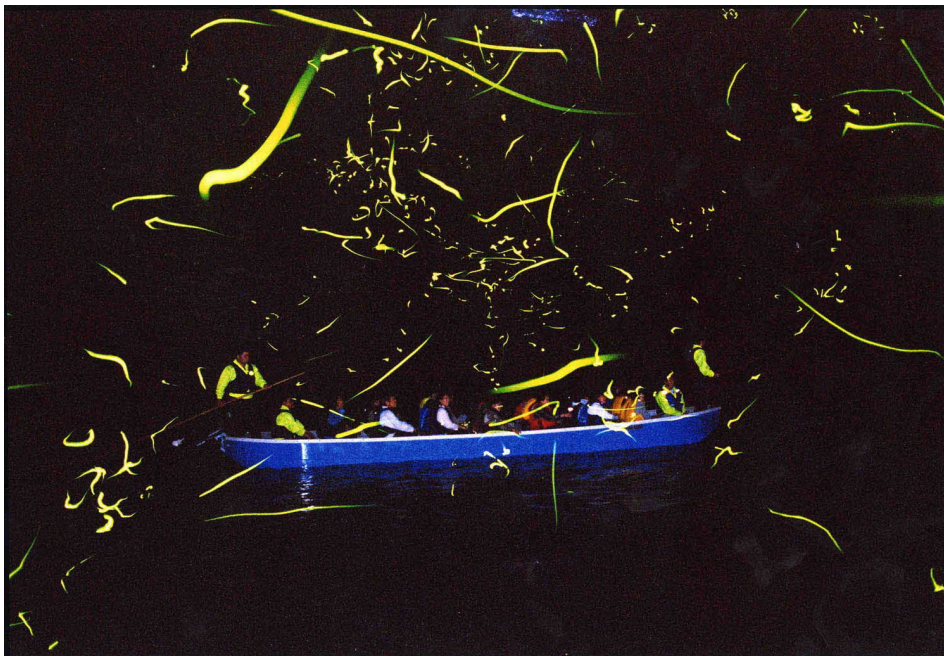
(5) 観光・特産品

本町では、毎年5月ごろに町内のあちこちで多くのホタルを観ることができ、川内川中流域では、川岸に群生する無数のホタルを川船から鑑賞する「奥薩摩のホタル舟運航」や「二渡ホタル舟」を行っています。

全国でも珍しい取り組みとして、町花・町木と同じく町の昆虫として「ホタル」を制定し、ホタルを通じた自然環境の保護、川内川の環境保全に努めています。

また、本町内には、山間部はもとより国・県道沿いにも多くの竹林が見られ、その規模は日本一とも言われています。古くから豊富な竹資源を利用した花器をはじめとする各種竹工芸産業が発展し、県の伝統工芸品にも指定されています。

加えて、たけのこの生産も盛んで、町外の観光客を対象にした「たけのこ掘りツアー」なども企画され、毎年多くの参加者が訪れます。



(6) 土地利用

平成22年度から平成30年度の間で、森林・原野が約50%、農用地が約20%と、森林・原野が町の大部分を占めており、土地利用割合に大きな変化はありませんでした。

また、令和2年度の地目別面積は、その他を除くと山林が最も多く37.0%、次いで田が8.8%、畑が5.2%となっています。

本町の土地利用面積

(単位：実数；ha、比率；%)

年度	農用地		農業用 施設用地		森林・原野		住宅地		工業用地		その他	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
平成22年度	3,583.60	18.4	79	0.4	9,562.70	49.1	788	4.0	80	0.4	5,366.70	27.6
平成30年度	3,538.00	18.2	82	0.4	9,743.00	50.1	—	—	—	—	6,097.00	31.3

平成30年度の「その他」面積には、住宅及び工業用地を含む。

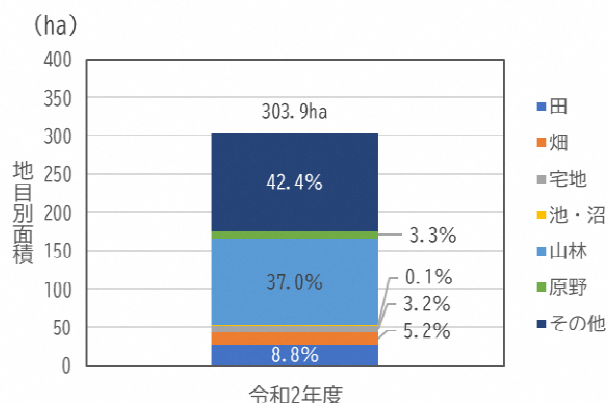
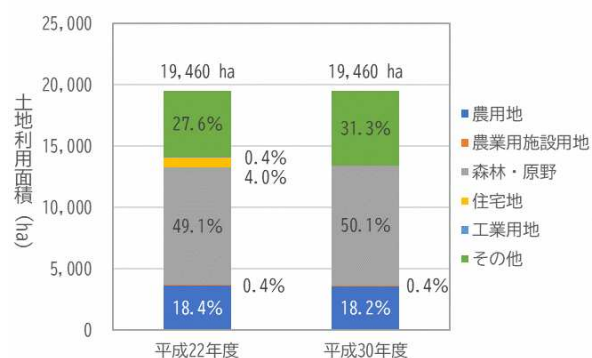
(さつま町農業振興地域整備計画書)

本町の地目別面積（令和2年度）

(単位：面積；km²、比率；%)

年度	総面積		田		畑		宅地		池・沼		山林		原野		その他	
	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率
令和2年度	303.9	100.0	26.7	8.8	15.9	5.2	9.6	3.2	0.2	0.1	112.6	37.0	10.1	3.3	128.8	42.4

(まちの統計データ 概要・気象)



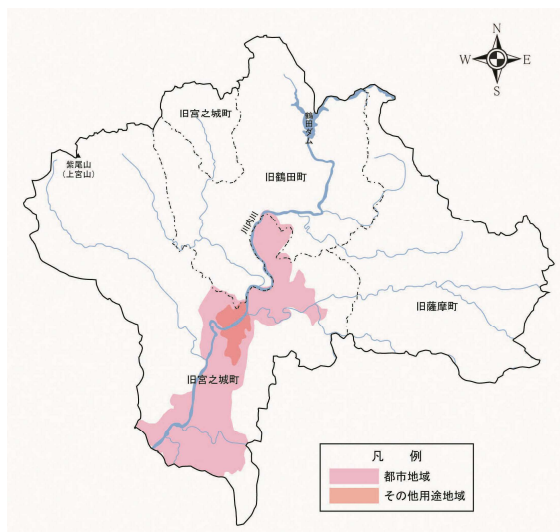
(7) 各種関連法による指定状況

本町の土地利用関連法による指定状況（平成27、28年）は、以下に示すとおりです。
 総面積30,390haのうち、森林地域が19,901haと65.5%を占め、そのうち5,699haが森林法により国有林として指定されています（国有林5,699ha，民有林14,202ha）。

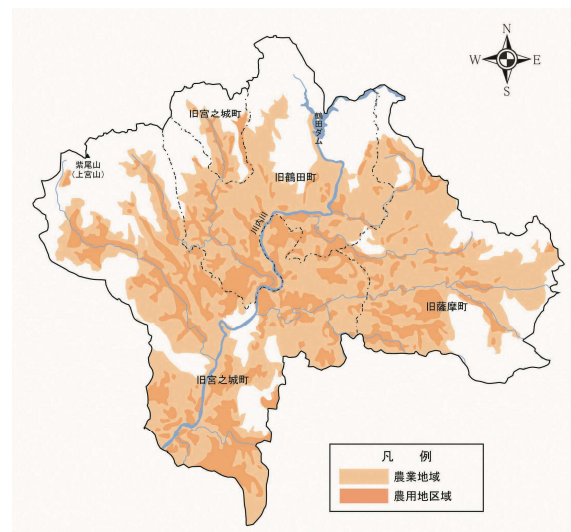
また、都市計画区域は3,559haと11.7%（うち用途地域251.1ha）を占めています。

農業振興地域は、大規模な国有林や市街地の用途地域を除いた19,460haで、総面積の64.0%にあたり、そのうち3,581ha（農業振興地域面積の8.4%）が農用地区域に指定されています。

また、自然公園区域として町面積の13.2%（4,009.8ha）が指定されていますが、全て普通地域です。



都市計画法による指定地域



農振法による指定区域



森林法による指定区域



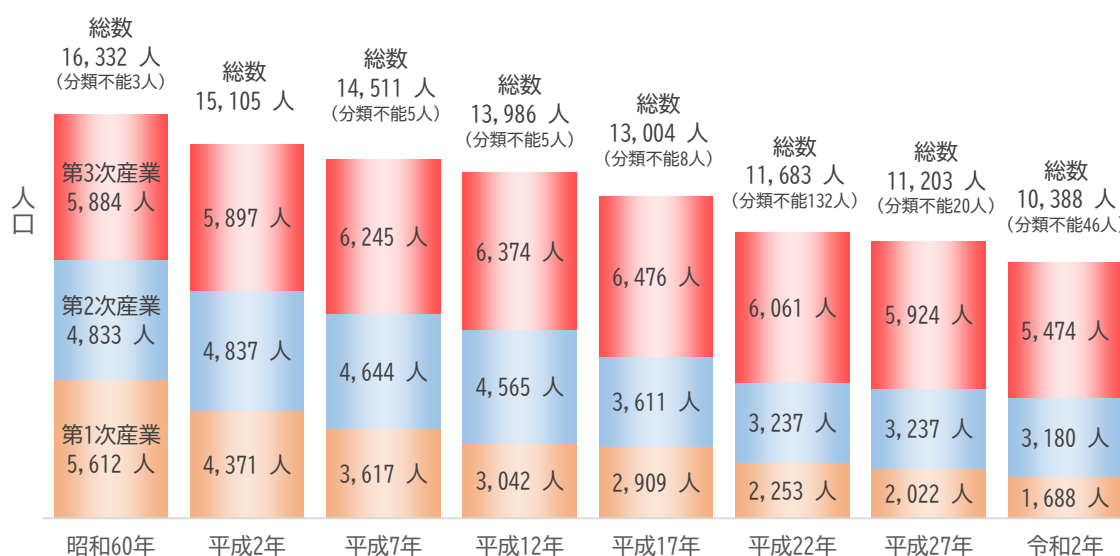
自然公園法による指定区域

(8) 産業

■産業別15歳以上就業者数の推移

産業別15歳以上就業者数を昭和60年と比較すると、第1次産業は昭和60年の5,612人（34.4%）から、令和2年には1,688人（16.2%）となっており、就業割合では▲18.2%の減少となっています。第2次産業は、昭和60年の4,833人（29.6%）から令和2年には3,180人（30.7%）となっており、就業割合では1.1%の微増となっています。第3次産業は、昭和60年の5,884人（36.0%）から令和2年には5,474人（52.7%）となっており、就業割合では16.7%の増加となっています。

過去35年間の就業構造の変化を見てみると、第1次産業から第3次産業へシフトしている傾向が見られます。

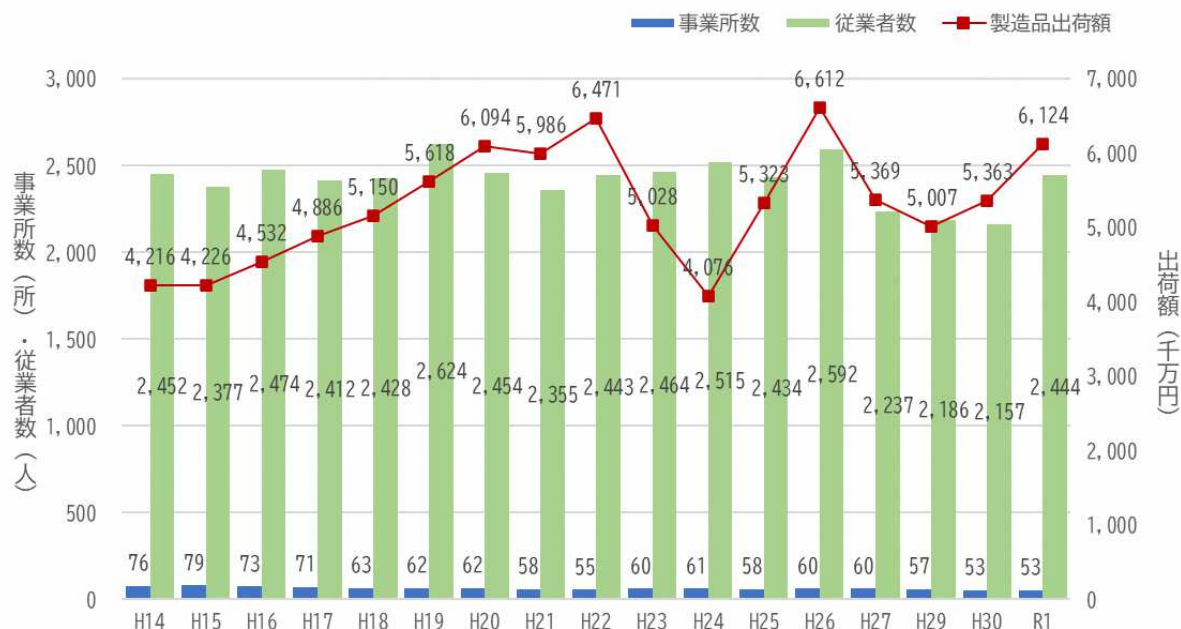


(国勢調査)

産業別15歳以上就業者数の推移

■工業

過去17年間で事業所数、従業者数ともに減少しており、各々23事業所、8人の減少となっています。また、製造品出荷額は、平成14年以降増加傾向にあり、平成23年から平成24年にかけて大きく減少したものの、平成25年以降は再び増加傾向にあります。

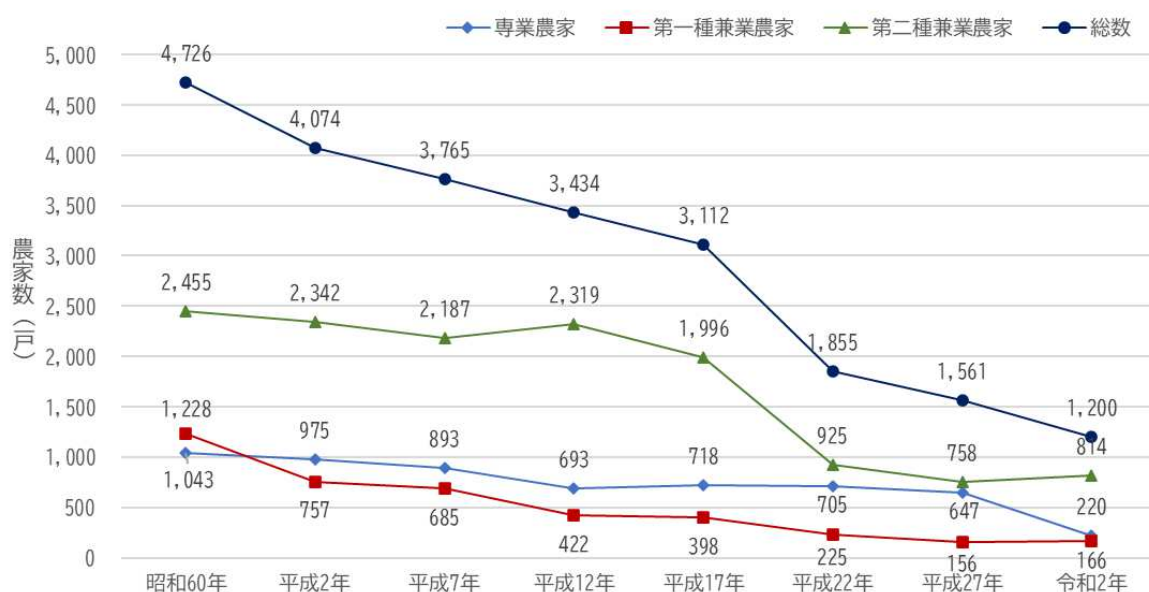


(工業センサス)

工業の推移

■農業

農家数は年々減少傾向を示しており、令和2年の農家総数は、昭和60年の農家総数の25%以下となっています。

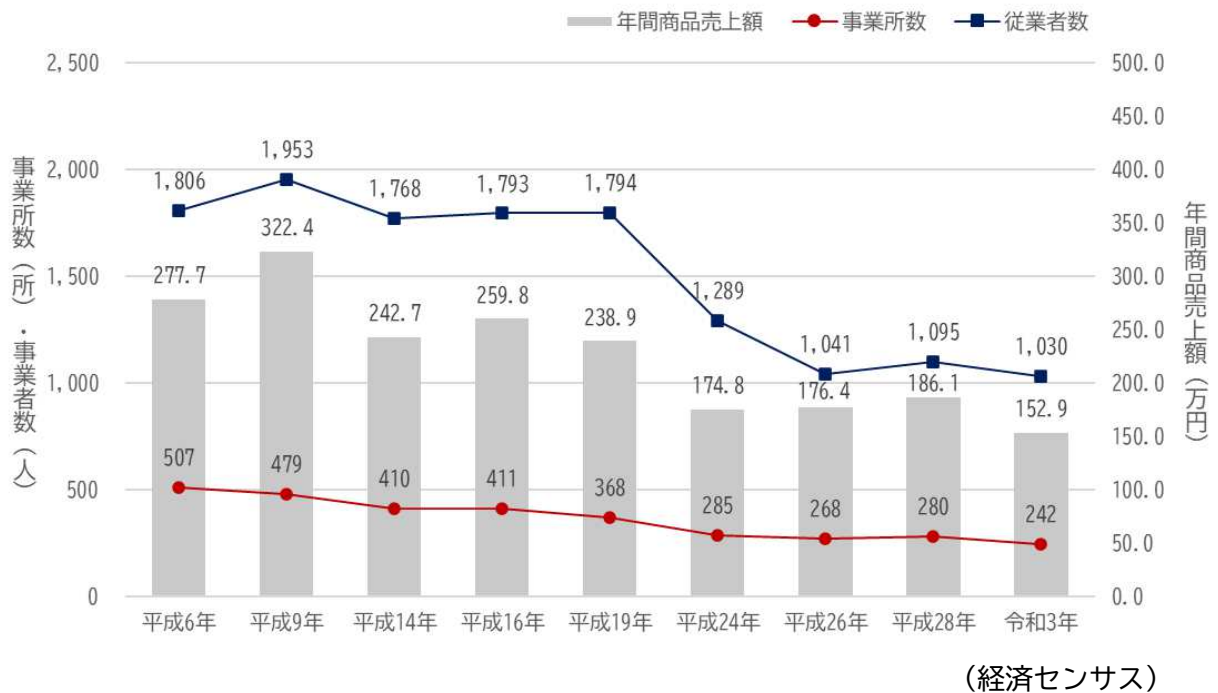


(農林業センサス)

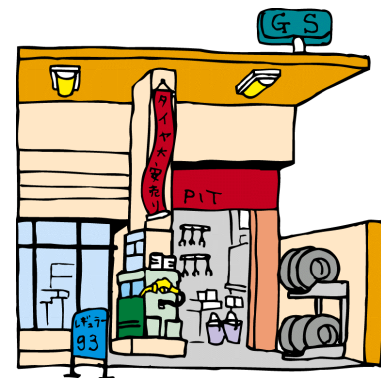
農家数の推移

■商業

過去27年間で、平成26年までは事業所数、従業者数及び年間商品売上額、全てにおいて緩やかな減少傾向にありましたが、平成28年でいずれも微増し、令和3年では再び微減しました。



商業の推移



(9) 交通

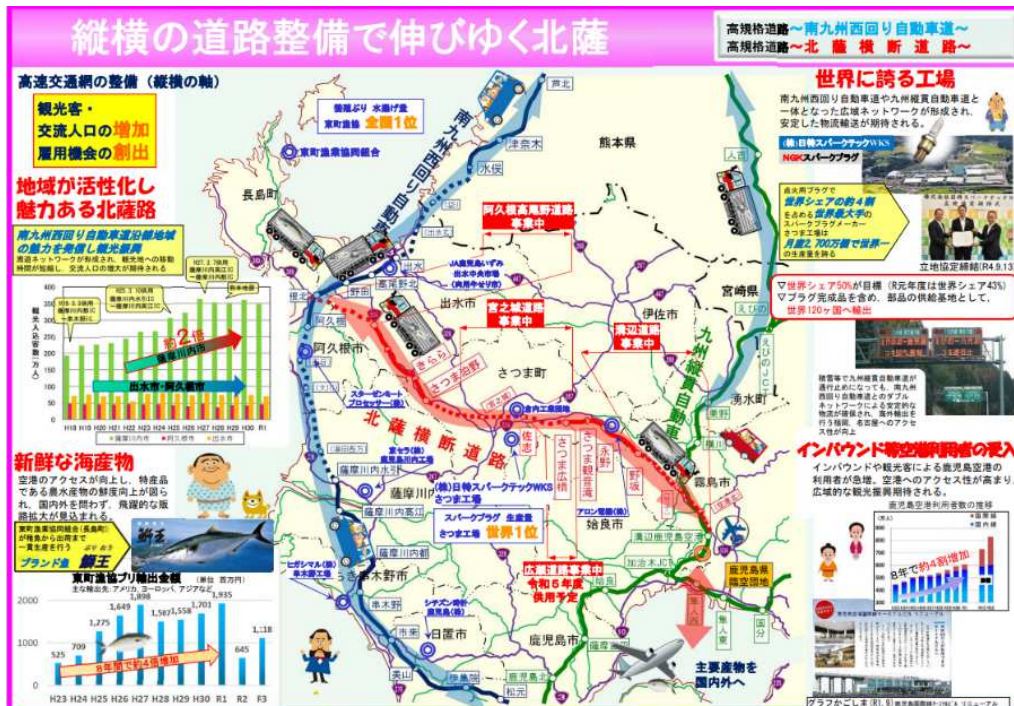
本町は、国道267号、国道328号、国道504号の3路線が町の中心部で交差しており、1日延べ5万台を超える車両の往来があります。

東には年間利用者数600万人（平成30年度実績（鹿児島空港将来ビジョン））を超える鹿児島空港や九州縦貫自動車道横川IC、西には九州新幹線川内駅や出水駅があり、県都鹿児島市へは約70分で行くことができる恵まれた位置にあります。今後は地域高規格道路「北薩横断道路」の整備により、県内主要拠点へのアクセスがさらに向上することが期待されます。

■本町の道路網



■縦横の道路整備で伸びゆく北薩



(鹿児島県HP)

2.2 さつま町の環境 [自然環境]

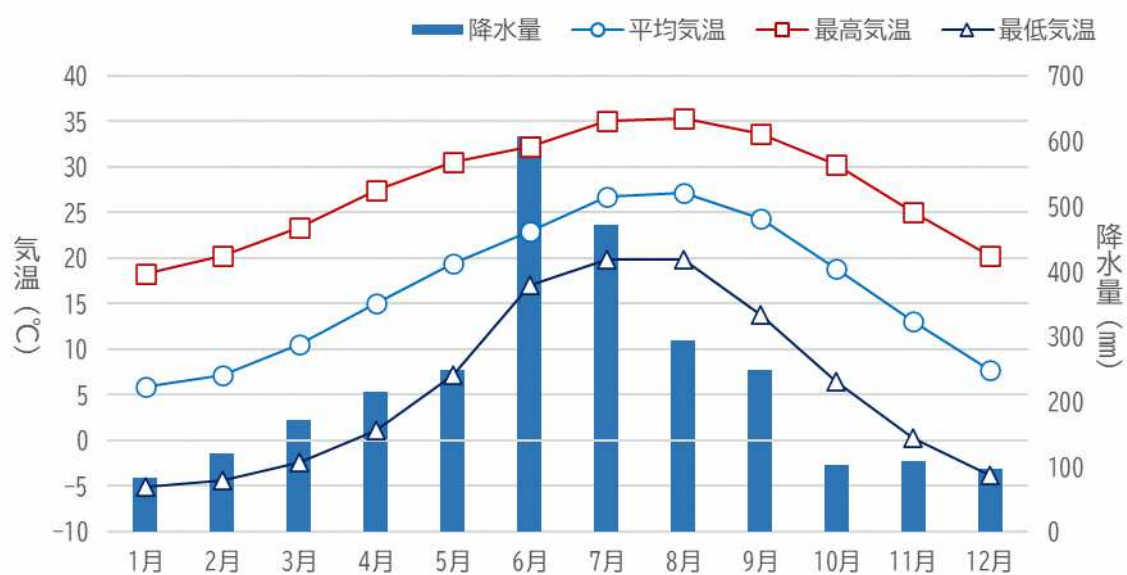
(1) 気象

本町の近年における年間の平均気温は16.1～16.9℃で、降水量は年間2,359mm～3,694mm程度となっています。降水量の月別特性を1981年～2010年の30年平年値で見ると、梅雨時期の6月から7月や台風シーズンの8月から9月にかけての降水量が多い傾向が見られ、特に6月の降水量は約600mmと年間を通じて最も多くなります。

■本町の気象

	気温 (°C)			降水量 (mm)		
	平均	最高	最低	総量	最大日量	
平成29年 (2017年)	16.1	37.1	-6.7	2,359.0	232.5	
平成30年 (2018年)	16.7	36.8	-5.8	3,039.0	198.0	
令和元年 (2019年)	16.9	36.1	-4.8	2,346.0	176.0	
令和2年 (2020年)	16.6	37.6	-4.9	3,693.5	187.5	
令和3年 (2021年)	16.8	35.4	-5.8	3,223.5	418.5	
令和4年 (2022年)	16.6	36.7	-6.9	2,613.5	144.0	
令和4年 (2022年)	1月	5.1	15.5	-6.9	47.0	33.5
	2月	5.2	19.3	-6.2	33.5	145.0
	3月	11.5	25.4	-3.0	215.0	57.0
	4月	16.1	28.9	-0.2	319.5	110.0
	5月	19	30.0	6.8	170.0	59.0
	6月	23.2	35.3	13.0	565.5	144.0
	7月	27	36.7	19.1	506.0	111.5
	8月	27.6	35.5	19.3	218.5	65.0
	9月	25.1	34.6	16.1	322.5	114.0
	10月	18.4	32.2	4.3	53.5	37.5
	11月	14.7	26.7	2.4	93.5	47.5
	12月	5.9	20.7	-4.3	69.0	13.0

(アメダスデータ (さつま柏原))



(アメダスデータ30年平年値 (さつま柏原 1992～2022))

(2) 水象

本町は、町のほぼ中心部を一級河川川内川が貫流しています。川内川は、九州では筑後川に次ぐ大河川で、熊本県球磨郡あさぎり町白髪岳（標高1,417m）南麓を源とし、宮崎県南西部（えびの市）、鹿児島県北西部（始良郡湧水町、伊佐市、本町、薩摩川内市）を流れ、東シナ海にそそぐ、延長137km、流域面積1,600km²、支川数129の河川です。

また、町の北部には川内川をせき止めた鶴田ダムが建設されています。鶴田ダムは、高さ117.5mの重力式コンクリートダムで、重力式コンクリートダムとしては九州最大の規模を誇ります。鶴田ダムの建設によって形成された大鶴湖は、湛水面積3.61km²、総貯水量は12,300万m³と、九州では宮崎県の「一ツ瀬ダム（一ツ瀬川）」に次いで2番目の大きさです。ダム湖周辺の国有林は、体験活動を行うことを目的とした「遊々の森」として整備されています。



本町の水象

(3) 生物

本町の代表的な自然環境として、紫尾山と川内川が挙げられます。

■紫尾山（標高1,067m）

紫尾山山頂周辺には、針広混交林の天然林が分布し、霧島山地や高隅山地とともに分布の南限をなすブナ林が発達しています。高層木としてアカガシ、アカシデ、ウラジロガシなどの常緑広葉樹やイヌガヤ、モミ等の針葉樹、イヌザクラ、コハウチワカエデなどの夏緑広葉樹が混生し、下層木としてツバキ、カエデ等が自生するなど冷温帯林と暖温帯林が混生する貴重な生態系を形成しています。シダの宝庫としても知られており、この地方特有のものとしてサツマシケシダ、イサワラビ、ハツキイヌワラビなどが知られています。

■川内川

本町の位置する川内川中流域は、コジイ、アラカシなどの二次林やスギ林、メダケ等の竹林が分布する山間部に、田畑、民家が点在する里山的環境を呈しています。蛇行部の河川氾濫原にはワンド※が多く、沈水植物群落や浮葉植物群落など停滞水域に多い植物が生育し、魚類の生息場となっています。水際にはヨシ群落、ツルヨシ群落が分布し、カエル類の産卵場、幼生期の避難場となるなど生物にとって良好な環境が形成されています。

また、川内川支流である久富木川には、鹿児島県の天然記念物に指定されているカワゴケソウが自生しています。

※ワンド：河川敷にできた入り江など、河川の本来の流れとは分離された水域のこと。稚魚の生息場や魚類の休息場となる。

川内川中流域で見られる生物

植物	コジイ・アラカシ・メダケ・シラカシ・チャンチンモドキ・ハナガガシ・オオカナダモ・フサモ・ササバモ・ヒシ・ヨシ・ツルヨシ など
哺乳類・両生類・爬虫類	タヌキ・イタチ・イシガメ・スッポン など
鳥類	カワラヒワ・チュウサギ・ヤマセミ・カワセミ・カイツブリ・カルガモ・カワガラス・ホオジロ・モズ など
魚類	アユ・ヨシノボリ類・ウグイ・ニゴイ・タナゴ類 など
昆虫類	コムラサキ・フジミドリシジミ・キリシマミドリシジミ・ヒキドシチョウ・コツバメ・セダカコブヤハズカミキリ・キュウシュウオオクボカミキリ・カワラバタ・キリギリス・スズムシ・ゲンジボタル など
底生動物	ミナミヌマエビ・ドブガイ・カワナナ など

カワゴケソウの特徴



久富木川のカワゴケソウ
県指定天然記念物
(昭和29年3月15日)

カワゴケソウ科の植物は、熱帯から亜熱帯の河川の急流に生息する水生の種子植物で、世界に約200種が知られています。日本では、鹿児島県本土及び屋久島と宮崎県の一部の河川でのみ見られる極めて珍しい植物で、2属7種が分布します。日本のカワゴケソウはいずれも急流の岩盤や大きな石に固着して生育し、葉は針状で茎とともに退化し、根が葉状となって固着機能が発達し光合成を行うなど、外観は蘚苔類に似ています。

生育環境が水深40cm内外、流速は毎秒1～1.5mの極めて水質の良い清流に限られるため、河川の水質汚染や流速変化等、環境変化の指標生物となります。

2.3 さつま町の環境 [生活環境]

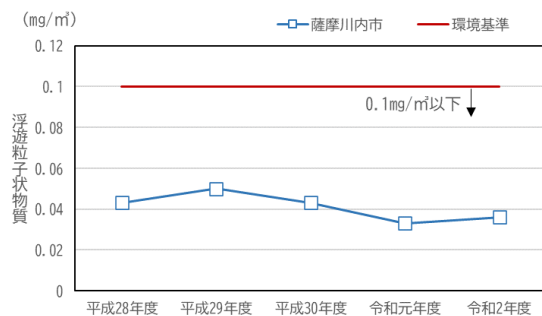
(1) 大気環境

鹿児島県内では、鹿児島市をはじめ薩摩川内市、いちき串木野市、志布志市など15か所の一般環境大気測定局及び2か所の自動車排出ガス測定局で二酸化硫黄濃度、二酸化窒素濃度、浮遊粒子状物質など大気汚染物質の常時観測を行っています。また、県内6地点（一般環境4地点、沿道2地点）でベンゼン、トリクロロエチレンなどの有害大気汚染物質の測定を行っていますが、本町にはこれらの一般環境大気測定局及び自動車排出ガス測定局が設置されていません。

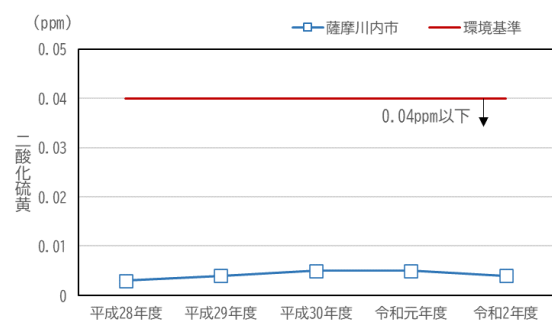
本町と隣接する薩摩川内市で測定されている大気汚染物質濃度（平成28年度～令和2年度）を見ると、浮遊粒子状物質、二酸化硫黄濃度、一酸化炭素濃度、二酸化窒素濃度等について環境基準を満たしています。

有害大気汚染物質（16物質）については、平成28年度から令和2年度の間で、鹿児島県内で環境基準を超過した物質、および指針値を超えた物質、全国測定結果を大きく上回った物質はありません。

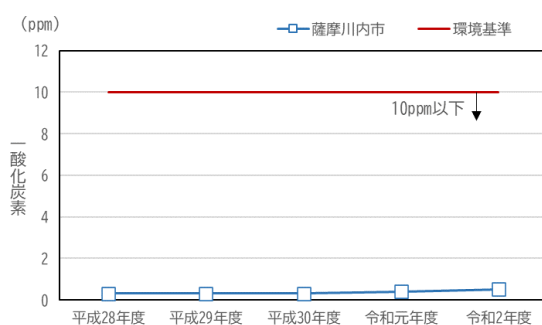
■浮遊粒子状物質



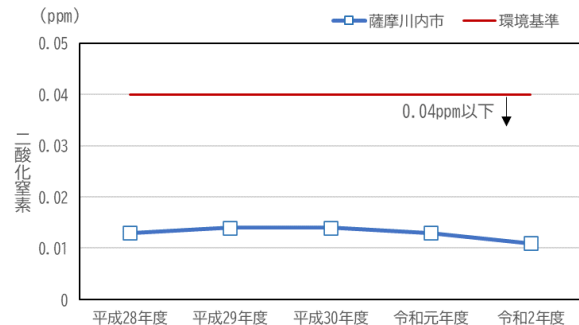
■二酸化硫黄



■一酸化炭素



■二酸化窒素



(鹿児島県環境白書)

※浮遊粒子状物質 (Suspended Particulate Matter, SPM) …大気中に浮遊する粒子状物質のうち粒径が $10\mu\text{m}$ (マイクロメートル) 以下のものです。大気中に長時間滞留し、肺や気管支等に沈着します。高濃度になると呼吸器に悪影響を及ぼすとされています。

※二酸化硫黄 (SO_2) …主として石油などの化石燃料の燃焼に伴い発生し、工場・事業所が主な発生源となっています。四日市ぜんそく等の公害病や酸性雨の原因となるものです。

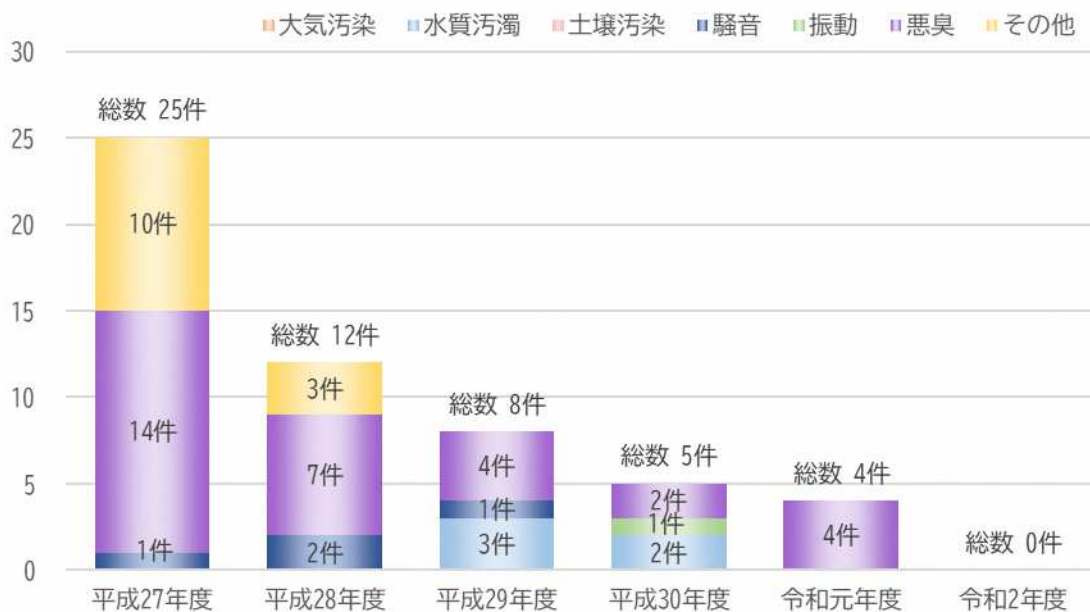
※一酸化炭素 (CO) …燃料等の不完全燃焼により生じ、自動車が主な発生源となっています。血液中のヘモグロビンと結合して酸素運搬機能を阻害する等の健康への影響のほか、温室効果のあるメタンガスの寿命を長くするとされています。

※二酸化窒素 (NO_2) …主に化石燃料の燃焼に伴って発生し、工場・事業場等の固定発生源と自動車等の移動発生源があります。酸性雨や光化学オキシダントの原因物質となり、高濃度になると呼吸器に悪影響を及ぼすとされ、環境基準が定められています。

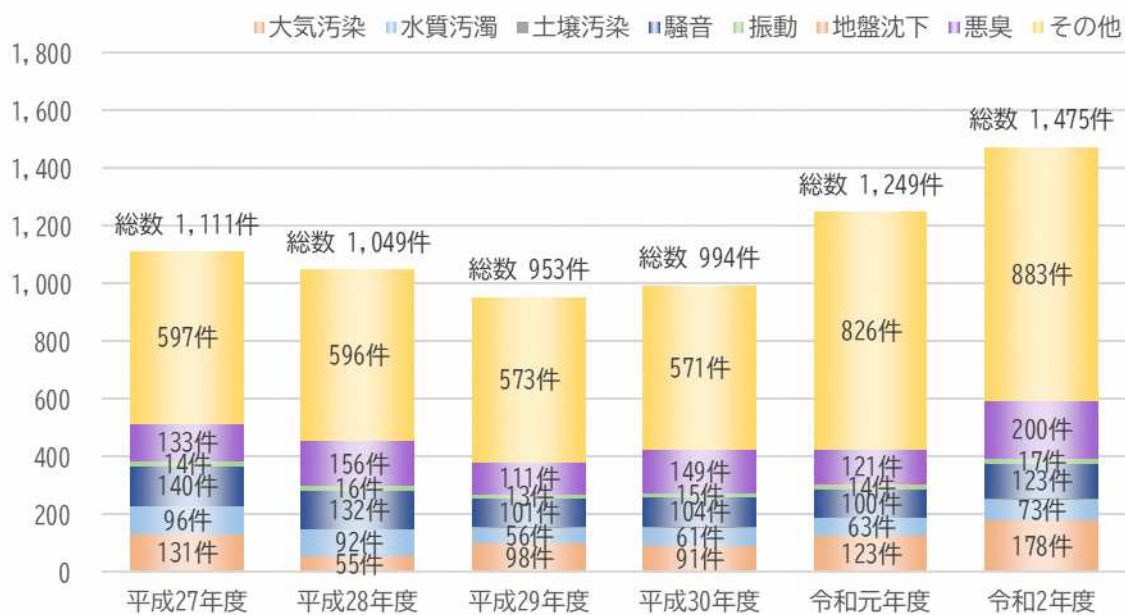
(2) 騒音・振動、悪臭

騒音・振動及び悪臭について、本町の公害苦情件数を見てみると、平成27年度以降減少傾向にあります。一方、鹿児島県の公害苦情件数は増加しています。本町では悪臭に関する苦情件数が多いことが特徴的です。

■公害苦情件数（本町）



■公害苦情件数（鹿児島県）



(鹿児島県環境白書)

(3) 水環境

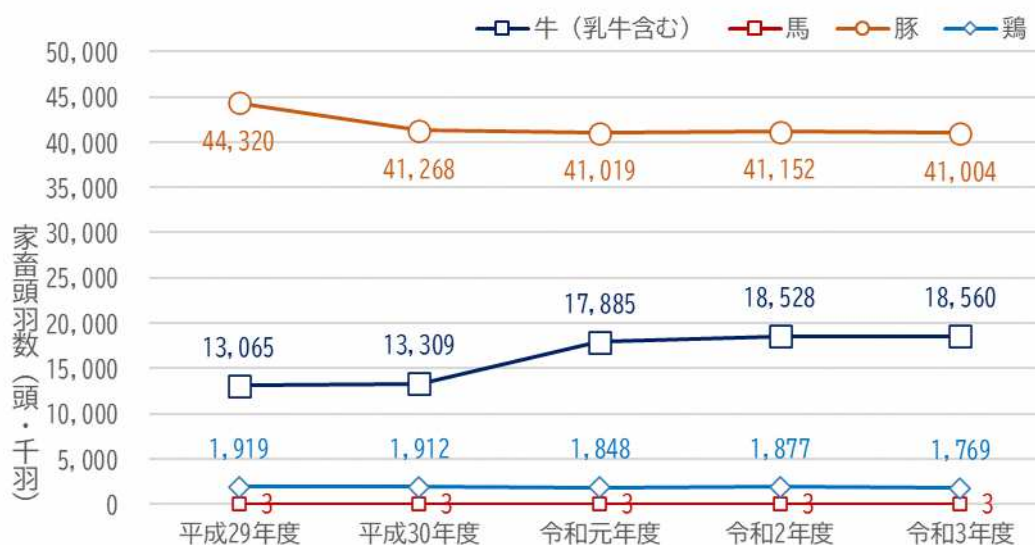
■水質汚濁負荷の状況（生活排水及び家畜頭羽数）

本町では、生活排水処理を小型合併処理浄化槽及び農業集落排水施設により行っており、令和3年度の行政区域内人口に対する汚水処理人口は72.0%となっています。

生活排水処理形態別人口の推移

	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末
行政区域内人口 (人)	21,569	21,202	20,776	20,332	19,713
汚水処理人口 (人)	14,505	14,204	13,964	13,671	14,188
下水道処理人口 (人)	0	0	0	0	0
農業集落排水施設等整備人口 (人)	941	950	973	944	925
合併処理浄化槽等整備人口 (人)	13,564	13,254	12,991	12,727	13,263
コミュニティープラント処理人口 (人)	0	0	0	0	0

本町の家畜頭羽数は、豚の飼育数が平成29年（44,320頭）から平成30年（41,268頭）に減少しているものの、平成30年度以降はほぼ横ばい状態となっています。また、牛の飼育数は平成30年度から令和元年度にかけて大幅に増加しその後横ばいとなっています。



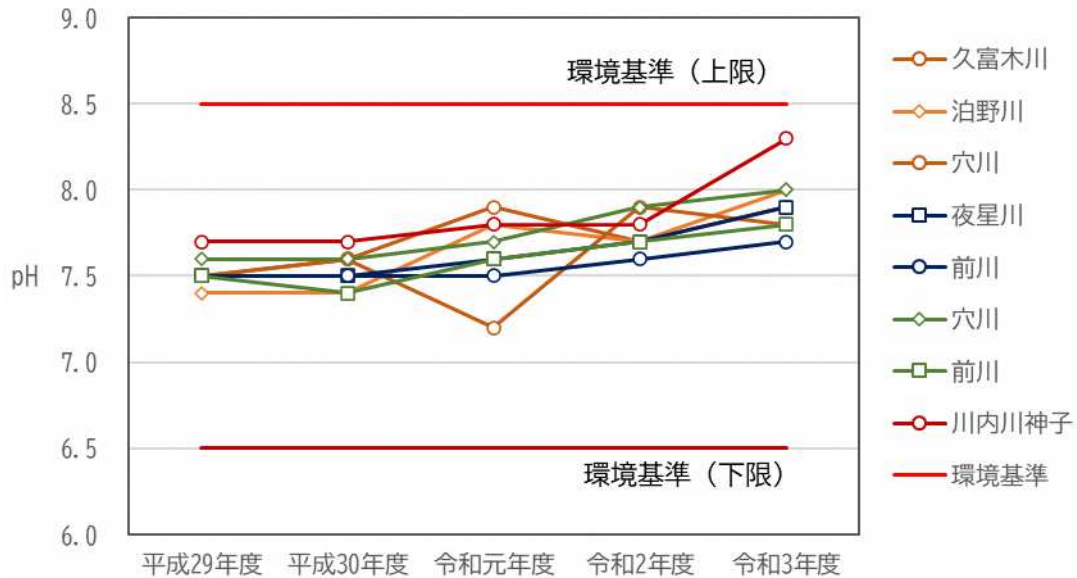
本町の家畜頭羽数

■河川水質

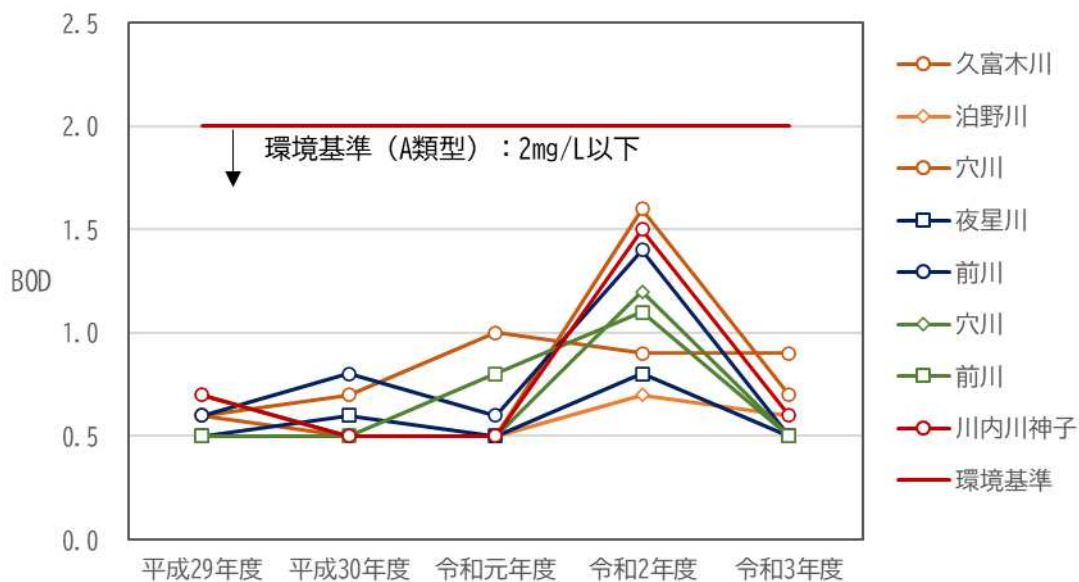
本町では、年2回町内19地点において河川水の水質検査を行っています。pH、BOD、SSの値は、平成29年度以降環境基準を満たしていました。一方、大腸菌群数はほとんどの年度及び地点で環境基準を超過している状況にあります。

※各数値については、水質検査時の気象状況等により変動するため、環境基準を超える場合があります。

<pH>



<BOD>



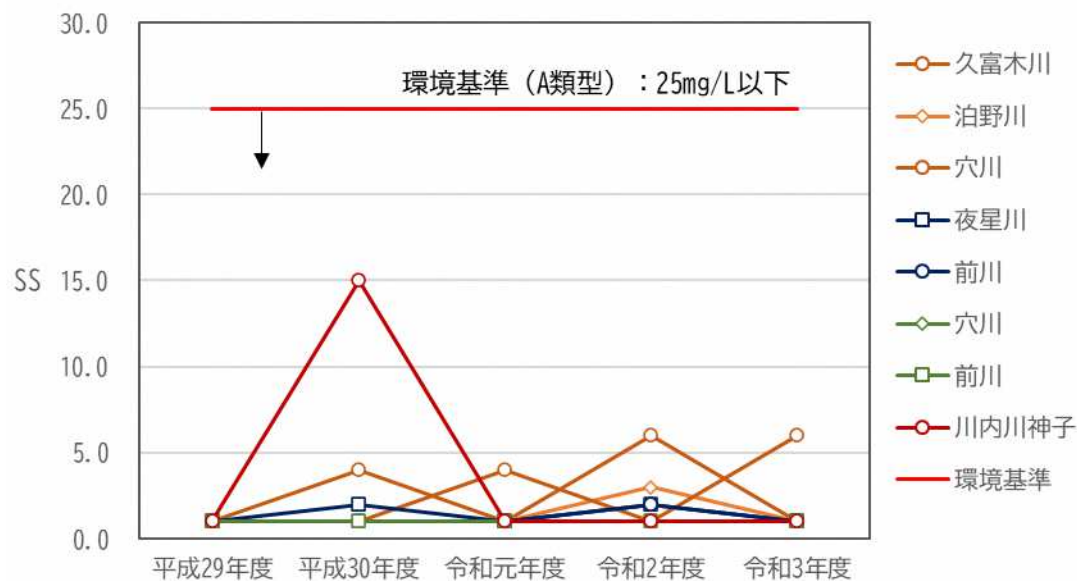
※環境基準の値は、川内川中流域に係る河川の環境基準値（A類型）

※グラフの色は、採水地点別に宮之城エリア（久富木川・泊野川・穴川）、鶴田エリア（夜星川・前川）、薩摩エリア（穴川・前川）、川内川本川（川内川神子）に分けている。

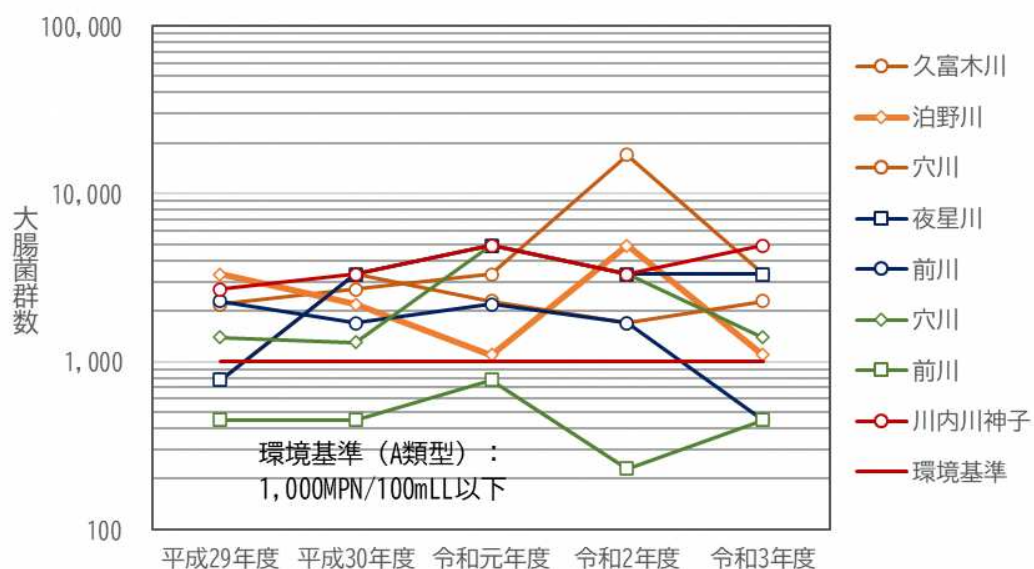
（さつま町HP）

河川の水質検査結果

<SS>



<大腸菌群数>



※環境基準の値は、川内川中流域に係る河川の環境基準値（A類型）

※グラフの色は、採水地点別に宮之城エリア（久富木川・泊野川・穴川）、鶴田エリア（夜星川・前川）、薩摩エリア（穴川・前川）、川内川本川（川内川神子）に分けている。

（さつま町HP）

河川の水質検査結果

※pH・・・水溶液の酸性、アルカリ性の度合いを示す指標で、pHが7のときに中性、7を超えるとアルカリ性、7未満では酸性を示します。

※BOD・・・生物化学的酸素要求量（Biochemical Oxygen Demand）の略語で、河川における有機性汚濁の代表的な指標です。水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量で表され、この値が大きいほど水が汚れていることとなります。

※SS・・・浮遊物質量（Suspended Solid）の略語で、水質汚濁の代表的な指標です。水中に浮遊または懸濁している直径2mm以下の粒子状物質の重さで表され、この値が大きいほど水が濁っていることとなります。

※大腸菌群数・・・大腸菌群数は、大腸菌及び大腸菌と性質が似ている細菌の数のことをいい、水中の大腸菌群数は、し尿汚染の指標となります。

(4) 一般廃棄物

本町のごみの排出量は、平成28年度から微減傾向にありましたが、令和元年度で大幅に減少し再び微減で推移しています。

また、1人1日当たりのごみ排出量は令和元年度で大幅に減少しましたが、令和2年度で増加しています。

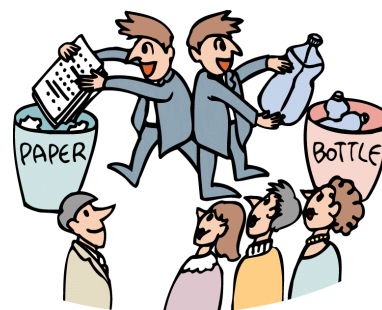
なお、平成20年度の総ごみ量（集団回収量除く）の全国平均値は901 g/人・日、鹿児島県平均値は921 g/人・日となっており、本町は759 g/人・日と各平均値よりも小さい値となっています。

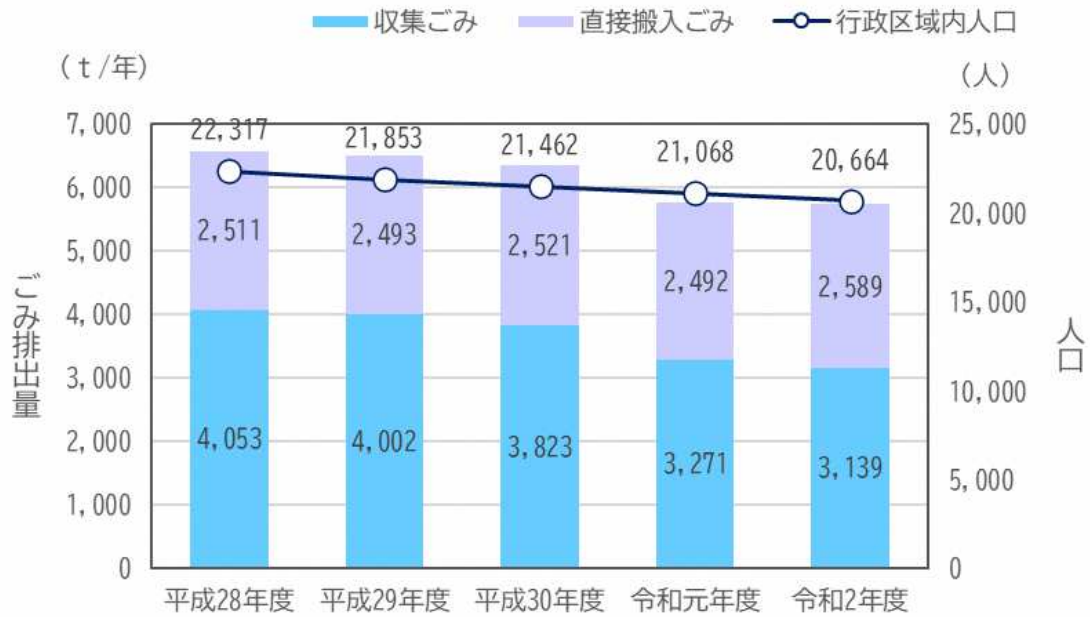
ごみ総排出量の推移

区分	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
行政区分内人口	人	22,317	21,853	21,462	21,068	20,664
計画収集人口	人	22,317	21,853	21,462	21,068	20,664
ごみ排出量	t/年	6,564	6,495	6,344	5,763	5,728
収集ごみ	t/年	4,053	4,002	3,823	3,271	3,139
直接搬入ごみ	t/年	2,511	2,493	2,521	2,492	2,589
1人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	805.8	812.1	809.8	747.4	759.4
収集ごみ	g/人・日	497.6	500.4	488	424.2	416.2

※収集ごみ：委託業者収集ごみ

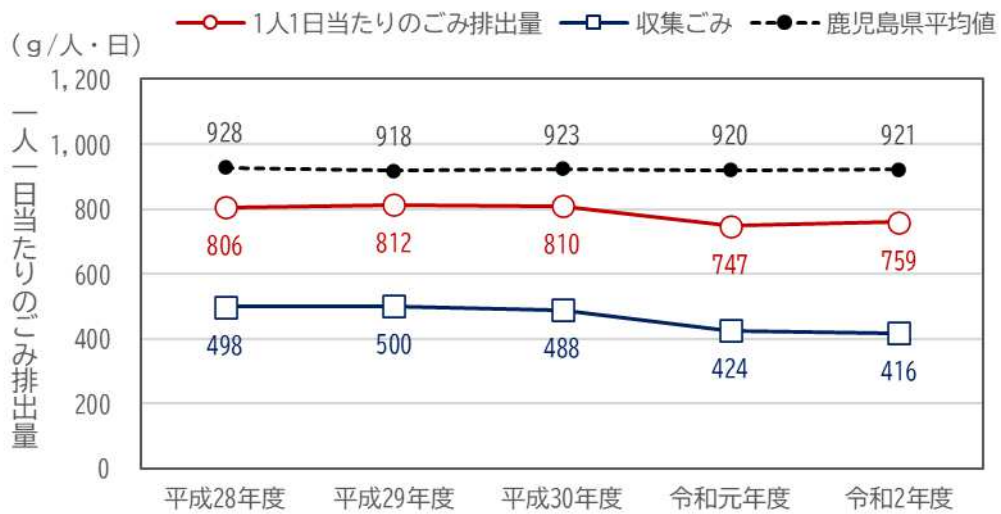
※直接搬入ごみ：個人及び事業者持ち込みごみ





(一般廃棄物処理実態調査結果)

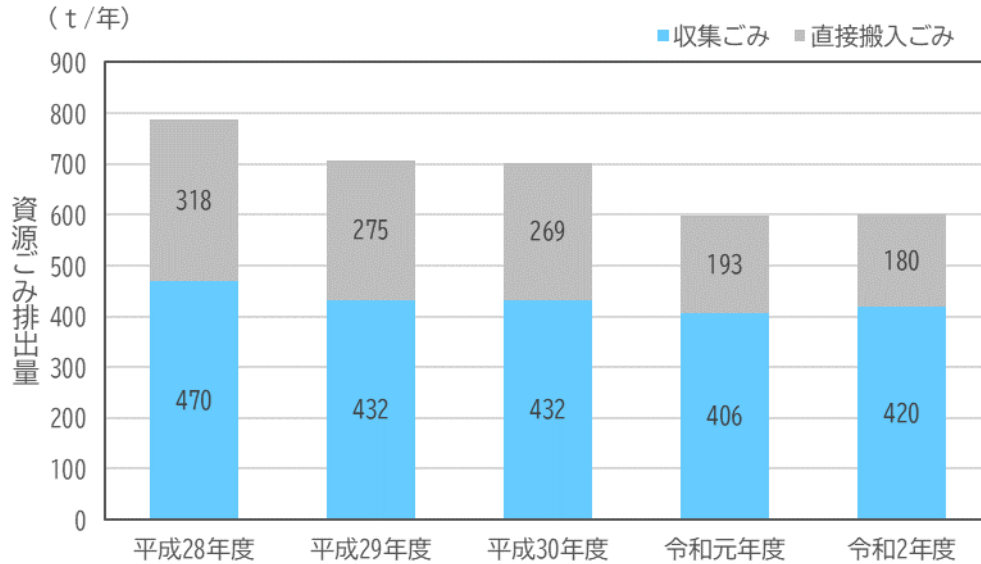
ごみ排出量の推移



(一般廃棄物処理実態調査結果)

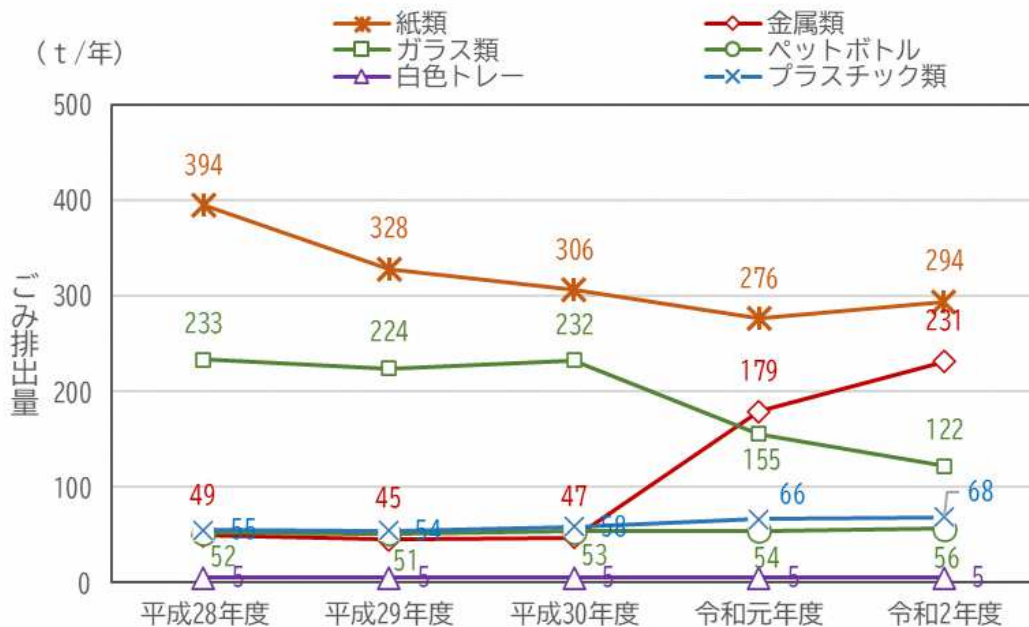
1人1日当たりのごみ排出量の推移

資源ごみの排出量については年々減少傾向にあり、過去5年間で188t/年の減少となっています。なお、収集ごみと直接搬入ごみの比率は、過去5年間を通して概ね8：2となっています。また、資源ごみ排出量の内訳を見ると、紙類が全体の50%以上を占めています。



(一般廃棄物処理実態調査結果)

資源ごみ排出量の推移



(一般廃棄物処理実態調査結果)

資源ごみ分別種類別の推移

(5) 景観

本町は、「景観法」に基づき鹿児島県知事の同意を得て、平成18年12月1日に「景観行政団体」となりました。

なかでも柗野地区では、集落をあげて景観保全に取り組み「ひがん花の里」を形成し、この景観を含んだ自然や集落の文化・食を楽しんでもらおうと毎年「ひがん花まつり」を開催しています。

このように本町では、町の個性と魅力を最大限に活かしながら、自然環境と調和した景観づくりや地域の歴史・文化自然景観に配慮したまちづくりなど、町民との対話を大切にしながら、町民自らの計画として共生・協働による景観づくりを進めています。

<本町が景観行政団体として目指すもの>

目標：『保全・再生・創造…誰もが楽しみ住みたくなるふるさと景観』

- 1.美しく魅力あふれるふるさとの自然景観づくり
- 2.自然と共生し調和のとれた癒し空間を創造する景観づくり
- 3.郷土の文化・歴史遺産を活かした景観づくり
- 4.景観形成に関する啓発活動や推進体制づくり



(6) 公園・森林

本町には、自然環境に恵まれた地区が数多く存在しています。なかでも、川内川及び鶴田ダム周辺の変化に富んだ河川景観を中心に、「川内川流域県立自然公園（昭和39年4月1日鹿児島県指定）」が指定されています。

県立都市公園として整備されている「北薩広域公園」は、地域のイメージ、河川、森林などの景観を生かし、芸術性や文化性を備えた北薩地域全体のシンボリックな役割を持つ公園として、川内川に面する一帯に整備されています。

また、鹿児島県では、県民が気軽に森林浴を楽しめるとともに、より多く森林にふれあえるよう県内各地の豊かな森林を「森林浴の森70選」として選定しています。

本町では、溪流コースとして「さつま町観音滝公園」が、レクリエーションコースとして「紫尾いこいの森」の1箇所が指定されています。

■川内川流域県立自然公園

指定年月日：昭和39年4月1日

指定面積：6,571ha

市 町 村：出水市、伊佐市、薩摩川内市、本町

■北薩広域公園

計画面積：102.3ha

開設面積：41.3ha

『自然とふれあう芸術・文化空間の創造』を整備理念に、川内川に面する中央部に「テーマゾーン」、民俗文化を体験・紹介する「ふるさとゾーン」、虎居城跡としての「歴史ゾーン」及び水遊び場としての「川とのふれあいゾーン」を設置予定。



(7) 文化財（史跡・天然記念物）

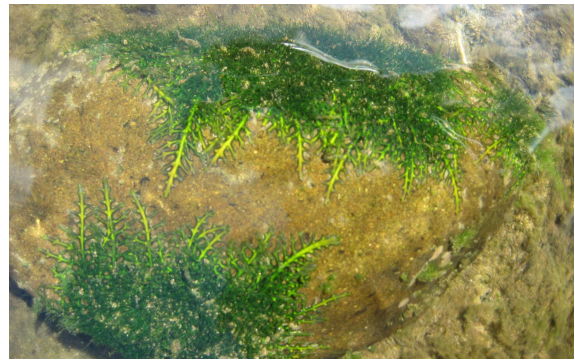
町内に国指定文化財として、宗功寺墓地が1件あり、鹿児島県指定文化財として、永野別府原古墳群など4件の史跡・天然記念物があります。また、68あるさつま町指定文化財のうち、湯田の磨崖仏、竹林寺跡の銀杏、鶴田のイチイガシ、稲富神社古木群など28件の史跡・天然記念物があります。

■鹿児島県指定（史跡・天然記念物）

No.	種別	名称
1	記念物史跡	宗功寺墓地
2	天然記念物	カワゴケソウ科
3	記念物史跡	大願寺跡墓塔群（開山堂跡・薬師堂跡）
4	記念物史跡	永野別府原古墳群



宗功寺墓地



カワゴケソウ科



大願寺跡墓塔群（開山堂跡・薬師堂跡）



永野別府原古墳群

■さつま町指定（史跡・天然記念物）

No.	種別	名称
1	史跡	大道寺歴代住職の石塔群
2	史跡	宗功寺歴代住職の石塔群
3	史跡	島津金吾歳久等の供養塔群
4	史跡	権太郎石
5	史跡	神興寺僧侶の墓石塔群
6	史跡	快善法印入定の碑
7	天然記念物	竹林寺跡の銀杏
8	史跡	方柱石塔婆
9	史跡	首塚
10	史跡	町石
11	史跡	空覚塔
12	史跡	湯田原古墳
13	史跡	小松原古墳
14	史跡	紫尾権現跡・紫尾山神興寺跡
15	史跡	紫尾山神興寺跡の六地藏
16	史跡	柏原山下の石塔群
17	史跡	鶴田郷御仮屋跡
18	天然記念物	鶴田のイチイガシ
19	史跡	梅君ヶ城跡
20	史跡	太閤陣跡
21	史跡	竹林寺跡の石塔群
22	史跡	興禅寺跡の石塔群
23	史跡	逢萊善福寺跡の石塔群
24	史跡	下丁場の磨崖仏
25	史跡	長福寺跡古石塔群
26	史跡	小永田の笠塔婆
27	史跡	嘉元の三重石塔
28	天然記念物	稲富神社古木群



島津金吾歳久等の供養塔群



山崎郷御仮屋跡



鶴田のイチイガシ



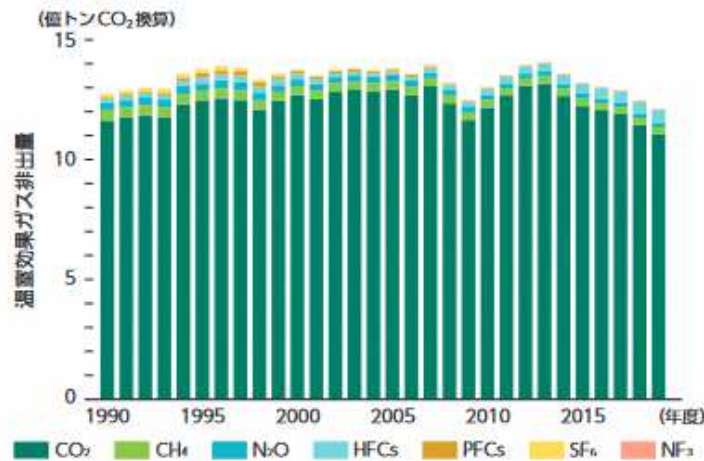
下丁場の磨崖仏

2.4 さつま町の環境 [地球環境・資源循環]

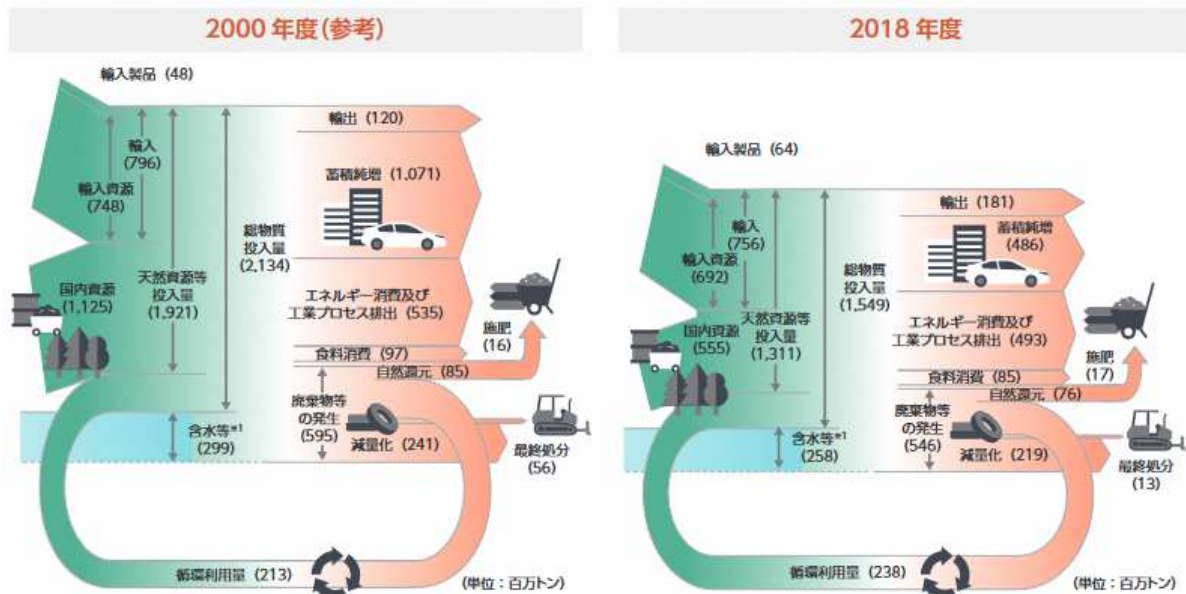
私たち人類は、産業革命以降、資源およびエネルギーを有効に利用することで、豊かな物質社会を築き上げ今日のような便利で快適な生活を手にすることができました。

一方で、持続可能性を考慮していない大量生産・大量消費・大量廃棄を前提としたこれまでの社会システムは、地球温暖化、酸性雨、有害化学物質問題等に代表される地球環境問題をさらに顕在化させてしまうため、環境負荷の少ない持続的発展が可能な社会システムの構築が必要です。下に示す図を見ると、温室効果ガスは1990年以降増加傾向にありましたが、近年は省エネ等による電力使用量の減少や再生可能エネルギー導入による電力排出原単位改善により、減少傾向がみられます。また、2018年度の物質循環利用量は2000年度と比べて増加しています。

私たちは、一人ひとりが被害者であると同時に加害者であることを認識し、将来世代に対して「負の遺産」を残さないよう、町民・事業者、行政や近隣市町との協働により、環境負荷の少ない持続的発展が可能な社会システムを構築していくための継続的な努力を続けていく必要があります。



(令和3年版 環境・循環型社会・生物多様性白書 環境省：我が国の温室効果ガス排出量)



注：含水等：廃棄物等の含水等（汚泥、家畜ふん尿、し尿、廃酸、廃アルカリ）及び経済活動に伴う土砂等の随伴投入（鉱業、建設業、上水道業の汚泥及び鉱業の鉱さい）。
(令和3年版 環境・循環型社会・生物多様性白書 環境省：我が国における物質フロー)

2.5 環境の意識調査

(1) 調査の目的

「さつま町環境基本計画」の策定にあたり、環境保全施策の展開や、推進体制の検討のための資料とするために、町民・生徒・児童・事業所を対象に環境に関する意識調査を実施しました。

(2) 調査の方法

意識調査の方法は以下に示すとおりです。

調査対象	町民	生徒	児童	事業所
	さつま町内に居住する満15歳以上の男女	さつま町内の中学校に通学する中学3年生	さつま町内の小学校に通学する小学6年生	さつま町内の事業所
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出法	全生徒	全児童	関連名簿による無作為抽出法
調査方法	郵送による配布・回収	学校を通じての配布・回収		郵送による配布・回収
配布数	800人	171人	161人	100件
回答数	336人	171人	161人	29件
回答率	42.0%	100%	100%	29.0%
56.6%				

また、「町民」の地区別の配布数及び回答数・回答率は以下に示すとおりです。

地区名	配布数	回答数	回答率
宮之城屋地	112	53	47.3%
虎居	102	34	33.3%
時吉	24	8	33.3%
船木	73	18	24.7%
柁野	6	3	50.0%
平川	24	12	50.0%
湯田	47	25	53.2%
佐志	55	23	41.8%
山崎	26	10	38.5%
久富木	21	11	52.4%
二渡	22	6	27.3%
白男川	12	6	50.0%
泊野	8	6	75.0%
鶴田	34	16	47.1%
神子	38	19	50.0%
柏原	52	19	36.5%
紫尾	18	6	33.3%
求名	50	26	52.0%
永野	38	18	47.4%
中津川	38	15	39.5%
未記入	0	2	-
町民合計	800	336	42.0%

(3) 調査の結果

環境に関する意識調査の結果、特徴のある項目の上位を抽出すると、以下の傾向が明らかになりました。

① 水・緑・空気など、身近な自然の豊かさに満足しています。

町民、生徒、児童共に「身近な緑の多さ」や「空気のきれいさ」、「家の周りの静けさ」、といった身近な自然環境に対し、「満足である」、「やや満足している」と答える人の割合が高くなっています。

② 交通機関の利便性、歩道や自動車道の整備状況など、身の回りの生活環境に対する不満が見られます。

町民及び生徒では「交通機関の利便性」や「歩道や自動車道の整備状況」、「廃棄物の不法投棄の状況」、「いやなにおい（悪臭）の少なさ」といった生活環境に関する項目に対し、「不満である」、「やや不満である」と答える人の割合が高くなっています。一方、児童では「家庭や事業所からの污水处理の状況」、「町民一人ひとりの環境に対する意識」に「不満である」、「やや不満である」と答える人の割合が高くなっています。

③ 水や空気のきれいさ、歩道や自動車道の整備状況などが今後の取り組みとして大切であると考えています。

町民では「川や水路のきれいさ」、「いやなにおい（悪臭）の少なさ」に対し、今後の取り組みとして「重要である」、「やや重要である」と答える人の割合が高くなっています。一方、生徒及び児童では「歩道や自転車道の整備状況」、「空気のきれいさ」に対し、今後の取り組みとして「重要である」、「やや重要である」と答える人の割合が高くなっています。また、生徒では「自然災害に対する安全性」に対し、今後の取り組みとして「重要である」、「やや重要である」と答える人の割合が高くなっています。

④ 町民一人ひとりが環境活動として身近なことから取り組んでいます。

普段の生活の中で、「ごみ取りネットの設置」や「水道をこまめに止める」等に配慮している人の割合が高く、環境活動としては「買い物袋の持参やリサイクル商品の購入」、「古紙やペットボトル等のリサイクルを行っている」等に取り組む人の割合が高くなっています。

⑤ 事業所の環境活動への関心は高いものの、資金の不足など問題点が見られます。

環境への取り組みを「企業の社会的責任の一つである」と答えた事業所が半数を超え、環境に対する意識は高い状況です。各事業所が「冷暖房のこまめな調節」や「照明や水道の節約」、「事業所内の資源ごみの分別収集」といった活動に取り組む割合が高くなっていますが、ISO14001規格や、環境活動評価プログラム（エコアクション21）といったマネジメントシステムへの取り組みに関しては、関心がありながらも取り組む予定がない事業所が多くなっています。その原因として「資金が不足している」、「ノウハウが不足している」、「手間や時間がかかる」ことを挙げる事業所の割合が高くなっています。

⑥ 環境活動の活性化のために、情報提供や地域の連携が求められています。

町民、生徒、児童、事業所共に、環境活動の活性化のために望むこととして、「環境に関する情報の提供」や「地域が連携して行う、環境活動の推進」、「環境をテーマにしたイベント」を挙げる割合が多くなっています。

また、今後、本町が重点的に進めるべき施策として、「優れた自然の保全」、「優れた自然の活用」、「森林の荒廃防止」、「多様な動植物の生息場所の保全」、「地国や県との連携による野生動物の保護・管理」、「無秩序な開発の防止」等の割合が高くなっています。

⑦ 自由記述では、生活環境・自然環境・地球環境に関する町民意見が見られました。

自由記述では、生活環境への意見についての記述が最も多く、他にもごみに関する記述が多くみられました。生活環境への意見について、「歩道を作ってほしい」、「公共交通機関をもっと充実してほしい」、「自然のなかで遊べる場所を増やしてほしい」など、生活するための設備の整備を求める意見が多く見られました。

ごみについては、「ごみ出しルールが外国人に周知徹底されているのか」、「外でごみを燃やすのをやめてほしい」、「ポイ捨てが少しでも減ると環境にいいのでは」といったマナーの向上を望む意見が多くみられました。

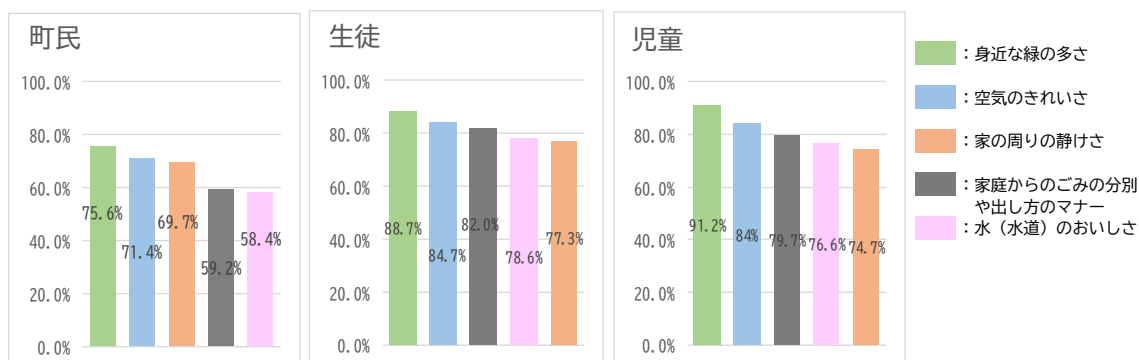
また、意識調査結果の上位項目にはあがりませんでした。自由記述の中には「カーボンニュートラルも大切ですが、森林の伐採により、町内の山も木がなくなっている」、「再生可能エネルギーが環境に与える負荷はないがしろにされている」等、地球環境への負荷に関する記述も見られました。



■現状への満足度

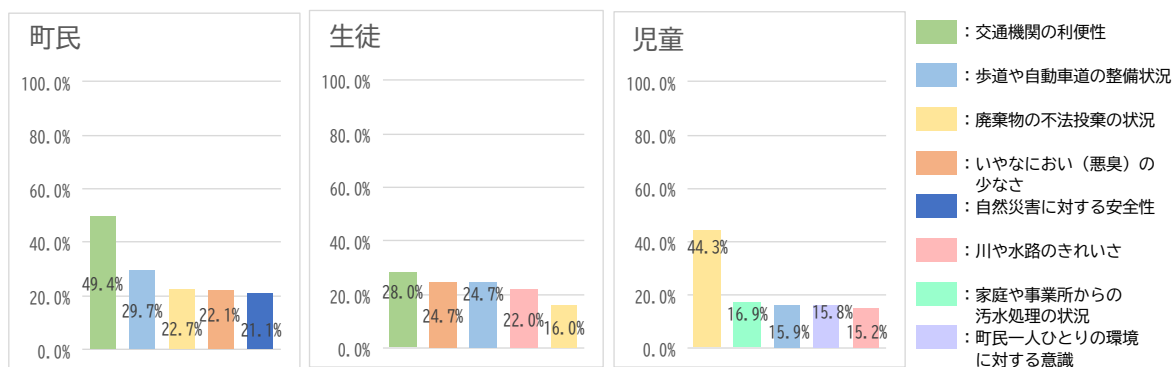
《満足度が高いもの》

	項目	町民		生徒		児童	
		順位	割合	順位	割合	順位	割合
1	身近な緑の多さ	1	75.6%	1	88.7%	1	91.2%
2	空気のきれいさ	2	71.4%	2	84.7%	2	84.2%
3	家の周りの静けさ	3	69.7%	5	77.3%	5	74.7%
4	家庭からのごみの分別や出し方のマナー	4	59.2%	3	82.0%	3	79.7%
5	水（水道）のおいしさ	5	58.4%	4	78.6%	4	76.6%



《満足度が低いもの》

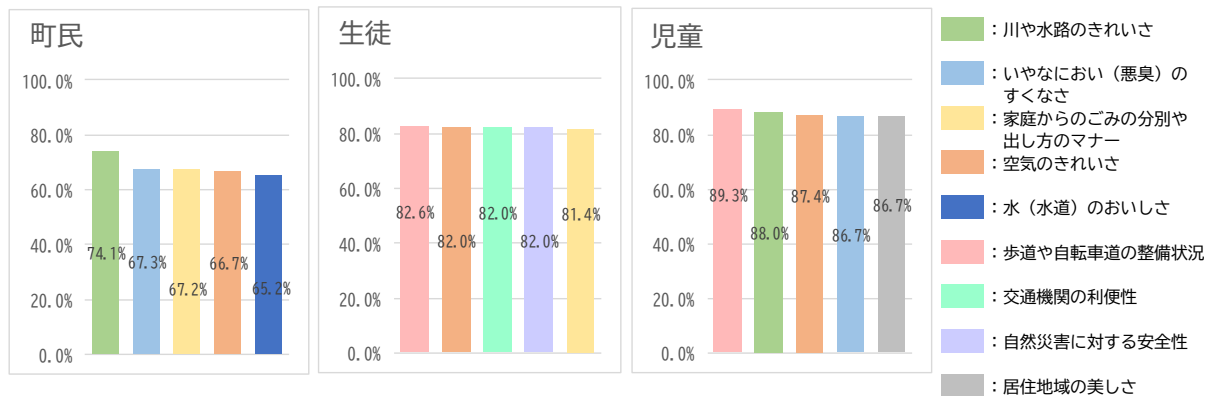
	項目	町民		生徒		児童	
		順位	割合	順位	割合	順位	割合
1	交通機関の利便性	1	49.4%	1	28.0%	-	9.5%
2	歩道や自動車道の整備状況	2	29.7%	2	24.7%	4	15.9%
3	廃棄物の不法投棄の状況	3	22.7%	-	4.6%	1	44.3%
4	いやなおい（悪臭）の少なさ	4	22.1%	2	24.7%	-	13.9%
5	自然災害に対する安全性	5	21.1%	5	16.0%	-	7.6%
6	川や水路のきれいさ	-	18.8%	4	22.0%	5	15.2%
7	家庭や事業所からの汚水処理の状況	-	8.7%	-	9.3%	2	16.9%
8	町民一人ひとりの環境に対する意識	-	13.1%	-	10.7%	3	15.8%



■今後の取り組みの重要度

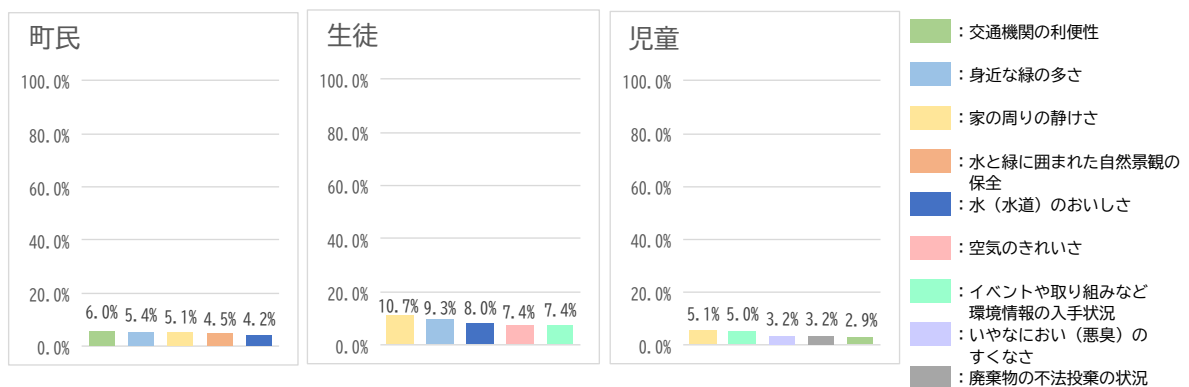
《重要度が高いもの》

	項目	町民		生徒		児童	
		順位	割合	順位	割合	順位	割合
1	川や水路のきれいさ	1	74.1%	-	80.0%	2	88.0%
2	いやなにおい（悪臭）のすくなさ	2	67.3%	-	78.7%	4	86.7%
3	家庭からのごみの分別やし出方のマナー	3	67.2%	5	81.4%	-	82.9%
4	空気のきれいさ	4	66.7%	2	82.0%	3	87.4%
5	水（水道）のおいしさ	5	65.2%	-	76.6%	-	84.1%
6	歩道や自転車道の整備状況	-	58.0%	1	82.6%	1	89.3%
7	交通機関の利便性	-	57.1%	2	82.0%	-	85.5%
8	自然災害に対する安全性	-	64.0%	2	82.0%	-	86.0%
9	居住地域の美しさ	-	55.0%	-	78.7%	4	86.7%



《重要度が低いもの》

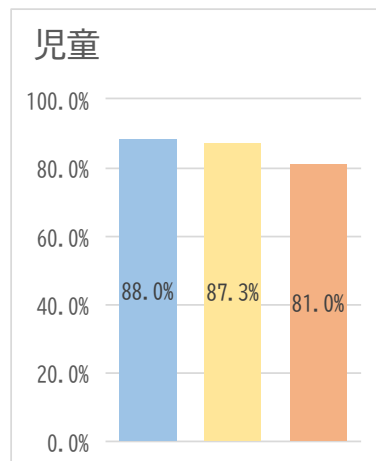
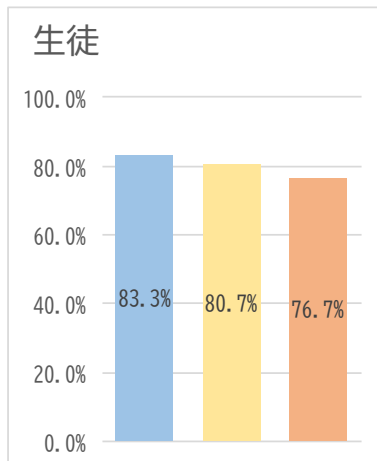
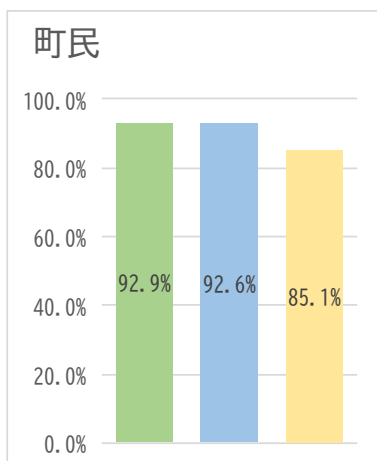
	項目	町民		生徒		児童	
		順位	割合	順位	割合	順位	割合
1	交通機関の利便性	1	6.0%	-	2.0%	5	2.9%
2	身近な緑の多さ	2	5.4%	2	9.3%	-	1.9%
3	家の周りの静けさ	3	5.1%	1	10.7%	1	5.1%
4	水と緑に囲まれた自然景観の保全	4	4.5%	-	4.7%	-	1.2%
5	水（水道）のおいしさ	5	4.2%	3	8.0%	-	2.6%
6	空気のきれいさ	-	3.9%	4	7.4%	-	0.6%
7	イベントや取り組みなど環境情報の入手状況	-	3.9%	4	7.4%	2	5.0%
8	いやなにおい（悪臭）のすくなさ	-	3.0%	-	5.4%	3	3.2%
9	廃棄物の不法投棄の状況	-	1.8%	-	2.7%	3	3.2%



■現在取り組んでいる環境活動

《 普段の生活の中で配慮していること（複数回答） 》

	項目	町民		生徒		児童	
		順位	割合	順位	割合	順位	割合
1	古紙やペットボトル等のリサイクルを行っている	1	92.9%	-	67.3%	-	70.3%
2	レジ袋を使わないよう買物袋を持参している	2	92.6%	1	83.3%	1	88.0%
3	ごみ取りネットを設置し、生ごみを流さない	3	85.1%	2	80.7%	2	87.3%
4	水道はこまめに止めている	-	83.3%	3	76.7%	3	81.0%



■ : 古紙やペットボトル等のリサイクルを行っている

■ : レジ袋を使わないよう買物袋を持参している

■ : ごみ取りネットを設置し、生ごみを流さない

■ : 水道はこまめに止めている



■事業所の環境への取り組み状況

○環境への取り組みと企業活動のあり方についてどのように考えているか

	項 目	割合
1	企業の社会的責任の一つである	62.1%
2	法規制等の基準を守るため	13.8%
3	今後の業績を左右する重要な戦略の一つとして取り組んでいる	6.9%

○環境に関する活動として取り組んでいること

	項 目	割合
1	照明や水道の節約	75.9%
2	事業所内の資源ごみの分別収集	75.9%
3	再生紙の使用	69.0%
4	冷暖房のこまめな調節	65.5%
5	地域の清掃活動への参加・支援	58.6%

○ISO14001規格への取り組み

	項 目	割合
1	既に取り組んでいる	3.4%
2	取り組む予定である	0.0%
3	取り組む予定はないが関心はある	31.0%
4	取り組む予定はなく関心もない	34.5%

※ISO14001…環境マネジメントシステムの仕様を定めた国際的な規格。組織（企業・団体など）の活動や製品、サービスによって生じる環境への影響を継続的に改善するための仕組みを構築し、PDCAサイクル（(1)方針・計画（Plan）、(2)実施（Do）、(3)点検（Check）、(4)是正・見直し（Action）というプロセス）を繰り返すことにより、環境マネジメントのレベルを継続的に改善していこうというもの。企業の場合、環境へ配慮している企業としてのイメージ向上の効果が期待できる。

○環境活動評価プログラム（エコアクション21）への取り組み

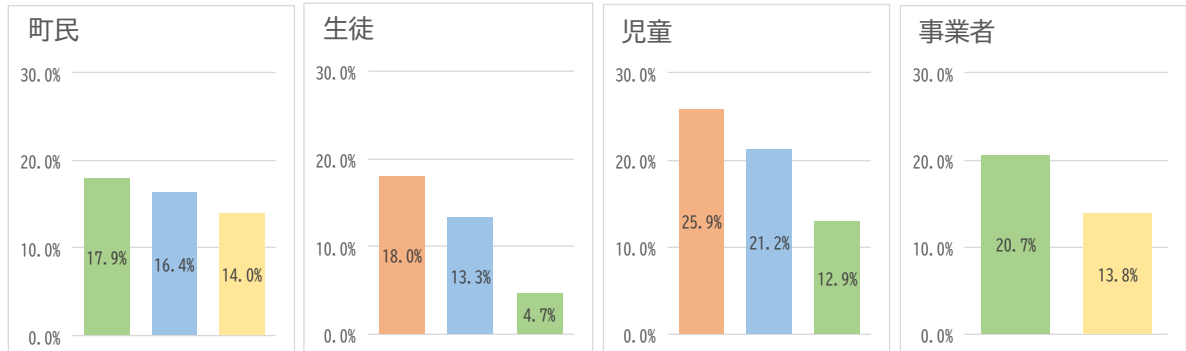
	項 目	割合
1	既に取り組んでいる	3.4%
2	取り組む予定である	0.0%
3	取り組む予定はないが関心はある	34.5%
4	取り組む予定はなく関心もない	37.9%

○環境活動に取り組むにあたり、問題となっていること

	項 目	割合
1	ノウハウが不足している	25.0%
2	手間や時間がかかる	23.3%
3	環境活動に関する情報が不足している	23.3%
4	資金が不足している	37.5%

■環境活動の活性化のために望むこと

	項目	町民		生徒		児童		事業者	
		順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合
1	環境に関する様々な情報の提供	1	17.9%	3	4.7%	3	12.9%	1	20.7%
2	地域が連携して行う、環境活動の推進	2	16.4%	2	13.3%	2	21.2%	-	3.4%
3	環境活動への助成・支援	3	14.0%	-	4.0%	-	5.9%	2	13.8%
4	環境をテーマにしたイベントなどの開催	-	12.5%	1	18.0%	1	25.9%	-	3.4%

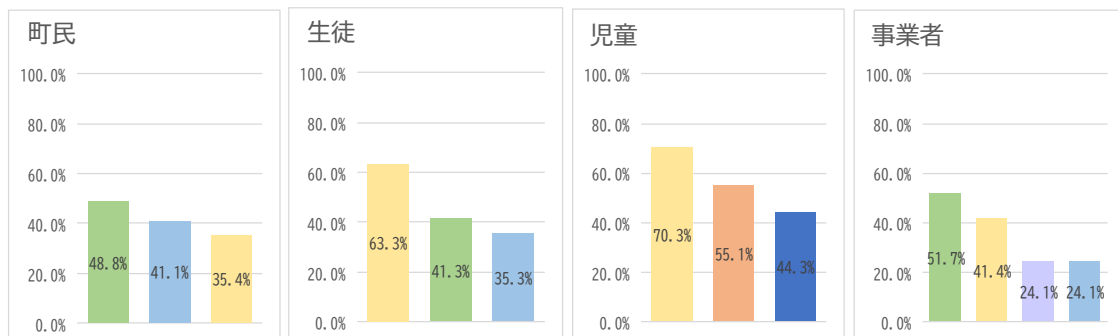


- : 環境に関する様々な情報の提供
- : 環境活動への助成・支援
- : 地域が連携して行う、環境活動の推進
- : 環境をテーマにしたイベントなどの開催

■環境をより良くするために今後さつま町が重点的に進めるべき施策

《自然環境分野》

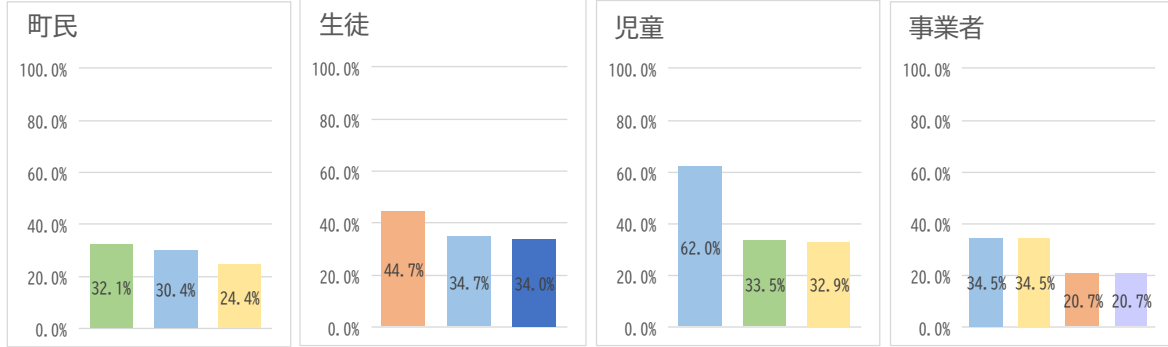
	項目	町民		生徒		児童		事業者	
		順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合
1	優れた自然の活用	1	48.8%	2	41.3%	-	19.6%	1	51.7%
2	森林の荒廃防止	2	41.1%	3	35.3%	-	35.4%	3	24.1%
3	優れた自然の保全	3	35.4%	1	63.3%	1	70.3%	2	41.4%
4	多様な動植物の生息場所の保全	-	9.8%	-	23.3%	2	55.1%	-	6.9%
5	国や県との連携による野生動物の保護・管理 (害虫駆除含む)	-	29.8%	-	21.3%	3	44.3%	-	13.8%
6	無秩序な開発の防止	-	35.4%	-	23.3%	-	23.4%	3	24.1%



- : 優れた自然の活用
- : 優れた自然の保全
- : 国や県との連携による野生動物の保護・管理 (害虫駆除を含む)
- : 森林の荒廃防止
- : 多様な動植物の生息場所の保全
- : 無秩序な開発の防止

《生活環境分野》

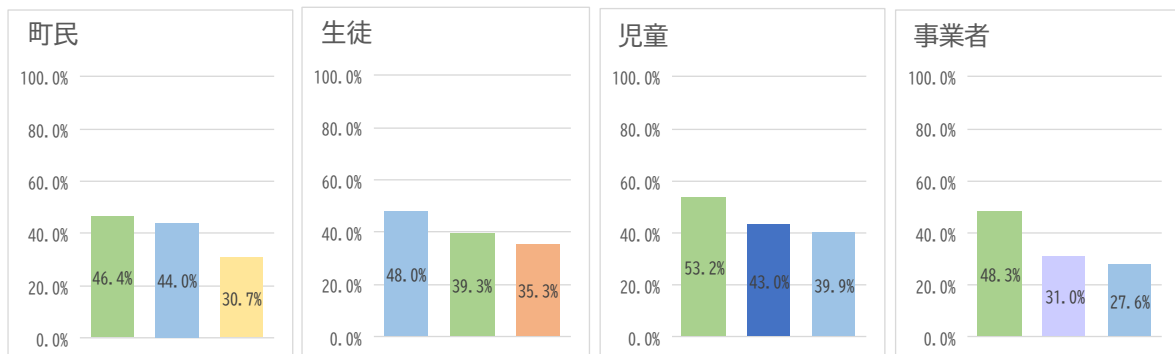
項目	町民		生徒		児童		事業者	
	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合
1 不法投棄防止対策の推進	1	32.1%	-	25.3%	2	33.5%	-	17.2%
2 河川浄化対策の実施	2	30.4%	2	34.7%	1	62.0%	1	34.5%
3 適正なりサイクルの推進	3	24.4%	-	22.7%	3	32.9%	1	34.5%
4 公害防止対策の充実	-	23.2%	1	44.7%	-	31.6%	2	20.7%
5 ごみの発生抑制	-	16.4%	3	34.0%	-	17.1%	-	13.8%
6 合併処理浄化槽の設置推進	-	16.7%	-	7.3%	-	5.7%	2	20.7%



■ : 不法投棄防止対策の推進
 ■ : 適正なりサイクルの推進
 ■ : ごみの発生抑制
■ : 河川浄化対策の実施
 ■ : 公害防止対策の充実
 ■ : 合併処理浄化槽の設置推進

《景観・歴史・文化的環境分野》

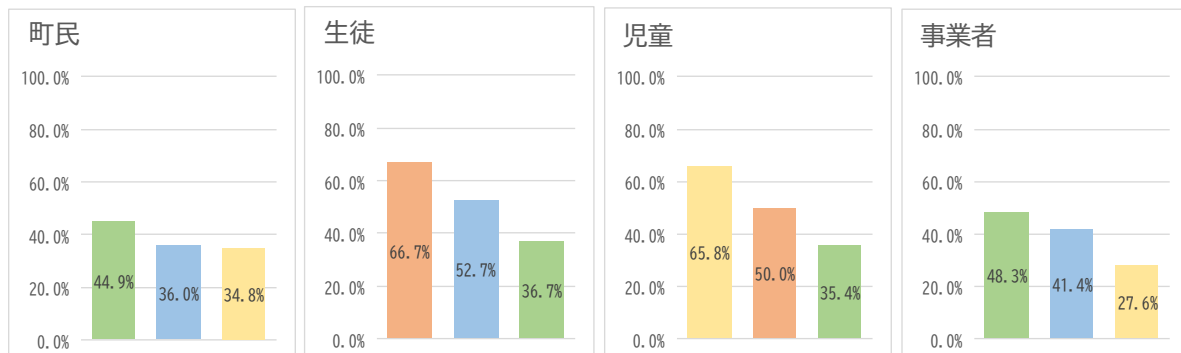
項目	町民		生徒		児童		事業者	
	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合
1 快適な住環境の確保	1	46.4%	2	39.3%	1	53.2%	1	48.3%
2 安全な道路空間の確保	2	44.0%	1	48.0%	3	39.9%	3	27.6%
3 公園緑地の整備、緑の創出	3	30.7%	-	30.0%	-	36.7%	-	10.3%
4 河川敷公園の活用	-	24.4%	3	35.3%	-	11.4%	-	13.8%
5 里山・緑地の保全、樹木等の保存	-	26.5%	-	13.3%	2	43.0%	-	20.7%
6 多自然川づくりの推進	-	18.5%	-	25.3%	-	39.2%	2	31.0%



■ : 快適な住環境の確保
 ■ : 公園緑地の整備、緑の創出
 ■ : 里山・緑地の保全、樹木等の保存
■ : 安全な道路空間の確保
 ■ : 河川敷公園の活用
 ■ : 多自然川づくりの推進

「地球環境分野」

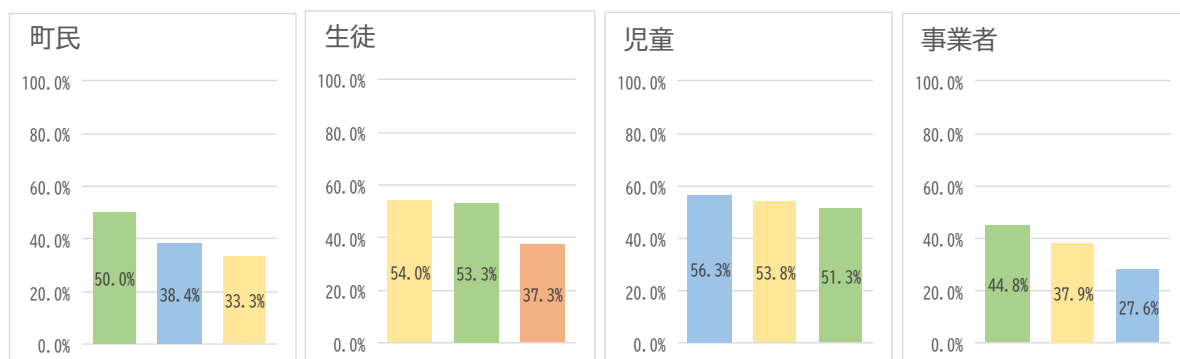
	項目	町民		生徒		児童		事業者	
		順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合
1	クリーンエネルギーの利用促進	1	44.9%	3	36.7%	3	35.4%	1	48.3%
2	エネルギーの省力化・効率化	2	36.0%	2	52.7%	-	30.4%	2	41.4%
3	環境に配慮したライフスタイル・ビジネススタイルの推進	3	34.8%	-	34.0%	1	65.8%	3	27.6%
4	二酸化炭素吸収源としての植林や緑化	-	32.1%	1	66.7%	2	50.0%	-	20.7%



- クリーンエネルギーの利用促進
- エネルギーの省力化・効率化
- 環境に配慮したライフスタイル・ビジネススタイルの推進
- 二酸化炭素吸収源としての植林や緑化

「事業活動分野」

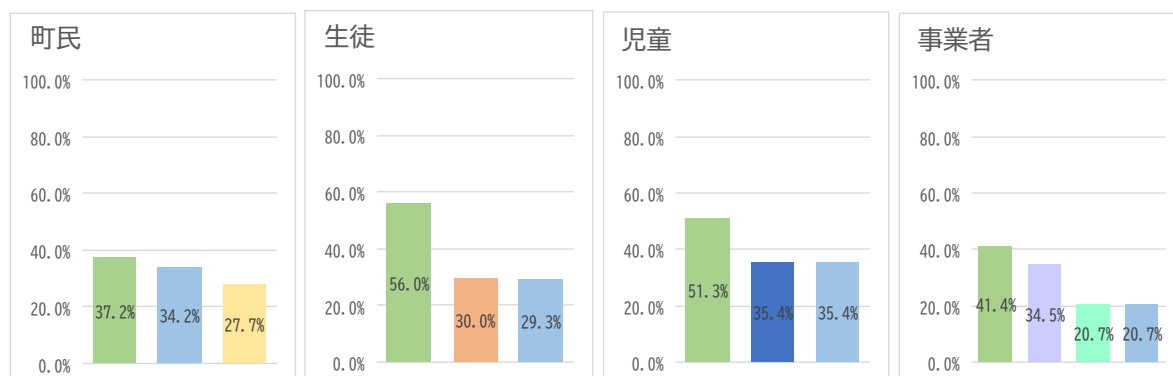
	項目	町民		生徒		児童		事業者	
		順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合
1	地球環境に配慮した農林水産業の確立	1	50.0%	2	53.3%	3	51.3%	1	44.8%
2	事業者に対する環境管理意識の啓発	2	38.4%	-	23.3%	1	56.3%	3	27.6%
3	環境への負担の少ない商工業等の確立	3	33.3%	1	54.0%	2	53.8%	2	37.9%
4	環境に配慮した運輸業・建設業の確立	-	28.3%	3	37.3%	-	31.0%	-	13.8%



- 地球環境に配慮した農林水産業の確立
- 事業者に対する環境管理意識の啓発
- 環境への負担の少ない商工業等の確立
- 環境に配慮した運輸業・建設業の確立

《環境学習、町民参加分野》

	項目	町民		生徒		児童		事業者	
		順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合
1	学校における環境学習の推進	1	37.2%	1	56.0%	1	51.3%	1	41.4%
2	環境に関する情報の提供	2	34.2%	-	29.3%	2	35.4%	3	20.7%
3	環境問題に取り組む人材の育成や環境団体の支援	3	27.7%	-	14.7%	-	24.1%	-	10.3%
4	環境問題に取り組む活動団体の拠点づくり	-	12.5%	2	30.0%	-	25.3%	-	0.0%
5	環境学習の機会と場の創出	-	21.1%	-	23.3%	2	35.4%	-	13.8%
6	町民協働で環境活動を推進するためのしくみづくり	-	25.9%	-	14.7%	-	12.7%	2	34.5%
7	環境学習の指導者に育成	-	19.6%	3	25.3%	-	21.5%	3	20.7%



- : 学校における環境学習の推進
- : 環境問題に取り組む人材の育成や環境団体の支援
- : 環境学習の機会と場の創出
- : 環境学習の指導者の育成
- : 環境に関する情報の提供
- : 環境問題に取り組む活動団体の拠点づくり
- : 町民協働で環境活動を推進するためのしくみづくり



■自由記述（一部抜粋）

○ 生活環境（ごみ・道路・悪臭）について

- ・歩いて帰るときにゴミをみるのでしっかりきまったところにするのを広報さつまとかにかいたらみんな守ってくれると思います。（児童）
- ・脱炭素化や二酸化炭素排出を削減するために、公共交通機関を増やすべきだと思う。例えば、（バスの便をもっと増やしてバスの利用料金を安くする。電車を開通させる。レンタル自転車などを設置するなどする）といいと思った。特にバスの便をもっと増やすや、利用料金を安くするなど車をもっていない方やもっている方でもバスをたくさん使ってもらえる政策をするべきだと思う。（生徒）
- ・自然豊かなさつま町。とっても素敵な町だと思うので、手つかずの自然も良いが自然を生かした公園や川などもっと整備すべきと考えます。（町民）
- ・大雨災害による道路補修等がなかなか進んでいないので出来るだけ早くお願い致します。（町民）

○ 自然環境（みどり・川）について

- ・カーボンニュートラルも大切ですが、森林伐採により、町内の山も木がなくなってる所が増えたように思います。熱海市伊豆山の土石流災害の原因が盛土であったり、今年の7月の始良市の土砂崩れの原因が太陽光発電の建設現場の排水管理が不十分であったことなどから災害防止の観点を重視します。このような例がさつま町でおきないように、定期的に現場をみまわるということは考えてくださいますか。（町民）
- ・川を透明にするつもりできれいにしてほしい。おいしい水道水にしてほしい。（生徒）

○ 環境への意識・学習・全体の取り組みについて

- ・自然や動植物を守る活動や子どもでも積極的に参加できるような環境を守る活動ができてほしい！川や山で、ごみひろい、公共の場所での花や木を植える活動。SDGsの活動でできることがあれば達成できるように私たちにできることを少しでもする。（児童）
- ・もう少し環境に取り組むという事を町環境課の方々が勉強しアドバイス等出来るようにしてほしいです。町民に気をつかいすぎて、いろいろ後手になっているような気がします。（町民）

○ エネルギーについて

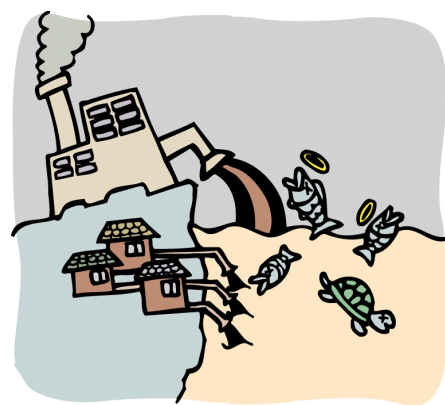
- ・環境に良いと言われる、太陽光発電や電気自動車などわが家でも、取り入れたいのですが、高額でなかなかこう入できません。補助などして下さると利用する人がもっと増えると思います。（生徒）
- ・クリーンエネルギー、再生可能エネルギーについて・クリーンエネルギーの重要性は分かりますが、そのために貴重な自然環境や生態系が失われていくことには違和感があります。（町民）

2.6 環境の現況評価と課題

本町では、近年公害苦情件数は減少しましたが、環境に関する意識調査の結果から「交通機関の利便性」や「歩道や自動車道の整備状況」といった道路環境への満足度、「廃棄物の不法投棄」といった身の回りの生活環境に対する満足度が低い状況がみられます。自由記述の中にもこれらの問題や改善を望む意見が多くみられることから、今後積極的な取組みを実施し、快適な生活環境を確保することが重要です。

また、本町は紫尾山や川内川に代表される豊かな自然に囲まれた町です。意識調査の結果からも「空気のきれいさ」や「身近な緑の多さ」といった豊かな自然環境に対する満足度の高さが明らかになりました。なかでも小学6年生及び中学3年生のアンケート結果では、「身近な緑」や「水辺や野山の生きものの生息状況」、「水と緑に囲まれた自然や景観の保全」を重要だと答える児童・生徒の割合が高く、若い世代ほど自然環境を大切なものとして感じていることがわかりました。このような豊かな自然環境をいつまでも持続させるためにも、現在の自然環境をより良いかたちで次世代へと引き継ぐことが重要です。

また、地球環境問題に対する取り組みは、本町の環境基本条例や総合振興計画の基本理念等でも示されており、住民一人ひとりが取り組むべき問題であると考えられます。



第3章 計画の基本方針

3.1 さつま町の目指す環境像

これまでに明らかになった環境の現状と課題及び、さつま町総合振興計画の基本目標を踏まえ、本町の目指す環境像を次のように掲げます。

**豊かな自然を守り、みずと緑に癒されるまち
ふるさとを見直し、資源を大切にするまち**

3.2 計画の基本目標

本町が目指す環境像を実現するための目標として、本計画の柱となる環境の基本目標を次のように掲げます。

1. 快適な生活環境の確保を図ります。

悪臭や生活排水、ごみの問題に対して積極的に取り組み、快適な生活環境の確保を図ります。

2. 豊かな自然環境を次世代へ引き継ぎます。

紫尾山系や川内川水系などの豊かな自然は、人にうるおいや安らぎを与える貴重な財産です。自然環境を保全しつつ有効に活用し、豊かな自然を次世代へと引き継ぎます。

3. 地球環境の保全に積極的に取り組みます。

地球環境問題はすべての人が被害者であり加害者です。私たち一人ひとりが理解を深め、できることから始めることで地球環境の保全に積極的に取り組みます。また、本町では令和4年9月に「持続可能な未来づくりカーボンニュートラルさつま町宣言」をしたことから、町全体でカーボンニュートラルの実現を目指します。

4. 町民・事業者・行政が協働できる推進体制を構築します。

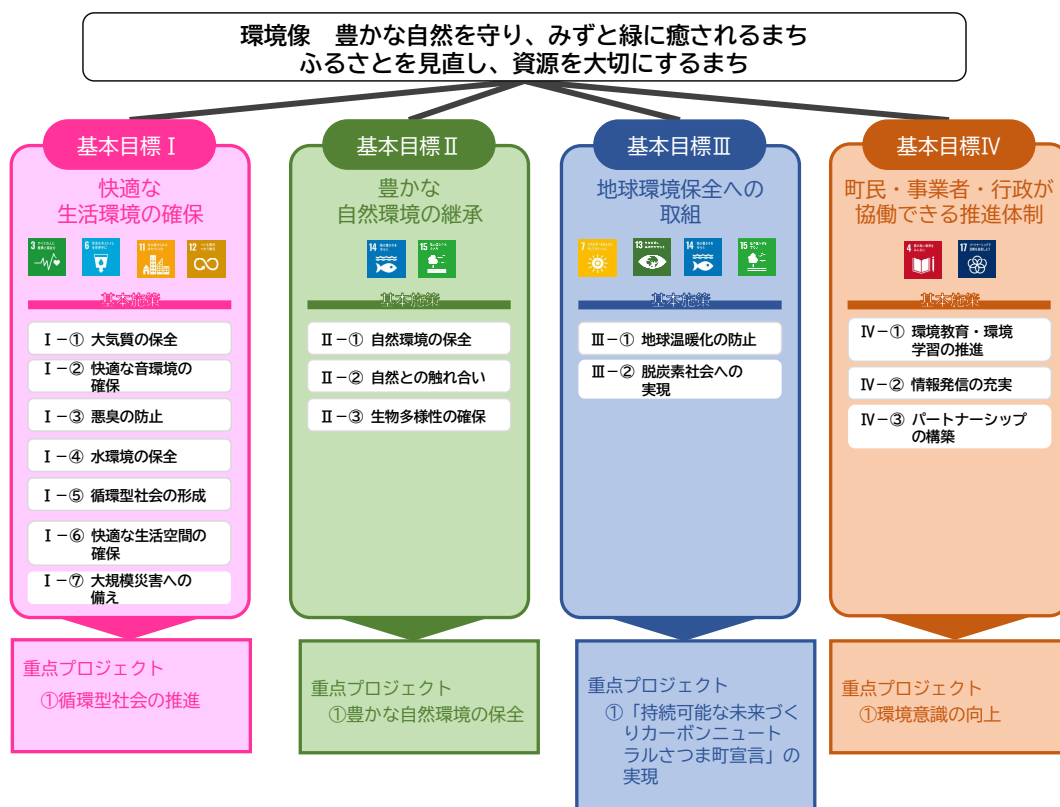
本町の環境基本計画は、町民・事業者・行政がそれぞれの立場で考え、行動し、協力し合いながら取り組むものです。本計画を着実に推進していくために、各々が主体的に行動し協働できる推進体制を構築します。

第4章 施策の展開

4.1 施策の体系

第3章で示した本町の「目指す環境像」及びそれを実現するための「4つの基本目標」を柱に「施策の展開」を図ります。4つの基本目標毎の項目別施策は以下の体系図に示すとおりです。

また、項目別施策の取り組み内容のうち、重要な課題あるいは早急に対応する必要がある事項を「重点プロジェクト」として位置付け、より具体的な実行計画を整理し、施策を実行していきます。



4.2 項目別施策

基本目標 1：快適な生活環境の確保

■ I-① 大気質の保全【空気のきれいさ】

【個別目標】

大気汚染防止対策を適切に実施し、空気のきれいさを維持します。

○数値目標：大気汚染に関する苦情件数 ゼロ件（令和14年度）

・本町の大気汚染に関する苦情件数：平成30年度(0件)，令和元年度(0件)，令和2年度(0件)

○数値目標：空気のきれいさの満足度 85%以上（令和14年度）

・環境の意識調査結果：“満足している”及び“やや満足している”の割合 [町民：81.6%]

【町の取り組み】

○大気汚染状況把握の継続・充実

県が実施している大気汚染の状況を今後も継続して把握し、必要に応じて測定の実施などを検討していきます。

○排出ガス対策の推進

町が管理する焼却施設等の公共施設について、設備等の更新時期において、環境付加に配慮した機器の導入など、大気汚染物質の排出削減に努めます。

○自動車排出ガス対策の推進

公用車の効率的な使用やハイブリット車、電気自動車の導入、アイドリングストップ運動の推進に努めます。また、道路沿道緑化の整備を図り、自転車やバイク、バス等の利用促進に努めます。

【町民の取り組み】

○ハイブリッド車、電気自動車の購入を検討しましょう。

○自家用車の利用を控え、徒歩、自転車、バイク、バスなどを優先的に利用しましょう。

○運転時は、空ぶかしを行わない、アイドリングストップや適正な速度での運転など、エコドライブを実践しましょう。

○家庭でのごみ等の焼却は禁止されているので行わないようにしましょう。

【事業者の取り組み】

○運搬経路を事前に確認し、効率的な運転に努めましょう。

○ハイブリッド車、電気自動車の導入を検討しましょう。

○通勤時には、徒歩や自転車、バイク、バスなどを優先的に利用しましょう。

○運転時は、アイドリングストップや適正な速度での運転など、エコドライブを実践しましょう。

○環境配慮型の設備機器の導入や機器の適切な維持管理の下で大気汚染物質の排出抑制に努めましょう。

■ I-② 快適な音環境の確保（騒音防止対策の推進）【家の周りの静けさ】

【目標】

騒音防止対策を適切に実施し、家の周りの静けさを維持します。

○数値目標：騒音に関する苦情件数 ゼロ件（令和14年度）

・本町の騒音に関する苦情件数：平成30年度(0件)，令和元年度(0件)，令和2年度(0件)

○数値目標：家の周りの静けさの満足度 80%以上（令和14年度）

・環境の意識調査結果：“満足している”及び“やや満足している”の割合 [町民：76.2%]

【町の取り組み】

○自動車の騒音対策の推進

県と連携し、自動車騒音の監視を進め、実態把握に努めていきます。また、道路の整備においては、必要に応じて、排水性舗装や植樹帯の導入など、騒音対策の検討を行います。さらに、徒歩、自転車やバスなどの優先的利用の促進やエコドライブに関する啓発に努めます。

○工場・事業場の騒音対策の推進

工場・事業場から発生する騒音については、法令に基づき、規制基準の周知や適切な指導を行います。

また、深夜や早朝の営業、作業による近隣への影響を防止するため、発生源対策の必要性の啓発や指導の一層の徹底を図ります。

【町民の取り組み】

○自動車の点検整備に努めましょう。

○運転時は、空ぶかしを行わない、アイドリングストップや適正な速度での運転など、エコドライブを実践しましょう。

○楽器や音響機器の利用に際しては、近隣に迷惑をかけないように音量や使用時間などに配慮しましょう。

【事業者の取り組み】

○自動車の点検整備に努めましょう。

○運転時は、空ぶかしを行わない、アイドリングストップや適正な速度での運転など、エコドライブを実践しましょう。

○周辺地域における騒音の防止のため、低騒音型の機器の導入や防音壁・防音装置の設置等に努めましょう。

○深夜や早朝の営業、作業による近隣への影響の防止に努めましょう。

■ I-③ 悪臭の防止【悪臭の少なさ】

【目 標】

悪臭防止対策を適切に実施し、悪臭の少ない環境を目指します。

○数値目標：悪臭に関する苦情件数 ゼロ件（令和14年度）

・本町の悪臭に関する苦情件数：平成30年度(2件)，令和元年度(4件)，令和2年度(0件)

○数値目標：いやなにおい（悪臭）の少なさの満足度 60%以上（令和14年度）

・環境の意識調査結果：“満足している”及び“やや満足している”の割合 [町民：55.8%]

【町の取り組み】

○悪臭防止対策の推進

工場・事業場から排出される悪臭物質については、法令に基づき、排出規制の周知や適切な指導を行います。また、事業活動や町民の日常生活に起因する悪臭の発生を防止するための啓発に努めます。

町が管理する焼却施設やし尿処理施設等の公共施設について、施設・設備の適正な運転に努め、悪臭物質の排出削減に努めます。

また、生ごみ処理の推進に努めます。

【町民の取り組み】

○ごみ出しのルール（決められた日時、場所、分別の方法など）を守り、悪臭の防止対策に努めましょう。

○家庭でのごみ等の焼却は禁止されているので行わないようにしましょう。

○生ごみの適正処理に努めましょう。

【事業者の取り組み】

○工場・事業場での排出ガスや廃棄物からの悪臭の発生を抑制するとともに、適正な臭気対策など、悪臭の防止対策に努めましょう。

○家畜のふん尿や生ごみなどは適正に処理しましょう。

○廃棄物の焼却は禁止されているので行わないようにしましょう。

■ I-④ 水環境の保全【川や水路の水のきれいさ】

【目 標】

生活排水対策を適切に実施し、川や水路の水のきれいさを維持します。

○数値目標：汚水衛生処理率 95%以上（令和14年度）

・生活排水処理基本計画の目標：77.1%(R2年度), 89.8%(R7年度)

○数値目標：水質汚濁に関する苦情件数 ゼロ件（令和14年度）

・本町の水質汚濁に関する苦情件数：平成30年度(2件), 令和元年度(0件), 令和2年度(0件)

○数値目標：川や水路の水のきれいさの満足度 50%以上（令和14年度）

・環境の意識調査結果：“満足している”及び“やや満足している”の割合【町民：48.1%】

【町の取り組み】

○河川水の水質監視体制の強化

町内の河川で実施している水質検査を継続して実施し、水質監視に努めるとともに、検査結果を分析し、必要に応じて、水質保全対策を検討、実施していきます。

○生活排水対策の推進

合併処理浄化槽の転換を促進するとともに、浄化槽の適正な維持管理の啓発、指導に努めます。また、農業集落排水施設の接続率が向上するよう、啓発、指導を行います。

○環境センターの適切な維持管理の推進

町が管理するし尿処理施設について、施設・設備の適正な運転、維持管理に努め、公共用水域への汚濁負荷の低減に努めます。

○地下水の保全

表流水は天候や周辺的环境変化に大きく左右されることから、安全かつ良質で安定した水の確保を図るため、水源かん養林の保全や雨水浸透の促進などにより、地下水の保全に努めます。

【町民の取り組み】

- 合併処理浄化槽への切り替えを行うとともに、浄化槽の適正な維持管理に努めましょう。また、農業集落排水施設区域の住宅で施設への接続を行っていない住宅は、施設への接続を行いましょう。
- 環境負荷の少ない洗剤の使用や三角コーナーの設置、廃油の適正な処理など、家庭でできる生活排水対策を実践しましょう。
- 河川や水路・側溝の清掃など、水環境保全のための各種の取り組みに積極的に参加・協力しましょう。

【事業者の取り組み】

- 水質汚濁の要因となりうる工場・事業場の排水や農薬・肥料、畜産ふん尿等は適正に処理するとともに、処理施設の適切な維持管理に努めましょう。
- 循環型で排水の少ない工程への改善など、節水・排水の削減を心がけましょう。
- 地域と協働した河川や水路・側溝の清掃など、水環境保全のための各種の取り組みに積極的に参加・協力しましょう。
- 地下水への汚染が確認された場合は、町の関連部署に指導を仰ぐなど、積極的に汚染防止のための対策に努めましょう。



■ I - ⑤ 循環型社会の形成【ごみ問題】

【目 標】

町民・事業者・町（行政）が連携した3R運動の推進により、ごみの減量化及び資源化の促進・拡充を図ります。

○数値目標：廃棄物の不法投棄の状況の満足度 40%（令和14年度）

・環境の意識調査結果：“満足している”及び“やや満足している”の割合 [町民：36.1%]

○数値目標：こみの分別やし出し方のマナーの満足度 75%（令和14年度）

・環境の意識調査結果：“満足している”及び“やや満足している”の割合 [町民：73.0%]

○数値目標：ごみ減量化及び資源化に関して“第2次さつま町総合振興計画後期計画”の目標値を達成

・第2次さつま町総合振興計画後期基本計画

● 成果目標	現状（R1）	目標（R7）
ごみの減量化・分別・リサイクルの取組に満足している住民の割合	50.6%	60%以上
● 主な指標	現状（R1）	目標（R7）
資源ごみリサイクル率	20.4%	25%以上
収集ごみ（可燃・不燃）の量	2,865 t	1,903 t
収集ごみ（資源）の量	888 t	1,000 t
直接搬入ごみ（可燃・不燃）の量	2,278 t	2,130 t
直接搬入ごみ（資源）の量	193 t	241 t

ごみ総排出量の推移[※]

区分	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ごみ排出量	t/年	6,564	6,495	6,344	5,763	5,728
収集ごみ	t/年	4,053	4,002	3,823	3,271	3,139
直接搬入ごみ	t/年	2,511	2,493	2,521	2,492	2,589
1人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	805.8	812.1	809.8	747.4	759.4
収集ごみ	g/人・日	497.6	500.4	488	424.2	416.2

※収集ごみ：委託業者収集ごみ[※]

※直接搬入ごみ：個人及び事業者持ち込みごみ[※]

【町の取り組み】

○適切なごみ処理の推進

- ・生ごみの堆肥化等の推進により、町が管理する焼却施設（クリーンセンター）への負荷低減に努めるとともに、効率的な廃棄物の収集・運搬、クリーンセンターの適切な維持管理に努めます。
- ・食品ロス削減推進法、プラスチック資源循環促進法等関係法令に基づいた、ごみの適正処理のための情報発信に努めます。

○3R+Renewableの普及啓発、情報提供によるごみの減量化、再資源化の推進

- ・衛生自治団体連合会の研修や出前講座、広報媒体（町広報紙・お知らせ版・ホームページ）などにより、廃棄物の発生抑制（リデュース）、部品等の再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）の3R及び再生可能（リニューアブル）を推進し、ごみの減量化・リサイクルを積極的に推進します。

○環境学習等の推進

教育関係部署との連携により、施設の有効活用による環境教育・環境学習の充実を図ります。

○不法投棄対策の実施

- ・不法投棄等の不適正処理の未然防止や早期発見・早期対応を図るため、県と連携して、監視体制の強化や町民等への啓発に努めます。
- ・「さつま町環境美化条例」を適正に運用し、本町の美しい自然と快適な生活環境を守るため、各地域で展開されている美化活動、清掃活動を支援します。
- ・モラルの低下によるごみのポイ捨てや不法投棄の防止に努め、環境美化意識が町民一人ひとりに浸透するような情報発信を行い、意識啓発に努めます
- ・環境美化推進員を中心として、各種団体・学校・地域住民との連携により、地域における環境美化の促進、地域の環境パトロール（不法投棄パトロール）や地区民に対する環境美化の指導や助言、啓発活動を実施していきます。

【町民の取り組み】

- ごみの発生抑制に努めましょう。
 - ・使い捨て製品、ごみとなるようなものはできるだけ買わないようにしましょう。
 - ・過剰包装は断りましょう。
 - ・物を大切にし、壊れても修理サービスを積極的に利用して、長く使う工夫をしましょう。
 - ・買い物際には、買い物袋（マイバッグ）を持参しましょう。
 - ・生ごみのたい肥化を進めましょう。
 - ・3010（さんまるいちまる）運動により、廃棄される食品を減らしましょう。
- 再使用やリサイクルに努めましょう。
 - ・リサイクルできる商品や詰め替えできる商品を買きましょう。
 - ・エコマークやグリーンマークの商品など、再生品、環境にやさしい商品を買きましょう。
 - ・リサイクル商品やリサイクルショップを積極的に活用しましょう。
 - ・日常生活において、使えるものは捨てずに再使用するよう努めましょう。
- ごみ出しのルール（決められた日時、場所、分別の方法など）を守り、ごみの適正排出、分別収集、資源ごみリサイクルへの取り組みに協力しましょう。
- ごみのポイ捨てや不法投棄はやめましょう。

【事業者の取り組み】

- 事務用品等はグリーン購入に努めるとともに、リユース、リサイクルに努めましょう。
また、廃棄物は適正に処理・処分しましょう。
- 買い物袋（マイバッグ）持参運動の推進や過剰包装の自粛、簡易包装の推進に努めましょう。
- 長期間使用可能な製品の開発や販売、リサイクルが可能な原料を使用した製品の製造や販売に努めましょう。
- 木くずや家畜ふん尿などの堆肥化、エネルギーの回収など、バイオマスの有効活用を推進しましょう。
- ISO14001やエコアクション21などの環境マネジメントシステムを積極的に導入し、環境保全活動に取り組みましょう。

※3010（さんまるいちまる）運動・・・宴会などで乾杯後の30分間は席を立たずに料理を楽しむ。また、お開き前の10分間は、自席に戻り残った料理を楽しむことにより、廃棄される食品を減らす取り組みのこと。

※3R運動・・・Reduce（リデュース）＝ごみを減らすこと、Reuse（リユース）＝物をくり返し使うこと、Recycle（リサイクル）＝ごみを資源として再び利用すること、の3つに取り組む運動のこと。

■ I-⑥ 快適な生活空間の確保【身近な緑の多さ、住んでいる地域の美しさ】

【目標】

身近な緑の多さや住んでいる地域の美しさを維持し、快適な生活空間を確保します。

○数値目標：身近な緑の多さの満足度 90%以上（令和14年度）

・環境の意識調査結果：“満足している”及び“やや満足している”の割合【町民：86.2%】

○数値目標：住んでいる地域の美しさの満足度 65%以上（令和14年度）

・環境の意識調査結果：“満足している”及び“やや満足している”の割合【町民：63.1%】

【町の取り組み】

○緑地・公園の整備、緑化の推進

- ・地域に親しまれている身近な緑を、町民の協力や事業者・民間団体等との連携により適正に保全します。
- ・緑地や公園の整備、公共施設や道路沿道の緑化に努めるとともに、町民の緑化活動を支援します。
- ・町の木（モミジ）や町の花（薩摩寒蘭）を大切にし、町民の緑化意識の向上を図ります。
- ・県立北薩広域公園の整備促進と利活用を図ります。
- ・自然景観や親水性に配慮した水辺整備を実施します。

○環境美化意識の浸透、環境美化活動の支援

- ・「さつま町環境美化条例」を適切に運用し、本町の美しい自然と快適な生活環境を守るため、各地域で展開されている美化活動、清掃活動を支援します。
- ・モラルの低下によるごみのポイ捨てや不法投棄の防止に努め、環境美化意識が町民一人ひとりに浸透するような情報発信を行い、意識啓発に努めます。
- ・環境美化推進員を中心として、各種団体・学校・地域住民との連携により、地域における環境美化の促進、地域の環境パトロール（不法投棄パトロール）や地区民に対する環境美化の指導や助言、啓発活動を実践していきます。

○歴史的・文化的な景観の保存・活用

- ・県と連携して、法令に基づく取り組みを実施し、自然環境と調和した景観づくりや地域の歴史的・文化的景観や自然景観に配慮したまちづくりなど、景観形成を推進します。
- ・文化財の保護活動を支援するため、人材の育成や情報の提供に努めます。

【町民の取り組み】

- 緑地や公園の維持管理に協力しましょう。
- 庭木や生垣など、自宅の緑化に努めましょう。
- 自宅やその周辺の清掃に努めましょう。
- 行楽地などでは、自分が出したごみは持ち帰りましょう。
- 空き缶、ペットボトル、たばこの吸殻などごみのポイ捨てをしないようにしましょう。
- 地域の環境美化活動、清掃活動に積極的に参加しましょう。
- 建物を建設する場合は、まちの景観に配慮した設計に努めましょう。
- 史跡・名勝・天然記念物などの文化財の保護・保全に協力しましょう。
- 「さつま町環境美化条例」の趣旨を踏まえた取り組み、活動に協力しましょう。

【事業者の取り組み】

- 事業場の緑化に努めましょう。
- 事業場やその周辺の清掃に努めましょう。
- 地域の環境美化活動、清掃活動への参加や協力に努めましょう。
- 廃棄物は適正に処理・処分しましょう。
- 建物を建設する場合は、まちの景観に配慮した設計に努めましょう。
- 看板や広告塔などは、周辺の景観と調和するように配慮しましょう。
- 「さつま町環境美化条例」の趣旨を踏まえた取り組み、活動に協力しましょう。



■ I-⑦ 大規模災害への備え【自然災害に対する安全性】

【目標】

大規模災害への備えを確保するとともに、常時から災害体制への構築を進め、災害に強いまちづくりに努めます。

○数値目標：自然災害に対する安全性の満足度 50%以上（令和14年度）

・環境の意識調査結果：“満足している”及び“やや満足している”の割合 [町民：47.1%]

【町の取り組み】

○地域防災計画の充実

最新の情報を収集し、災害時の体制の構築に努めます。

○自立・分散型エネルギーで支えられる災害に強いまちづくり

再生可能エネルギーの導入の促進を図り、事業者・町民いずれにおいてもエネルギーの自立化を検討していきます。

○地元事業者等と災害時における協定の締結

災害に的確かつ迅速に対応するために、応急対策・復旧対策に関して様々な分野の民間事業者との協定の締結を進めていきます。

【町民の取り組み】

○町の出しているハザードマップを常に確認しましょう。

○高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズ等）・家庭用燃料電池（エネファーム）の普及やLED照明・省エネ家電製品への買換の促進をしましょう。

○再生可能エネルギーの有効活用に向けた蓄電池・エネルギー需給管理技術の導入等の普及啓発をしましょう。

○電気自動車とV2Hの連携など、災害時の電源としての活用を促進しましょう。

【事業者の取り組み】

○分散型エネルギーを活用した工場・事業所等における電力自立化を促進しましょう。

○災害時でも外部給電可能な電気自動車の普及を促進しましょう。

○災害に的確かつ迅速に対応するために、応急対策・復旧対策に関して様々な分野の民間事業者との協定を検討していきましょう。

基本目標2：豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐ

■ II-① 自然環境の保全

【水と緑に囲まれた自然景観、森林の荒廃防止、優れた自然の保全】

【目標】

森林の荒廃を防止し、水と緑に囲まれた自然景観、自然環境を保全します。

○数値目標：森林・原野の面積割合 50%程度（令和14年度）

・野生動植物の生息・生育環境として森林・原野の面積（「自然環境の保全」と同程度の目標）

○数値目標：水と緑に囲まれた自然景観の保全の満足度 70%以上（令和14年度）

・環境の意識調査結果：“満足している”及び“やや満足している”の割合【町民：67.0%】

【町の取り組み】

○自然景観の保全と活用

- ・本町の自然的・社会的特性に配慮しながら、山地景観、河川景観などの自然景観の保全に努めるとともに、豊富な森林資源や川内川がもたらす肥沃な耕地を生かした農林業の推進など、活用を図ります。
- ・自然景観や親水性に配慮した水辺整備を実施します。

○中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払交付金の活用を推進

- ・中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払交付金の活用拡大を推進し、農地・農業用施設の保全活動の支援に努めます。

○森林の保全対策の推進

- ・森林の荒廃を防止し、森林の持つ水源かん養、二酸化炭素の吸収、土砂災害の防止などの多面的な機能を保全するため、適切な管理・整備を実施・支援します。
- ・森林環境譲与税を活用し、計画的森林施業を推進します。
- ・伐採跡地における再造林を推進します。
- ・Jクレジットなどの事業を推進します。

○自然保護に関する普及啓発の推進

自然保護に関する各種の行事や環境学習などにより、自然保護の普及啓発を推進します。

【町民の取り組み】

- 所有する森林に関して、適正な維持・管理に努めましょう。
- 各種開発を行う際は、自然景観、自然環境に配慮し、できるだけ自然の改変を回避する計画を立てましょう。
- 森林や河川など、それぞれの地域の自然を保全する活動を町と一体となって推進していきましょう。
- 森林の整備や河川の美化活動、伐採跡地における再生林活動等に積極的に参加しましょう。

【事業者の取り組み】

- 所有する森林に関して、適正な維持・管理に努めましょう。
- 各種開発を行う際は、自然景観、自然環境に配慮し、できるだけ自然の改変を回避する計画を立てましょう。
- 森林や河川など、それぞれの地域の自然を保全する活動を町と一体となって推進していきましょう。
- 森林の整備や河川の美化活動等に積極的に参加しましょう。

■Ⅱ-② 自然との触れ合い【優れた自然の活用】

【目標】

優れた自然を活用し、その恵みを享受するとともに、環境保全意識の向上を図ります。

○数値目標：水や緑など自然に親しめる場の整備状況の満足度 55%以上（令和14年度）

・環境の意識調査結果：“満足している”及び“やや満足している”の割合 [町民：54.4%]

【町の取り組み】

○触れ合いの場の整備

自然公園や自然遊歩道などの自然と触れ合える場を自然体験・環境学習の場として利用するとともに、各種の施設整備に努めます。

○触れ合い活動の充実

- ・農業・農村の持つ豊富な地域資源と多面的機能を生かしたグリーン・ツーリズム等により、地域の自然、文化、人々との交流を促進します。
- ・自然の恵みの一つである温泉を有効活用した地域づくりを進めます。
- ・緑のボランティア活動を推進します。

○自然の活用に関する情報の発信

自然を活かし、自然と触れ合い、自然を学べる季節のイベント情報やおすすめの観光情報などを提供します。

【町民の取り組み】

○森林や河川、自然公園など、自然と触れ合える場を利用しましょう。

○地域の特色を活かした自然と触れ合えるイベントに参加しましょう。

○自然との触れ合いを通じて、環境保全に関する意識の向上を図りましょう。

【事業者の取り組み】

○自然を活かし、自然と触れ合い、自然を学べるイベント等を通じた環境教育、環境学習に協力しましょう。

○農業体験や林業体験など、グリーン・ツーリズムなどの取り組みを推進し、自然と触れ合える場、自然と触れ合える機会の提供に努めましょう。

※グリーン・ツーリズム…都市住民などが「緑豊かな農山漁村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動」のこと。

■ II-③ 生物多様性の確保

【野生動植物の保護・管理、多様な動植物の生息・生育場所の保全】

【目標】

野生動植物の保護・管理に努め、多様な動植物の生息・生育場所の保全を図ります。

○数値目標：森林・原野の面積割合 50%程度（令和14年度）

・野生動植物の生息・生育環境として森林・原野の面積（「自然環境の保全」と同程度の目標）

○数値目標：水辺や野山の生きものの生息状況の満足度 55%以上（令和14年度）

・環境の意識調査結果：“満足している”及び“やや満足している”の割合【町民：52.1%】

【町の取り組み】

○野生動植物の生息・生育環境の保全

紫尾山や川内川などを始めとする、野生動植物の生息・生育環境の保全を図ります。

○野生動植物の保護対策と適正な管理の啓発

天然記念物や絶滅のおそれのある野生動植物等について、文化財保護法や絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律を適切に運用し、野生動植物の保護対策と適切な管理の啓発を図ります。

○有害鳥獣の被害防止対策の推進

有害鳥獣（イノシシ・シカ等）による農林産物への被害の防止及び軽減を図るため、防護柵の設置の推進や、県とも協力し、有害鳥獣対策を適切に推進します。

○水辺環境保全の推進

多種多様な魚族や植物を保護するため、水辺環境に配慮した護岸整備の推進を図ります。

○水産資源の維持増大

川内川流域において、水産資源の維持増大のために稚魚の放流を行います。

○紫尾山ブナ林の生物多様性保全に係る自然再生を推進

紫尾山ブナ林の生物多様性の再生及び保全・保護の取り組みを進めます。

○外来生物の駆除

ブラックバス、ブルーギルなどの外来魚の無秩序な放流等のため、鮎などの在来生物の生態系に影響が生じており、川内川においてこれら外来魚の駆除を行います。

○外来生物の防除対策の推進

法令に基づき、国や県と連携して、外来生物の適切な飼育や栽培方法の啓発、防除活動の推進に努めます。

【町民の取り組み】

- 野鳥の巣を壊したり、森林や水辺にごみを捨てたりするなど、自然を壊すようなことは慎み、野生動植物の生息・生育環境の保全に協力しましょう。
- 野生動物にエサを与えることはやめましょう。
- 農薬や化学肥料などは適正に使用しましょう。
- 動植物をむやみに採取・採集することはやめましょう。
- 外来生物の飼育や栽培は適切に行い、最後まで責任をもちましょう。

【事業者の取り組み】

- 野生動植物の生息・生育環境の保全に協力しましょう。
- 野生動植物の保護活動への参加や支援を検討しましょう。
- 農林産物に被害をもたらす鳥獣を農地に寄せ付けない営農管理、農地をエサ場にしない取り組みなど、有害鳥獣対策を適切に推進しましょう。
- 農薬や化学肥料などは適正に使用しましょう。
- 外来生物の適切な飼育や栽培方法について啓発に努めましょう。
- 開発行為等を行う場合は、法令等を遵守し、動植物、生態系への負荷の低減に努めましょう。

基本目標3：地球環境の保全に積極的に取り組む

■Ⅲ－① 地球温暖化の防止

【再生可能エネルギーの利用促進、エネルギーの省力化・効率化】

【目 標】

再生可能エネルギーの利用促進、エネルギー利用の省力化・効率化を図り、温室効果ガスの排出量を削減し、地球温暖化防止に貢献します。

○数値目標：家庭での省エネルギーへの取り組みの満足度 50%以上（令和14年度）
・環境の意識調査結果：“満足している”及び“やや満足している”の割合 [町民：48.0%]

○数値目標：太陽光発電などの新エネルギーの導入の満足度 40%以上（令和14年度）
・環境の意識調査結果：“満足している”及び“やや満足している”の割合 [町民：36.0%]

【町の取り組み】

○温室効果ガス排出量の削減の推進

- ・太陽光、小水力発電、バイオマスなどの再生可能エネルギーの利用を推進するとともに、省エネルギーの啓発に努めます。
- ・公共施設などでは再生可能エネルギーの導入を検討するとともに、節電を実施し、LED照明などを導入し、温室効果ガスの排出抑制に率先して取り組みます。
- ・公用車の効率的な使用や電気自動車の導入、アイドリングストップ運動の推進に努めます。
- ・道路沿道緑化の整備を図り、自転車やバス等の利用促進に努めます。
- ・グリーン購入の促進に努めます。
- ・生ごみの分別収集及び堆肥化リサイクルにより、焼却処理量の減量化を図り、温室効果ガスの排出量低減に努めます。
- ・公共施設の緑化等を推進し、環境負荷の低減に配慮した施設整備と適正な管理に努めます。
- ・町民の省エネルギー、再生可能エネルギー対策への行動を支援するため、情報の提供や啓発に努めます。
- ・ISO14001規格や環境活動評価プログラム（エコアクション21）などの環境マネジメントシステムの普及促進を図ります。
- ・かごしまエコファンド制度等を活用し、地球温暖化対策への取り組みの推進を支援します。

※グリーン購入…製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入すること。

※かごしまエコファンド制度…事業者や県民などの自発的な温室効果ガスの排出削減を促進するため、鹿児島県内の森林整備による二酸化炭素吸収量を活用したカーボン・オフセットの取り組みを推進する仕組み。

【町民の取り組み】

- 各種補助制度等を活用し、太陽光発電システムなどの設置を検討しましょう。
- 住宅の省エネルギー性能を向上させましょう。
- 自家用車の利用を控え、徒歩、自転車、バイク、バスなどを優先的に利用しましょう。
- 運転時は、空ぶかしを行わない、アイドリングストップや適正な速度での運転など、エコドライブを実践しましょう。

【事業者の取り組み】

- 省エネルギー行動に努めましょう。
- ハイブリッド車、電気自動車の導入を検討しましょう。
- 通勤時には、徒歩や自転車、バイク、バスなどを優先的に利用しましょう。
- 運転時は、アイドリングストップや適正な速度での運転など、エコドライブを実践しましょう。
- 環境配慮型の設備機器の導入や機器の適切な使用、維持管理に努めましょう。
- 事業所内などにおいて、太陽光発電システムなどの再生可能エネルギーの導入を検討しましょう。
- ISO14001やエコアクション21などの環境マネジメントシステムの導入を検討しましょう。

※ISO14001…環境マネジメントシステムの仕様を定めた国際的な規格。組織（企業・団体など）の活動や製品、サービスによって生じる環境への影響を継続的に改善するための仕組みを構築し、PDCAサイクル（(1)方針・計画（Plan）、(2)実施（Do）、(3)点検（Check）、(4)是正・見直し（Action）というプロセス）を繰り返すことにより、環境マネジメントのレベルを継続的に改善していこうというもの。企業の場合、環境へ配慮している企業としてのイメージ向上の効果が期待できる。

※エコアクション21…中小事業者等の幅広い事業者に対して、自主的に「環境への関わりに気づき、目標を持ち、行動することができる」簡易な方法を提供するために環境省が策定したもの。中小事業者でも自主的・積極的な環境配慮に対する取組が展開でき、かつその取組結果が公表できるようになっている。

※かごしまエコファンド制度…事業者や県民などの自発的な温室効果ガスの排出削減を促進するため、鹿児島県内の森林整備による二酸化炭素吸収量を活用したカーボン・オフセットの取組を推進する仕組み。

○さつま町における再生可能エネルギーの状況 <主な発電施設>

●水力発電

- ・川内川第1発電所 120,000kw
- ・川内川第2発電所 15,000kw

●太陽光発電

- ・さつま宮之城屋地太陽光発電「さんSUNさつま」 2,649kw
- ・やまとソーラープラント（山崎） 6,190kw
- ・JREインベストメント（佐志） 54,234kw

●バイオマス発電

- ・南九州バイオマス 1,950kw
- ・さつま町バイオマス発電所 1,990kw

●小水力発電

- ・みずいろ電力 503kw

■Ⅲ-② 脱炭素社会への実現 【カーボンニュートラルの認知度向上】

【目標】

「持続可能な未来づくりカーボンニュートラルさつま町宣言」がされたことから、町全体でカーボンニュートラルの実現を目指します。

○数値目標：「カーボンニュートラル」の言葉も内容も知っている割合
70%以上（令和14年度）

- ・環境の意識調査結果：“言葉も目標も知っている”人の割合〔町民：14.3%〕

○数値目標：カーボンニュートラルを意識した行動をしている割合
70%以上（令和14年度）

- ・環境の意識調査結果：“意識している”及び“ある程度意識している”の割合〔町民：41.2%〕

【町の取り組み】

- ・「持続可能な未来づくりカーボンニュートラルさつま町宣言（令和4年9月22日宣言）」を踏まえ、総合的かつ計画的にカーボンニュートラルを推進します。
- ・町民、事業者等によるカーボンニュートラルの実現のための措置を講じることに努めます。
- ・町民、事業者等による脱炭素の取組に対し必要な支援を行うことに努めます。
- ・町が所有する施設の建設、改修、更新、維持管理等を行う場合は、率先して脱炭素に寄与する設備等を積極的に導入することに努めます。

【町民の取り組み】

- ・カーボンニュートラルへの関心と理解を深め、日常生活において再生可能エネルギーを利用するなど、省エネルギー化につながる行動をとるよう努めましょう。
- ・日常生活で排出する廃棄物の削減及び再資源化を図るとともに、徒歩、自転車、公共交通や電気自動車など環境負荷の少ない移動手段の利用により脱炭素に寄与する生活様式を取り入れるよう努めましょう。
- ・町が行うカーボンニュートラルの実現に関する取組に協力しましょう。

【事業者の取り組み】

- ・カーボンニュートラルへの関心と理解を深め、事業活動において再生可能エネルギーを利用するなど、省エネルギー化を促進する取組を行うよう努めましょう。
- ・事業活動で排出する廃棄物の削減、廃棄物の再資源化等脱炭素に寄与する取組を積極的に行うよう努めましょう。
- ・町が行うカーボンニュートラルの実現に関する取組に協力しましょう。

カーボンニュートラルとは…

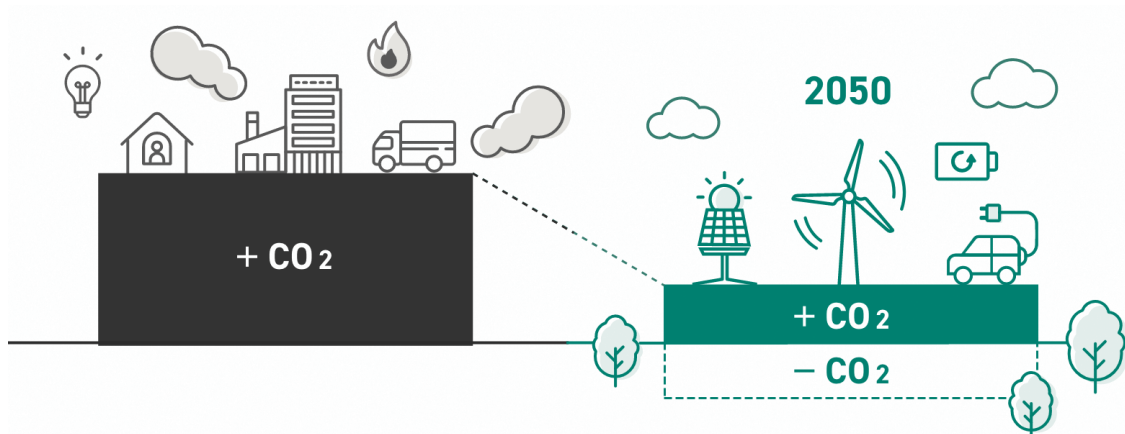
温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味します。

2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

「排出を全体としてゼロ」というのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」※から、植林、森林管理などによる「吸収量」※を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。

※ここでの温室効果ガスの「排出量」「吸収量」とは、いずれも人為的なものを指します。

カーボンニュートラルの達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減 並びに吸収作用の保全及び強化をする必要があります。



地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、2015年にパリ協定が採択され、世界共通の長期目標として、世界的な平均気温上昇を工業化以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること（2℃目標）

今世紀後半に温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と吸収源による除去量との間の均衡を達成すること等を合意しました。

この実現に向けて、世界が取組を進めており、120以上の国と地域が「2050年カーボンニュートラル」という目標を掲げているところです。

出典：環境省ホームページ

基本目標4：町民・事業者・行政が協働できる推進体制を構築する

■IV-① 環境教育・環境学習の推進

【目標】

さつまの郷出前講座などの環境教育・環境学習の機会、内容の充実を図ります。

○数値目標：環境教育・環境学習の状況の満足度 45%以上（令和14年度）

・環境の意識調査結果：“満足している”及び“やや満足している”の割合 [町民：39.7%]

【町の取り組み】

○環境教育・環境学習の基盤の整備

- ・出前講座を基本として、環境教育、環境学習に関する全体的な計画の検討を進めます。
- ・町民が意欲と主体性を持って取り組める体制の整備に努めます。
- ・環境教育や環境学習を充実させるため、環境教育・学習の講師等の把握や育成に努めます。

○環境教育・環境学習の拡充

- ・環境学習プログラムを作成し、環境教育、環境学習に必要な資料、教材の充実を図ります。
- ・グリーン・ツーリズムなどの農業体験などの自然体験学習の開催や町民団体等への支援に努めます。
- ・学校教育の場だけでなく、家庭や地域活動等を活用するなど、様々な機会を通じて環境保全に関する意識の向上を図ります。

【町民の取り組み】

- グリーン・ツーリズムなどの農業体験などの自然体験学習に参加してみましょう。
- さつまの郷出前講座等を活用し、環境学習に取り組みましょう。

【事業者の取り組み】

- グリーン・ツーリズムなどの農業体験などの自然体験学習の開催等に協力しましょう。
- さつまの郷出前講座等を活用し、従業員への環境教育、環境学習に取り組みましょう。

■IV-② 環境に関する情報の提供

【目標】

環境に関する情報提供を充実し、環境保全への取り組み、環境教育、環境学習の促進に努めます。

○数値目標：イベントや取り組みなど環境情報の入手状況の満足度 40%以上（令和14年度）

・環境の意識調査結果：“満足している”及び“やや満足している”の割合【町民：35.0%】

【町の取り組み】

○環境情報の提供方法の充実

- ・広報紙やホームページを活用し、町民・事業者が必要とする環境に関する情報を適切に提供します。
- ・さつま町衛生自治団体連合会などと連携した地域住民相互の情報・意見交換の促進に努めます。

○環境情報の提供

- ・町が取り組んだ環境保全に関する行動及びその結果を町民・事業者へ公表することに努めます。
- ・国や県が整備する環境情報と連携を図りつつ、地域に関する環境情報の提供に努めます。

【町民の取り組み】

○環境に関する情報に関心を持ちましょう。

○さつま町衛生自治団体連合会などと連携し、情報・意見交換に努めましょう。

【事業者の取り組み】

○環境に関する情報に関心を持つとともに、必要に応じて、環境に関する情報、環境保全に関する取り組みの状況などを町民に提供しましょう。

○さつま町衛生自治団体連合会などと連携し、情報・意見交換に協力しましょう。

※さつま町衛生自治団体連合会

さつま町の生活環境の保全や公衆衛生に関する活動を組織的に推進し、町民の福祉増進に寄与することを目的として設立された団体。

■IV-③ パートナーシップの構築

【目 標】

町民団体や事業者が行う環境まちづくり活動の拡大に努め、多くの町民が参加しやすい仕組みづくりに努めます。

○数値目標：地域の美化など環境保全活動の状況の満足度 50%以上（令和14年度）

・環境の意識調査結果：“満足している”及び“やや満足している”の割合 [町民：49.2%]

○数値目標：環境活動への参加の有無 30%以上（令和14年度）

・環境の意識調査結果：環境活動に参加している割合 [町民：15.9%]

【町の取り組み】

○「希望輝く さつま町SDGs推進宣言」の推進

推進項目「町民・事業所・学校・団体・行政が一体となってSDGsに取り組むまち」の取組内容「パートナーシップによる経済・社会・環境が循環する持続可能なまちの実現に努めます。

○出前講座の開催

出前講座の開催やその支援、情報等を町民・事業者提供します。

○地域の清掃活動

地域の清掃活動を実施し、町民・事業者と地域美化活動の推進への連携を図ります。

【町民の取り組み】

○講座や勉強会などを通じた、SDGsの理解と行動促進に努めましょう。

○出前講座に参加しましょう。

○地域の清掃活動に参加しましょう。

【事業者の取り組み】

○講座や勉強会などを通じた、SDGsの理解と行動促進に努めましょう。

○出前講座への参加や、必要に応じて主体となって講演会などの開催を検討しましょう。

○地域の清掃活動に参加しましょう。

希望輝く さつま町SDGs推進宣言

本町では「希望輝く さつま町SDGs推進宣言」を令和4年9月に宣言しました。

本計画では、SDGsの17番目の目標である「パートナーシップで目標を達成しよう」に則り、町、町民、事業者との連携を進め、目標を達成することを目指します。

希望輝く さつま町SDGs推進宣言

さつま町は、SDGsの理念を理解し、町民や企業・団体、学校などと連携して、「誰一人取り残さない」持続可能な地域社会の実現と、希望輝くまちの未来に向け、SDGsを推進していくことを宣言します。

令和4年9月22日

さつま町長 上野俊市

目指す町の将来像

人と環境にやさしいまち



再生可能エネルギーを活用した分散型エネルギー社会を実現するまち



多様な人々が共生する社会、ジェンダー平等を実現するまち



清らかな川や田園風景、鮮やかな緑など、自然と人が共生するまち



町民・事業所・学校・団体・行政が一体となってSDGsに取り組むまち



4.3 地域別施策

(1) 地域区分の検討

本町は、北東から南西にかけて川内川が流下し、この川内川に沿うように住宅等が建設され、市街地が形成されています。また、その流域に農地が広がるとともに、市街地や農地等の平野部の周辺は緑豊かな山林の自然環境が町を囲っています。

この恵まれた自然環境を背景に山間部の豊富な森林資源や川内川がもたらす肥沃な耕地を生かした農林業、観光、レクリエーション資源や歴史・文化遺産を活かしたまちづくりを展開するとともに、工業団地の整備と企業誘致により豊かな自然と便利な都市機能が調和したコンパクトでまとまりのあるまちを目指しています。

このような本町の有する環境特性を踏まえ、この環境特性に応じた環境保全の推進を進めるため、町内を“市街地域”“農村地域”“山間地域”の大きく3つのエリアに区分しました。



(2) 地域別配慮事項

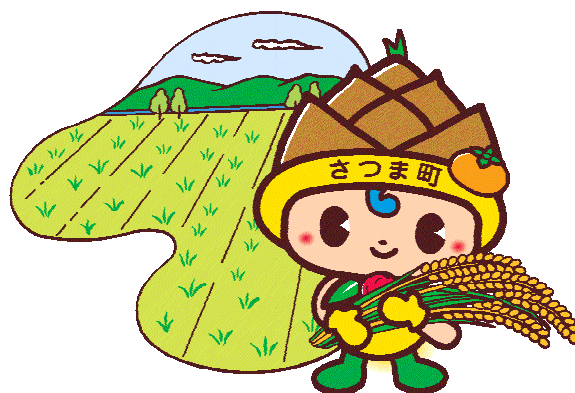
環境保全施策の展開や、推進体制の検討のための資料とするために、町民を対象に実施した意識調査の結果を前記の地域区分で整理した結果を踏まえ、地域別配慮事項を以下のように整理しました。

■市街地域

- 自動車の使用を可能な範囲で控え、徒歩や自転車、バイク、バスなどの優先的な利用を推進します。
- 深夜や早朝の営業、作業による近隣への騒音の影響を防止するため、発生源対策の必要性の啓発や指導の一層の徹底を図ります。
- 悪臭の排出規制の周知や適切な指導を行い、事業活動や市民の日常生活に起因する悪臭の発生を防止するための啓発に努めます。
- 生活排水対策や河川浄化対策等を進め、市街地を流れる河川の水環境を保全します。
- 市街地域にある公園の適切な維持管理を行い、自然に親しむ空間を提供します。
- 川内川を中心とした自然景観の保全に努めるとともに、景観に配慮したまちづくりを推進します。
- 「さつま町環境美化条例」を積極的に周知、啓発し、清潔で美しいまちづくりを推進します。
- 分別ルールを守り、ごみの適正排出、分別収集、資源ごみリサイクルへの取組を推進します。
- 道路沿道等、市街地の緑化を推進し、身近な緑の保全に努めます。
- 太陽光発電などの自然エネルギー、再生可能エネルギーの普及促進に努めます。
- 省エネルギーへの取り組みやエネルギーの有効利用の普及促進に努めます。

■農村地域

- 悪臭の排出規制の周知や適切な指導を行い、事業活動や町民の日常生活に起因する悪臭の発生を防止するための啓発に努めます。
- 生活排水対策や河川浄化対策等を進め、地域を流れる河川の水環境を保全します。
- 川内川を主体とし、その支川も含め、地域を流れる河川の水環境を保全するとともに、自然景観の保全や親水空間を確保します。
- 「さつま町環境美化条例」を積極的に周知、啓発し、清潔で美しいまちづくりを推進します。
- 町民や観光客に対して、ごみのポイ捨て禁止や持ち帰りを呼びかけ、地域内の環境美化を推進します。
- 農地防災事業などの実施により、安心して暮らせる快適な農村環境の整備に努め、田園風景や農村景観の保全に努めます。
- 無農薬や有機肥料栽培の普及など、環境保全型農業を推進し、水田や水路などの身近な動植物の生息・生育環境の保全を図るとともに、地下水の環境保全に努めます。
- 耕作放棄地等を活用することにより、水源かん養や景観の保全、多様な生物の生息場といった農地の持つ多面的機能の維持・発揮に努めます。
- 太陽光、バイオマスなどの再生可能エネルギーの普及促進に努めます。



■山間地域

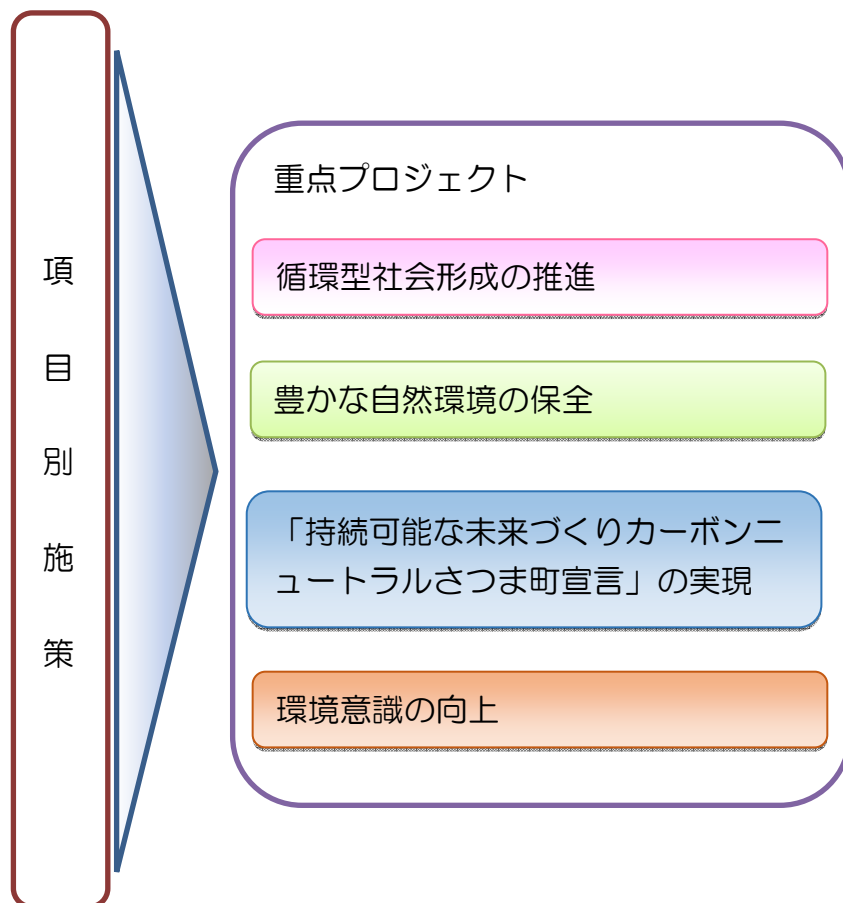
- 「さつま町環境美化条例」を積極的に周知、啓発し、清潔で美しいまちづくりを推進します。
- 町民や観光客に対して、ごみのポイ捨て禁止や持ち帰りを呼びかけ、地域内の環境美化を推進します。
- 緑豊かな自然とその環境の保全を図ります。
- 森林の荒廃を防止し、森林の持つ水源かん養、二酸化炭素の吸収、土砂災害の防止などの多面的な機能を保全するため、適切な管理・整備を実施・支援します。
- 森林の計画的な保育・間伐の実施を推進し、林道の整備においては、自然環境に配慮します。
- 治山事業等による森林保全により自然災害に対する安全性を高めるとともに、森林病虫害駆除や野生鳥獣の適正管理により、多様な生物の生息空間である森林の保護に努めます。
- 竹林の有効活用を図り、里山景観の保全を図ります。
- 人と自然との触れ合いの活動を通じて、愛林思想の高揚を図るとともに、自然保護の普及啓発を促進します。
- 各種開発が行われる場合は、自然景観、自然環境に配慮し、できるだけ自然改変を回避する計画となるよう指導します。



4.4 重点プロジェクト

前節までに整理した項目別施策のうち、重要な課題、早急に対応する必要がある事項を「重点プロジェクト」として位置付け、モデル的に活動の展開を図ります。

本町の重点プロジェクトとして、次の4つのプロジェクトを選定しました。



■循環型社会形成の推進

【プロジェクトの目的】

循環型社会の形成は、家庭や事業所などから出されるごみの量を減らし、適正に処理・処分を行うという身近な環境問題としての取り組みだけでなく、リユースやリサイクルを推進することにより、石油資源や鉱物資源などの地球規模での天然資源枯渇の問題に貢献することができます。

ごみの減量化や資源化の問題については、平成23年3月に策定した「一般廃棄物処理基本計画」に基づいて取り組みを実施しますが、本計画においても重点プロジェクトとして位置付け、施策の展開を図ることとします。

【実行計画】

○町民・事業者・行政が連携した3R及びリニューアブル（再生可能）の推進

▶ごみの発生・排出抑制、再資源化を推進していくために、以下のような取り組みを実施していくものとします。

- ・出前講座や各種イベントの開催
- ・過剰包装の抑制やマイバッグ運動の推進
- ・家電四品目の店頭回収の推進
- ・生ごみの適正処理の推進

○ごみの減量化及び資源化の促進・拡充

- ・現在の資源ごみの適正分別を推進し、資源物の回収量を増加させていきます。
- ・食品ロス削減推進法、プラスチック資源循環促進法等関係法令に基づいた、ごみの減量のための情報発信に努めます。

○適正な収集・運搬・処理・処分の実施

- ・現行の収集・運搬体制を継続しつつ、資源回収率の向上に努めます。
- ・既存施設・最終処分場の適切な維持管理、施設の延命化に関して、費用対効果を含めた中・長期的な観点からの補修・整備計画について検討します。

○不法投棄への対応

- ・地域における不法投棄常習現場の一掃を図るため、町民・事業者・行政・関係団体などが一体となってポイント的に回収を行うとともに、不法投棄の取り締まりを強化していきます。
- ・今後の投棄撲滅に向けた町民・事業者・町による情報ネットワークの構築を検討します。

■豊かな自然環境の保全

【プロジェクトの目的】

本町には、自然環境に恵まれた地区が数多く存在しており、なかでも、川内川及び鶴田ダム周辺の変化に富んだ河川景観を中心とし、紫尾山などを含めた「川内川流域県立自然公園」があります。

県立北薩広域公園は、河川、森林などの景観を活かし、芸術性や文化性を備えた北薩地域全体のシンボリックな役割を持つ公園として、虎居地区・宮之城屋地地区の川内川に面する一帯に整備されています。

近年、広い自然の中で個人や家族でゆっくりと時間を過ごす「キャンプ」が、安全で健康的なレジャーとして注目されています。

一級河川の川内川やその支流には、水辺の楽校や親水公園などが整備され住民の憩いの場として親しまれています。

地球温暖化や自然環境の変化により、天然記念物や絶滅のおそれのある野生動植物について、適切な保護に努める必要があり、また、イノシシやシカなどの鳥獣被害の増加により、単に農林産物の被害だけではなく、野生動植物の生態系にも影響が生じています。

【実行計画】

○公園・緑地の整備

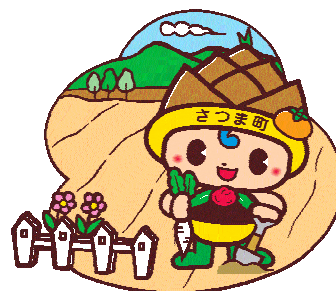
- ・緑地や公園の整備、公共施設や道路沿道の緑化に努めるとともに、町民の緑化活動を支援します。
- ・人々の自然への意識の変化を好機ととらえ、キャンプ施設や自然とふれあえる公園施設とその周辺整備について、地域・ボランティア団体・行政等が連携した緑化・美化活動を推進するとともに、町内施設の利用率向上を図ります。

○親水護岸施設的环境整備

- ・地元団体等との連携による清掃・除草等の通常管理を行うとともに、川内川河川事務所などとの連携による水辺公園施設等の管理を行い、水辺環境の整備に努めます。

○野生動植物の生息・生育環境の保全

- ・天然記念物や絶滅のおそれのある野生動植物等について、文化財保護法や絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律、鳥獣保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律を適切に運用し、野生動植物の保護対策と適切な管理の啓発を図ります。



■「持続可能な未来づくりカーボンニュートラルさつま町宣言」の実現

【プロジェクトの目的】

2050年を目標とするカーボンニュートラルへ向け、温室効果ガス排出の低減対策をはじめ、再エネルギーの地産地消を目指した取り組みを進めるため、本町においても、地域全体で脱炭素社会の実現を目指し、環境負荷の少ないまちを次世代につなぐため、2050年までに二酸化炭素の排出量を「実質ゼロ」にする「持続可能な未来づくりカーボンニュートラルさつま町宣言」を行い、実現を目指します。

【実行計画】

- 豊かな森林環境の保全
 - ・健全な森林の保全と育成、森林や木材の利活用促進
- 再生可能エネルギーの活用
 - ・地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入促進
- 省エネルギー活動の促進
 - ・建築物や設備・機器の省エネルギー化の促進
- 脱炭素型まちづくりの推進
 - ・脱炭素型生活環境の形成、モビリティの脱炭素化の促進
- 地域産業の脱炭素型の推進
 - ・事業者の持続的な脱炭素型の推進
- 循環型社会の推進
 - ・ごみの減量化及び資源化の推進、ごみの適正処理
- 環境意識の向上
 - ・情報発信や普及啓発の推進、人材育成と環境教育の推進

持続可能な未来づくりカーボンニュートラルさつま町宣言

地球温暖化や気候変動が及ぼす影響は、世界規模で発生しており、日本各地においても今まで経験したことのない規模の災害が増加しています。

さつま町においても、近年の異常気象により多くの被害を受け、安全安心な生活に懸念が生じています。

このような状況を踏まえ、世界的に脱炭素社会に向けた動きが加速しています。

2015年合意されたパリ協定では、「平均気温上昇の幅を2℃未満とする」目標が国際的に広く共有されるとともに、2018年に公表された国連の気候変動に関する政府間パネルの特別報告書においては、「気温上昇2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

我が国においてもこうした目標の達成に向け、2020年に政府は「2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにし、脱炭素社会の実現を目指す」と方針を示しました。

さつま町においても、将来にわたって町民が豊かな自然の中で生きる喜びを感じ、健康で安心して暮らすことができる環境を次世代に引き継ぐため、町民・事業者・行政等が連携して、地球温暖化対策を積極的に推進し、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指していくことを宣言します。

令和4年9月22日

さつま町長 上野俊市

持続可能な未来づくりカーボンニュートラルさつま町宣言
～自然との共生による「ウェルビーイング」の実現～

【目指す姿】
自然環境保全に努め、自然の恵みを活用し、生きる喜びを感じ、健康で安心して暮らすこと（ウェルビーイング）ができる町をつくり次世代に引き継ぐ。

ウェルビーイング：「幸福」「健康」という意味があります。WHO（世界保健機関）憲章の前文の一部にも引用されますが、幸福で肉体的、精神的、社会的すべてにおいて満たされた状態を意味しています。

【取組の方向性】

◆オレンジ（サン）カーボンニュートラル
太陽光や電気への転換等の再生可能エネルギーの活用や省エネルギーの推進による事業の展開

◆グリーン（フォレスト）カーボンニュートラル
森林環境の活用等による事業の展開

◆ブルー（ウォーター）カーボンニュートラル
水資源や温泉、水素等の活用による事業の展開

◇ホワイト（赤緑青の混合色）カーボンニュートラル
3つの取組を進めていくための必要な環境づくりや町民や地元企業への周知・啓発による事業の展開

【推進する施策（案）】

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 豊かな森林環境の保全 | 2 再生可能エネルギーの活用 |
| 3 省エネルギー活動の促進 | 4 脱炭素型まちづくりの推進 |
| 5 地域産業の脱炭素型の推進 | 6 循環型社会の推進 |
| 7 環境意識の向上 | |

【数値目標】

2013年：※21.4万tCO₂から
2030年までに46%：9.8万tCO₂削減を目標とし、
2050年までに「実質ゼロ」とする。

※出典：自治体排出量カルテ

「持続可能な未来づくりカーボンニュートラルさつま町宣言」

令和4年9月22日

■環境意識の向上

【プロジェクトの目的】

持続可能な開発目標（SDGs）の考え方を活用し、町民・事業者・町が環境意識の向上を目指し、それぞれの役割に応じて積極的に取り組み、連携・協力し、一体となり「協働」していくこととします。

【実行計画】

○持続可能な開発目標（SDGs）の推進

「目標12 つくる責任 つかう責任」の責任を持って生産し、消費することを目指します。

○「希望輝く さつま町SDGs推進宣言」の推進

推進項目「清らかな川や田園風景、鮮やかな緑など、自然と人が共生するまち」の実現に努めます。

・地域等による環境美化・保全活動を推進し、環境意識と行動意欲の向上の推進

○「持続可能な未来づくりカーボンニュートラルさつま町宣言」の推進

推進施策「環境意識の向上」に努めます。

・情報発信や普及啓発の推進、人材育成と環境教育の推進

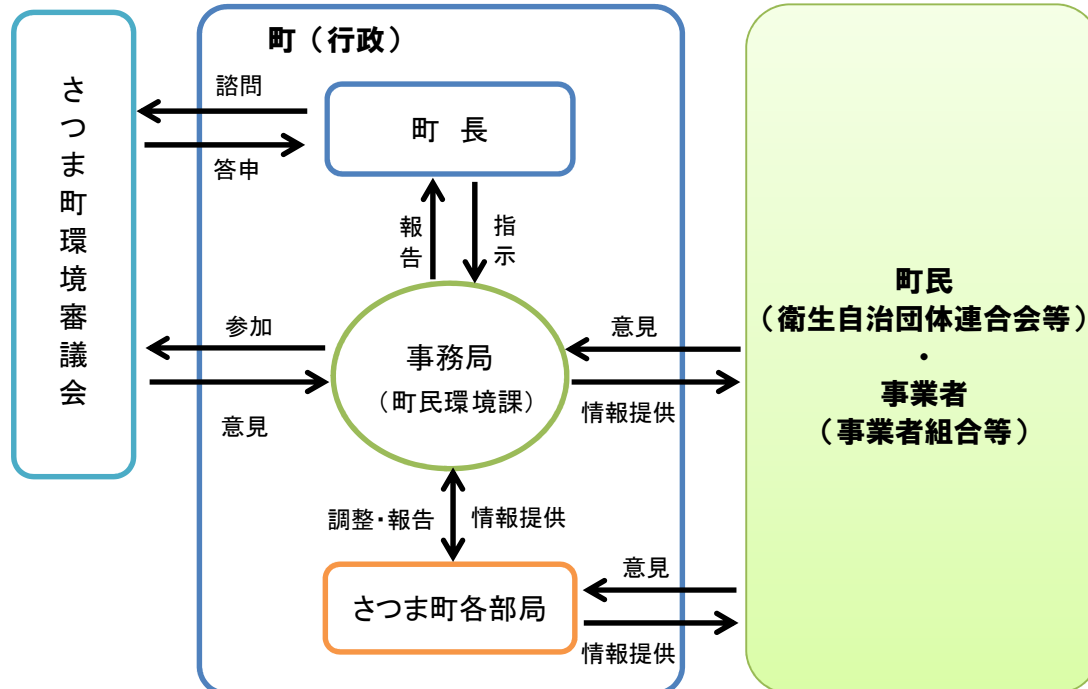
第5章 計画の推進体制

5.1 計画の推進体制

本町の目指す環境像の実現を目標として、これまでに整理した取り組みを着実に実施するためには、町民、事業者、町（行政）の各主体がそれぞれの立場で自らの役割を認識し、自主的に環境保全活動に取り組んでいくことが必要です。

このようなことから、本計画は以下の体制で推進していくこととします。

- 町 の 役 割：町民、事業者からの意見及び環境審議会の答申（意見）等を参考に施策の展開を図るとともに、町民、事業者へ適切な情報提供を行います。また、行政自らが率先して行動を実行します。
- 町 民 の 役 割：町に意見を述べるとともに、町から提供される情報をもとに自らの役割を認識して行動します。
- 事業者の役割：町に意見を述べるとともに、町から提供される情報をもとに自らの役割を認識して行動します。また、必要に応じて、地域住民との協力・協働を図ります。



5.2 計画の進行管理

本計画の実効性を高め、各主体の取り組みを円滑かつ効果的に進めるためには、進行を適切に管理する仕組みが必要です。

このため、本計画に基づく施策の進捗状況や目標の達成度を定期的に把握・評価し、町はもちろんのこと、町民及び事業者の取り組みにフィードバックさせることで継続的な改善を行い、取り組みに反映し本町の目標とする環境像の達成を目指します。



- | | |
|--------------|-----------------------------|
| Plan（計画） | ：計画の策定や見直しによる代替案の策定を行う。 |
| Do（実施） | ：計画に沿って取り組みを行う。 |
| Check（点検・評価） | ：取り組みの内容が目標どおり進んでいるかを確認する。 |
| Action（見直し） | ：点検・評価を踏まえて、改善が必要な点の見直しをする。 |

資 料

〇さつま町環境基本条例

平成23年3月25日

条例第2号

(目的)

第1条 この条例は、本町の環境の保全について、基本理念を定め、並びに町、事業者及び町民の責務を明らかにするとともに、環境の保全に関する施策の基本となる事項を定めることにより、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来の町民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とする。

(定義)

第2条 この条例において「環境への負荷」とは、人の活動により環境に加えられる影響であって、環境の保全上の支障の原因となるおそれのあるものをいう。

2 この条例において「地球環境の保全」とは、人の活動による地球全体の温暖化又はオゾン層の破壊の進行、海洋の汚染、野生生物の種の減少その他の地球の全体又はその広範な部分の環境に影響を及ぼす事態に係る環境の保全であって、人類の福祉に貢献するとともに町民の健康で文化的な生活の確保に寄与するものをいう。

3 この条例において「公害」とは、環境の保全上の支障のうち、事業活動その他の人の活動に伴って生ずる相当範囲にわたる大気汚染、水質汚濁(水質以外の水の状態又は水底の底質が悪化することを含む。)、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下(鉱物の採掘のための土地の掘削によるものを除く。)及び悪臭によって、人の健康又は生活環境(人の生活に密接な関係のある財産並びに人の生活に密接な関係のある動植物及びその生育環境を含む。以下同じ。)に係る被害が生ずることをいう。

(基本理念)

第3条 環境の保全は、町民の健康で文化的な生活を保つために必要な健全で恵み豊かな環境を維持し、これを将来の世代に継承していくことを目的として行われなければならない。

2 環境の保全は、町、事業者及び町民が公平な役割分担のもとに自主的かつ積極的に取り組み、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な循環型社会を構築することを目的として行われなければならない。

3 地球環境の保全は、人類共通の課題であるとともに、町民の健康で文化的な生活を将来にわたって確保する上で重要であることから、あらゆる事業活動及び日常生活において、積極的に推進されなければならない。

(町の責務)

第4条 町は、前条に定める基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、環境の保全に関する基本的かつ総合的な施策を策定し、及び実施する責務を有する。

2 町は、基本理念にのっとり、施策の実施に当たっては、環境への負荷の低減その他環境の保全に努めなければならない。

3 町は、環境の保全に関する教育及び情報の提供その他広報活動を通じて、町民の環境に対する意識の高揚に努めなければならない。

(事業者の責務)

第5条 事業者は、基本理念にのっとり、事業活動に伴う環境への負荷の低減その他環境の保全について、自己の責任と負担において、必要な措置を講ずる責務を有する。

2 事業者は、自然環境及び生活環境への配慮その他環境の保全に自ら努めるとともに、町が実施する環境の保全に関する施策に協力する責務を有する。

(町民の責務)

第6条 町民は、基本理念にのっとり、日常生活に伴う環境への負荷の低減に努めなければならない。

2 町民は、自然環境への配慮その他環境の保全に自ら努めるとともに、町が実施する環境の保全に関する施策に協力する責務を有する。

(町の施策)

第7条 町は、環境の保全に関する施策の策定及び実施に当たっては、次に掲げる事項を基本として行うものとする。

- (1) 人の健康が保護され、及び生活環境が保全され、並びに自然環境が適正に保全されるよう、大気、水、土壌その他の環境の自然的構成要素が良好な状態に保持されること。
- (2) 生態系の多様性の確保、野生生物の種の保存その他の生物の多様性の確保が図られるとともに、森林、農地、河川等における多様な自然環境が適正に保全されること。
- (3) 人と自然との豊かな触れ合いが保たれること。
- (4) 自然と調和した良好な景観及び居住環境が形成されること。
- (5) 公害の防止、廃棄物の発生の抑制、資源の循環的な利用及びエネルギーの有効利用等を推進することにより、環境への負荷の低減が図られること。
- (6) 環境の保全に関する教育及び広報活動の推進により環境に対する意識の高揚が図られること。
- (7) 地球環境の保全が積極的に推進されること。

(環境基本計画)

第8条 町長は、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、環境の保全に関する基本的な計画(以下「環境基本計画」という。)を定めなければならない。

2 環境基本計画は、次に掲げる事項について定めるものとする。

- (1) 環境の保全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱
- (2) 前号に掲げるもののほか、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

3 町長は、環境基本計画の策定に当たっては、町民及び事業者の意見を反映することができるよう必要な措置を講ずるとともに、あらかじめ、さつま町環境審議会の意見を聴かなければならない。

4 町長は、環境基本計画を定めたときは、これを公表しなければならない。

5 前2項の規定は、環境基本計画の変更について準用する。

(施策の策定等に当たっての配慮)

第9条 町は、環境に影響を及ぼすと認められる施策を策定し、及びこれを実施するに当たっては、環境基本計画との整合を図るとともに、環境の保全について配慮するものとする。

(自発的活動の促進等)

第10条 町は、環境の保全に係る活動を自発的に行うものに対し、その活動が促進されるよう必要な措置を講ずるものとする。

(国及び他の地方公共団体との連携)

第11条 町は、環境の保全を図るため必要があると認めるときは、国及び他の地方公共団体と連携してその施策を推進するとともに、国及び他の地方公共団体に対し必要な措置を講ずるよう要請するものとする。

(町民及び事業者への支援)

第12条 町は、町民及び事業者による環境の保全に関する活動を促進するため、必要な支援に努めるものとする。

(環境審議会)

第13条 環境基本法(平成5年法律第91号)第44条の規定に基づき、環境の保全に関する基本的事項を調査審議するため、さつま町環境審議会(以下「審議会」という。)を設置する。

2 審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(推進体制)

第14条 町長は、町の機関相互の緊密な連携及び施策の調整を図り、環境の保全についての施策を推進するための体制を整備するものとする。

2 町は、事業者、町民又はこれらの者の組織する民間団体等と協働して、環境の保全についての施策を積極的に推進するための体制を整備するものとする。

(委任)

第15条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

〇さつま町環境審議会規則

平成23年4月1日

規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、さつま町環境基本条例(平成23年さつま町条例第2号)第13条の規定に基づき、さつま町環境審議会(以下「審議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 審議会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 識見を有する者
- (2) その他町長が適当と認める者

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、審議회를代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

5 会長及び副会長とともに事故があるとき、又は会長及び副会長がともに欠けたときは、あらかじめ会長の指定する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 審議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、意見の陳述、説明その他の必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は、町民環境課において処理する。

(その他)

第7条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

○さつま町環境審議会委員

令和4年度

	委員構成区分	団体名等	役職名	氏 名
1	識見を有する者	北薩地域振興局	衛生・環境課長	鵜木 隆文
2		公益財団法人かごしま環境未来財団	事業課長	塩川 哲郎
3	その他町長が 適当と認める者	川内川河川事務所宮之城出張所	所 長	藤野 隆
4		さつま町衛生自治団体連合会	会 長	今東 秀嗣
5		さつま町女性団体連絡協議会	監 事	久保田 順子
6		さつま町商工会女性部	副部長	高橋 美子
7		北さつま農業協同組合女性部	会 計	内村 綾子
8		さつま町農業青年クラブ	会 長	松木園 耕平

さつま町の環境に関する町民・事業者アンケート集計

【報告書】

目次

1 調査概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査期間	1
(3) 調査・回収方法.....	1
(4) 回収率	1
2 集計結果	2
(1) 町民アンケート.....	2
(2) 町民アンケート（中学生）	34
(3) 町民アンケート（小学生）	60
(4) 事業者アンケート.....	81

1 調査概要

(1) 調査対象

ア 町民アンケート

調査地域：さつま町全域

調査対象：800人

抽出方法：住民基本台帳から性比を考慮して層化無作為抽出

イ 町民アンケート（中学生）

調査地域：さつま町全域

調査対象：171人

抽出方法：学校を指定

ウ 町民アンケート（小学生）

調査地域：さつま町全域

調査対象：161人

抽出方法：学校を指定

エ 事業者アンケート

調査地域：さつま町全域

調査対象：100社

抽出方法：経済センサス調査から業種別事業者数を考慮して層化無作為抽出

(2) 調査期間

令和4年10月～令和4年10月28日

(3) 調査・回収方法

郵送による質問紙調査。

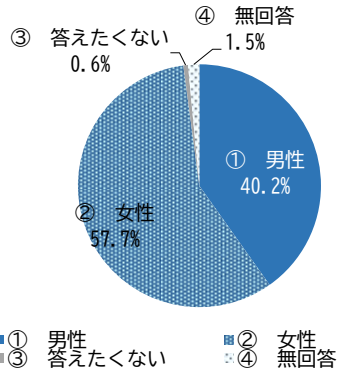
(4) 回収率

	町民	中学生	小学生	事業者
発送数 (a)	800	171	161	100
回収数 (b)	336	171	161	29
回収率 (b÷a)	42.0%	100.0%	100.0%	29.0%

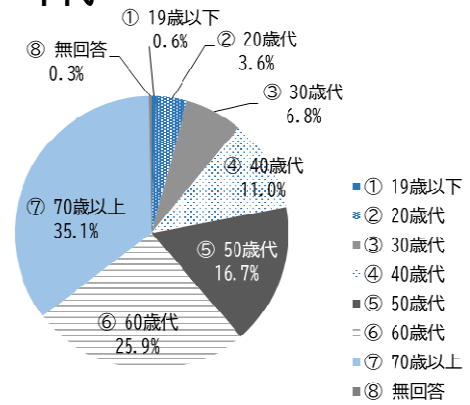
2 集計結果

(1) 町民アンケート

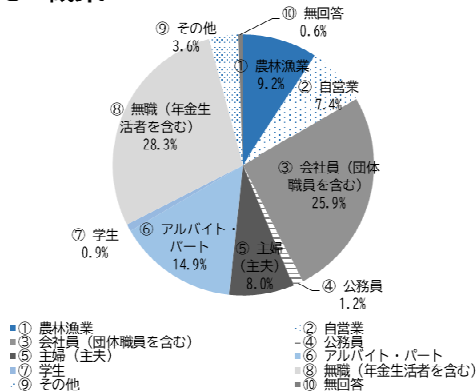
問1 性別



問2 年代



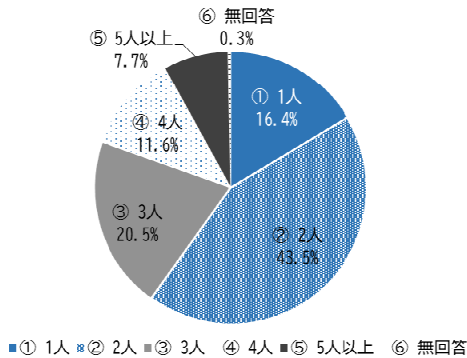
問3 職業



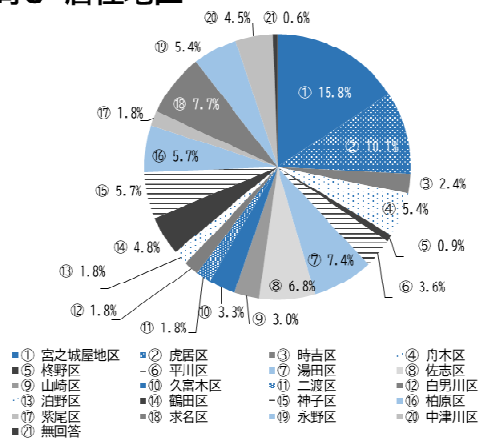
その他

- ・高齢者施設職員
- ・農業
- ・歯科助手
- ・シルバーセンター会員
- ・医療
- ・事務
- ・シルバー人材センター
- ・業務委託
- ・会計年度任意職員
- ・老人介護施設
- ・福祉職
- ・神職

問4 世帯人数



問5 居住地区



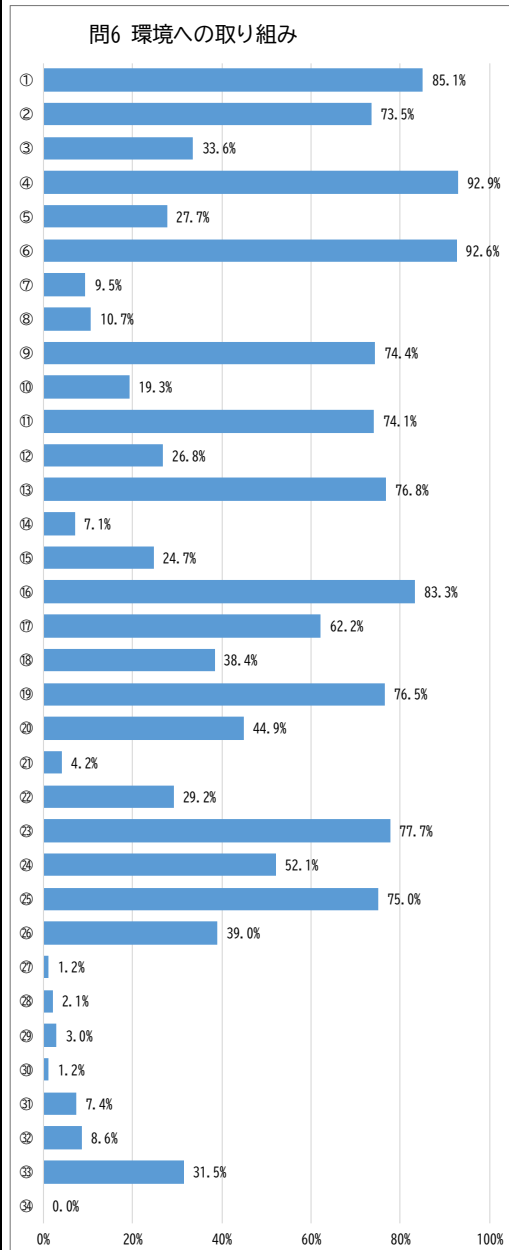
町民アンケート

問6 あなたやあなたのご家族は普段の生活のなかで、環境に配慮していますか。

【複数回答：いくつでも】

回答者のなかで最も多い回答は④の92.9%であり、次いで⑥の92.6%、①の85.1%となっており、リサイクルやごみの減量への意欲が高い結果となりました。

項目	回答数	%
① 流しではごみ取りネットなどを利用し、生ごみを流さないように心がけている	286	85.1%
② 牛乳パックやトレなどはリサイクルに出している	247	73.5%
③ 生ごみを堆肥化(コンポスト化)している	113	33.6%
④ 古紙や空き缶、空びん、金属類、ペットボトル類のリサイクルを行っている	312	92.9%
⑤ 不用品はリサイクルショップや人に譲るなどリユース(再利用)する	93	27.7%
⑥ レジ袋を使わないよう買物袋を持参している	311	92.6%
⑦ ペットボトル容器の商品の購入を控えている	32	9.5%
⑧ リサイクルできる商品やリサイクルした原料を使っている商品を選んで購入するようにしている	36	10.7%
⑨ 詰め替え製品を積極的に利用している	250	74.4%
⑩ 省エネルギー型の製品を選んで購入するようにしている	65	19.3%
⑪ 食事は作り過ぎず、食べ残さないようにしている	249	74.1%
⑫ 食材を使い切る食品ロス削減レシピを活用する	90	26.8%
⑬ 調理後の油は、固めるあるいは吸わせるなどして、ごみとして捨て、流しに流さないようにしている	258	76.8%
⑭ 合成洗剤を使わずに、石けんを使っている	24	7.1%
⑮ 風呂の残り湯は洗濯・掃除に利用している	83	24.7%
⑯ 水道はこまめに止めている	280	83.3%
⑰ 冷暖房を極力使用しない又は設定温度は控えめにしている	209	62.2%
⑱ 家電製品の主電源をこまめに切り、待機電力を消費しないようにしている	129	38.4%
⑲ 照明をこまめに切っている	257	76.5%
⑳ 車の停車時はアイドリングストップを行っている	151	44.9%
㉑ マイカー利用を避け、徒歩・自転車・原動機付自転車を積極的に利用している	14	4.2%
㉒ 太陽熱温水器や太陽光パネルの設置など環境にやさしいエネルギーを利用している	98	29.2%
㉓ ごみのポイ捨てをしない又は日常生活の中でごみを拾っている	261	77.7%
㉔ 地域や自宅周辺の清掃活動を行っている	175	52.1%
㉕ 行楽のごみは自宅に持ち帰っている	252	75.0%
㉖ 花壇作りや植樹などの緑化活動を行っている	131	39.0%
㉗ 環境調査や自然観察会などに参加している	4	1.2%
㉘ 森林保全に関する活動に参加している	7	2.1%
㉙ 環境保全のための寄付を行っている	10	3.0%
㉚ 環境に関する講演会に参加する	4	1.2%
㉛ 家庭で環境問題について話し合う	25	7.4%
㉜ 外来生物を防除する	29	8.6%
㉝ 飼っている動植物を自然に放さない	106	31.5%
㉞ 無回答	0	0.0%
小計	336	100.0%



町民アンケート

問7 あなたの住んでいる地域の環境や取り組みについて、現状の「満足度」と今後の取り組みの「重要度」をおたずねします。【選択は1つ】

満足度が最も高いものは「7. 身近な緑の多さ」となっており、一方で最も低いのは「関係機関の利便性」となっていました。

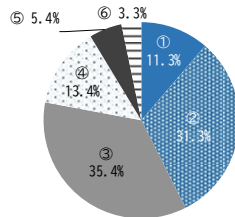
また、重要度が最も高いものは「3. 空気のきれいさ」となっており満足度は44.6%となっており、一方で最も低いのは「24. イベントや取り組みなど環境情報の入手状況」となっていました。

【満足度】

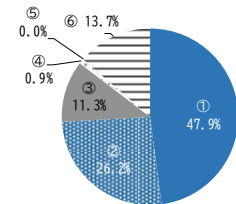
【重要度】

1. 川や水路のきれいさ

項目	回答数	%
① 満足している	38	11.3%
② やや満足している	105	31.3%
③ どちらともいえない	119	35.4%
④ やや不満である	45	13.4%
⑤ 不満である	18	5.4%
⑥ 無回答	11	3.3%
小計	336	100.0%

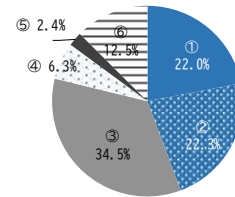


項目	回答数	%
① 重要である	161	47.9%
② やや重要である	88	26.2%
③ どちらともいえない	38	11.3%
④ あまり重要でない	3	0.9%
⑤ 重要でない	0	0.0%
⑥ 無回答	46	13.7%
小計	336	100.0%

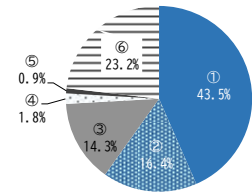


2. 家庭や事業所からの汚水処理の状況

項目	回答数	%
① 満足している	74	22.0%
② やや満足している	75	22.3%
③ どちらともいえない	116	34.5%
④ やや不満である	21	6.3%
⑤ 不満である	8	2.4%
⑥ 無回答	42	12.5%
小計	336	100.0%

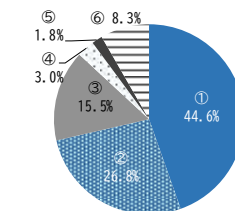


項目	回答数	%
① 重要である	146	43.5%
② やや重要である	55	16.4%
③ どちらともいえない	48	14.3%
④ あまり重要でない	6	1.8%
⑤ 重要でない	3	0.9%
⑥ 無回答	78	23.2%
小計	336	100.0%

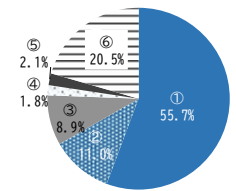


3. 空気のきれいさ

項目	回答数	%
① 満足している	150	44.6%
② やや満足している	90	26.8%
③ どちらともいえない	52	15.5%
④ やや不満である	10	3.0%
⑤ 不満である	6	1.8%
⑥ 無回答	28	8.3%
小計	336	100.0%

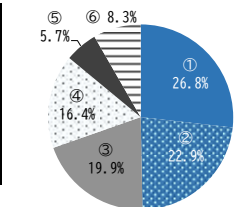


項目	回答数	%
① 重要である	187	55.7%
② やや重要である	37	11.0%
③ どちらともいえない	30	8.9%
④ あまり重要でない	6	1.8%
⑤ 重要でない	7	2.1%
⑥ 無回答	69	20.5%
小計	336	100.0%

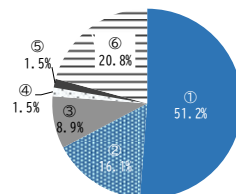


4. いやなおい（悪臭）の少なさ

項目	回答数	%
① 満足している	90	26.8%
② やや満足している	77	22.9%
③ どちらともいえない	67	19.9%
④ やや不満である	55	16.4%
⑤ 不満である	19	5.7%
⑥ 無回答	28	8.3%
小計	336	100.0%



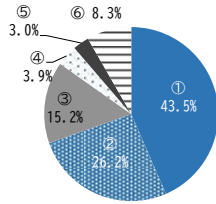
項目	回答数	%
① 重要である	172	51.2%
② やや重要である	54	16.1%
③ どちらともいえない	30	8.9%
④ あまり重要でない	5	1.5%
⑤ 重要でない	5	1.5%
⑥ 無回答	70	20.8%
小計	336	100.0%



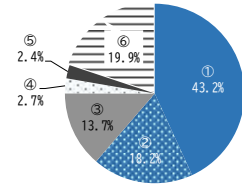
町民アンケート

5. 家の周りの静けさ

項目	回答数	%
① 満足している	146	43.5%
② やや満足している	88	26.2%
③ どちらともいえない	51	15.2%
④ やや不満である	13	3.9%
⑤ 不満である	10	3.0%
⑥ 無回答	28	8.3%
小計	336	100.0%

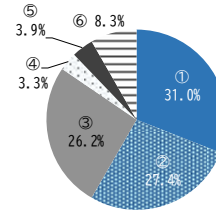


項目	回答数	%
① 重要である	145	43.2%
② やや重要である	61	18.2%
③ どちらともいえない	46	13.7%
④ あまり重要でない	9	2.7%
⑤ 重要でない	8	2.4%
⑥ 無回答	67	19.9%
小計	336	100.0%

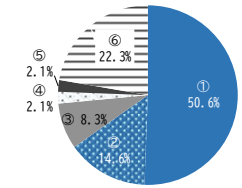


6. 水（水道）のおいしさ

項目	回答数	%
① 満足している	104	31.0%
② やや満足している	92	27.4%
③ どちらともいえない	88	26.2%
④ やや不満である	11	3.3%
⑤ 不満である	13	3.9%
⑥ 無回答	28	8.3%
小計	336	100.0%

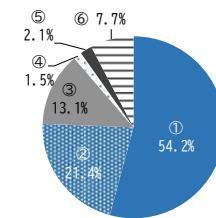


項目	回答数	%
① 重要である	170	50.6%
② やや重要である	49	14.6%
③ どちらともいえない	28	8.3%
④ あまり重要でない	7	2.1%
⑤ 重要でない	7	2.1%
⑥ 無回答	75	22.3%
小計	336	100.0%

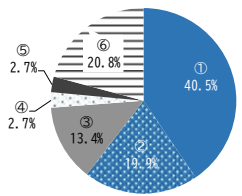


7. 身近な緑の多さ

項目	回答数	%
① 満足している	182	54.2%
② やや満足している	72	21.4%
③ どちらともいえない	44	13.1%
④ やや不満である	5	1.5%
⑤ 不満である	7	2.1%
⑥ 無回答	26	7.7%
小計	336	100.0%



項目	回答数	%
① 重要である	136	40.5%
② やや重要である	67	19.9%
③ どちらともいえない	45	13.4%
④ あまり重要でない	9	2.7%
⑤ 重要でない	9	2.7%
⑥ 無回答	70	20.8%
小計	336	100.0%

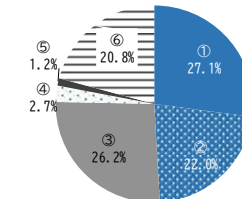


8. 水辺や野山の生きたものの生息状況

項目	回答数	%
① 満足している	48	14.3%
② やや満足している	78	23.2%
③ どちらともいえない	126	37.5%
④ やや不満である	34	10.1%
⑤ 不満である	16	4.8%
⑥ 無回答	34	10.1%
小計	336	100.0%

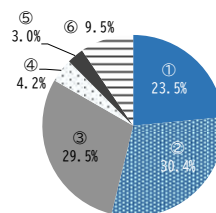


項目	回答数	%
① 重要である	91	27.1%
② やや重要である	74	22.0%
③ どちらともいえない	88	26.2%
④ あまり重要でない	9	2.7%
⑤ 重要でない	4	1.2%
⑥ 無回答	70	20.8%
小計	336	100.0%

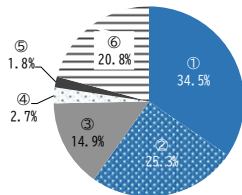


9. 水と緑に囲まれた自然景観の保全

項目	回答数	%
① 満足している	79	23.5%
② やや満足している	102	30.4%
③ どちらともいえない	99	29.5%
④ やや不満である	14	4.2%
⑤ 不満である	10	3.0%
⑥ 無回答	32	9.5%
小計	336	100.0%

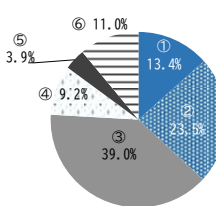


項目	回答数	%
① 重要である	116	34.5%
② やや重要である	85	25.3%
③ どちらともいえない	50	14.9%
④ あまり重要でない	9	2.7%
⑤ 重要でない	6	1.8%
⑥ 無回答	70	20.8%
小計	336	100.0%

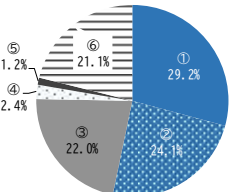


10. 水や緑など自然に親しめる場の整備

項目	回答数	%
① 満足している	45	13.4%
② やや満足している	79	23.5%
③ どちらともいえない	131	39.0%
④ やや不満である	31	9.2%
⑤ 不満である	13	3.9%
⑥ 無回答	37	11.0%
小計	336	100.0%



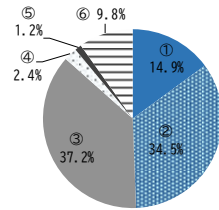
項目	回答数	%
① 重要である	98	29.2%
② やや重要である	81	24.1%
③ どちらともいえない	74	22.0%
④ あまり重要でない	8	2.4%
⑤ 重要でない	4	1.2%
⑥ 無回答	71	21.1%
小計	336	100.0%



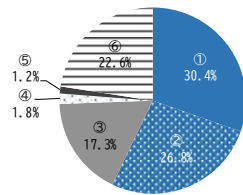
町民アンケート

11. 地産地消(地場農産物の消費)の取り組み

項目	回答数	%
① 満足している	50	14.9%
② やや満足している	116	34.5%
③ どちらともいえない	125	37.2%
④ やや不満である	8	2.4%
⑤ 不満である	4	1.2%
⑥ 無回答	33	9.8%
小計	336	100.0%

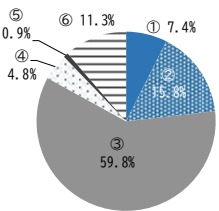


項目	回答数	%
① 重要である	102	30.4%
② やや重要である	90	26.8%
③ どちらともいえない	58	17.3%
④ あまり重要でない	6	1.8%
⑤ 重要でない	4	1.2%
⑥ 無回答	76	22.6%
小計	336	100.0%

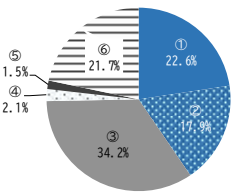


12. 希少な野生生物の保護状況

項目	回答数	%
① 満足している	25	7.4%
② やや満足している	53	15.8%
③ どちらともいえない	201	59.8%
④ やや不満である	16	4.8%
⑤ 不満である	3	0.9%
⑥ 無回答	38	11.3%
小計	336	100.0%

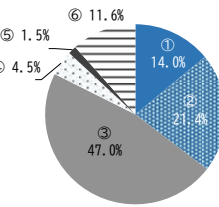


項目	回答数	%
① 重要である	76	22.6%
② やや重要である	60	17.9%
③ どちらともいえない	115	34.2%
④ あまり重要でない	7	2.1%
⑤ 重要でない	5	1.5%
⑥ 無回答	73	21.7%
小計	336	100.0%

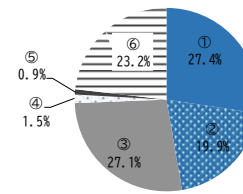


13. 史跡や文化財の保護

項目	回答数	%
① 満足している	47	14.0%
② やや満足している	72	21.4%
③ どちらともいえない	158	47.0%
④ やや不満である	15	4.5%
⑤ 不満である	5	1.5%
⑥ 無回答	39	11.6%
小計	336	100.0%

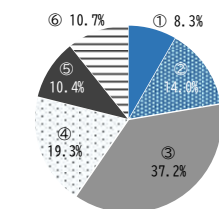


項目	回答数	%
① 重要である	92	27.4%
② やや重要である	67	19.9%
③ どちらともいえない	91	27.1%
④ あまり重要でない	5	1.5%
⑤ 重要でない	3	0.9%
⑥ 無回答	78	23.2%
小計	336	100.0%

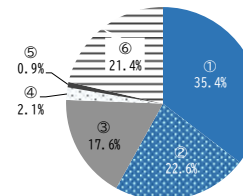


14. 歩道や自転車道の整備状況

項目	回答数	%
① 満足している	28	8.3%
② やや満足している	47	14.0%
③ どちらともいえない	125	37.2%
④ やや不満である	65	19.3%
⑤ 不満である	35	10.4%
⑥ 無回答	36	10.7%
小計	336	100.0%

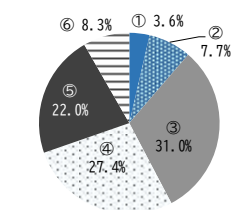


項目	回答数	%
① 重要である	119	35.4%
② やや重要である	76	22.6%
③ どちらともいえない	59	17.6%
④ あまり重要でない	7	2.1%
⑤ 重要でない	3	0.9%
⑥ 無回答	72	21.4%
小計	336	100.0%

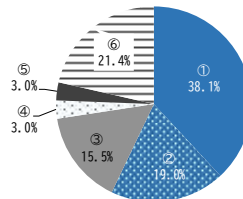


15. 交通機関の利便性

項目	回答数	%
① 満足している	12	3.6%
② やや満足している	26	7.7%
③ どちらともいえない	104	31.0%
④ やや不満である	92	27.4%
⑤ 不満である	74	22.0%
⑥ 無回答	28	8.3%
小計	336	100.0%

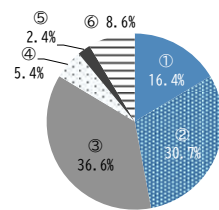


項目	回答数	%
① 重要である	128	38.1%
② やや重要である	64	19.0%
③ どちらともいえない	52	15.5%
④ あまり重要でない	10	3.0%
⑤ 重要でない	10	3.0%
⑥ 無回答	72	21.4%
小計	336	100.0%

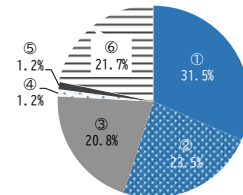


16. お住まいの地域の美しさ

項目	回答数	%
① 満足している	55	16.4%
② やや満足している	103	30.7%
③ どちらともいえない	123	36.6%
④ やや不満である	18	5.4%
⑤ 不満である	8	2.4%
⑥ 無回答	29	8.6%
小計	336	100.0%



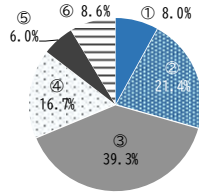
項目	回答数	%
① 重要である	106	31.5%
② やや重要である	79	23.5%
③ どちらともいえない	70	20.8%
④ あまり重要でない	4	1.2%
⑤ 重要でない	4	1.2%
⑥ 無回答	73	21.7%
小計	336	100.0%



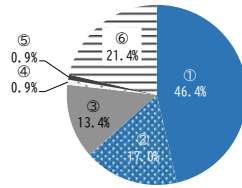
町民アンケート

17. 廃棄物の不法投棄の状況

項目	回答数	%
① 満足している	27	8.0%
② やや満足している	72	21.4%
③ どちらともいえない	132	39.3%
④ やや不満である	56	16.7%
⑤ 不満である	20	6.0%
⑥ 無回答	29	8.6%
小計	336	100.0%

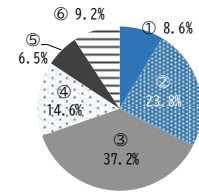


項目	回答数	%
① 重要である	156	46.4%
② やや重要である	57	17.0%
③ どちらともいえない	45	13.4%
④ あまり重要でない	3	0.9%
⑤ 重要でない	3	0.9%
⑥ 無回答	72	21.4%
小計	336	100.0%

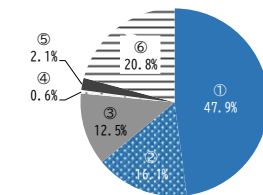


18. 自然災害に対する安全性

項目	回答数	%
① 満足している	29	8.6%
② やや満足している	80	23.8%
③ どちらともいえない	125	37.2%
④ やや不満である	49	14.6%
⑤ 不満である	22	6.5%
⑥ 無回答	31	9.2%
小計	336	100.0%

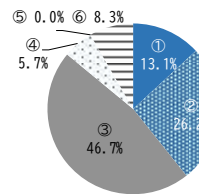


項目	回答数	%
① 重要である	161	47.9%
② やや重要である	54	16.1%
③ どちらともいえない	42	12.5%
④ あまり重要でない	2	0.6%
⑤ 重要でない	7	2.1%
⑥ 無回答	70	20.8%
小計	336	100.0%

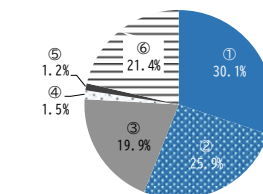


19. 家庭での省エネルギーへの取り組み

項目	回答数	%
① 満足している	44	13.1%
② やや満足している	88	26.2%
③ どちらともいえない	157	46.7%
④ やや不満である	19	5.7%
⑤ 不満である	0	0.0%
⑥ 無回答	28	8.3%
小計	336	100.0%

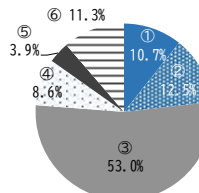


項目	回答数	%
① 重要である	101	30.1%
② やや重要である	87	25.9%
③ どちらともいえない	67	19.9%
④ あまり重要でない	5	1.5%
⑤ 重要でない	4	1.2%
⑥ 無回答	72	21.4%
小計	336	100.0%

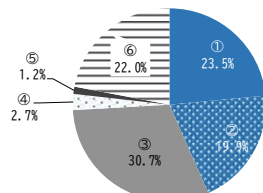


20. 太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入

項目	回答数	%
① 満足している	36	10.7%
② やや満足している	42	12.5%
③ どちらともいえない	178	53.0%
④ やや不満である	29	8.6%
⑤ 不満である	13	3.9%
⑥ 無回答	38	11.3%
小計	336	100.0%

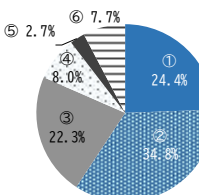


項目	回答数	%
① 重要である	79	23.5%
② やや重要である	67	19.9%
③ どちらともいえない	103	30.7%
④ あまり重要でない	9	2.7%
⑤ 重要でない	4	1.2%
⑥ 無回答	74	22.0%
小計	336	100.0%

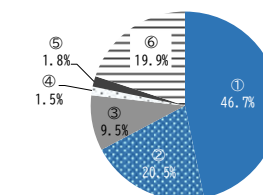


21. 家庭からのごみの分別や出し方のマナー

項目	回答数	%
① 満足している	82	24.4%
② やや満足している	117	34.8%
③ どちらともいえない	75	22.3%
④ やや不満である	27	8.0%
⑤ 不満である	9	2.7%
⑥ 無回答	26	7.7%
小計	336	100.0%

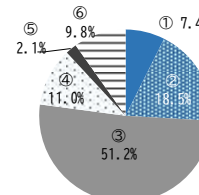


項目	回答数	%
① 重要である	157	46.7%
② やや重要である	69	20.5%
③ どちらともいえない	32	9.5%
④ あまり重要でない	5	1.5%
⑤ 重要でない	6	1.8%
⑥ 無回答	67	19.9%
小計	336	100.0%

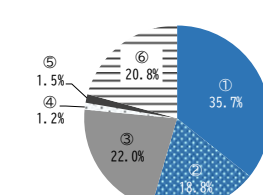


22. 町民一人ひとりの環境に対する意識

項目	回答数	%
① 満足している	25	7.4%
② やや満足している	62	18.5%
③ どちらともいえない	172	51.2%
④ やや不満である	37	11.0%
⑤ 不満である	7	2.1%
⑥ 無回答	33	9.8%
小計	336	100.0%

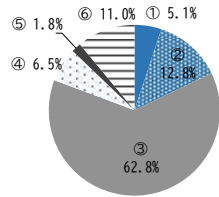


項目	回答数	%
① 重要である	120	35.7%
② やや重要である	63	18.8%
③ どちらともいえない	74	22.0%
④ あまり重要でない	4	1.2%
⑤ 重要でない	5	1.5%
⑥ 無回答	70	20.8%
小計	336	100.0%

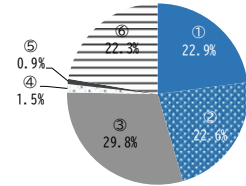


23. 環境教育・環境学習の状況

項目	回答数	%
① 満足している	17	5.1%
② やや満足している	43	12.8%
③ どちらともいえない	211	62.8%
④ やや不満である	22	6.5%
⑤ 不満である	6	1.8%
⑥ 無回答	37	11.0%
小計	336	100.0%

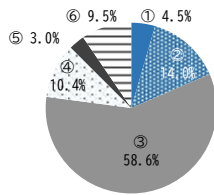


項目	回答数	%
① 重要である	77	22.9%
② やや重要である	76	22.6%
③ どちらともいえない	100	29.8%
④ あまり重要でない	5	1.5%
⑤ 重要でない	3	0.9%
⑥ 無回答	75	22.3%
小計	336	100.0%

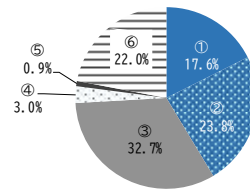


24. イベントや取り組みなど環境情報の入手状況

項目	回答数	%
① 満足している	15	4.5%
② やや満足している	47	14.0%
③ どちらともいえない	197	58.6%
④ やや不満である	35	10.4%
⑤ 不満である	10	3.0%
⑥ 無回答	32	9.5%
小計	336	100.0%

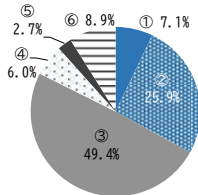


項目	回答数	%
① 重要である	59	17.6%
② やや重要である	80	23.8%
③ どちらともいえない	110	32.7%
④ あまり重要でない	10	3.0%
⑤ 重要でない	3	0.9%
⑥ 無回答	74	22.0%
小計	336	100.0%

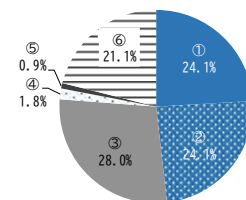


25. 地域の美化など環境保全活動の状況

項目	回答数	%
① 満足している	24	7.1%
② やや満足している	87	25.9%
③ どちらともいえない	166	49.4%
④ やや不満である	20	6.0%
⑤ 不満である	9	2.7%
⑥ 無回答	30	8.9%
小計	336	100.0%



項目	回答数	%
① 重要である	81	24.1%
② やや重要である	81	24.1%
③ どちらともいえない	94	28.0%
④ あまり重要でない	6	1.8%
⑤ 重要でない	3	0.9%
⑥ 無回答	71	21.1%
小計	336	100.0%

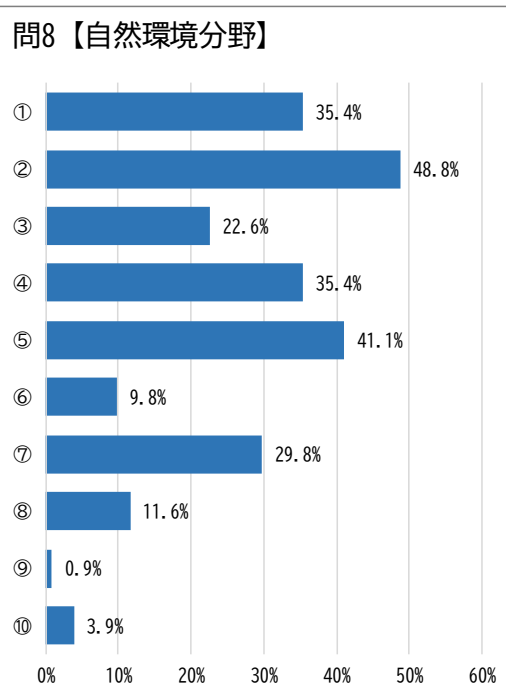


問8 環境をよりよくしていくために、今後、さつま町はどのような施策を重点的に進めていくべきだとお考えですか。【分野ごとに複数回答：3つ以内】

【自然環境分野】

回答者の中で最も多かったのは、②で 48.8%となっており、自然を活用した開発が求められています。

項目	回答数	%
① 優れた自然の保全	119	35.4%
② 優れた自然の活用	164	48.8%
③ 農林漁業地域の良好な景観の保全	76	22.6%
④ 無秩序な開発の防止	119	35.4%
⑤ 森林の荒廃防止	138	41.1%
⑥ 多様な動植物の生息場所の保全	33	9.8%
⑦ 国や県との連携による野生動植物の保護・管理(害獣駆除を含む)	100	29.8%
⑧ 樹木の植林	39	11.6%
⑨ その他	3	0.9%
⑩ 無回答	13	3.9%
小計	336	100.0%



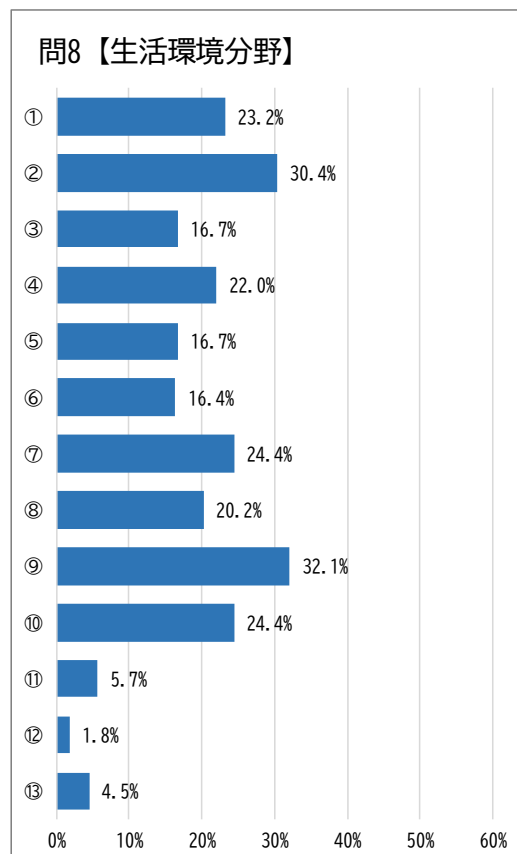
その他

- ・ 発展の為の開発は必要と思う。ただ、手つかずの自然や適度に人の手を加えた自然の維持も必要と思う。
- ・ 幼少の頃から山や川に親しみ癒される思い出が自然を守る力
- ・ 道路の草を取り除き、通行しやすい道とする。
- ・ 高齢化に伴う廃墟化対策、法改正を進め低価格での建て壊しや後継者のいない土地の有効活用を進め、過疎化なりに魅力のある地域にしていく。

【生活環境分野】

回答者の中で最も高かったのは、⑨で 32.1%となっており、住民のマナーの向上が求められています。

項目	回答数	%
① 公害防止対策の充実	78	23.2%
② 河川浄化対策の実施	102	30.4%
③ 地下水の水質保全	56	16.7%
④ 下水道等の整備	74	22.0%
⑤ 合併処理浄水層の設置促進	56	16.7%
⑥ ごみの発生抑制	55	16.4%
⑦ 適正なりサイクルの推進	82	24.4%
⑧ ごみ等の適正な処理の推進	68	20.2%
⑨ 不法投棄防止対策の推進	108	32.1%
⑩ 水資源の保全	82	24.4%
⑪ 節水や雨水利用の推進	19	5.7%
⑫ その他	6	1.8%
⑬ 無回答	15	4.5%
小計	336	100.0%



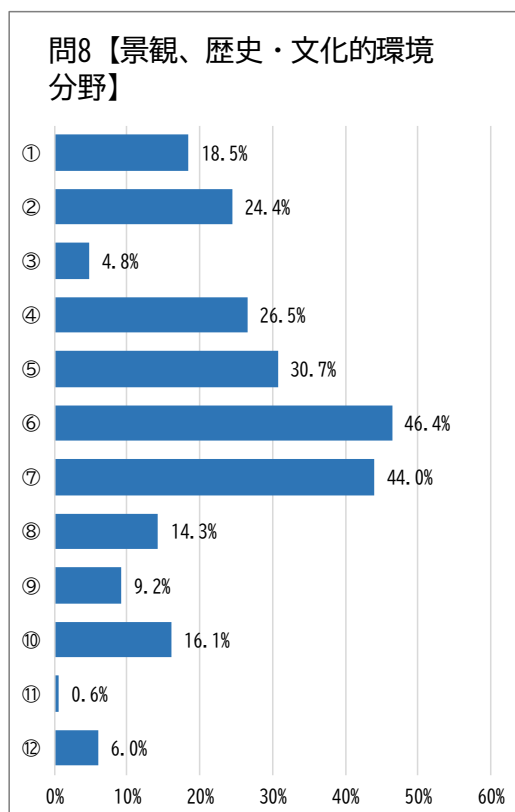
その他

- ・特に市街部に下水が整備されていない。
- ・空屋などの雑草対策、不法投棄対策
- ・歩道の整備。通学路の整備。
- ・いつでもゴミを持って行ける所が必要。24時間分別箱に。
- ・畜産業の悪臭
- ・牛舎等の悪臭の対策。田、畑への堆肥散布後の出来るだけ早い耕運の対策。
- ・心ない人によるゴミ出し分別ができず、地域外の方なのか(?)とても迷惑です。自分達はきれいを保つ様心掛けていても、不法投棄残念です。

【景観、歴史・文化的環境分野】

回答者の中で最も多かったのは、⑥で 46.4%となっており、快適な生活環境の確保が求められています。

項目	回答数	%
① 多自然川づくりの推進	62	18.5%
② 河川敷公園の活用	82	24.4%
③ ため池の保全と活用	16	4.8%
④ 里山・緑地の保全、樹木等の保存	89	26.5%
⑤ 公園緑地の整備、緑の創出	103	30.7%
⑥ 快適な住環境の確保	156	46.4%
⑦ 安全な道路空間の確保	148	44.0%
⑧ 建物や緑と道路等が調和のとれた景観の形成	48	14.3%
⑨ 歴史・文化資源の保全	31	9.2%
⑩ 歴史・文化資源を活かしたまちづくりの推進	54	16.1%
⑪ その他	2	0.6%
⑫ 無回答	20	6.0%
小計	336	100.0%



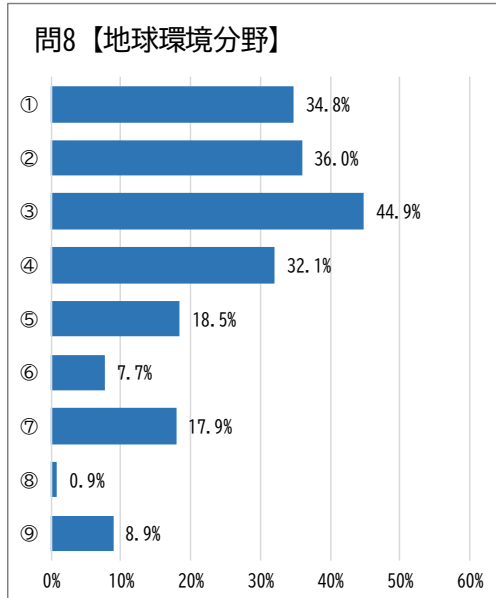
その他

- ・町内中安心してウォーキングできるように歩道を整備してほしい。
- ・道端の雑草整備は予算的にも人員的にも大変なので、美観的にも対策が必要なのではと思う。

【地球環境分野】

回答者の中で最も多かったのは、③で 44.9%となっており、クリーンエネルギーの活用が求められています。

項目	回答数	%
① 環境に配慮したライフスタイル・ビジネススタイルの推進	117	34.8%
② エネルギーの省力化・効率化の促進	121	36.0%
③ クリーンエネルギーの利用促進	151	44.9%
④ 二酸化炭素吸収源としての植林や緑化	108	32.1%
⑤ オゾン層保護対策の推進	62	18.5%
⑥ 酸性雨等に係る対策の推進	26	7.7%
⑦ 民間団体等との連携による活動の推進	60	17.9%
⑧ その他	3	0.9%
⑨ 無回答	30	8.9%
小計	336	100.0%



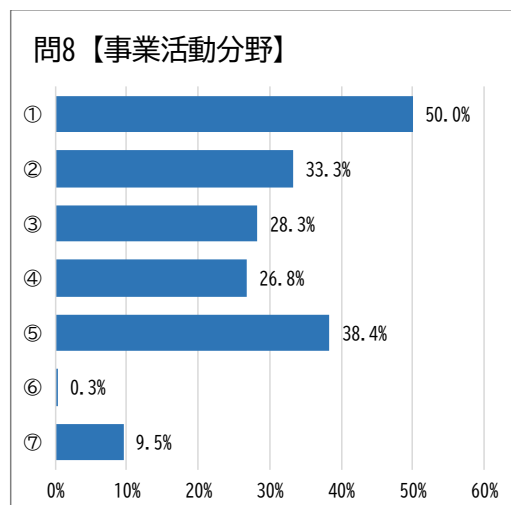
その他

- ・分かりません
- ・原子力最終処分の安全
- ・太陽光パネルによる自然破壊はやめてほしい。

【事業活動分野】

回答者の中で最も多かったのは、①で 50.0%となっており、環境を保全しつつ事業活動を確立することが求められています。

項目	回答数	%
① 地球環境に配慮した農林水産業の確立	168	50.0%
② 環境への負担の少ない商工業等の確立	112	33.3%
③ 環境に配慮した運輸業・建設業の確立	95	28.3%
④ 環境に配慮した工業振興方針の確立	90	26.8%
⑤ 事業者に対する環境管理意識の啓発	129	38.4%
⑥ その他	1	0.3%
⑦ 無回答	32	9.5%
小計	336	100.0%



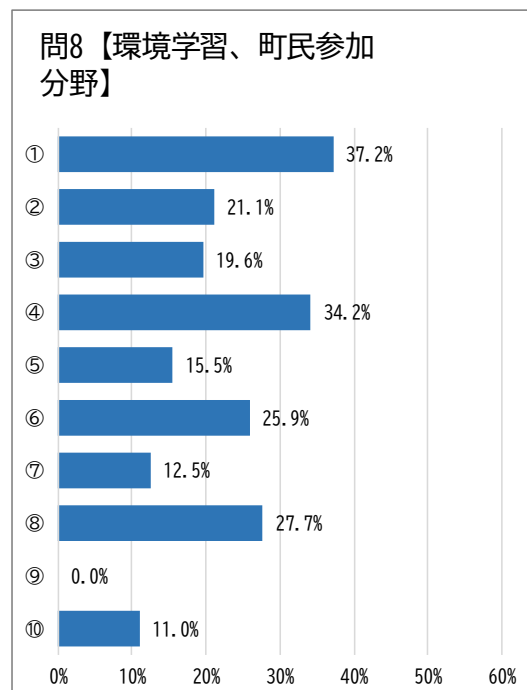
その他

- ・分かりません

【環境学習、町民参加分野】

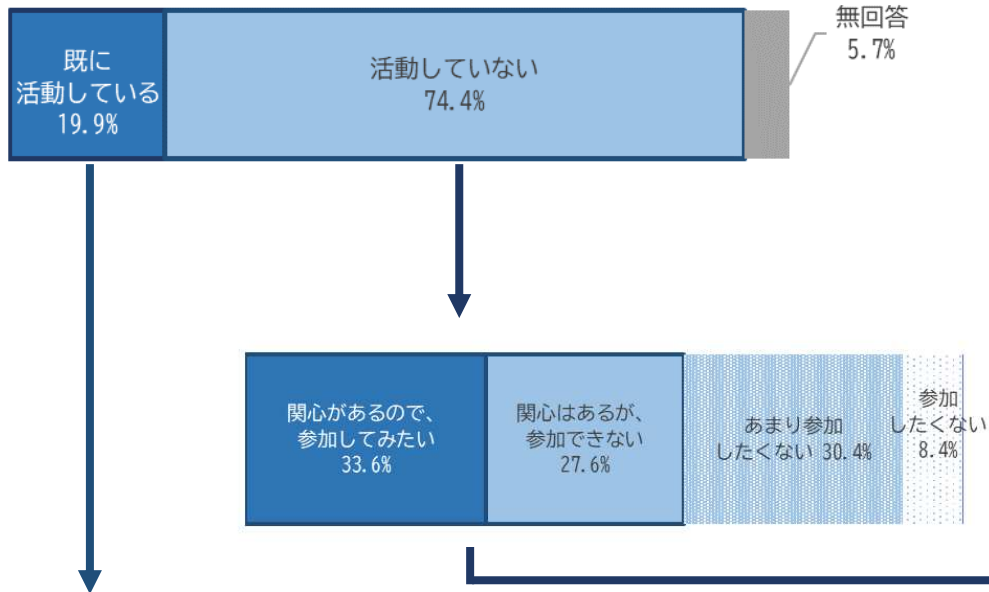
回答者の中で最も多かったのは、①で 37.2%となっており、学校での環境学習を推進することが求められています。

項目	回答数	%
① 学校における環境学習の推進	125	37.2%
② 環境学習の機会と場の創出	71	21.1%
③ 環境学習の指導者の育成	66	19.6%
④ 環境に関する情報の提供	115	34.2%
⑤ 環境学習を推進する組織としくみづくり	52	15.5%
⑥ 町民協働で環境活動を推進するためのしくみづくり	87	25.9%
⑦ 環境問題に取り組む活動団体の拠点づくり	42	12.5%
⑧ 環境問題に取り組む人材の育成や活動団体の支援	93	27.7%
⑨ その他	0	0.0%
⑩ 無回答	37	11.0%
小計	336	100.0%



町民アンケート

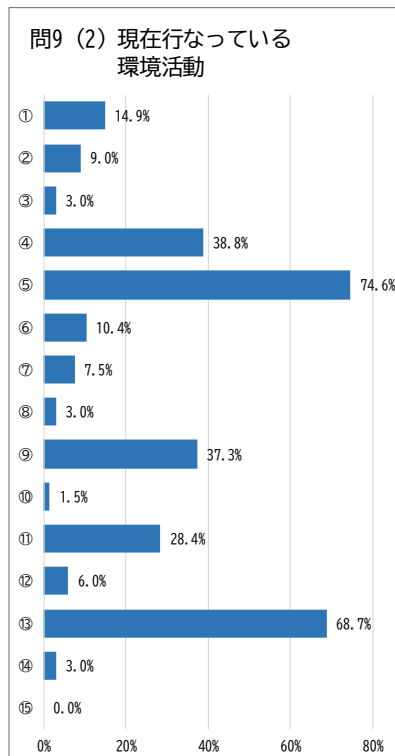
問9 (1) あなたは環境活動に参加したいと思いますか。【選択は1つ】



問9 (2) あなたは、現在どのような環境活動を行なっていますか。

【複数回答：いくつでも】

項目	回答数	%
① 環境問題等に関する講演会・講習会	10	14.9%
② 自然観察会	6	9.0%
③ 自然林や野生生物等の自然保護活動	2	3.0%
④ 花壇作りや植樹などの緑化運動	26	38.8%
⑤ 地域の清掃活動	50	74.6%
⑥ 森林保全に関する活動	7	10.4%
⑦ 河川環境保全活動	5	7.5%
⑧ 環境基金など環境保全のための寄付	2	3.0%
⑨ 生ごみの堆肥化(コンポスト化)	25	37.3%
⑩ 電気自動車の導入	1	1.5%
⑪ 太陽光パネルの設置などの自然エネルギー・再生可能エネルギーの利用	19	28.4%
⑫ フリーマーケットなどを活用したリサイクルや資源回収活動	4	6.0%
⑬ 買い物時の買い物袋の持参やリサイクル商品の購入の推進	46	68.7%
⑭ その他	2	3.0%
⑮ 無回答	0	0.0%
小計	67	100.0%



その他

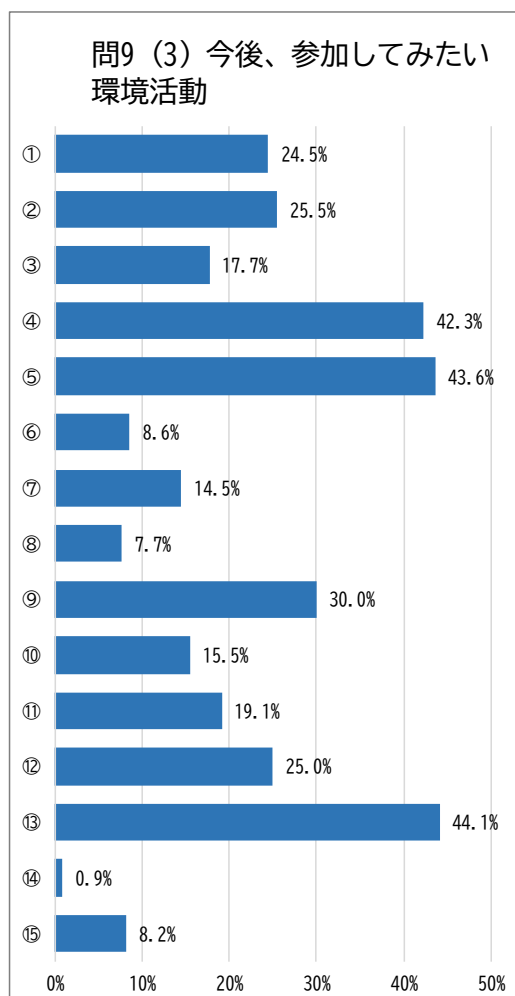
- ・ 資源のリサイクルを積極的に行っている。
- ・ 冷暖房の設定温度を控えめにしている。

町民アンケート

問9 (3) 今後、参加してみたい環境活動はどれですか。【複数回答：いくつでも】

回答者の中で最も多かったのは、⑬で 44.1%となっており、資源循環への意欲が高くなっています。

項目	回答数	%
① 環境問題等に関する講演会・講習会	54	24.5%
② 自然観察会	56	25.5%
③ 自然林や野生生物等の自然保護活動	39	17.7%
④ 花壇作りや植樹などの緑化運動	93	42.3%
⑤ 地域の清掃活動	96	43.6%
⑥ 森林保全に関する活動	19	8.6%
⑦ 河川環境保全活動	32	14.5%
⑧ 環境基金など環境保全のための寄付	17	7.7%
⑨ 生ごみの堆肥化(コンポスト化)	66	30.0%
⑩ 電気自動車の導入	34	15.5%
⑪ 太陽光パネルの設置などの自然エネルギー・再生可能エネルギーの利用	42	19.1%
⑫ フリーマーケットなどを活用したリサイクルや資源回収活動	55	25.0%
⑬ 買い物時の買い物袋の持参やリサイクル商品の購入の推進	97	44.1%
⑭ その他	2	0.9%
⑮ 無回答	18	8.2%
小計	220	100.0%



その他

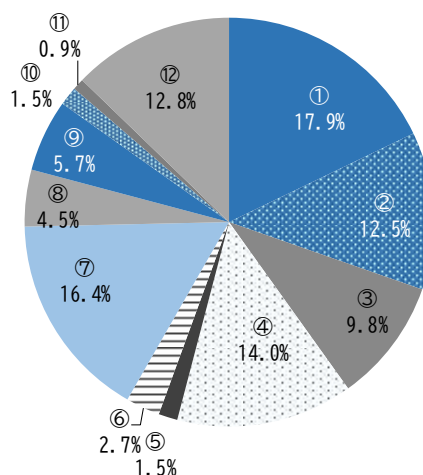
- ・ 個々人が環境美化意識をしっかりとって、まずは自分の住居の周囲の美化に努める。
- ・ 車で走っていると道路に袋に入ったゴミ袋をポイステしている。自分のゴミはちゃんと家に持って帰るようにする。

町民アンケート

問 10 町民の環境活動をより活発にするために、特にどのような取り組みが進められることを望みますか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、①で 17.9%となっており、情報の提供が求められています。次いで、⑦で 16.4%となっており、環境学習の推進が求められています。

項目	回答数	%
① 環境に関する様々な情報の提供	60	17.9%
② 環境をテーマにしたイベントなどの開催	42	12.5%
③ 環境活動を実施する場と機械の充実	33	9.8%
④ 環境活動への助成・支援	47	14.0%
⑤ 環境活動支援のための基金の設置	5	1.5%
⑥ 環境アドバイザーなどの第三者機関の相談窓口の充実	9	2.7%
⑦ 小中学校等や地域が連携して行なう、環境活動の推進	55	16.4%
⑧ 町民(活動団体)や事業者が行なっている環境活動を紹介する場や機会の充実	15	4.5%
⑨ 行政、事業者、町民(活動団体)のネットワークの構築	19	5.7%
⑩ 環境活動に対する町民や活動団体への表彰制度の創設	5	1.5%
⑪ その他	3	0.9%
⑫ 無回答	43	12.8%
小計	336	100.0%



その他

- ・ 薩摩町全体が1つ大きな目標を決めて協力してもらおう。色々全体を見ていると私には関係ないと思っている人が多い。
- ・ 障害で寝たきりのため
- ・ 不法投棄の取締り強化

町民アンケート

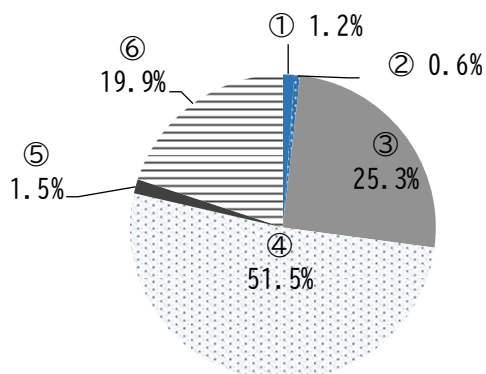
問 11 あなたは再生可能エネルギーや省エネルギー設備の導入・利用意欲がありますか。

【選択は1つ】

最も導入が進んでいるのは「4. 太陽光発電」で回答者のうち 18.5%が導入していました。また、導入を検討しているのが最も多かったのは「1. 電気自動車」で回答者のうち 25.3%が検討しています。

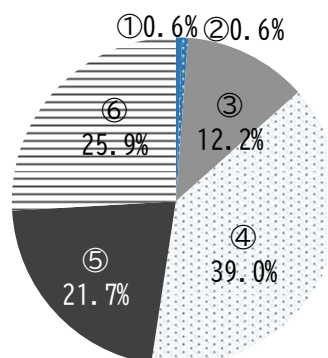
1. 電気自動車

項目	回答数	%
① 導入している	4	1.2%
② 導入を予定している	2	0.6%
③ 今後導入を検討したい	85	25.3%
④ 導入する予定はない	173	51.5%
⑤ どういうものか知らない	5	1.5%
⑥ 無回答	67	19.9%
小計	336	100.0%



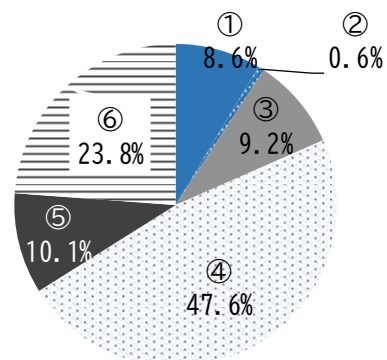
2. 燃料電池

項目	回答数	%
① 導入している	2	0.6%
② 導入を予定している	2	0.6%
③ 今後導入を検討したい	41	12.2%
④ 導入する予定はない	131	39.0%
⑤ どういうものか知らない	73	21.7%
⑥ 無回答	87	25.9%
小計	336	100.0%



3. 太陽熱利用システム

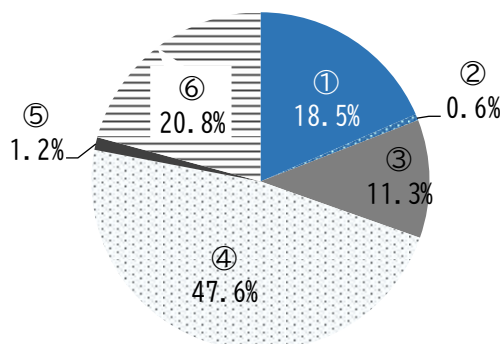
項目	回答数	%
① 導入している	29	8.6%
② 導入を予定している	2	0.6%
③ 今後導入を検討したい	31	9.2%
④ 導入する予定はない	160	47.6%
⑤ どういうものか知らない	34	10.1%
⑥ 無回答	80	23.8%
小計	336	100.0%



町民アンケート

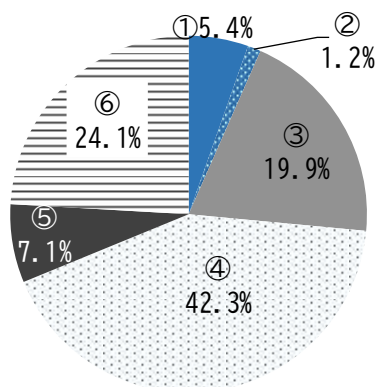
4. 太陽光発電

項目	回答数	%
① 導入している	62	18.5%
② 導入を予定している	2	0.6%
③ 今後導入を検討したい	38	11.3%
④ 導入する予定はない	160	47.6%
⑤ どういうものか知らない	4	1.2%
⑥ 無回答	70	20.8%
小計	336	100.0%



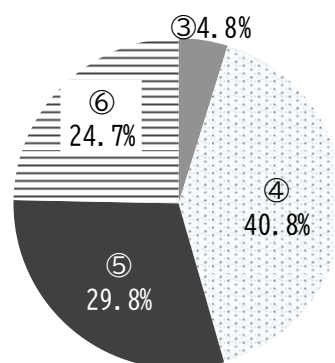
5. 蓄電池

項目	回答数	%
① 導入している	18	5.4%
② 導入を予定している	4	1.2%
③ 今後導入を検討したい	67	19.9%
④ 導入する予定はない	142	42.3%
⑤ どういうものか知らない	24	7.1%
⑥ 無回答	81	24.1%
小計	336	100.0%



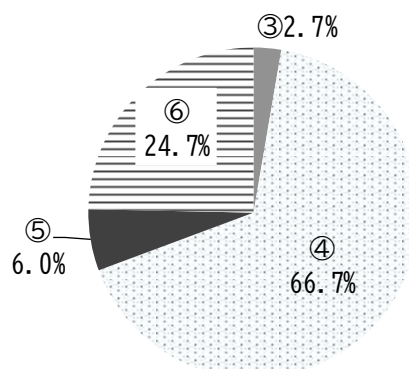
6. ペレットストーブやペレットボイラー等

項目	回答数	%
① 導入している	0	0.0%
② 導入を予定している	0	0.0%
③ 今後導入を検討したい	16	4.8%
④ 導入する予定はない	137	40.8%
⑤ どういうものか知らない	100	29.8%
⑥ 無回答	83	24.7%
小計	336	100.0%



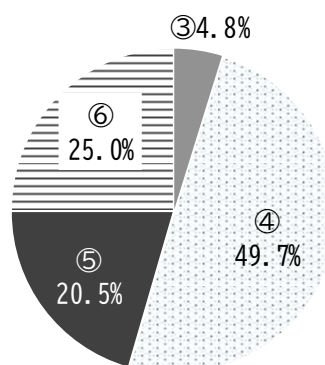
7. 風力発電

項目	回答数	%
① 導入している	0	0.0%
② 導入を予定している	0	0.0%
③ 今後導入を検討したい	9	2.7%
④ 導入する予定はない	224	66.7%
⑤ どういうものか知らない	20	6.0%
⑥ 無回答	83	24.7%
小計	336	100.0%



8. 地中熱利用の冷暖房・給油システム

項目	回答数	%
① 導入している	0	0.0%
② 導入を予定している	0	0.0%
③ 今後導入を検討したい	16	4.8%
④ 導入する予定はない	167	49.7%
⑤ どういうものか知らない	69	20.5%
⑥ 無回答	84	25.0%
小計	336	100.0%

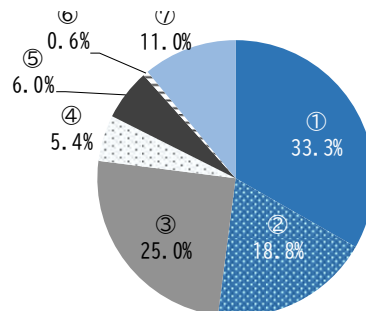


町民アンケート

問 12 あなたが再生可能エネルギー等の導入を進めるにあたり、特に重要だと思うことをおたずねします。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、①で 33.3%となっており、再生可能エネルギー等の導入に当たっては経済面が重視されています。

項目	回答数	%
① 機器の低価格化が進むこと	112	33.3%
② 保守費や光熱費などの経済的負担が軽減されること	63	18.8%
③ 国や県、町が導入に際して補助金制度を設けてくれること	84	25.0%
④ 環境負担軽減効果が明確に示されること	18	5.4%
⑤ 機器の性能や安全性が高まること	20	6.0%
⑥ その他	2	0.6%
⑦ 無回答	37	11.0%
小計	336	100.0%



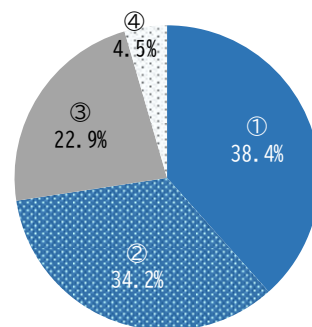
その他

- ・自分としては現在使用しているので活用するしかないと思っている。
- ・経済的不安がある。

問 13 あなたは「SDGs」という言葉を知っていますか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、①で 38.4%となっており、今後内容を浸透させていく必要があるといえます。

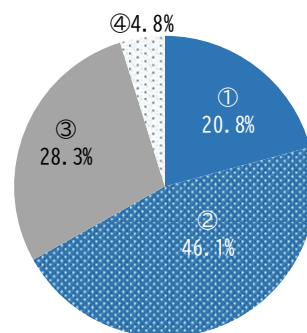
項目	回答数	%
① 言葉も内容も知っている	129	38.4%
② 言葉は知っているが具体的な内容は知らない	115	34.2%
③ 知らない	77	22.9%
④ 無回答	15	4.5%
小計	336	100.0%



問 14 (1) あなたは「カーボンニュートラル」、「ゼロカーボン」、「脱炭素」(以下、「カーボンニュートラル」という。)という言葉を知っていますか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、②で 46.1%となっており、内容を伝えていく必要があります。

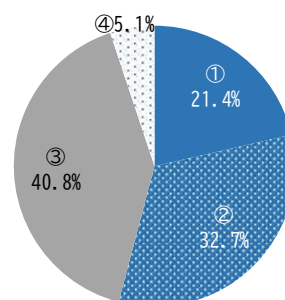
項目	回答数	%
① 言葉も内容も知っている	70	20.8%
② 言葉は知っているが具体的な内容は知らない	155	46.1%
③ 知らない	95	28.3%
④ 無回答	16	4.8%
小計	336	100.0%



問 14 (2) あなたはカーボンニュートラル※が何を目標としているか知っていますか。【選択は1つ】

目標を知っている回答者が 21.4%にとどまっており、本町では宣言したことを踏まえ認知させていく必要があります。

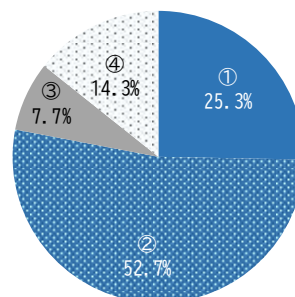
項目	回答数	%
① 知っている	72	21.4%
② 聞いたことはある	110	32.7%
③ 知らない	137	40.8%
④ 無回答	17	5.1%
小計	336	100.0%



問 14 (3) あなたは、カーボンニュートラルは必ず達成すべきと考えますか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、②で 52.7%となっており、経済活動との両立が求められています。

項目	回答数	%
① 必ず達成すべき	85	25.3%
② 経済を優先した中で達成すべき	177	52.7%
③ そうは思わない	26	7.7%
④ 無回答	48	14.3%
小計	336	100.0%



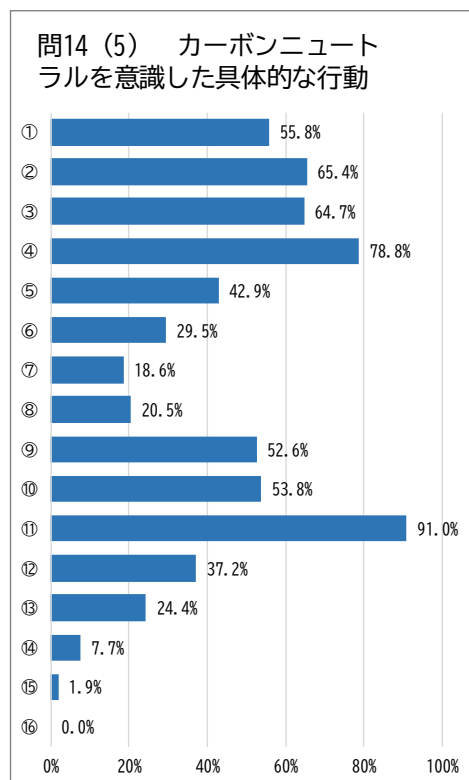
町民アンケート

問 14 (4) あなたは暮らしの中でカーボンニュートラルを意識した行動をしていますか。
【選択は1つ】



問 14 (5) 具体的にどのような行動をしていますか。【複数回答：いくつでも】

項目	回答数	%
① 家電製品の消費電力削減に取り組んでいる	87	55.8%
② 照明はLEDを利用している	102	65.4%
③ 冷暖房を極力使用しない又は設定温度は控えている	101	64.7%
④ 照明をこまめに消している	123	78.8%
⑤ 冷蔵庫にものを入れすぎない	67	42.9%
⑥ 洗濯にお風呂の残り湯を使用する	46	29.5%
⑦ エネルギー効率の高い家電製品を使用している	29	18.6%
⑧ 高断熱の窓や壁を採用している	32	20.5%
⑨ ごみの減量化を図っている	82	52.6%
⑩ 食品ロス削減を意識している	84	53.8%
⑪ マイバッグを利用している	142	91.0%
⑫ リユース、リサイクルを意識している	58	37.2%
⑬ ハイブリット車や電気自動車を利用している	38	24.4%
⑭ できるだけ自動車の利用を控え、公共交通機関や自転車・徒歩で移動している	12	7.7%
⑮ その他	3	1.9%
⑯ 無回答	0	0.0%
小計	156	100.0%



その他

- ・ 店が遠い為歩いてはけない距離
- ・ 夫婦2人15Aで生活。電気の消費量をおさえて生活。
- ・ 時間に余裕のある時は歩きます。

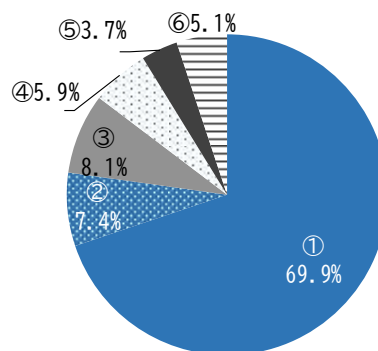
町民アンケート

問 14 (6) カーボンニュートラルを意識した行動に取り組めていない理由はなんですか。

【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、①で 69.9%となっており、目標を踏まえて具体的な取り組み内容について、情報提供する必要があります。

項目	回答数	%
① 何をしたら良いのかわからない	95	69.9%
② 難しそうだから	10	7.4%
③ 手間や費用がかかるから	11	8.1%
④ 個人で取り組んでも意味がないと思うから	8	5.9%
⑤ その他	5	3.7%
⑥ 無回答	7	5.1%
小計	136	100.0%



その他

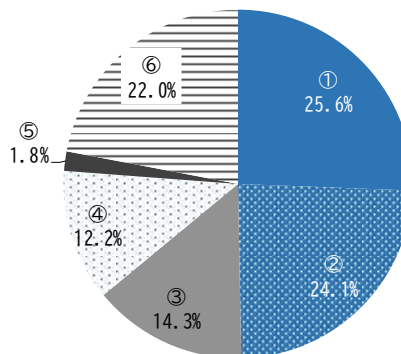
- ・カーボンニュートラルの意味がわからない。
- ・まず言葉を知らなかった
- ・なんとなく。
- ・普段行っている生活の中に、自然と行っている為。
- ・本当に必要な事なのか疑問があるから。

町民アンケート

問 14 (7) どうしたらカーボンニュートラルに繋がる行動が増えると思いますか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、①で 25.6%となっており、目的を伝えていく必要があります。

項目	回答数	%
① カーボンニュートラルの目的がもっと浸透する	86	25.6%
② カーボンニュートラルに繋がる行動の情報提供が増える	81	24.1%
③ カーボンニュートラルに寄与する対象商品の購入やサービスの導入（ポイント制度等）	48	14.3%
④ カーボンニュートラルに寄与する対象商品の購入やサービスがCO2削減に貢献されているかどうかの表示がある	41	12.2%
⑤ その他	6	1.8%
⑥ 無回答	74	22.0%
小 計	336	100.0%



その他

- ・わかりません
- ・内容が全くわからない。
- ・老人の為わからない。
- ・次世代に今の自然を残す事の大切・重要性を皆にわかってもらう。

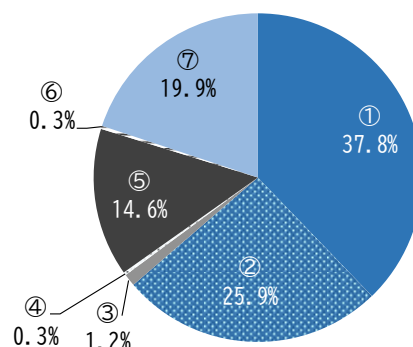
町民アンケート

問14(8) カーボンニュートラルに取り組む企業に対してどのような印象を持ちますか。

【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、①で37.8%となっており、企業が積極的に取り組んでいくことが望ましいといえます。

項目	回答数	%
① 良い印象を持つ	127	37.8%
② 商品やサービスを利用して応援したい	87	25.9%
③ 投資したい	4	1.2%
④ 就職・転職したい	1	0.3%
⑤ 特に何も思わない	49	14.6%
⑥ その他	1	0.3%
⑦ 無回答	67	19.9%
小計	336	100.0%



その他

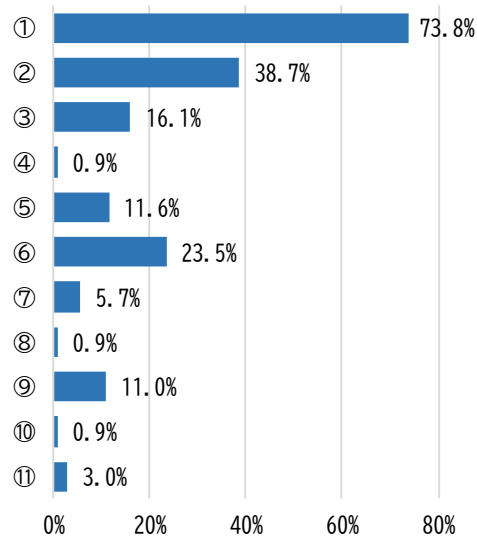
- ・カーボンニュートラルがわからない。

問15 さつま町について情報を取得しやすい媒体はどれですか。【複数回答：2つ】

回答者の中で最も多かったのは、①で73.8%となっており、必要な情報を広報さつまに記載していくことで、住民に広く周知することができるといえます。

項目	回答数	%
① 広報さつま	248	73.8%
② 町からの配布物(チラシや冊子)	130	38.7%
③ さつま町ホームページ	54	16.1%
④ さつま町公式YouTube	3	0.9%
⑤ SNS(Facebook、LINE等)	39	11.6%
⑥ 防災行政無線	79	23.5%
⑦ 新聞記事	19	5.7%
⑧ ラジオ	3	0.9%
⑨ 自治会などの回覧板	37	11.0%
⑩ その他	3	0.9%
⑪ 無回答	10	3.0%
小計	336	100.0%

問15 さつま町について情報を取得しやすい媒体



その他

- ・ホームページなどあるが他の市町村に比べ情報が少なく、伝達が遅い。
- ・公民館放送
- ・ライン

問 16 さつま町のよりよい環境づくりに向けた取り組み、環境行政に対するご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

- ・大雨災害による道路補修等がなかなか進んでいないので出来るだけ早くお願い致します。
- ・町民の意識向上をはかり、緑豊かなきれいな町づくりをしてほしい。ゴミは道路へ散乱し、草が道幅をせばめている。町外から来られた方が”素通りする町”と SNS でつぶやいていらっやいましたが、その通りだと思う。美しいさつま町へ個人個人が取り組むべき。
- ・町内の道路がきたない。道路の補修や除草等をもっとすすめること。クリーン公社等を設立して行うのも良い。町内のぼろあき家を早急になくすること。また、耕作放棄地をなくすること。耕作放棄地等に雑草が生えている場合は行政指導を行うこと。町の対応はなまぬるい！。
- ・(平川)国道 504 号線に歩道を作って下さい。
- ・町道の傷みがひどく穴が開いている。公園などのトイレ開放をしてほしい(ホテル公園)。町営住宅等の生け垣の手入れ等(住人が行なうべきなのか?)。ロードミラーの汚れが目立つ。
- ・何かと言えば、さつま町ってあまりいい所がない。他の地区と比べると、この町は目立つ所がない。せっかく湯田にいい温泉があるのにサビれてしまっている。昔みたいに県外からお客さんが宮之城へ行って見たいといわせる本気の物を見せてほしい。町民全体が協力したいと思う物がほしい。もっと町民を頼ってみてはどうか。
- ・ゴミの分別について生ゴミの回収が始まり可燃ゴミが減っていることを実感しています。導入についてはたいへんご苦勞があったと思いますが、焼却場の延命化のために町民一人一人が気をつけなければいけないと思っています。収集業者の方へ感謝の一言です。(年未年始、祝日の収集に対して)。
- ・さつま町の色々な行事・講演会 etc が全て宮之城に集中して、足の無い離れた所の人は出席出来ないのでマイクロバスの手配などを官民で話し合っ欲しい。(意識を持つ為にも必要と思われる)。
- ・ソーラーパネルを設置する為に山林を伐採したりしているが、大雨時の崖崩れ等の危険がある。ある程度の規模でないと届出等は必要ないと聞いたが、届け出・確認は必要ではないか(実際に崖崩れがあったと聞いている)。
- ・森林の伐採が多数見受けられ景観が損なわれたり、猪・鹿・猿などの害が多発しているが、行政では考えてもらえないのか。
- ・外国人(実習生)の住宅・借家の状況を監視してほしい。(ゴミや除草など)。
- ・ごみ問題 SDGs などこれからずっと継続してとり組まなければならない方向性はよくわかるが地域は高齢化していくばかりで身近な住環境がどんどん悪化(草ぼうぼう、荒地・空室)して淋しくなるばかり。それを改善していくマンパワーも少なく、知恵もない。大きなことはできないがまず足もとから。快適な生活環境がいつまで保てるのか不安でたまらない。これは、いろいろな機関が協力していかなければ解決できないと思うが、、、、

- ・左右が見えづらい見通しよくしてほしい。以前から事故多い死亡事故もありなのに行き止まり表示1つだけ・「キケン」がわかるように道路面にペイントしては。日特～鉄道記念館まで街灯いっぱい通学路にももっと充実させてほしい。
- ・さつま町のよりよい環境づくりにに向けた取り組みは私達はガンバリますが？、役所職員の方はどう■でしょうか今まで通りのやり方では、先が無いと思います新しい方法を考へませんかそれか環境づくりの方法ですか新ら事は不安があり職員の意識のやりかただと思えますが恐れずやってみて下さい。
- ・大企業の誘致に加え、その企業の環境取組の PR 人口減少のこの町に環境への取り組みが有効か否か、、、何へ労力を使っているのか
- ・小学生のときにゴミ拾いを学校行事でしたことがあるんですけど、ポイ捨てされたタバコや飲みかけの缶、ペットボトルやお菓子のゴミなどたくさんのゴミがおちていて本当に大変だったことを覚えています。ポイ捨てなどが少しでも減るように何か取り組みをして欲しいです。ポイ捨てが少しでも減ると、環境にも良いのではないのでしょうか。
- ・さつま町永野も温泉も無く楽しく遊ぶ場所も、高れいかしていく一方です。ただ生活している状態で、これからもこの状態で一生で済ませるのかな？年金生活で、苦しい、出すお金は多いし、町からのチラシも多すぎて読む人がいるのかな？少し節約してもらいたい。お金がある人はあんまり気にはならないと思いますが楽しく人生をすごしたい。アンケートの質問も少し難しい全部は分からない。
- ・年に1回最も暑い7月末～8月に町道も清掃が当然の年末行事のように集落で行われている。けがや熱中症など今まで何もないからこそいいが、高齢化が進む昨今、もうそろそろ限界なように感じている。通勤の途中でも年に何回も草払いを町でされている場所もあれば、放ったらかしで住民任せの所もあり、地域格差を感じることもある。環境課と建設課の密な連携をお願いしたい。他町から来る人の見た目の環境ではなく。ここに住む町民のための環境美化に努めてたい。
- ・川内川の浄化、上流域のあることなのでさつま町単独ではむづかしいことだと思いますが川のきれいさが売りにできるような川になるといいなと思います。年齢的に昔の川底が見え、泳いでる魚も橋の上から確認できた川内川を覚えてる世代なので今の川内川は残念です。美しい川になれば、観光にも利点があると考えます。
- ・道路の一旦停止線が消えかかっているのが気になります。
- ・ゴミ出しルールについて・外国人の方々のゴミ出しの際しっかりルールが周知徹底されているのかが気になります。外国人の方々を雇用している事業者の方々だけでなく行政がどれぐらいかかわっているのか知りたいです。(これは外国人だけの問題ではないのですが、...) ○クリーンエネルギー、再生可能エネルギーについて・クリーンエネルギーの重要性は分かりますが、そのために貴重な自然環境や生態系が失われていくことには違和感があります。
- ・このアンケートがネットで回答できるなど、紙を使用しない方法が望ましいと思います。

例えば、QRコード付のハガキ1枚送って回答できると、環境にもいいかと思う。

・家畜堆肥を、畑に野積にし、長期間放置されるマナーの悪い方が多々いらっしゃるので行政にもう少し指導の徹底をお願いしたい。害虫悪臭に困る事が頻繁にあります。よろしくお願い致します。

・さつま町には陶芸ガラス工房などあちこちに点在している土壌が有るので、エネルギッシュな若者を募集して立ちあげる。アートをやっている人はいると思います。今都会、地方～移住する人たちが各地に増えていますが、町の活性化をはかり、町おこしのために考えてみてはどうでしょうか。若者に今さつま町に必要とする仕事、娯楽施設、たとえば小さなお子さんがいるところでは、砂場のある遊園地があればよいのですが！

・川内川の水質は、ひと昔前に比べ、残念ながら悪化している様に感じる。水質悪化の主な要因は、私たちが日々垂れ流している生活排水にある。生活排水は、着実に川を汚し、海を汚し、地球環境の悪化を招いている。このため、各家庭から排出される汚水を減らすための対策が必要である。各家庭の台所や風呂、トイレなどから排出される汚水の量を減らすために、町民一丸となって取り組む必要がある。さらには、下水道や合併処理浄化槽の一体的な整備を図り、水質改善の取り組みが必要である。河川等への不法投棄も水質悪化の要因である。不法投棄をしない!させない!ために、町ぐるみで対策を講じる必要がある。いずれにしても、官民一体となった取り組みが不可欠である。

・環境づくりといっても、たいへん難しい事であります。この設問も答えるのには、ずい分と難しいと感じました。計画策定を定めて終しまいにならぬよう、町民への情報をこまめに出すようお願い致します。観光の面からも環境を整えることは必要不可欠であると考えます。皆さんが力を合せて取り組まれることを切望します。

・自然豊かなさつま町。とっても素敵な町だと思うので、手つかずの自然も良いが自然を生かした公園や川などもっと整備すべきと考えます。

・空屋が多く不衛生が目立ってきている。

・もう少し環境に取り組むという事を町環境課の方々が勉強しアドバイス等出来るようにしてほしいです。町民に気をつかひすぎて、いろいろ後手になっているような気がします。

・一部環境団体の主張のみを注視せず、町民全体の意向を確実につかみ、行政に反映していただきたい。

・カーボンニュートラルも大切ですが、森林伐採により、町内の山も木がなくなってる所が増えたように思います。熱海市伊豆山の土石流災害の原因が盛土であったり、今年の7月の始良市の土砂崩れの原因が太陽光発電の建設現場の排水管理が不十分であったことなどから災害防止の観点を重視します。このような例がさつま町でおきないように、定期的に現場をみまわるということは考えてくださいますか

・人はさつまの人と云われた時代のように想いやりを。山は語りかけたいような山がいいなあと思います。

・いつまでも緑がいっぱいのさつま町であってほしいです。

- ・ 柏原に住んでいます。最近家も増え、小さな子どももよく見ます。道路をよく大きなトラックが走りますが、歩道と境界線がないのがすごく怖いです。歩道にガードレールをつけてほしいです。
- ・ 上段に木材の工場（事業所）名称は知らないが数年前に出来ている。雨の度、特に大雨の時、大量の大・小の木々の枝、落葉が道路中に流れ出て、正方形のような木くずが側溝から溢れ出し畑の中や門の入口の側溝のフタ部分にびっしり詰まりこんでいる状況だ。以前にはなかった事だが…しかし私はふと思った。これは自然災害か。だとしたら受け入れるしかない（1個人としての現状を記しました）。アンケートの主旨としては少しがいました。
- ・ もっときめ細やかな啓発（例えば公民会単位）等を積極的に行う。太陽光エネルギーの導入や合併処理の導入等、多額の経費を要するものは独居、高齢者世帯では困難なので特段の助成を行ない、農村部での普及も図る。再生可能エネルギーの推進には特段の注意が必要。例・風力発電と景観保全・太陽光発電と造成による土砂災害・水力発電による中間の水資源、水辺環境・風力発電による野生動物の生息域の変化（バードストライクや里山化）
※・カーボンニュートラルや再生可能エネルギーが声高に叫ばれる中これらの物が環境に与える負荷は無いがしろにされているきらいがある。何が優先かではなく、両立するにはどうするか考えるべき。公民館、高齢者クラブ、サロン等研修の中に、クリーンセンターの見学を組み入れて、本町のゴミの現状をもっと認識してもらいたいと思う（他にもあるが書ききれない）。
- ・ 公園がないので作ってほしい。障害者にやさしい町作りをしてほしい。
- ・ 自分もさつま町で暮らしていましたが、これではいけないと思い熊本のコンサルへ入りました。土木がメインのコンサルですが、今はビオトープも資格をとり取り組み中です。さつま町でも、今の取り組みが出来たらいいです。
- ・ 長い文章であれこれあり高齢者にしては文章が頭に入らず、その次を考えたりすると頭の中がボーっとしてアンケートになりませんでした。
- ・ 環境問題今や世界を■■■重要なテーマ。■■■の関心を広く■めるため、環境に関わる情報を分かりやすく、どんどん発信して欲しい。カーボンニュートラル達成に向け、頑張ってください。人類や動植物も未永く素晴らしい環境のもと生きられるように！
- ・ 資源ごみの収集について。現在隔週（月2回）各集落の指定場所での収集ですが、これを常時受付可能な場所をクリーンセンター以外に何箇所か設けてほしいです（民間の場所はあるようですが…すべての品目ではない様な感じです）。
- ・ いろんな意見を出しても何一つ変わらない。もっと若い人の意見を聴く場を設けて、より良くさつま町が活性化するように、努力してもらいたい。これでは老人ばかりになってしまいます。
- ・ 高齢者の住みよい町づくり
- ・ 私の近くに帝沢天という小高い山があります。町を展望出来る素敵な場所だと思っています。

す。桜の木も私が帰省して随分少なくなりました。もう少し整備して少しでも多くの方が楽しめるようなウォーキングコースや若い人のランニングコースなどになれば良いのと思っています。

・竹林の有効活用。緑の豊かさを守り、住み続けられるまちづくりを目指す。

・環境対策として、公共交通機関の積極的な利用も有効であると考えます。しかし、さつま町のバスは本数が少なく、なかなか利用しづらいのが現状です。また、職業柄高齢者の方と多く接する中で、「ずっと車だったからバスの乗り方を忘れた」「今さらバスの乗り方を覚えるのが面倒」といった声もありました。上記のことより、町民の皆様には公共交通の利用に馴染みを持ってもらう、慣れて頂くことも必要ではないかと考えます。例えば、熊本県では市交通局と民間のバス会社が一体となって、「熊本県内バス・電車子ども無料(大人100円)の日」が行われています。さつま町でも町内での乗降に関して上記のような施策を行うことで公共交通機関の利用促進に繋がるのではないかと考えます。また、SNS、広報さつま、回覧板等で、公共交通機関の乗り方、路線図、バスに乗ってどんなお店等に行けるか、町内のバスを利用した観光プランや生活プランの具体的な例が掲載されたリーフレットやガイドブックを配布するのも良いのかなと思いました。

・集落単位でゴミ減量あるいはゼロエミッションへの取組を推進したコンテストを実施する。また順位毎に賞品を贈呈する。・道路沿いの草刈りについて、各近所の集落へ依頼する作業についても費用を町あるいは県より助成金として支給頂く。但し、一般業者に支払う金額より減額した金額とする。

・自分自身がもう少し意識を持って行動しなくてはいけないなあと思いました。あと、町全体でみんなが参加できる行事などがあればもっと考える様になるかもしれません。

・アンケートの中にもありましたが、歩道、自転車道の整備にもう少し力を入れて欲しいです。町の中や、大きな国道には歩道があるが、少し外れた交通量のある町道にはまだまだ少ない気がします。特に通学路には歩道を増やして欲しい。

・アンケートが多く疲れます。回答を得やすくするため、目的ごとのアンケートに分ける事や、ネットで回答できるシステムの導入など検討されてみてはいかがでしょうか。

・自然豊かな町で、中高年者にとっては環境的に住みやすいです。

・国道の歩道の整備をして頂きたいです(船木の歩道)。台風後の倒木がそのままで歩道の半分をふさいでいます。木の枝や草で目をつきそうになりました。たまに通りますが(歩道を)、いつ整備頂けるのかといつも思っております。早めの対応をお願い致します。

・川内川をきれいにするために、川内川に流れ込む全ての排水路を見てまわって下さい。どんなに川が汚いか分かります。川内川に流れ込む水河川(虎居区)の水質調査結果が虎居区広報に載っています。どんなに汚いかすぐに分かります。環境係の方々、調査結果を見て、どこに原因があるのか、どうすれば川がきれいになるのか、検討してみてください。

・鶴田ダム 50 年前の大水害までは、夏休み間中ずっとみやこ橋の下で泳げた。監視するお

ばちゃんに、かまぼこ板のような木札に盈進小学校の焼印が押され、その裏に自分の名前を書いた札を渡して毎日泳いだ。今思うととても恥ずかしいが、家からすでに水着に着替え浮輪を斜め掛けして堂々と道を歩きながら川まで行っていた。夏休みの最終日には、くろんぼ大会が行われ、1番その夏焼けた子には鉛筆とノートがもらえた。す■が紫色になるまで泳ぎ、大岩で甲羅干し、夏が来ると今でも泳ぎたくなる。自転車リム部分の金属を使ってパチンコを作り、岩陰にひそむえびを取りに行った事も懐かしい。年上のお兄ちゃん達に必死について行った。結構高い山登り、知らない道の冒険、喉が渇くと「知らない家でも水を飲まっしょかん」といっては、水道水を当たり前のように飲ませてもらっていた。環境問題の最大の解決は、この子供の頃のすばらしい体験を、イベントではなく、普段の生活の中で当たり前のようにできる環境作りが一番だと思う。

・家にいると電気を使ってしまうので、外に出たくなるような公園作りをしてほしいです。今のさつま町にある公園は遊具も充実していないし、遊びに行ってもすぐ飽きて帰る事がほとんどです。

・道路、歩道の草がススキのように生えている所が多い。汚い。鹿児島市内からの来客（ホテル舟）、橋の上から夜景を見ようと渡ったが、草が歩道まで生えていて倒れてきていて恥ずかしかった。予算の関係上というのはよく分かりますが、町中清潔感に欠ける。・老舗を守るのももちろんだが、人が入ってくる、遊びに来る、お金を使ってくれる店の新規参入があってもいいのでは（老舗もアピールしながら）？

・野外の行政との連携（川内市からのポイ捨てが多い）。・国体に向け、国道、県道、町道脇に花を植える（種・苗等の配布）。

・国道504号をよく利用しています。ゴミポイ捨てが多く見られます。個人の意識の問題なのですが、定期的に見回りをして、注意看板等を立てるなどの対策をお願いしたい。

・道に雑草が茂り過ぎている。不要な「看板」「案内」が多い。草刈りだけでなく、根本からの除草をお願いしたい。行政関係、商業関係の「看板」等で、壊れている物、色あせている物と見苦しい物が多い。適正に指導をお願いしたい。

・今のままで充分だと思います。

・ゴミの分別と出し方について。外国人に対して、ゴミの出し方や分別のやり方等を町が指導すべきだと思います。外国人の人達は入れ替わりも多いと聞くので、例えば定期的にゴミの出し方の講座を開くとか…など、町がもっと力を入れて欲しいです。また、外国人を雇用している企業にも、ゴミ出しのやり方を指導する様に役場の方から働きかけたら良いのではないだろうかと思います。ゴミステーションによっては、間違ったやり方でゴミを出している人もあるみたいなので、全てのゴミステーションとは言いませんが、不法に出されるのが多いステーションの所だけでも監視カメラを設置するなど、対策を考えて欲しいです。

・これから増々高齢化が進むので、居住空間や近辺の清掃等も困難になる時代が来るのかなと思う。過疎化も進んで、現状を維持していくとなると行政の負担も大きくなるかと思う

ので、若い人達が積極的に家庭を持ち、人口増加へ貢献できる町づくりを目指していかないと、自然崩壊の道をたどるのではないのでしょうか。環境づくりはもちろん大切な事なのですが、人が足りなくなる事は近い将来大きな障害になる事と思うので、健全な社会を作っていく為に、未婚者の婚活支援が必至かと思えますよ。

・さつま町に住んで 20 年近くになりますが、せっかくの自然、土地を持っていながらほとんど活用もされず、イベントも少ない。何かしようと役場へ交渉しても、責任を取りたくないのか却下。これでは盛えるはずも無いですね。町外、県外へ行くでしょう。魅力が無いからです。もっと若い人達の力を集めて、アイデアを募り、アピールする事。今の時代はそれが一番です。さつま町ってどこ？って今でも言われますよ。本当に。

・森林開発保全について。近頃木材（丸太）を積んだトラックが行き来しているのをよく見かけます。当初は小径木だったが、最近は建築資材にも使えそうなものも多い。さつま町では自然電力としてバイオマス発電所があり、そこでも高価買取されているらしい。発電に際して、カーボンニュートラル等何も問題はないのだろうか？杉等が伐採され、後見らずで雑草が繁っている荒れた山が多い。昔は伐採したら直ぐに苗木を植え育てていた。近年郷土愛が薄れ、生活に重点を置く若者が増えたように感じる。又、故郷を離れ、手が届かない方々もいるだろう。我が心のふるさとを緑いっぱいに出たら、脱炭素に少しでも協力出来ないだろうか。例えば、苗木の助成や、休耕田も利用出来る場所があります。これからの森林を守り育てて下さる行政の後押し運動が必要不可欠ではないだろうか。

・問7の質問のところは少し見づらいです。うらのページになると、質問が多い上に前ページを見ながら答えるところがやりにくかったです。仕事をしてるとアンケートの量が多いと少し疲れます。1、2分で答えられるぐらいに少しまとめてほしいです。

生ゴミの収集が始まって数年経ちます。小さく切ってからバケツに入れるようにと防災無線でよく言われます。正直言って大変です。導入当時は画期的な良策だと思いましたが、現在の状況はどうなっているのでしょうか？だんだん年をとっていくに連れ、増々大変になっていくのではないかと危惧しています。また、生ゴミは堆肥になるとのことですが、合成洗剤を使用される方が多い中で、現在の台所の構造上、合成洗剤のふりかかった生ゴミが堆肥になることに問題はないのでしょうか？余計な心配かもしれませんが…。

・空き家、空き地、遊休農地、もったいないな一と思えます。さつま町を活性化できる様に何か仕組みがあると嬉しいです。需要と供給はあると思うので、あとはそれをマッチングさせるだけ？ただ具体的な案は思いつきません。

・私が平成 17 年 4 月に入居した時は、環境も良く住み易い環境でしたが、その後現在まで悪環境に成っている。屋根瓦、庭（四方八方）、その他汚染され、公共施設であるか又は山役場に何回も促しをしたが対策されていない。10 数年前から目、鼻が痛くて平成 24 年からメガネを着用し、2 回交換をしている（私は身体障害者（難聴）です）。

・環境活動への助成・支援の充実。

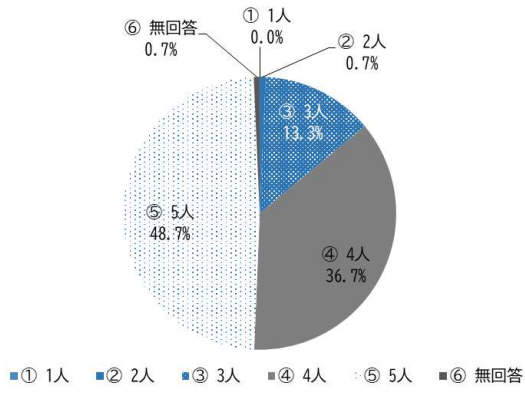
・外でゴミなど燃やすのをやめてほしい。

- ・ごみの分別で、ガラス部分とプラスチックで作ってある物など（めんつゆ・ドレッシング）、分けるのが面倒です。消費者にだけ分別を求めず、企業も分別しやすいよう考えてほしい！
- ・今まで当たり前になり余り考えることもなく、深い興味もなしに過ごしていました。このアンケートで色々なことに関心が出来ました。散歩の時、カズラが巻きつき役に立たない歩道、雑草の生えた公園等の花壇、放作地、この先どうなるか心配ですね。空き家の中、手入れのない家の周り、住んでおられた方の顔を思い悲しくなります。先日出水の町を通った時、問14の看板を見かけました。このアンケートを見ていましたので気が付いたのです。高齢の私は面倒なアンケートと思いましたが、すごく勉強になりました。有難うございました！！
- ・暑い時でも影のある遊び場所、屋外が欲しいです。盈進小は大きな木を大事にして下さり、運動場に木陰ができるのでありがたいです。路上の木が減っている気がします。地区で鉢に花を植える活動がありますが、草取りがしにくく、水かけの負担があり困っています。継続しやすい、コミュニケーションをとりやすい環境活動に変えて欲しいです。
- ・政治家のポスターが街の景観を壊しています。要らないです、自然の中におじさん達の顔写真。仕方ないのかもしれませんが、どこにでもあり景観が悪いです。太陽光パネルは森林破壊、外国企業、中国製（ウイグル）、有害産業廃棄物、事業者の不透明さ等、全国各地で問題視されているようですが、推進される場合は企業や町から住民に説明をして頂きたい。

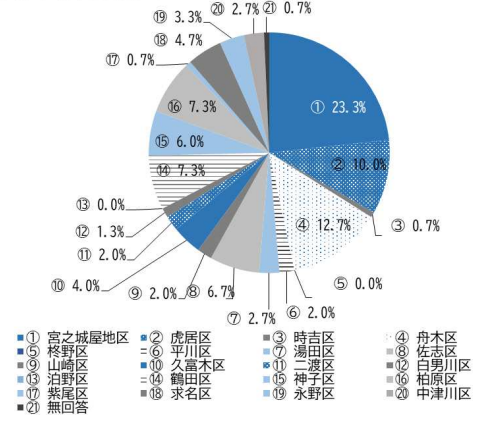
町民アンケート（中学生）

(2) 町民アンケート（中学生）

問1 世帯人数



問2 居住地区

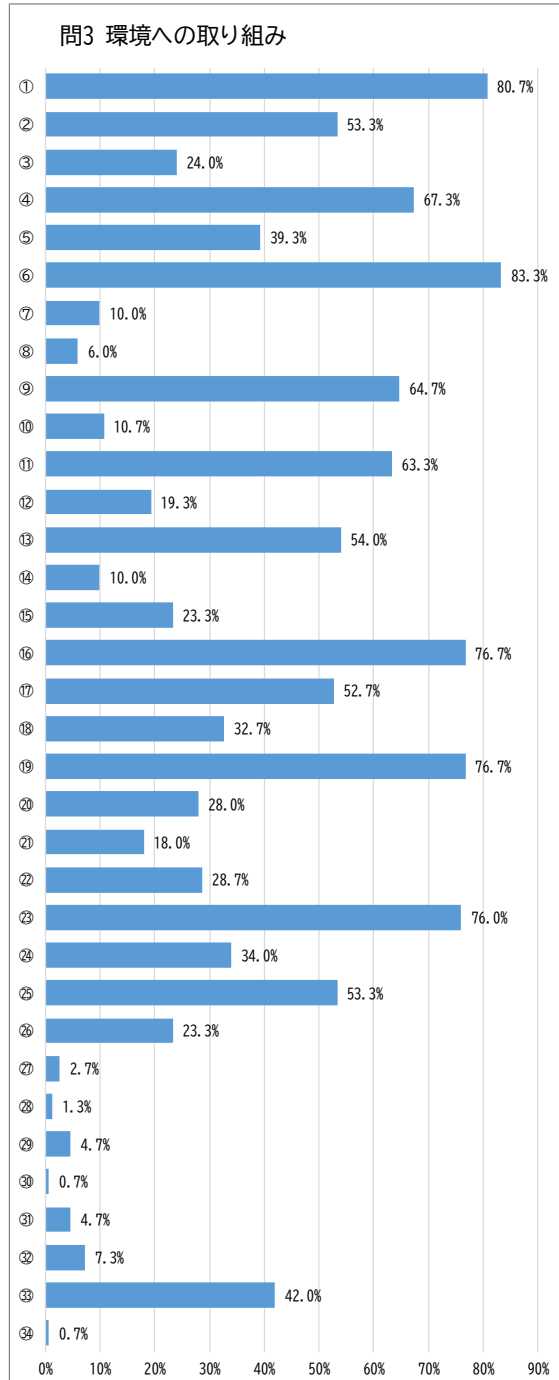


町民アンケート（中学生）

問3 あなたやあなたのご家族は普段の生活のなかで、環境に配慮していますか。【複数回答：いくつでも】

回答者の中で最も多かったのは、⑥で83.3%となっており、次いで①で80.7%、⑬、⑱で76.7%であり、日々の生活で個々に行えることから進んで実践しています。

項目	回答数	%
① 流しではごみ取りネットなどを利用し、生ごみを流さないように心がけている	121	80.7%
② 牛乳パックやトレーなどはリサイクルに出している	80	53.3%
③ 生ごみを堆肥化（コンポスト化）している	36	24.0%
④ 古紙や空き缶、空きびん、金属類、ペットボトル類のリサイクルを行なっている	101	67.3%
⑤ 不用品はリサイクルショップや人に譲るなどリユース（再利用）する	59	39.3%
⑥ レジ袋を使わないよう買物袋を持参している	125	83.3%
⑦ ペットボトル容器の商品の購入を控えている	15	10.0%
⑧ リサイクルできる商品やリサイクルした原料を使っている商品を選んで購入するようにしている	9	6.0%
⑨ 詰め替え製品を積極的に利用している	97	64.7%
⑩ 省エネルギー型の製品を選んで購入するようにしている	16	10.7%
⑪ 食事は作り過ぎず、食べ残さないようにしている	95	63.3%
⑫ 食材を使い切る食品ロス削減レシピを活用する	29	19.3%
⑬ 調理後の油は、固めるあるいは吸わせるなどして、ごみとして捨て、流しに流さないようにしている	81	54.0%
⑭ 合成洗剤を使わずに、石けんを使っている	15	10.0%
⑮ 風呂の残り湯は洗濯・掃除に利用している	35	23.3%
⑯ 水道はこまめに止めている	115	76.7%
⑰ 冷暖房を極力使用しない又は設定温度は控えめにしている	79	52.7%
⑱ 家電製品の主電源をこまめに切り、待機電力を消費しないようにしている	49	32.7%
⑲ 照明をこまめに切っている	115	76.7%
⑳ 車の停車時はアイドリングストップを行なっている	42	28.0%
㉑ マイカー利用を避け、徒歩・自転車・原動機付自転車を積極的に利用している	27	18.0%
㉒ 太陽熱温水器や太陽光パネルの設置など環境にやさしいエネルギーを利用している	43	28.7%
㉓ ごみのポイ捨てをしない又は日常生活の中でごみを拾っている	114	76.0%
㉔ 地域や自宅周辺の清掃活動を行なっている	51	34.0%
㉕ 行楽のごみは自宅に持ち帰っている	80	53.3%
㉖ 花壇作りや植樹などの緑化活動を行なっている	35	23.3%
㉗ 環境調査や自然観察会などに参加している	4	2.7%
㉘ 森林保全に関する活動に参加している	2	1.3%
㉙ 環境保全のための寄付を行なっている	7	4.7%
㉚ 環境に関する講演会に参加する	1	0.7%
㉛ 家庭で環境問題について話し合う	7	4.7%
㉜ 外来生物を防除する	11	7.3%
㉝ 飼っている動植物を自然に放さない	63	42.0%
㉞ 無回答	1	0.7%
小計	150	100.0%



町民アンケート（中学生）

問4 あなたの住んでいる地域の環境や取り組みについて、現状の「満足度」と今後の取り組みの「重要度」をおたずねします。【選択は1つ】

満足度が最も高いものは「7. 身近な緑の多さ」となっており、一方で最も低いのは「4. いやなにおい（悪臭）の少なさ」となっていました。

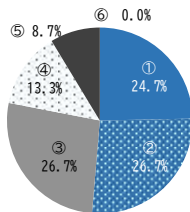
また、重要度が最も高いものは「3. 空気のきれいさ」となっており満足度は52.0%と高く、一方で最も低いのは「24. イベントや取り組みなど環境情報の入手状況」となっていました。

【満足度】

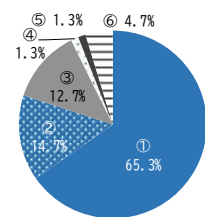
【重要度】

1. 川や水路の水のきれいさ

項目	回答数	%
① 満足している	37	24.7%
② やや満足している	40	26.7%
③ どちらともいえない	40	26.7%
④ やや不満である	20	13.3%
⑤ 不満である	13	8.7%
⑥ 無回答	0	0.0%
小計	150	100.0%

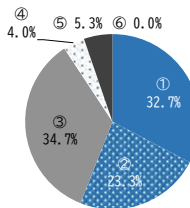


項目	回答数	%
① 重要である	98	65.3%
② やや重要している	22	14.7%
③ どちらともいえない	19	12.7%
④ あまり重要でない	2	1.3%
⑤ 重要でない	2	1.3%
⑥ 無回答	7	4.7%
小計	150	100.0%

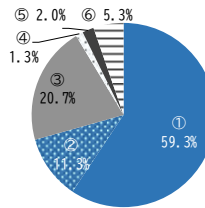


2. 家庭や事業所からの汚水処理の状況

項目	回答数	%
① 満足している	49	32.7%
② やや満足している	35	23.3%
③ どちらともいえない	52	34.7%
④ やや不満である	6	4.0%
⑤ 不満である	8	5.3%
⑥ 無回答	0	0.0%
小計	150	100.0%

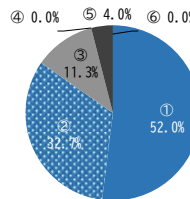


項目	回答数	%
① 重要である	89	59.3%
② やや重要している	17	11.3%
③ どちらともいえない	31	20.7%
④ あまり重要でない	2	1.3%
⑤ 重要でない	3	2.0%
⑥ 無回答	8	5.3%
小計	150	100.0%

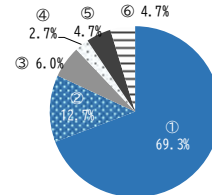


3. 空気のきれいさ

項目	回答数	%
① 満足している	78	52.0%
② やや満足している	49	32.7%
③ どちらともいえない	17	11.3%
④ やや不満である	0	0.0%
⑤ 不満である	6	4.0%
⑥ 無回答	0	0.0%
小計	150	100.0%

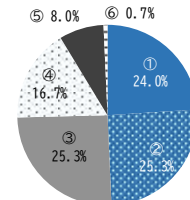


項目	回答数	%
① 重要である	104	69.3%
② やや重要している	19	12.7%
③ どちらともいえない	9	6.0%
④ あまり重要でない	4	2.7%
⑤ 重要でない	7	4.7%
⑥ 無回答	7	4.7%
小計	150	100.0%

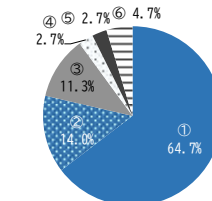


4. いやなにおい（悪臭）の少なさ

項目	回答数	%
① 満足している	36	24.0%
② やや満足している	38	25.3%
③ どちらともいえない	38	25.3%
④ やや不満である	25	16.7%
⑤ 不満である	12	8.0%
⑥ 無回答	1	0.7%
小計	150	100.0%



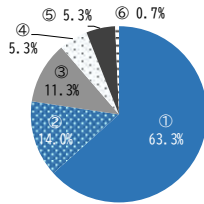
項目	回答数	%
① 重要である	97	64.7%
② やや重要している	21	14.0%
③ どちらともいえない	17	11.3%
④ あまり重要でない	4	2.7%
⑤ 重要でない	4	2.7%
⑥ 無回答	7	4.7%
小計	150	100.0%



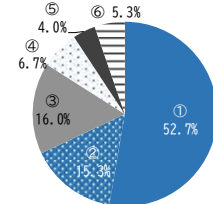
町民アンケート（中学生）

5. 家の周りの静けさ

項目	回答数	%
① 満足している	95	63.3%
② やや満足している	21	14.0%
③ どちらともいえない	17	11.3%
④ やや不満である	8	5.3%
⑤ 不満である	8	5.3%
⑥ 無回答	1	0.7%
小計	150	99.9%

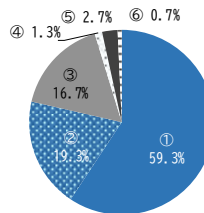


項目	回答数	%
① 重要である	79	52.7%
② やや重要している	23	15.3%
③ どちらともいえない	24	16.0%
④ あまり重要でない	10	6.7%
⑤ 重要でない	6	4.0%
⑥ 無回答	8	5.3%
小計	150	100.0%

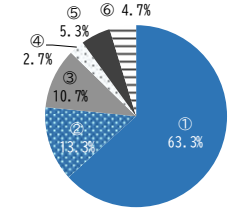


6. 水（水道）のおいしさ

項目	回答数	%
① 満足している	89	59.3%
② やや満足している	29	19.3%
③ どちらともいえない	25	16.7%
④ やや不満である	2	1.3%
⑤ 不満である	4	2.7%
⑥ 無回答	1	0.7%
小計	150	100.0%

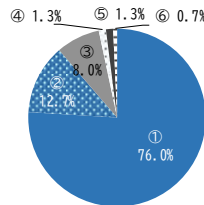


項目	回答数	%
① 重要である	95	63.3%
② やや重要している	20	13.3%
③ どちらともいえない	16	10.7%
④ あまり重要でない	4	2.7%
⑤ 重要でない	8	5.3%
⑥ 無回答	7	4.7%
小計	150	100.0%

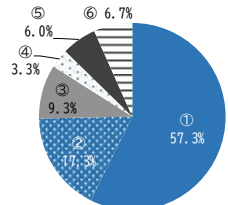


7. 身近な緑の多さ

項目	回答数	%
① 満足している	114	76.0%
② やや満足している	19	12.7%
③ どちらともいえない	12	8.0%
④ やや不満である	2	1.3%
⑤ 不満である	2	1.3%
⑥ 無回答	1	0.7%
小計	150	100.0%

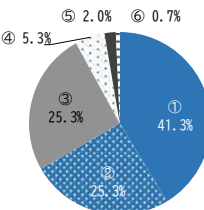


項目	回答数	%
① 重要である	86	57.3%
② やや重要している	26	17.3%
③ どちらともいえない	14	9.3%
④ あまり重要でない	5	3.3%
⑤ 重要でない	9	6.0%
⑥ 無回答	10	6.7%
小計	150	100.0%

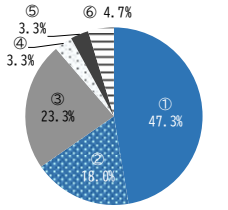


8. 水辺や野山の生きものの生息状況

項目	回答数	%
① 満足している	62	41.3%
② やや満足している	38	25.3%
③ どちらともいえない	38	25.3%
④ やや不満である	8	5.3%
⑤ 不満である	3	2.0%
⑥ 無回答	1	0.7%
小計	150	100.0%

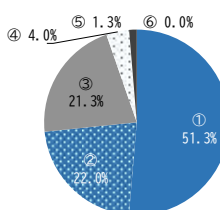


項目	回答数	%
① 重要である	71	47.3%
② やや重要している	27	18.0%
③ どちらともいえない	35	23.3%
④ あまり重要でない	5	3.3%
⑤ 重要でない	5	3.3%
⑥ 無回答	7	4.7%
小計	150	100.0%

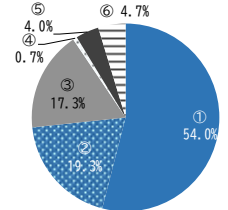


9. 水と緑に囲まれた自然景観の保全

項目	回答数	%
① 満足している	77	51.3%
② やや満足している	33	22.0%
③ どちらともいえない	32	21.3%
④ やや不満である	6	4.0%
⑤ 不満である	2	1.3%
⑥ 無回答	0	0.0%
小計	150	100.0%

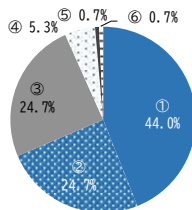


項目	回答数	%
① 重要である	81	54.0%
② やや重要している	29	19.3%
③ どちらともいえない	26	17.3%
④ あまり重要でない	1	0.7%
⑤ 重要でない	6	4.0%
⑥ 無回答	7	4.7%
小計	150	100.0%

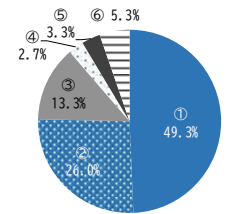


10. 水や緑など自然に親しめる場の整備

項目	回答数	%
① 満足している	66	44.0%
② やや満足している	37	24.7%
③ どちらともいえない	37	24.7%
④ やや不満である	8	5.3%
⑤ 不満である	1	0.7%
⑥ 無回答	1	0.7%
小計	150	100.0%



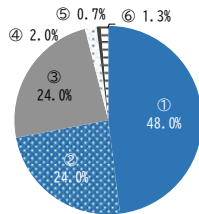
項目	回答数	%
① 重要である	74	49.3%
② やや重要している	39	26.0%
③ どちらともいえない	20	13.3%
④ あまり重要でない	4	2.7%
⑤ 重要でない	5	3.3%
⑥ 無回答	8	5.3%
小計	150	100.0%



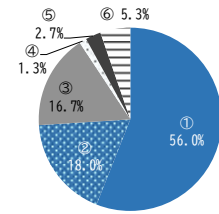
町民アンケート（中学生）

11. 地産地消(地場農産物の消費)の取り組み

項目	回答数	%
① 満足している	72	48.0%
② やや満足している	36	24.0%
③ どちらともいえない	36	24.0%
④ やや不満である	3	2.0%
⑤ 不満である	1	0.7%
⑥ 無回答	2	1.3%
小計	150	100.0%

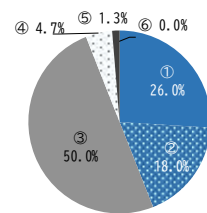


項目	回答数	%
① 重要である	84	56.0%
② やや重要している	27	18.0%
③ どちらともいえない	25	16.7%
④ あまり重要でない	2	1.3%
⑤ 重要でない	4	2.7%
⑥ 無回答	8	5.3%
小計	150	100.0%

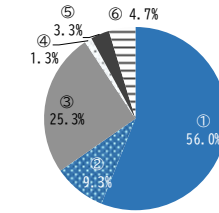


12. 希少な野生生物の保護状況

項目	回答数	%
① 満足している	39	26.0%
② やや満足している	27	18.0%
③ どちらともいえない	75	50.0%
④ やや不満である	7	4.7%
⑤ 不満である	2	1.3%
⑥ 無回答	0	0.0%
小計	150	100.0%

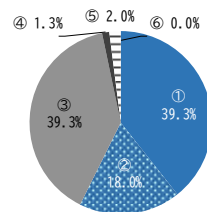


項目	回答数	%
① 重要である	84	56.0%
② やや重要している	14	9.3%
③ どちらともいえない	38	25.3%
④ あまり重要でない	2	1.3%
⑤ 重要でない	5	3.3%
⑥ 無回答	7	4.7%
小計	150	100.0%

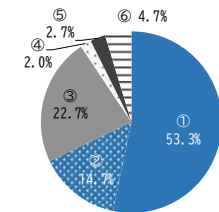


13. 史跡や文化財の保護

項目	回答数	%
① 満足している	59	39.3%
② やや満足している	27	18.0%
③ どちらともいえない	59	39.3%
④ やや不満である	2	1.3%
⑤ 不満である	3	2.0%
⑥ 無回答	0	0.0%
小計	150	100.0%

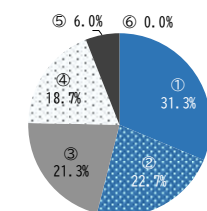


項目	回答数	%
① 重要である	80	53.3%
② やや重要している	22	14.7%
③ どちらともいえない	34	22.7%
④ あまり重要でない	3	2.0%
⑤ 重要でない	4	2.7%
⑥ 無回答	7	4.7%
小計	150	100.0%

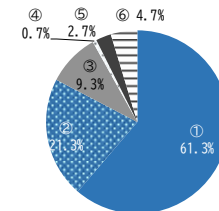


14. 歩道や自転車道の整備状況

項目	回答数	%
① 満足している	47	31.3%
② やや満足している	34	22.7%
③ どちらともいえない	32	21.3%
④ やや不満である	28	18.7%
⑤ 不満である	9	6.0%
⑥ 無回答	0	0.0%
小計	150	100.0%

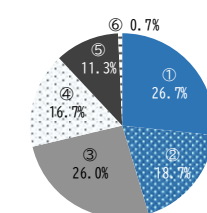


項目	回答数	%
① 重要である	92	61.3%
② やや重要している	32	21.3%
③ どちらともいえない	14	9.3%
④ あまり重要でない	1	0.7%
⑤ 重要でない	4	2.7%
⑥ 無回答	7	4.7%
小計	150	100.0%

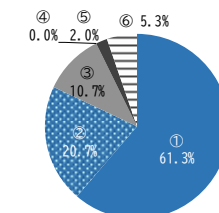


15. 交通機関の利便性

項目	回答数	%
① 満足している	40	26.7%
② やや満足している	28	18.7%
③ どちらともいえない	39	26.0%
④ やや不満である	25	16.7%
⑤ 不満である	17	11.3%
⑥ 無回答	1	0.7%
小計	150	100.0%

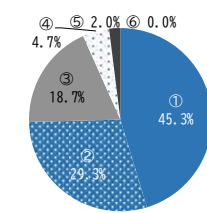


項目	回答数	%
① 重要である	92	61.3%
② やや重要している	31	20.7%
③ どちらともいえない	16	10.7%
④ あまり重要でない	0	0.0%
⑤ 重要でない	3	2.0%
⑥ 無回答	8	5.3%
小計	150	100.0%

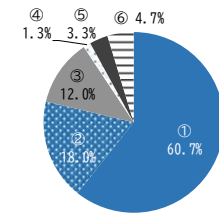


16. お住まいの地域の美しさ

項目	回答数	%
① 満足している	68	45.3%
② やや満足している	44	29.3%
③ どちらともいえない	28	18.7%
④ やや不満である	7	4.7%
⑤ 不満である	3	2.0%
⑥ 無回答	0	0.0%
小計	150	100.0%



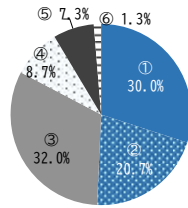
項目	回答数	%
① 重要である	91	60.7%
② やや重要している	27	18.0%
③ どちらともいえない	18	12.0%
④ あまり重要でない	2	1.3%
⑤ 重要でない	5	3.3%
⑥ 無回答	7	4.7%
小計	150	100.0%



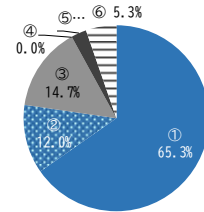
町民アンケート（中学生）

17. 廃棄物の不法投棄の状況

項目	回答数	%
① 満足している	45	30.0%
② やや満足している	31	20.7%
③ どちらともいえない	48	32.0%
④ やや不満である	13	8.7%
⑤ 不満である	11	7.3%
⑥ 無回答	2	1.3%
小計	150	100.0%

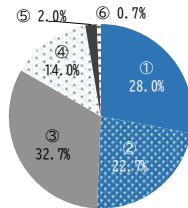


項目	回答数	%
① 重要である	98	65.3%
② やや重要している	18	12.0%
③ どちらともいえない	22	14.7%
④ あまり重要でない	0	0.0%
⑤ 重要でない	4	2.7%
⑥ 無回答	8	5.3%
小計	150	100.0%

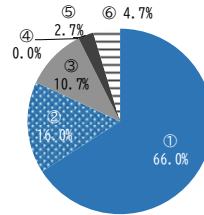


18. 自然災害に対する安全性

項目	回答数	%
① 満足している	42	28.0%
② やや満足している	34	22.7%
③ どちらともいえない	49	32.7%
④ やや不満である	21	14.0%
⑤ 不満である	3	2.0%
⑥ 無回答	1	0.7%
小計	150	100.0%

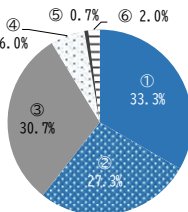


項目	回答数	%
① 重要である	99	66.0%
② やや重要している	24	16.0%
③ どちらともいえない	16	10.7%
④ あまり重要でない	0	0.0%
⑤ 重要でない	4	2.7%
⑥ 無回答	7	4.7%
小計	150	100.0%

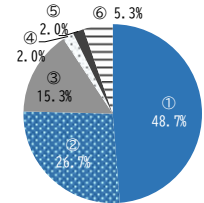


19. 家庭での省エネルギーへの取り組み

項目	回答数	%
① 満足している	50	33.3%
② やや満足している	41	27.3%
③ どちらともいえない	46	30.7%
④ やや不満である	9	6.0%
⑤ 不満である	1	0.7%
⑥ 無回答	3	2.0%
小計	150	100.0%

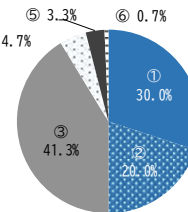


項目	回答数	%
① 重要である	73	48.7%
② やや重要している	40	26.7%
③ どちらともいえない	23	15.3%
④ あまり重要でない	3	2.0%
⑤ 重要でない	3	2.0%
⑥ 無回答	8	5.3%
小計	150	100.0%

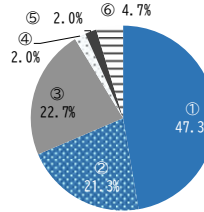


20. 太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入

項目	回答数	%
① 満足している	45	30.0%
② やや満足している	30	20.0%
③ どちらともいえない	62	41.3%
④ やや不満である	7	4.7%
⑤ 不満である	5	3.3%
⑥ 無回答	1	0.7%
小計	150	100.0%

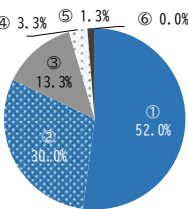


項目	回答数	%
① 重要である	71	47.3%
② やや重要している	32	21.3%
③ どちらともいえない	34	22.7%
④ あまり重要でない	3	2.0%
⑤ 重要でない	3	2.0%
⑥ 無回答	7	4.7%
小計	150	100.0%

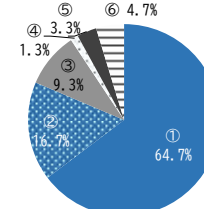


21. 家庭からのごみの分別やし出し方のマナー

項目	回答数	%
① 満足している	78	52.0%
② やや満足している	45	30.0%
③ どちらともいえない	20	13.3%
④ やや不満である	5	3.3%
⑤ 不満である	2	1.3%
⑥ 無回答	0	0.0%
小計	150	100.0%



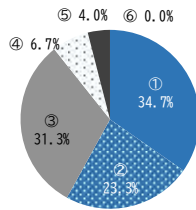
項目	回答数	%
① 重要である	97	64.7%
② やや重要している	25	16.7%
③ どちらともいえない	14	9.3%
④ あまり重要でない	2	1.3%
⑤ 重要でない	5	3.3%
⑥ 無回答	7	4.7%
小計	150	100.0%



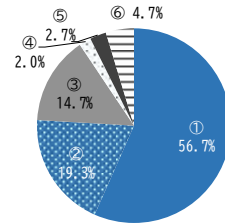
町民アンケート（中学生）

22. 町民一人ひとりの環境に対する意識

項目	回答数	%
① 満足している	52	34.7%
② やや満足している	35	23.3%
③ どちらともいえない	47	31.3%
④ やや不満である	10	6.7%
⑤ 不満である	6	4.0%
⑥ 無回答	0	0.0%
小計	150	100.0%

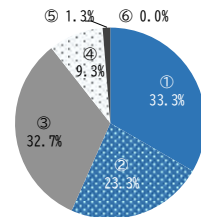


項目	回答数	%
① 重要である	85	56.7%
② やや重要している	29	19.3%
③ どちらともいえない	22	14.7%
④ あまり重要でない	3	2.0%
⑤ 重要でない	4	2.7%
⑥ 無回答	7	4.7%
小計	150	100.0%

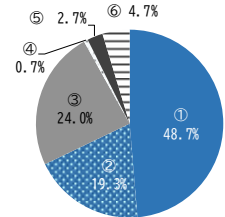


23. 環境教育・環境学習の状況

項目	回答数	%
① 満足している	50	33.3%
② やや満足している	35	23.3%
③ どちらともいえない	49	32.7%
④ やや不満である	14	9.3%
⑤ 不満である	2	1.3%
⑥ 無回答	0	0.0%
小計	150	100.0%

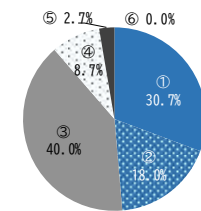


項目	回答数	%
① 重要である	73	48.7%
② やや重要している	29	19.3%
③ どちらともいえない	36	24.0%
④ あまり重要でない	1	0.7%
⑤ 重要でない	4	2.7%
⑥ 無回答	7	4.7%
小計	150	100.0%

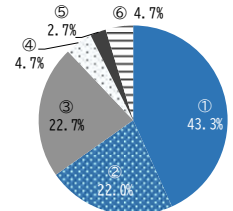


24. イベントや取り組みなど環境情報の入手状況

項目	回答数	%
① 満足している	46	30.7%
② やや満足している	27	18.0%
③ どちらともいえない	60	40.0%
④ やや不満である	13	8.7%
⑤ 不満である	4	2.7%
⑥ 無回答	0	0.0%
小計	150	100.0%

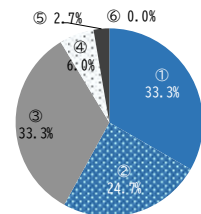


項目	回答数	%
① 重要である	65	43.3%
② やや重要している	33	22.0%
③ どちらともいえない	34	22.7%
④ あまり重要でない	7	4.7%
⑤ 重要でない	4	2.7%
⑥ 無回答	7	4.7%
小計	150	100.0%

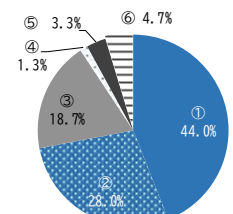


25. 地域の美化など環境保全活動の状況

項目	回答数	%
① 満足している	50	33.3%
② やや満足している	37	24.7%
③ どちらともいえない	50	33.3%
④ やや不満である	9	6.0%
⑤ 不満である	4	2.7%
⑥ 無回答	0	0.0%
小計	150	100.0%



項目	回答数	%
① 重要である	66	44.0%
② やや重要している	42	28.0%
③ どちらともいえない	28	18.7%
④ あまり重要でない	2	1.3%
⑤ 重要でない	5	3.3%
⑥ 無回答	7	4.7%
小計	150	100.0%



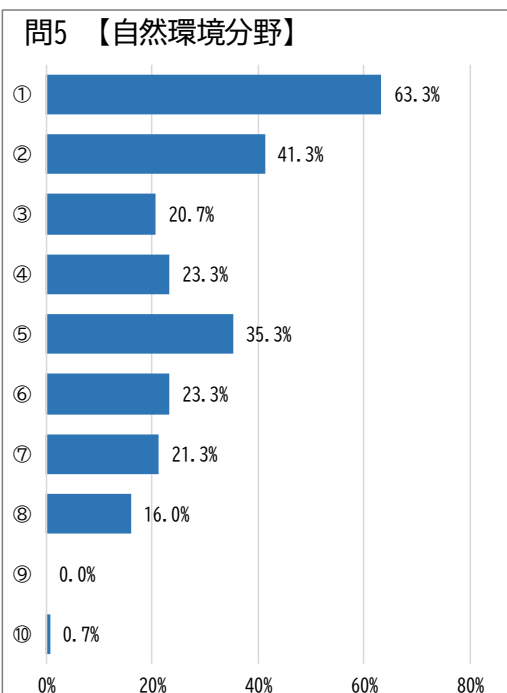
町民アンケート（中学生）

問5 環境をよりよくしていくために、今後、さつま町はどのような施策を重点的に進めていくべきだとお考えですか。【複数選択：3つ】

【自然環境分野】

回答者の中で最も多かったのは、①で 63.3%となっており、自然の保全が求められています。

項目	回答数	%
① 優れた自然の保全	95	63.3%
② 優れた自然の活用	62	41.3%
③ 農林漁業地域の良好な景観の保全	31	20.7%
④ 無秩序な開発の防止	35	23.3%
⑤ 森林の荒廃防止	53	35.3%
⑥ 多様な動植物の生息場所の保全	35	23.3%
⑦ 国や県との連携による野生動植物の保護・管理(害獣駆除を含む)	32	21.3%
⑧ 樹木の植林	24	16.0%
⑨ その他	0	0.0%
⑩ 無回答	1	0.7%
小計	150	100.0%

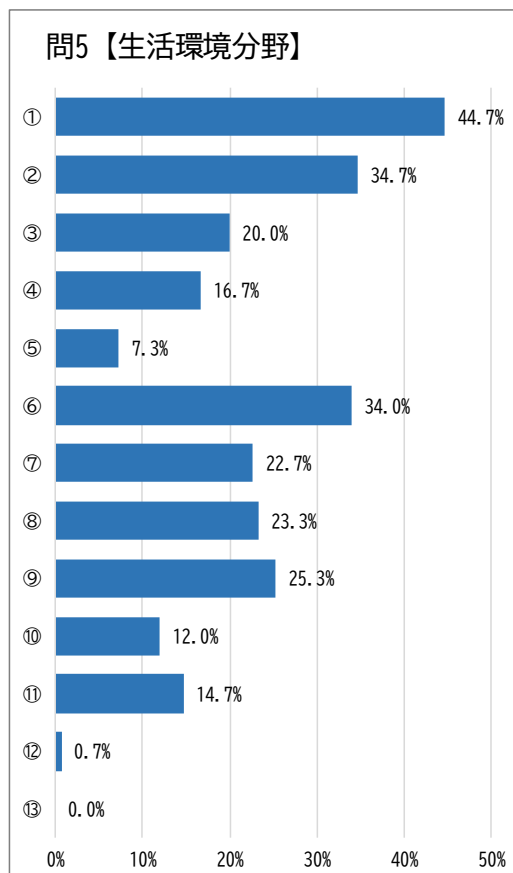


町民アンケート（中学生）

【生活環境分野】

回答者の中で最も多かったのは、①で 44.7%となっており、公害防止対策が求められています。

項目	回答数	%
① 公害防止対策の充実	67	44.7%
② 河川浄化対策の実施	52	34.7%
③ 地下水の水質保全	30	20.0%
④ 下水道等の整備	25	16.7%
⑤ 合併処理浄化槽の設置促進	11	7.3%
⑥ ごみの発生抑制	51	34.0%
⑦ 適正なりサイクルの推進	34	22.7%
⑧ ごみ等の適正な処理の推進	35	23.3%
⑨ 不法投棄防止対策の推進	38	25.3%
⑩ 水資源の保全	18	12.0%
⑪ 節水や雨水利用の推進	22	14.7%
⑫ その他	1	0.7%
⑬ 無回答	0	0.0%
小計	150	100.0%



その他

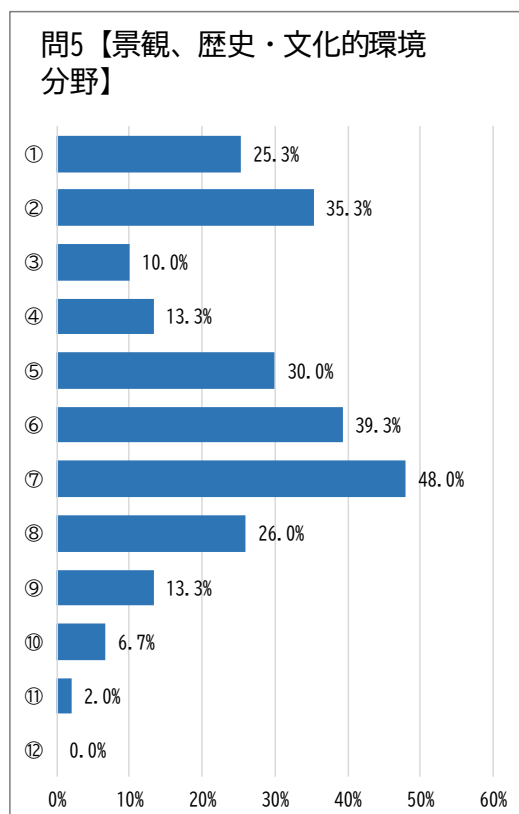
・災害への安全性

町民アンケート（中学生）

【景観、歴史・文化的環境分野】

回答者の中で最も多かったのは、⑦で 48.0%となっており、安全な道路空間の確保が求められています。

項目	回答数	%
① 多自然づくりの推進	38	25.3%
② 河川敷公園の活用	53	35.3%
③ ため池の保全と活用	15	10.0%
④ 里山・緑地の保全、樹木等の保存	20	13.3%
⑤ 公園緑地の整備、緑の創出	45	30.0%
⑥ 快適な住環境の確保	59	39.3%
⑦ 安全な道路空間の確保	72	48.0%
⑧ 建物や緑と道路等が調和のとれた景観の形成	39	26.0%
⑨ 歴史・文化資源の保全	20	13.3%
⑩ 歴史・文化資源を活かしたまちづくりの推進	10	6.7%
⑪ その他	3	2.0%
⑫ 無回答	0	0.0%
小計	150	100.0%



その他

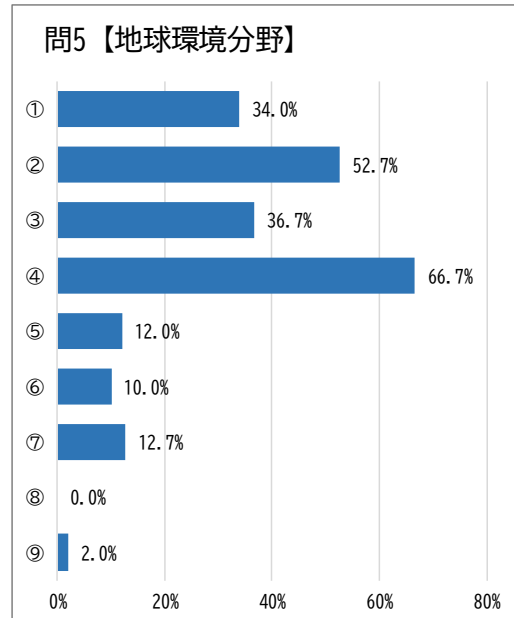
- ・交通道路の整備
- ・交通の利便性の向上
- ・全て大事かと思います。

町民アンケート（中学生）

【地球環境分野】

回答者の中で最も多かったのは、④で 66.7%となっており、地球温暖化防止としての自然の確保が求められています。

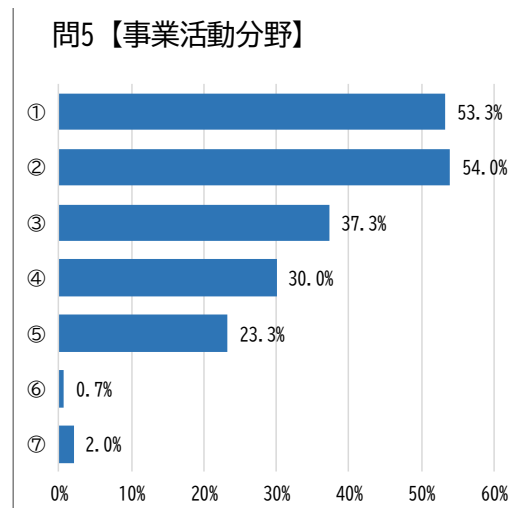
項目	回答数	%
① 環境に配慮したライフスタイル・ビジネススタイルの推進	51	34.0%
② エネルギーの省力化・効率化の促進	79	52.7%
③ クリーンエネルギーの利用促進	55	36.7%
④ 二酸化炭素吸収源としての植林や緑化	100	66.7%
⑤ オゾン層保護対策の推進	18	12.0%
⑥ 酸性雨等に係る対策の推進	15	10.0%
⑦ 民間団体等との連携による活動の推進	19	12.7%
⑧ その他	0	0.0%
⑨ 無回答	3	2.0%
小計	150	100.0%



【事業活動分野】

回答者の中で最も多かったのは、②で 54.0%となっており、車両から排出される二酸化炭素等への関心が高くなっています。

項目	回答数	%
① 地球環境に配慮した農林水産業の確立	80	53.3%
② 環境への負担の少ない商工業等の確立	81	54.0%
③ 環境に配慮した運輸業・建設業の確立	56	37.3%
④ 環境に配慮した工業振興方針の確立	45	30.0%
⑤ 事業者に対する環境管理意識の啓発	35	23.3%
⑥ その他	1	0.7%
⑦ 無回答	3	2.0%
小計	150	100.0%



その他

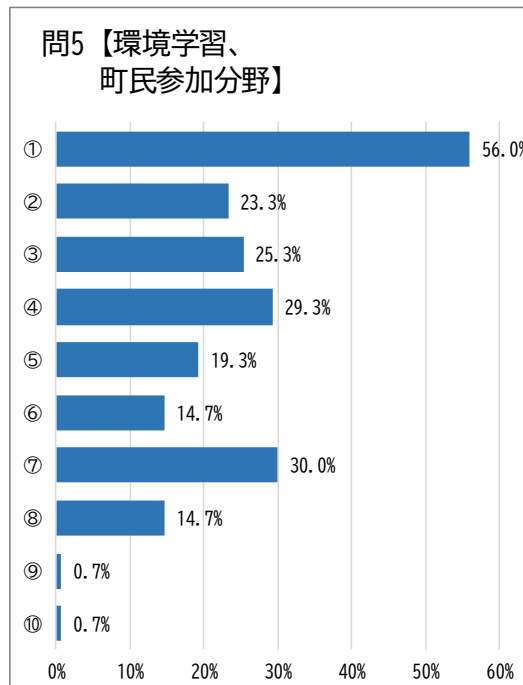
・ 特にない。

町民アンケート（中学生）

【環境学習、町民参加分野】

回答者の中で最も多かったのは、①で 56.0%となっており、環境学習の推進が求められています。

項目	回答数	%
① 学校における環境学習の推進	84	56.0%
② 環境学習の機会と場の創出	35	23.3%
③ 環境学習の指導者の育成	38	25.3%
④ 環境に関する情報の提供	44	29.3%
⑤ 環境学習を推進する組織としくみづくり	29	19.3%
⑥ 町民協働で環境活動を推進するためのしくみづくり	22	14.7%
⑦ 環境問題に取り組む活動団体の拠点づくり	45	30.0%
⑧ 環境問題に取り組む人材の育成や活動団体の支援	22	14.7%
⑨ その他	1	0.7%
⑩ 無回答	1	0.7%
小計	150	100.0%

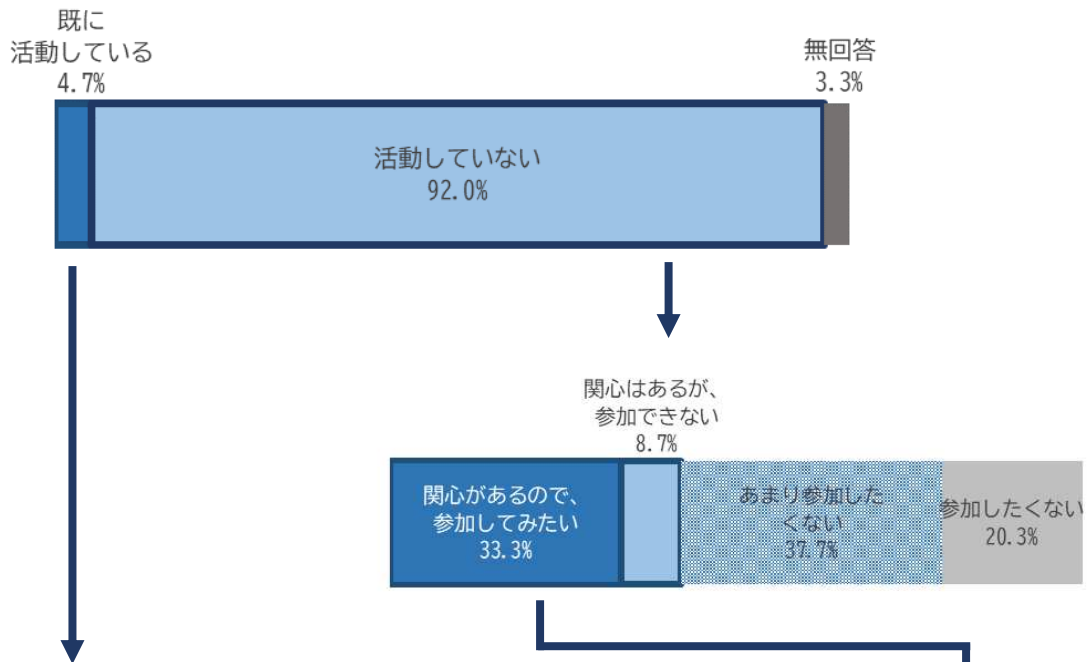


その他

・ 特にない。

町民アンケート（中学生）

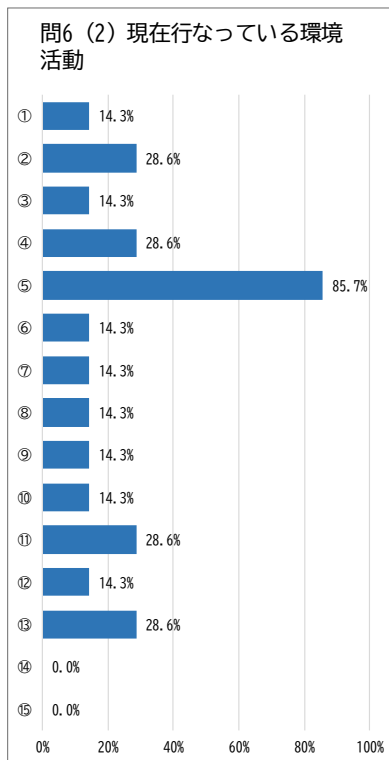
問6（1） あなたは環境活動に参加したいと思いますか。【選択は1つ】



問6（2） あなたは、現在どのような環境活動を行なっていますか。

【複数回答：いくつでも】

項目	回答数	%
① 環境問題等に関する講演会・講習会	1	14.3%
② 自然観察会	2	28.6%
③ 自然林や野生生物等の自然保護活動	1	14.3%
④ 花壇作りや植樹などの緑化運動	2	28.6%
⑤ 地域の清掃活動	6	85.7%
⑥ 森林保全に関する活動	1	14.3%
⑦ 河川環境保全活動	1	14.3%
⑧ 環境基金など環境保全のための寄付	1	14.3%
⑨ 生ごみの堆肥化(コンポスト化)	1	14.3%
⑩ 電気自動車の導入	1	14.3%
⑪ 太陽光パネルの設置などの自然エネルギー・再生可能エネルギーの利用	2	28.6%
⑫ フリーマーケットなどを活用したりリサイクルや資源回収活動	1	14.3%
⑬ 買い物時の買い物袋の持参やリサイクル商品の購入の推進	2	28.6%
⑭ その他	0	0.0%
⑮ 無回答	0	0.0%
小計	7	100.0%

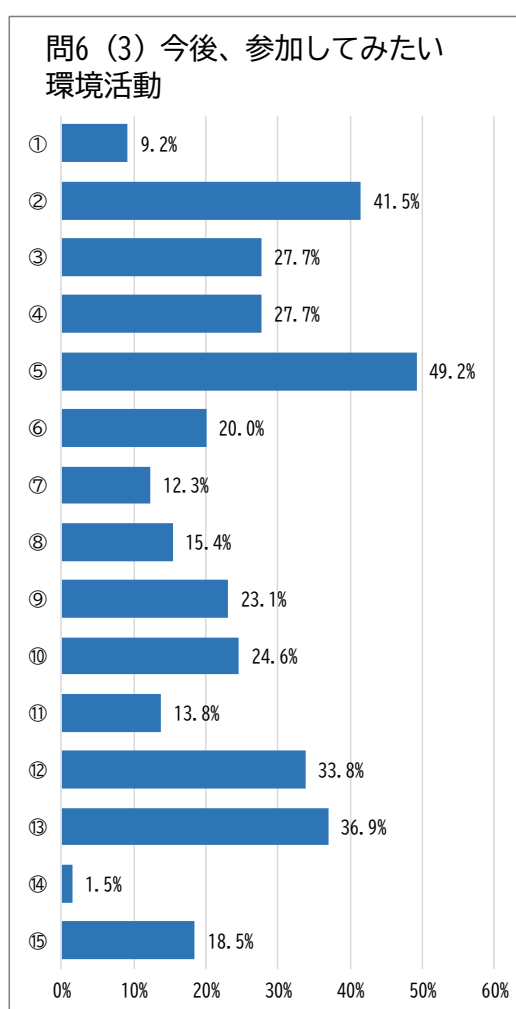


町民アンケート（中学生）

問6（3）今後、参加してみたい環境活動はどれですか。【複数回答：いくつでも】

回答者の中で最も多かったのは、⑤で 49.2%となっており、清掃活動への意欲が高くなっています。

項目	回答数	%
① 環境問題等に関する講演会・講習会	6	9.2%
② 自然観察会	27	41.5%
③ 自然林や野生生物等の自然保護活動	18	27.7%
④ 花壇作りや植樹などの緑化運動	18	27.7%
⑤ 地域の清掃活動	32	49.2%
⑥ 森林保全に関する活動	13	20.0%
⑦ 河川環境保全活動	8	12.3%
⑧ 環境基金など環境保全のための寄付	10	15.4%
⑨ 生ごみの堆肥化(コンポスト化)	15	23.1%
⑩ 電気自動車の導入	16	24.6%
⑪ 太陽光パネルの設置などの自然エネルギー・再生可能エネルギーの利用	9	13.8%
⑫ フリーマーケットなどを活用したリサイクルや資源回収活動	22	33.8%
⑬ 買い物時の買い物袋の持参やリサイクル商品の購入の推進	24	36.9%
⑭ その他	1	1.5%
⑮ 無回答	12	18.5%
小計	65	100.0%

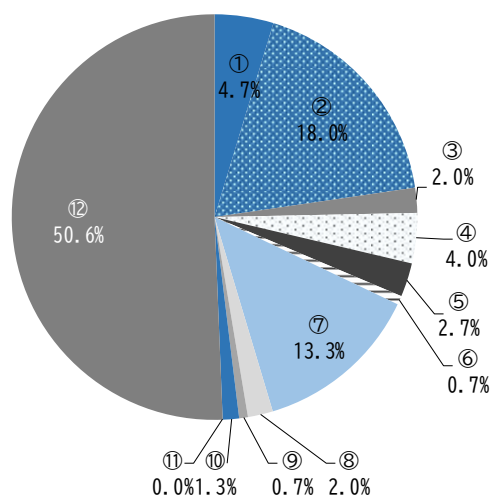


町民アンケート（中学生）

問7 町民の環境活動をより活発にするために、特にどのような取り組みが進められることを望みますか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、②で 18.0%となっており、イベントの開催が求められています。無回答が 50.7%いたことから、具体的な環境活動の取り組み内容を広報等で紹介していくことが重要といえます。

項目	回答数	%
① 環境に関する様々な情報の提供	7	4.7%
② 環境をテーマにしたイベントなどの開催	27	18.0%
③ 環境活動を実践する場と機会の充実	3	2.0%
④ 環境活動への助成・支援	6	4.0%
⑤ 環境活動支援のための基金の設置	4	2.7%
⑥ 環境アドバイザーなどの第三者機関の相談窓口の充実	1	0.7%
⑦ 小中学校等や地域が連携して行なう環境活動の推進	20	13.3%
⑧ 町民(活動団体)や事業者が行なっている環境活動を紹介する場や機会の充実	3	2.0%
⑨ 行政、事業者、町民(活動団体)のネットワークの構築	1	0.7%
⑩ 環境活動に対する町民や活動団体への表彰制度の創設	2	1.3%
⑪ その他	0	0.0%
⑫ 無回答	76	50.7%
小計	150	100.0%



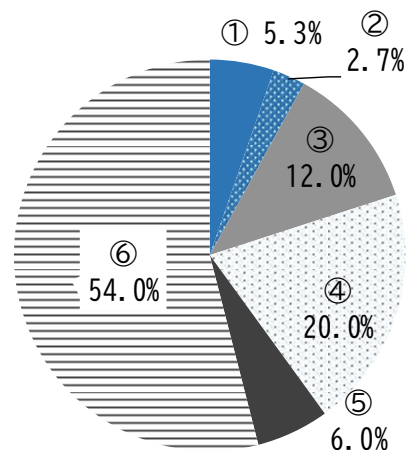
町民アンケート（中学生）

問8 あなたは再生可能エネルギーや省エネルギー設備の導入・利用意欲がありますか。【選択は1つ】

最も導入が進んでいるのは「4. 太陽光発電」で回答者のうち 12.7%が導入していました。また、導入を検討しているのが最も多かったのは「2. 燃料電池」「5. 蓄電池」で回答者のうち 14.0%が検討しています。

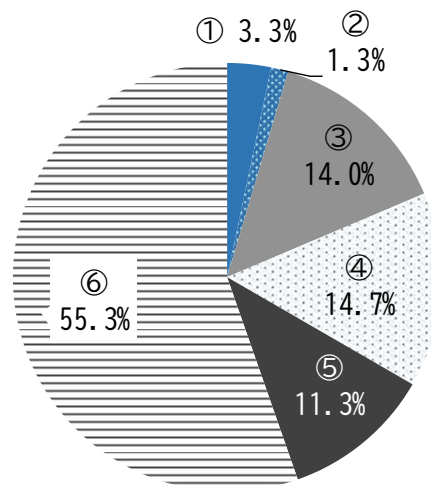
1. 電気自動車

項目	回答数	%
① 導入している	8	5.3%
② 導入を予定している	4	2.7%
③ 今後導入を検討したい	18	12.0%
④ 導入する予定はない	30	20.0%
⑤ どういうものか知らない	9	6.0%
⑥ 無回答	81	54.0%
小計	150	100.0%



2. 燃料電池

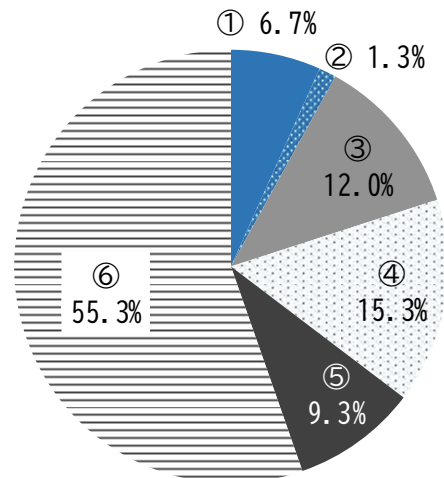
項目	回答数	%
① 導入している	5	3.3%
② 導入を予定している	2	1.3%
③ 今後導入を検討したい	21	14.0%
④ 導入する予定はない	22	14.7%
⑤ どういうものか知らない	17	11.3%
⑥ 無回答	83	55.3%
小計	150	100.0%



町民アンケート（中学生）

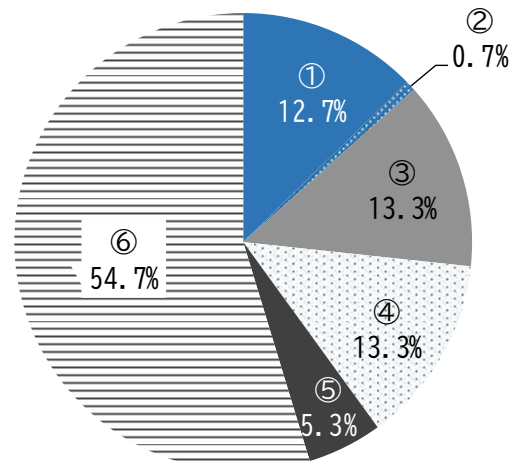
3. 太陽熱利用システム

項目	回答数	%
① 導入している	10	6.7%
② 導入を予定している	2	1.3%
③ 今後導入を検討したい	18	12.0%
④ 導入する予定はない	23	15.3%
⑤ どういうものか知らない	14	9.3%
⑥ 無回答	83	55.3%
小計	150	100.0%



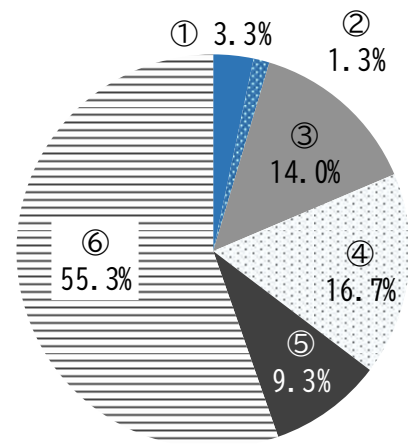
4. 太陽光発電

項目	回答数	%
① 導入している	19	12.7%
② 導入を予定している	1	0.7%
③ 今後導入を検討したい	20	13.3%
④ 導入する予定はない	20	13.3%
⑤ どういうものか知らない	8	5.3%
⑥ 無回答	82	54.7%
小計	150	100.0%



5. 蓄電池

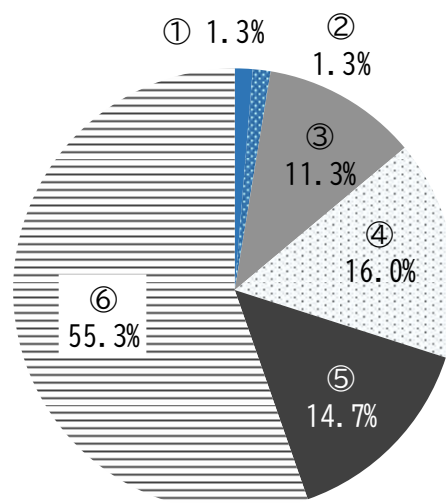
項目	回答数	%
① 導入している	5	3.3%
② 導入を予定している	2	1.3%
③ 今後導入を検討したい	21	14.0%
④ 導入する予定はない	25	16.7%
⑤ どういうものか知らない	14	9.3%
⑥ 無回答	83	55.3%
小計	150	100.0%



町民アンケート（中学生）

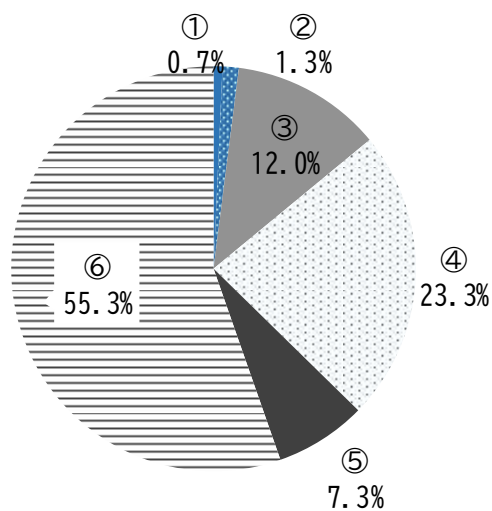
6. ペレットストーブやペレットボイラー等

項目	回答数	%
① 導入している	2	1.3%
② 導入を予定している	2	1.3%
③ 今後導入を検討したい	17	11.3%
④ 導入する予定はない	24	16.0%
⑤ どういうものか知らない	22	14.7%
⑥ 無回答	83	55.3%
小計	150	100.0%



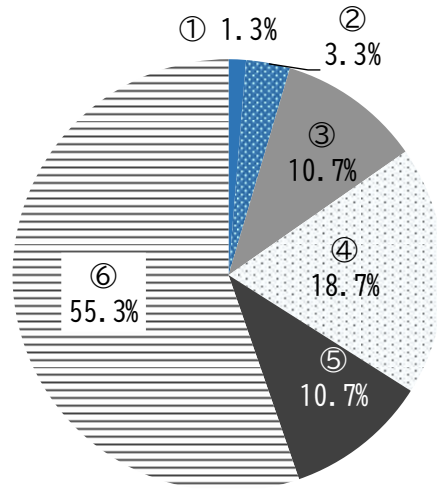
7. 風力発電

項目	回答数	%
① 導入している	1	0.7%
② 導入を予定している	2	1.3%
③ 今後導入を検討したい	18	12.0%
④ 導入する予定はない	35	23.3%
⑤ どういうものか知らない	11	7.3%
⑥ 無回答	83	55.3%
小計	150	100.0%



8. 地中熱利用の冷暖房・給油システム

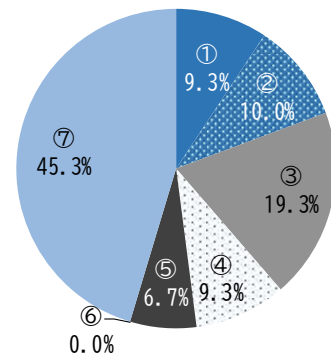
項目	回答数	%
① 導入している	2	1.3%
② 導入を予定している	5	3.3%
③ 今後導入を検討したい	16	10.7%
④ 導入する予定はない	28	18.7%
⑤ どういうものか知らない	16	10.7%
⑥ 無回答	83	55.3%
小計	150	100.0%



問9 あなたが再生可能エネルギー等の導入を進めるにあたり、特に重要だと思うのはなんですか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、③で 19.3%となっており、導入にあたり補助金制度を設けることが求められています。また無回答が 45.3%いたことから、再生可能エネルギーにこういったものがあるかを紹介することが重要といえます。

項目	回答数	%
① 機器の低価格化が進むこと	14	9.3%
② 保守費や光熱費などの経済的負担が軽減されること	15	10.0%
③ 国や県、町が導入に際して補助金制度を設けてくれること	29	19.3%
④ 環境負荷軽減効果が明確に示されること	14	9.3%
⑤ 機器の性能や安全性が高まること	10	6.7%
⑥ その他	0	0.0%
⑦ 無回答	68	45.3%
小計	150	99.9%

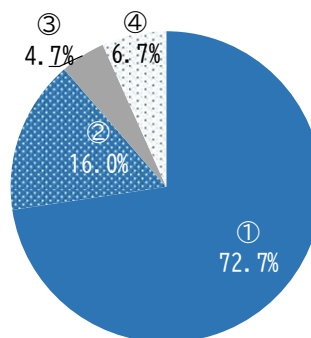


町民アンケート（中学生）

問 10 あなたは「SDGs」という言葉を知っていますか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、①で 72.7%となっており、広く浸透しつつあるといえます。

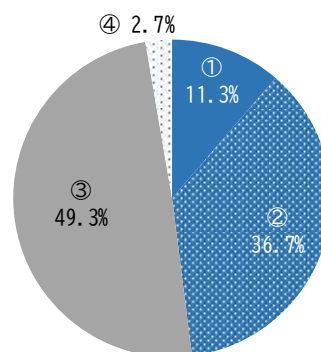
項目	回答数	%
① 言葉も内容も知っている	109	72.7%
② 言葉は知っているが具体的な内容は知らない	24	16.0%
③ 知らない	7	4.7%
④ 無回答	10	6.7%
小計	150	100.0%



問 11 (1) あなたは「カーボンニュートラル」、「ゼロカーボン」、「脱炭素」（以下、「カーボンニュートラル」という。）という言葉を知っていますか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、②で 36.7%となっていますが、約半数は知らないことから、カーボンニュートラルを進めていくためには、周知が必要といえます。

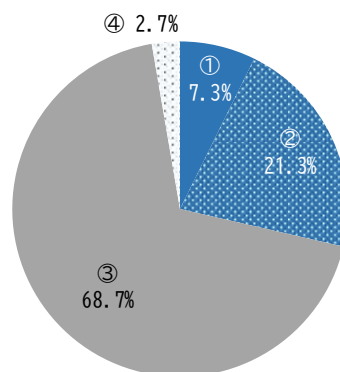
項目	回答数	%
① 言葉も内容も知っている	17	11.3%
② 言葉は知っているが具体的な内容は知らない	55	36.7%
③ 知らない	74	49.3%
④ 無回答	4	2.7%
小計	150	100.0%



問 11 (2) あなたはカーボンニュートラルが何を目標としているか知っていますか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、③で 68.7%となっており、目標を周知していくことが必要といえます。

項目	回答数	%
① 知っている	11	7.3%
② 聞いたことはある	32	21.3%
③ 知らない	103	68.7%
④ 無回答	4	2.7%
小計	150	100.0%

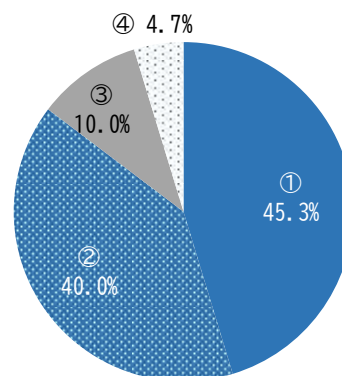


町民アンケート（中学生）

問 11 (3) あなたは、カーボンニュートラルは必ず達成すべきと考えますか。【選択は1つ】

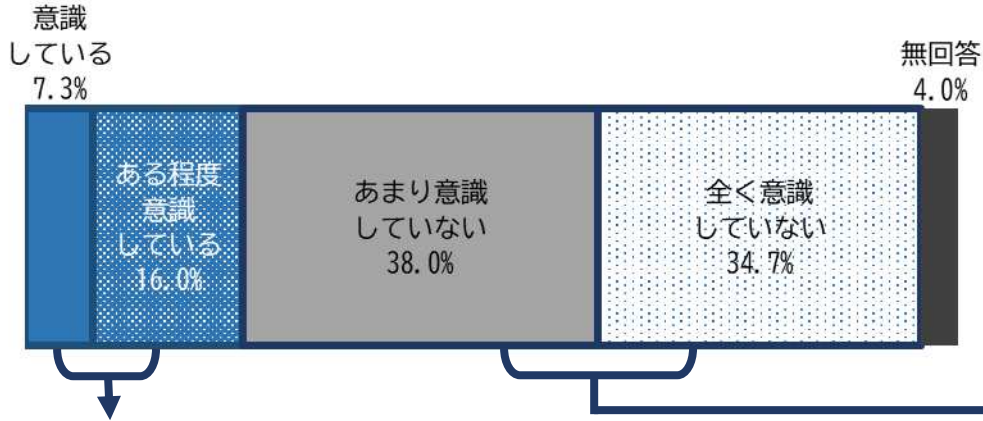
回答者の中で最も多かったのは、①で45.3%となっていますが、②が40.0%いたことから、カーボンニュートラルを進めていくにあたり経済活動への配慮が必要といえます。

項 目	回答数	%
① 必ず達成すべき	68	45.3%
② 経済を優先した中で達成すべき	60	40.0%
③ そうは思わない	15	10.0%
④ 無回答	7	4.7%
小 計	150	100.0%



町民アンケート（中学生）

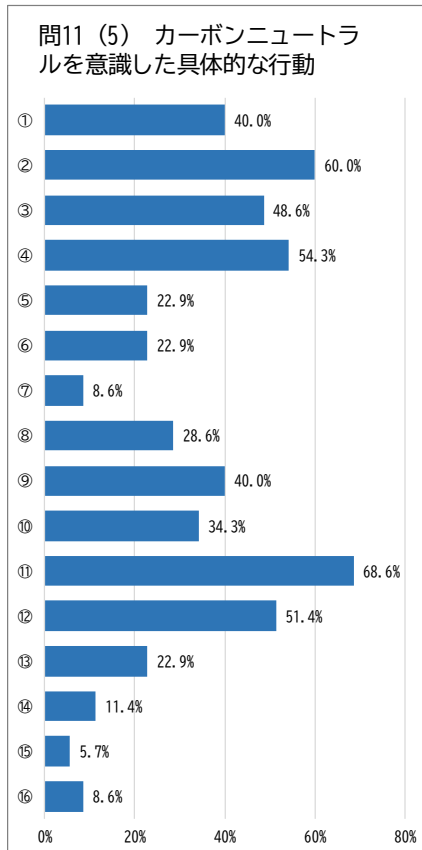
問 11 (4) あなたは暮らしの中でカーボンニュートラルを意識した行動をしていますか。【選択は1つ】



問 11 (5) 具体的にどのような行動をしていますか。

【複数回答：いくつでも】

項目	回答数	%
① 家電製品の消費電力削減に取り組んでいる	14	40.0%
② 照明はLEDを利用している	21	60.0%
③ 冷暖房を極力使用しない又は設定温度は控えめにしている	17	48.6%
④ 照明をこまめに消している	19	54.3%
⑤ 冷蔵庫にものを入れすぎない	8	22.9%
⑥ 洗濯にお風呂の残り湯を使用する	8	22.9%
⑦ エネルギー効率の高い家電製品を使用している	3	8.6%
⑧ 高断熱の窓や壁を採用している	10	28.6%
⑨ ごみの減量化を図っている	14	40.0%
⑩ 食品ロス削減を意識している	12	34.3%
⑪ マイバックを利用している	24	68.6%
⑫ リユース、リサイクルを意識している	18	51.4%
⑬ ハイブリット車や電気自動車を利用している	8	22.9%
⑭ できるだけ自動車の利用を控え、公共交通機関や自転車・徒歩で移動している	4	11.4%
⑮ その他	2	5.7%
⑯ 無回答	3	8.6%
小 計	35	100.0%



その他
・ 特にない。

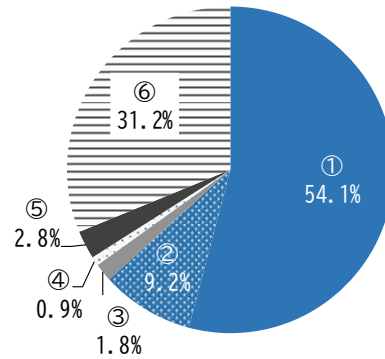
町民アンケート（中学生）

問 11 (6) カーボンニュートラルを意識した行動に取り組めていない理由はなんですか。

【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、①で 54.1%となっており、目標を踏まえて具体的な取り組み内容について、情報提供する必要があります。

項目	回答数	%
① 何をしたら良いのかわからない	59	54.1%
② 難しそうだから	10	9.2%
③ 手間や費用がかかるから	2	1.8%
④ 個人で取り組んでも意味がないと思うから	1	0.9%
⑤ その他	3	2.8%
⑥ 無回答	34	31.2%
小 計	109	100.0%



その他

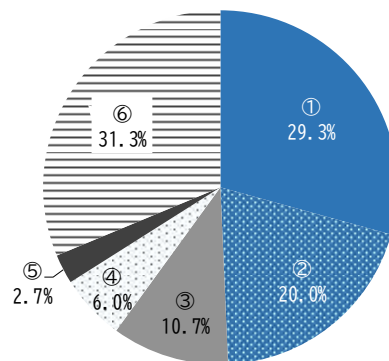
- ・カーボンニュートラルの存在を知らないから。
- ・特にない。
- ・そもそも知らなかったから。

問 11 (7) どうしたらカーボンニュートラルに繋がる行動が増えると思いますか。

【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、①で 29.3%となっており、まずは目標を周知していくことが必要といえます。

項目	回答数	%
① カーボンニュートラルの目的がもっと浸透する	44	29.3%
② カーボンニュートラルに繋がる行動の情報提供が増える	30	20.0%
③ カーボンニュートラルに寄与する対象商品の購入やサービスの導入（ポイント制度等）	16	10.7%
④ カーボンニュートラルに寄与する対象商品の購入やサービスがCO2削減に貢献されているかどうかの表示がある	9	6.0%
⑤ その他	4	2.7%
⑥ 無回答	47	31.3%
小 計	150	100.0%



その他

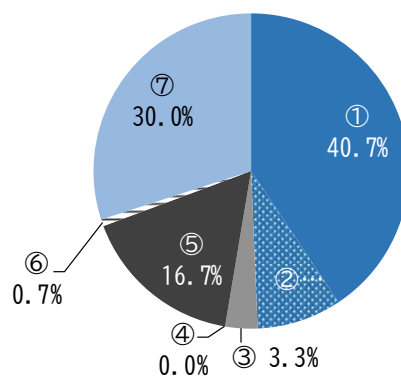
- ・特にない。
- ・カーボンニュートラルがなにか分からない。
- ・カーボンニュートラルの意味を広めるべき。
- ・カーボンニュートラルがなにか分からない。

町民アンケート（中学生）

問 11 (8) カーボンニュートラルに取り組む企業に対してどのような印象を持ちますか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、①で 40.7%となっており、企業が積極的に取り組んでいくことが望ましいといえます。

項目	回答数	%
① 良い印象を持つ	61	40.7%
② 商品やサービスを利用して応援したい	13	8.7%
③ 投資したい	5	3.3%
④ 就職・転職したい	0	0.0%
⑤ 特に何も思わない	25	16.7%
⑥ その他	1	0.7%
⑦ 無回答	45	30.0%
小計	150	100.0%



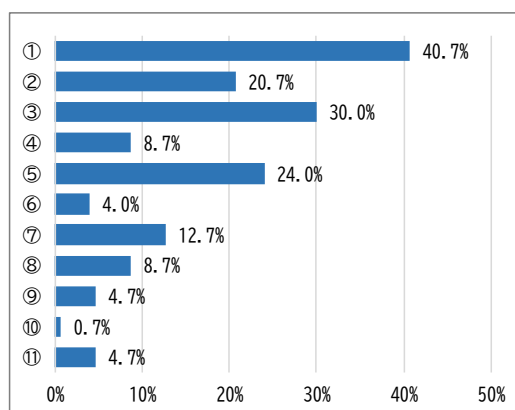
その他

・それがなんなのかわからない。

問 12 さつま町について情報を取得しやすい媒体はどれですか。【複数選択：2つ】

回答者の中で最も多かったのは、①で 40.7%となっており、必要な情報を広報さつまに記載していくことで、住民に広く周知することができるといえます。

項目	回答数	%
① 広報さつま	61	40.7%
② 町からの配布物(チラシや冊子)	31	20.7%
③ さつま町ホームページ	45	30.0%
④ さつま町公式YouTube	13	8.7%
⑤ SNS(Facebook、LINE等)	36	24.0%
⑥ 防災行政無線	6	4.0%
⑦ 新聞記事	19	12.7%
⑧ ラジオ	13	8.7%
⑨ 自治会などの回覧板	7	4.7%
⑩ その他	1	0.7%
⑪ 無回答	7	4.7%
小計	150	100.0%



その他

・親

問 13 さつま町のよりよい環境づくりに向けた取り組み、環境行政に対するご意見などがございましたら、下欄にご自由にお書きください。

- ・もっとゴミ箱を増やしてそこら中に置くとよいんじゃないですかね。町中ゴミが散らばってますよ。きれいにしたいです！
- ・公園の草を切る。
- ・竹や木をいっぱいそだてる。
- ・学生が喜ぶ建て物を作ってほしい(イオン・カラオケなど)。
- ・野生の動物への対応をもっと積極的に行ってほしい。・地域民の交流を深める場を設けてほしい。
- ・緑が多すぎる。建物を増やしてほしい。
- ・交通道路のでこぼこしている部分を直してほしい。
- ・子どもたちが遊べるような場所作りをもっとしてほしい。
- ・オレンジのミラーを設置して欲しい。
- ・街灯を設置して欲しい。
- ・脱炭素化や二酸化炭素排出を削減するために、公共交通機関を増やすべきだと思う。例えば、(バスの便をもっと増やしてバスの利用料金を安くする。電車を開通させる。レンタル自転車などを設置するなどする)といいと思った。特にバスの便をもっと増やすや、利用料金を安くするなど車をもっていない方やもっている方でもバスをたくさん使ってもらえる政策をするべきだと思う。
- ・さつま町の自然を大切にしたいです。そのために、できる具体例をたくさん知れたら、みんな行動にうつせると思います。・環境に良いと言われる、太陽光発電や電気自動車などわが家でも、取り入れたいのですが、高額でなかなか入できません。補助などしてくださると利用する人がもっと増えると思います。
- ・がんばろー!!
- ・トイレのウォシュレットをつけてほしい。
- ・川内川がだいが汚れている。
- ・省エネを意識する。
- ・さつま町はすばらしい。
- ・いい環境づくり、大切だと思います。さつま町は山や森がたくさんあり、自然は豊かな方ではと思います。ですが、1つ気になるところがあります。川内川が汚い。水がにごっている。ゴミなどもよく見かける。これで環境を良くしようとしてもだめです。森と川はつながっています。つながって生態系がつくられ、成り立つ「きれいな環境」があるのです。まず、やるべきことは・水質調査・川内川のそうじ・生態系の調査などをしっかりと行うことです。予算などの関係もあると思いますが、この町の自然に川内川が大きく関わっているのは確かです。どうか環境保全に努めていただくようお願いいたします。

町民アンケート（中学生）

- ・もっと川がきれいになったらいいと思いました。環境に配慮しながら商業施設を増やしてほしいです。
- ・今できることを少しずつがんばってください!!
- ・特に無いです。
- ・お店、飲食店できてほしい。登下校中、臭いがするときがある。
- ・私は、さつま町のよりよい環境づくりに向けた取り組みをするために、まず、動植物の生きやすいように、森を傷つけない。さつま町の人口を増やす取り組みとして、子どもが遊べて、お母さんやお父さんたち、息抜きできるようなそんな施設を作ってほしいです。
- ・がんばろーぜ!!
- ・最近家は家の近くでも、森林伐採が行われているので、地球温暖化防止のためや、さつま町をもっと緑豊かにするために、緑を増やす活動をしてほしい。
- ・川を透明にするつもりできれいにしてほしい。おいしい水道水にしてほしい。
- ・つかわれていない学校などを利用して、お店をいれてほしいです。
- ・道路に面するところに木や草がおちていたりする。生ゴミの回収はすごくいいと思うが、使用したい人々が生ゴミの堆肥をどこに取りにいけばいいのか、分からん。川が全体的にきたない。子供たちが川で遊ぶのに、きたなく、体に悪い。ジャンボタニシのくじょをしてほしい。
- ・ポイ捨ての減少。歩道の整備。河川の汚染防止。森林の保護。
- ・環境についての言葉の意味などをもっと広めていくべきだと思いました。なぜなら、言葉を知っていても意味が分からなかったら、どのような行動をすべきか分からないから。そもそも、言葉を知らない人もいると思うからです。
- ・自然の中で遊べる場所をふやしてほしい。

町民アンケート（小学生）

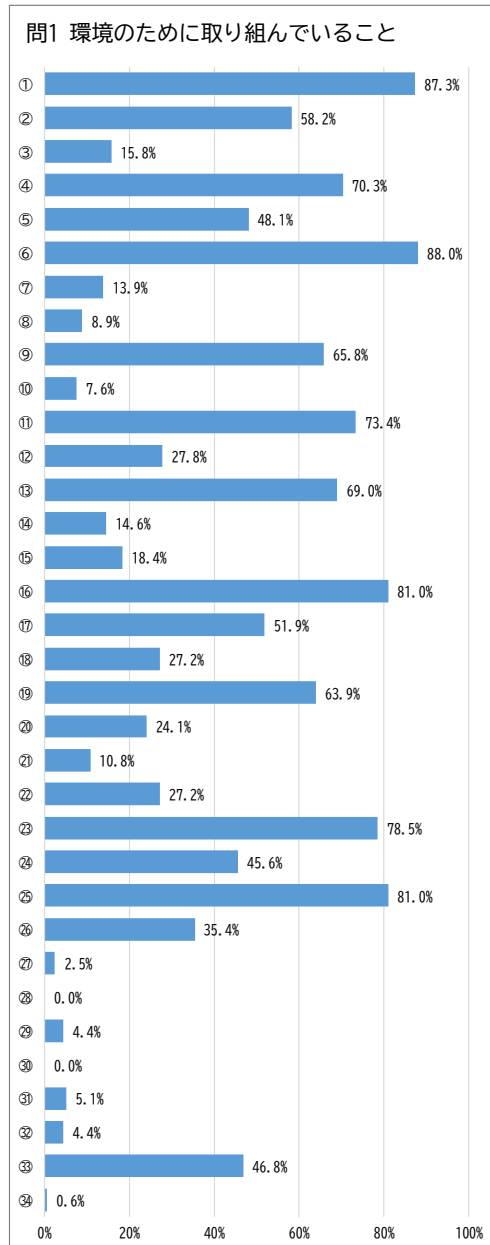
（3）町民アンケート（小学生）

問1 あなたやあなたの家族はいつもの生活のなかで、環境のことを考えていますか。

【複数回答：いくつでも】

回答者の中で最も多かったのは、⑥で88.0%となっており、次いで①で87.3%、⑯、⑮で81.0%であり、日々の生活で個々に行えることから進んで実践しています。

項目	回答数	%
① 台所ではごみ取りネットなどを利用し、生ごみを流さないように心がけている	138	87.3%
② 牛乳パックやトレーなどはリサイクルに出している	92	58.2%
③ 生ごみの堆肥化(コンポスト化)している	25	15.8%
④ 古紙や空き缶、空きびん、金属類、ペットボトル類のリサイクルを行っている	111	70.3%
⑤ 不用品はリサイクルショップや人に譲るなどリユース(一度使ったものをごみにしないで何度も使うこと)している	76	48.1%
⑥ レジ袋を使わないよう買い物袋を持参している	139	88.0%
⑦ ペットボトル容器の商品の購入を控えている	22	13.9%
⑧ リサイクルできる商品やリサイクルした原料を使っている商品を選んで購入するようにしている	14	8.9%
⑨ 詰め替え製品を積極的に利用している	104	65.8%
⑩ 省エネルギー型の製品を選んで購入するようにしている	12	7.6%
⑪ 食事は作り過ぎず、食べ残さないようにしている	116	73.4%
⑫ 食材を使い切る食品ロス削減レシピを活用している	44	27.8%
⑬ 調理後の油は、固めるあるいは吸わせるなどして、ごみとして捨て、台所に流さないようにしている	109	69.0%
⑭ 合成洗剤を使わずに、石けんを使っている	23	14.6%
⑮ 風呂の残り湯は洗濯・掃除に利用している	29	18.4%
⑯ 水道はこまめに止めている	128	81.0%
⑰ 冷暖房を極力使用しない、または設定温度は控えている	82	51.9%
⑱ 家電製品の主電源をこまめに切り、待機電力を消費しないようにしている	43	27.2%
⑲ 照明をこまめに切っている	101	63.9%
⑳ 車の停車時はアイドリングストップを行なっている	38	24.1%
㉑ マイカー利用を避け、徒歩・自転車・原動機付自転車を積極的に利用している	17	10.8%
㉒ 太陽熱温水器や太陽光パネルの設置など環境にやさしいエネルギーを利用している	43	27.2%
㉓ ごみのポイ捨てをしない又は日常生活の中でごみを拾っている	124	78.5%
㉔ 地域や自宅周辺の清掃活動を行なっている	72	45.6%
㉕ 出かけた時のごみは自宅に持ち帰っている	128	81.0%
㉖ 花たん作りや植樹などの緑化活動を行なっている	56	35.4%
㉗ 環境調査や自然観察会などに参加している	4	2.5%
㉘ 森林保全に関する活動に参加している	0	0.0%
㉙ 環境保全のための寄付を行なっている	7	4.4%
㉚ 環境に関する講演会に参加している	0	0.0%
㉛ 家庭で環境問題について話し合っている	8	5.1%
㉜ 外来生物を防除している	7	4.4%
㉝ 飼っている動植物を自然に放さない	74	46.8%
㉞ 無回答	1	0.6%
小計	158	100.0%



町民アンケート（小学生）

問2 あなたの住んでいる地域の環境や取り組みについて、現状の「満足度」と今後の取り組みの「重要度」を聞かせて下さい。【選択は1つ】

満足度が最も高いものは「7. 身近な緑の多さ」となっており、一方で最も低いのは「17. ごみなど決まりを守らずに捨ててある状況」となっていました。

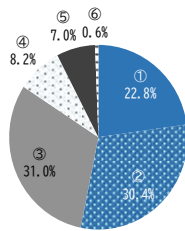
また、重要度が最も高いものは「3. 空気のきれいさ」となっており満足度は 60.1%と高く、一方で最も低いのは「24. イベントや取り組みなど環境情報の入手状況」となっていました。

【満足度】

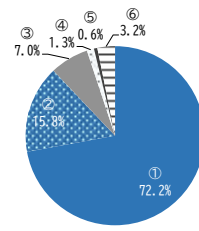
【重要度】

1. 川や水路のきれいさ

項目	回答数	%
① 満足している	36	22.8%
② やや満足している	48	30.4%
③ どちらともいえない	49	31.0%
④ やや満足していない	13	8.2%
⑤ 満足していない	11	7.0%
⑥ 無回答	1	0.6%
小計	158	100.0%

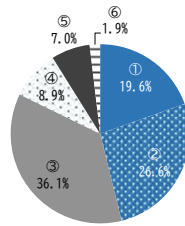


項目	回答数	%
① 大切である	114	72.2%
② やや大切である	25	15.8%
③ どちらともいえない	11	7.0%
④ あまり大切でない	2	1.3%
⑤ 大切でない	1	0.6%
⑥ 無回答	5	3.2%
小計	158	100.0%

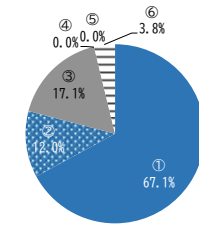


2. 家庭や事業所からの汚水処理の状況

項目	回答数	%
① 満足している	31	19.6%
② やや満足している	42	26.6%
③ どちらともいえない	57	36.1%
④ やや満足していない	14	8.9%
⑤ 満足していない	11	7.0%
⑥ 無回答	3	1.9%
小計	158	100.0%

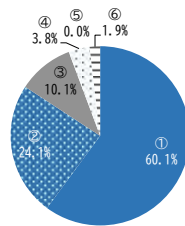


項目	回答数	%
① 大切である	106	67.1%
② やや大切である	19	12.0%
③ どちらともいえない	27	17.1%
④ あまり大切でない	0	0.0%
⑤ 大切でない	0	0.0%
⑥ 無回答	6	3.8%
小計	158	100.0%

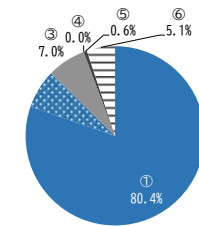


3. 空気のきれいさ

項目	回答数	%
① 満足している	95	60.1%
② やや満足している	38	24.1%
③ どちらともいえない	16	10.1%
④ やや満足していない	6	3.8%
⑤ 満足していない	0	0.0%
⑥ 無回答	3	1.9%
小計	158	100.0%

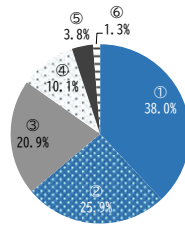


項目	回答数	%
① 大切である	127	80.4%
② やや大切である	11	7.0%
③ どちらともいえない	11	7.0%
④ あまり大切でない	0	0.0%
⑤ 大切でない	1	0.6%
⑥ 無回答	8	5.1%
小計	158	100.0%

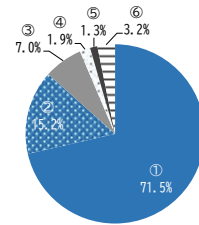


4. いやなおい（悪臭）の少なさ

項目	回答数	%
① 満足している	60	38.0%
② やや満足している	41	25.9%
③ どちらともいえない	33	20.9%
④ やや満足していない	16	10.1%
⑤ 満足していない	6	3.8%
⑥ 無回答	2	1.3%
小計	158	100.0%



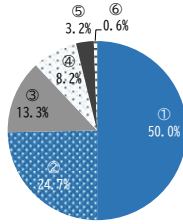
項目	回答数	%
① 大切である	113	71.5%
② やや大切である	24	15.2%
③ どちらともいえない	11	7.0%
④ あまり大切でない	3	1.9%
⑤ 大切でない	2	1.3%
⑥ 無回答	5	3.2%
小計	158	100.0%



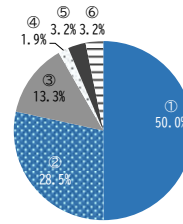
町民アンケート（小学生）

5. 家の周りの静けさ

項目	回答数	%
① 満足している	79	50.0%
② やや満足している	39	24.7%
③ どちらともいえない	21	13.3%
④ やや満足していない	13	8.2%
⑤ 満足していない	5	3.2%
⑥ 無回答	1	0.6%
小計	158	100.0%

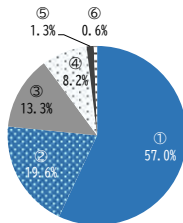


項目	回答数	%
① 大切である	79	50.0%
② やや大切である	45	28.5%
③ どちらともいえない	21	13.3%
④ あまり大切でない	3	1.9%
⑤ 大切でない	5	3.2%
⑥ 無回答	5	3.2%
小計	158	100.0%

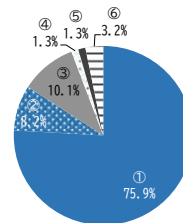


6. 水（水道）のおいしさ

項目	回答数	%
① 満足している	90	57.0%
② やや満足している	31	19.6%
③ どちらともいえない	21	13.3%
④ やや満足していない	13	8.2%
⑤ 満足していない	2	1.3%
⑥ 無回答	1	0.6%
小計	158	100.0%

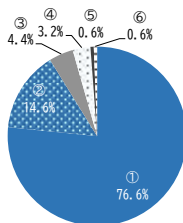


項目	回答数	%
① 大切である	120	75.9%
② やや大切である	13	8.2%
③ どちらともいえない	16	10.1%
④ あまり大切でない	2	1.3%
⑤ 大切でない	2	1.3%
⑥ 無回答	5	3.2%
小計	158	100.0%

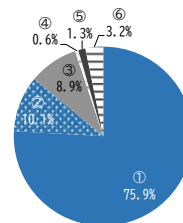


7. 身近な緑の多さ

項目	回答数	%
① 満足している	121	76.6%
② やや満足している	23	14.6%
③ どちらともいえない	7	4.4%
④ やや満足していない	5	3.2%
⑤ 満足していない	1	0.6%
⑥ 無回答	1	0.6%
小計	158	100.0%

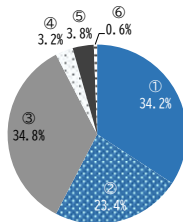


項目	回答数	%
① 大切である	120	75.9%
② やや大切である	16	10.1%
③ どちらともいえない	14	8.9%
④ あまり大切でない	1	0.6%
⑤ 大切でない	2	1.3%
⑥ 無回答	5	3.2%
小計	158	100.0%

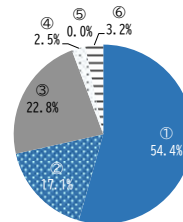


8. 水辺や野山の生きたものの生息状況

項目	回答数	%
① 満足している	54	34.2%
② やや満足している	37	23.4%
③ どちらともいえない	55	34.8%
④ やや満足していない	5	3.2%
⑤ 満足していない	6	3.8%
⑥ 無回答	1	0.6%
小計	158	100.0%

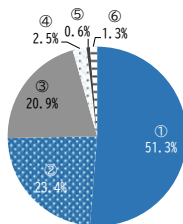


項目	回答数	%
① 大切である	86	54.4%
② やや大切である	27	17.1%
③ どちらともいえない	36	22.8%
④ あまり大切でない	4	2.5%
⑤ 大切でない	0	0.0%
⑥ 無回答	5	3.2%
小計	158	100.0%

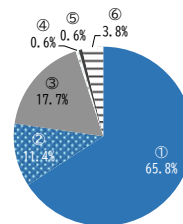


9. 水と緑に囲まれた自然景観の保全

項目	回答数	%
① 満足している	81	51.3%
② やや満足している	37	23.4%
③ どちらともいえない	33	20.9%
④ やや満足していない	4	2.5%
⑤ 満足していない	1	0.6%
⑥ 無回答	2	1.3%
小計	158	100.0%

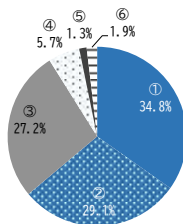


項目	回答数	%
① 大切である	104	65.8%
② やや大切である	18	11.4%
③ どちらともいえない	28	17.7%
④ あまり大切でない	1	0.6%
⑤ 大切でない	1	0.6%
⑥ 無回答	6	3.8%
小計	158	100.0%

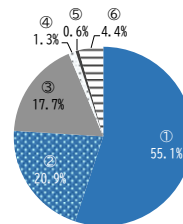


10. 水や緑など自然に親しめる場の整備

項目	回答数	%
① 満足している	55	34.8%
② やや満足している	46	29.1%
③ どちらともいえない	43	27.2%
④ やや満足していない	9	5.7%
⑤ 満足していない	2	1.3%
⑥ 無回答	3	1.9%
小計	158	100.0%



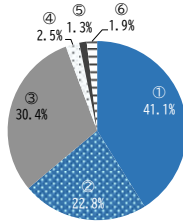
項目	回答数	%
① 大切である	87	55.1%
② やや大切である	33	20.9%
③ どちらともいえない	28	17.7%
④ あまり大切でない	2	1.3%
⑤ 大切でない	1	0.6%
⑥ 無回答	7	4.4%
小計	158	100.0%



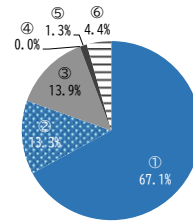
町民アンケート（小学生）

11. 地産地消(地場農産物の消費)の取り組み

項目	回答数	%
① 満足している	65	41.1%
② やや満足している	36	22.8%
③ どちらともいえない	48	30.4%
④ やや満足していない	4	2.5%
⑤ 満足していない	2	1.3%
⑥ 無回答	3	1.9%
小計	158	100.0%

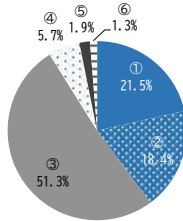


項目	回答数	%
① 大切である	106	67.1%
② やや大切である	21	13.3%
③ どちらともいえない	22	13.9%
④ あまり大切でない	0	0.0%
⑤ 大切でない	2	1.3%
⑥ 無回答	7	4.4%
小計	158	100.0%

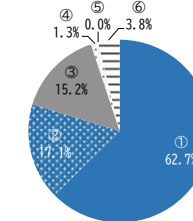


12. 少なくなっている野生生物の保護状況

項目	回答数	%
① 満足している	34	21.5%
② やや満足している	29	18.4%
③ どちらともいえない	81	51.3%
④ やや満足していない	9	5.7%
⑤ 満足していない	3	1.9%
⑥ 無回答	2	1.3%
小計	158	100.0%

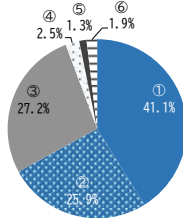


項目	回答数	%
① 大切である	99	62.7%
② やや大切である	27	17.1%
③ どちらともいえない	24	15.2%
④ あまり大切でない	2	1.3%
⑤ 大切でない	0	0.0%
⑥ 無回答	6	3.8%
小計	158	100.0%

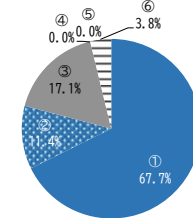


13. 史跡や文化財(昔から残る大切なもの)の保護

項目	回答数	%
① 満足している	65	41.1%
② やや満足している	41	25.9%
③ どちらともいえない	43	27.2%
④ やや満足していない	4	2.5%
⑤ 満足していない	2	1.3%
⑥ 無回答	3	1.9%
小計	158	100.0%

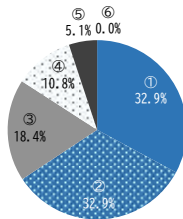


項目	回答数	%
① 大切である	107	67.7%
② やや大切である	18	11.4%
③ どちらともいえない	27	17.1%
④ あまり大切でない	0	0.0%
⑤ 大切でない	0	0.0%
⑥ 無回答	6	3.8%
小計	158	100.0%

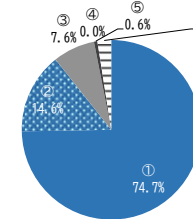


14. 歩道や自転車道の整備状況

項目	回答数	%
① 満足している	52	32.9%
② やや満足している	52	32.9%
③ どちらともいえない	29	18.4%
④ やや満足していない	17	10.8%
⑤ 満足していない	8	5.1%
⑥ 無回答	0	0.0%
小計	158	100.0%

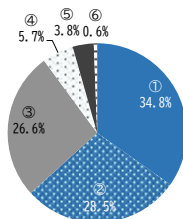


項目	回答数	%
① 大切である	118	74.7%
② やや大切である	23	14.6%
③ どちらともいえない	12	7.6%
④ あまり大切でない	0	0.0%
⑤ 大切でない	1	0.6%
⑥ 無回答	4	2.5%
小計	158	100.0%

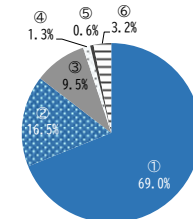


15. 交通機関の利便性

項目	回答数	%
① 満足している	55	34.8%
② やや満足している	45	28.5%
③ どちらともいえない	42	26.6%
④ やや満足していない	9	5.7%
⑤ 満足していない	6	3.8%
⑥ 無回答	1	0.6%
小計	158	100.0%

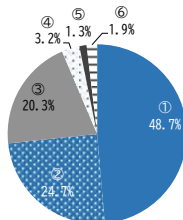


項目	回答数	%
① 大切である	109	69.0%
② やや大切である	26	16.5%
③ どちらともいえない	15	9.5%
④ あまり大切でない	2	1.3%
⑤ 大切でない	1	0.6%
⑥ 無回答	5	3.2%
小計	158	100.0%

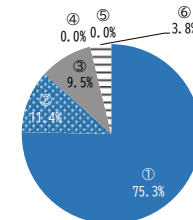


16. 住んでいる地域の美しさ

項目	回答数	%
① 満足している	77	48.7%
② やや満足している	39	24.7%
③ どちらともいえない	32	20.3%
④ やや満足していない	5	3.2%
⑤ 満足していない	2	1.3%
⑥ 無回答	3	1.9%
小計	158	100.0%



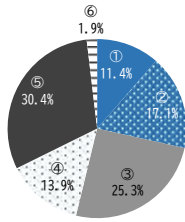
項目	回答数	%
① 大切である	119	75.3%
② やや大切である	18	11.4%
③ どちらともいえない	15	9.5%
④ あまり大切でない	0	0.0%
⑤ 大切でない	0	0.0%
⑥ 無回答	6	3.8%
小計	158	100.0%



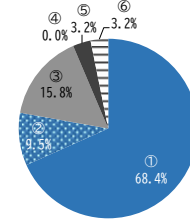
町民アンケート（小学生）

17. ごみなどが決まりを守らずに捨ててある状況

項目	回答数	%
① 満足している	18	11.4%
② やや満足している	27	17.1%
③ どちらともいえない	40	25.3%
④ やや満足していない	22	13.9%
⑤ 満足していない	48	30.4%
⑥ 無回答	3	1.9%
小計	158	100.0%

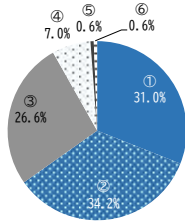


項目	回答数	%
① 大切である	108	68.4%
② やや大切である	15	9.5%
③ どちらともいえない	25	15.8%
④ あまり大切でない	0	0.0%
⑤ 大切でない	5	3.2%
⑥ 無回答	5	3.2%
小計	158	100.0%

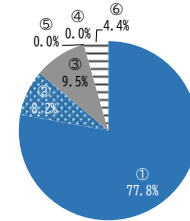


18. 自然災害に対する安全性

項目	回答数	%
① 満足している	49	31.0%
② やや満足している	54	34.2%
③ どちらともいえない	42	26.6%
④ やや満足していない	11	7.0%
⑤ 満足していない	1	0.6%
⑥ 無回答	1	0.6%
小計	158	100.0%

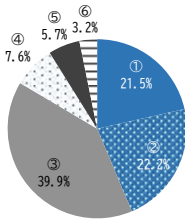


項目	回答数	%
① 大切である	123	77.8%
② やや大切である	13	8.2%
③ どちらともいえない	15	9.5%
④ あまり大切でない	0	0.0%
⑤ 大切でない	0	0.0%
⑥ 無回答	7	4.4%
小計	158	100.0%

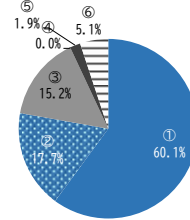


19. 家庭での省エネルギーへの取り組み

項目	回答数	%
① 満足している	34	21.5%
② やや満足している	35	22.2%
③ どちらともいえない	63	39.9%
④ やや満足していない	12	7.6%
⑤ 満足していない	9	5.7%
⑥ 無回答	5	3.2%
小計	158	100.0%

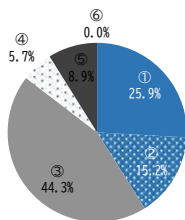


項目	回答数	%
① 大切である	95	60.1%
② やや大切である	28	17.7%
③ どちらともいえない	24	15.2%
④ あまり大切でない	0	0.0%
⑤ 大切でない	3	1.9%
⑥ 無回答	8	5.1%
小計	158	100.0%

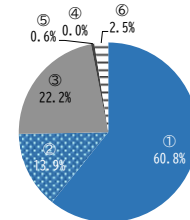


20. 太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入

項目	回答数	%
① 満足している	41	25.9%
② やや満足している	24	15.2%
③ どちらともいえない	70	44.3%
④ やや満足していない	9	5.7%
⑤ 満足していない	14	8.9%
⑥ 無回答	0	0.0%
小計	158	100.0%

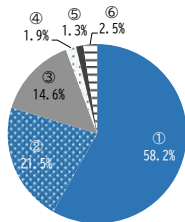


項目	回答数	%
① 大切である	96	60.8%
② やや大切である	22	13.9%
③ どちらともいえない	35	22.2%
④ あまり大切でない	0	0.0%
⑤ 大切でない	1	0.6%
⑥ 無回答	4	2.5%
小計	158	100.0%

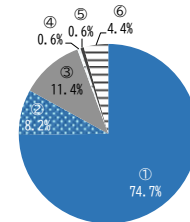


21. 家庭からのごみの分別や出し方のマナー

項目	回答数	%
① 満足している	92	58.2%
② やや満足している	34	21.5%
③ どちらともいえない	23	14.6%
④ やや満足していない	3	1.9%
⑤ 満足していない	2	1.3%
⑥ 無回答	4	2.5%
小計	158	100.0%



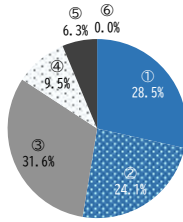
項目	回答数	%
① 大切である	118	74.7%
② やや大切である	13	8.2%
③ どちらともいえない	18	11.4%
④ あまり大切でない	1	0.6%
⑤ 大切でない	1	0.6%
⑥ 無回答	7	4.4%
小計	158	100.0%



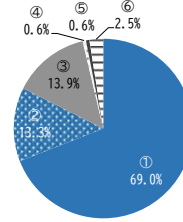
町民アンケート（小学生）

22. 町民一人ひとりの環境に対する意識

項目	回答数	%
① 満足している	45	28.5%
② やや満足している	38	24.1%
③ どちらともいえない	50	31.6%
④ やや満足していない	15	9.5%
⑤ 満足していない	10	6.3%
⑥ 無回答	0	0.0%
小計	158	100.0%

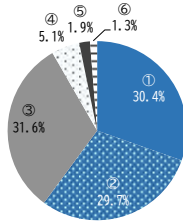


項目	回答数	%
① 大切である	109	69.0%
② やや大切である	21	13.3%
③ どちらともいえない	22	13.9%
④ あまり大切でない	1	0.6%
⑤ 大切でない	1	0.6%
⑥ 無回答	4	2.5%
小計	158	100.0%

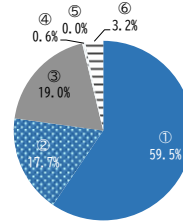


23. 環境教育・環境学習の状況

項目	回答数	%
① 満足している	48	30.4%
② やや満足している	47	29.7%
③ どちらともいえない	50	31.6%
④ やや満足していない	8	5.1%
⑤ 満足していない	3	1.9%
⑥ 無回答	2	1.3%
小計	158	100.0%

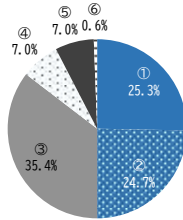


項目	回答数	%
① 大切である	94	59.5%
② やや大切である	28	17.7%
③ どちらともいえない	30	19.0%
④ あまり大切でない	1	0.6%
⑤ 大切でない	0	0.0%
⑥ 無回答	5	3.2%
小計	158	100.0%

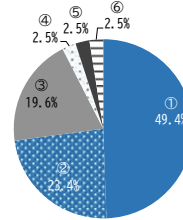


24. イベントや取り組みなど環境情報の入手状況

項目	回答数	%
① 満足している	40	25.3%
② やや満足している	39	24.7%
③ どちらともいえない	56	35.4%
④ やや満足していない	11	7.0%
⑤ 満足していない	11	7.0%
⑥ 無回答	1	0.6%
小計	158	100.0%

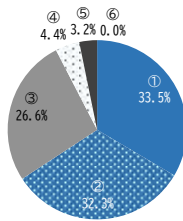


項目	回答数	%
① 大切である	78	49.4%
② やや大切である	37	23.4%
③ どちらともいえない	31	19.6%
④ あまり大切でない	4	2.5%
⑤ 大切でない	4	2.5%
⑥ 無回答	4	2.5%
小計	158	100.0%

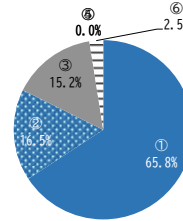


25. 地域の美化など環境を守る活動の状況

項目	回答数	%
① 満足している	53	33.5%
② やや満足している	51	32.3%
③ どちらともいえない	42	26.6%
④ やや満足していない	7	4.4%
⑤ 満足していない	5	3.2%
⑥ 無回答	0	0.0%
小計	158	100.0%



項目	回答数	%
① 大切である	104	65.8%
② やや大切である	26	16.5%
③ どちらともいえない	24	15.2%
④ あまり大切でない	0	0.0%
⑤ 大切でない	0	0.0%
⑥ 無回答	4	2.5%
小計	158	100.0%



町民アンケート（小学生）

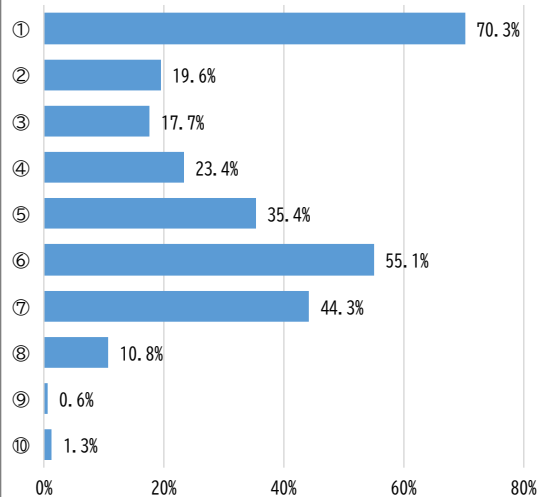
問3 さつま町の環境をよりよくしていくために、さつま町として今後、どのようなことを重点的に進めていくべきだと思いますか。【分野ごとに複数回答：3つ以内】

【自然環境分野】

回答者の中で最も多かったのは、⑥で 55.1%となっており、動植物が生きる場所の保全への関心が高いといえます。

項目	回答数	%
① 優れた自然を守る	111	70.3%
② 優れた自然を使うようにする	31	19.6%
③ 農林漁業地域の美しい景観を守る	28	17.7%
④ 決まりを守らない開発を防ぐ	37	23.4%
⑤ 森林が荒れるのを防ぐ	56	35.4%
⑥ いろいろな動物や植物が生きる場所を守る	87	55.1%
⑦ 国や県と協力して、野生の動物や植物を守ったり、管理したりする	70	44.3%
⑧ 樹木の植林	17	10.8%
⑨ その他	1	0.6%
⑩ 無回答	2	1.3%
小計	158	100.0%

問3-1 【自然環境分野】



その他

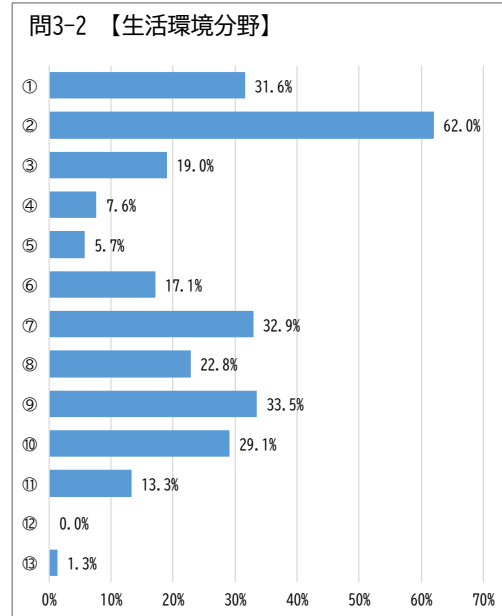
・みんなできまりを守る。

町民アンケート（小学生）

【生活環境分野】

回答者の中で最も多かったのは、②で 62.0%となっており、川の水への関心が高いといえます。

項目	回答数	%
① 公害をおこさない	50	31.6%
② 川をきれいにする	98	62.0%
③ 地下水のきれいさをを守る	30	19.0%
④ 下水道施設などを整備する	12	7.6%
⑤ 台所やお風呂の汚れた水をきれいにするための道具を増やす	9	5.7%
⑥ ごみがでないようにする	27	17.1%
⑦ リサイクルを正しく進める	52	32.9%
⑧ ごみなどをきちんと処理する	36	22.8%
⑨ 法まりを守らずにごみを捨てることをやめさせる	53	33.5%
⑩ 川や池などの水を守る	46	29.1%
⑪ 水を節約したり、雨水を使うようにする	21	13.3%
⑫ その他	0	0.0%
⑬ 無回答	2	1.3%
小計	158	100.0%



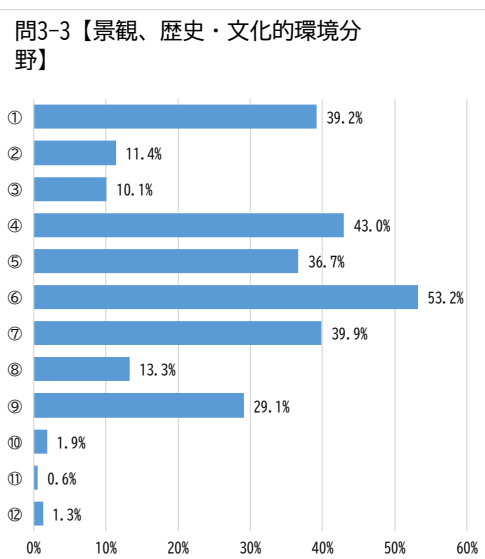
その他

なし

【景観・歴史・文化的環境分野】

回答者の中で最も多かったのは、⑥で 53.2%となっており、住みやすい環境の保全が求められています。

項目	回答数	%
① 自然がたくさん残る川づくりを進める	62	39.2%
② 河原で作られた公園を使う	18	11.4%
③ ため池を守ったり、使ったりする	16	10.1%
④ 山や緑を守ったり、木をたやさないようにしたりする	68	43.0%
⑤ 緑の多い公園を作る	58	36.7%
⑥ 住みやすい環境を守る	84	53.2%
⑦ 安全な道路を確保する	63	39.9%
⑧ 建物や緑と道路などが調和のとれた景観をつくる	21	13.3%
⑨ 歴史や文化にあふれたものを守る	46	29.1%
⑩ 歴史や文化にあふれたまちづくりを進める	3	1.9%
⑪ その他	1	0.6%
⑫ 無回答	2	1.3%
小計	158	100.0%



その他

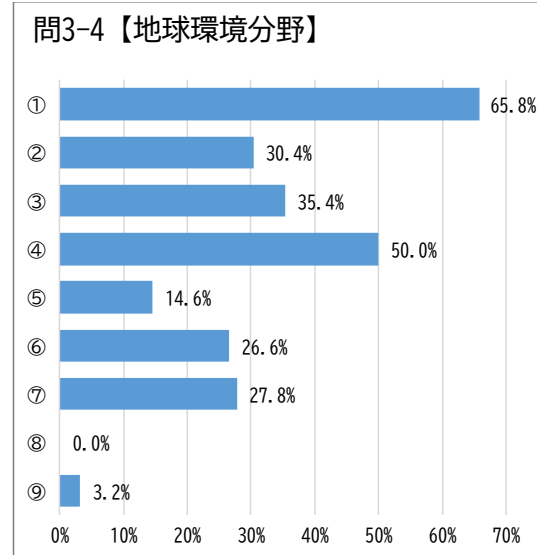
・ 交通機関の利便性を高める。

町民アンケート（小学生）

【地球環境分野】

回答者の中で最も多かったのは、①で 65.8%となっており、環境を大切にする意識が高いといえます。

項目	回答数	%
① 環境を大切に生活をする	104	65.8%
② エネルギーをあまり使わないようにしたり、効率よく使うようにしたりする	48	30.4%
③ クリーンエネルギー（太陽光発電など、環境にやさしいエネルギー）を使う	56	35.4%
④ 二酸化炭素を取り込む植物を植えるようにする	79	50.0%
⑤ オゾン層（生きものに有害な紫外線を吸収する大気の層）を守る	23	14.6%
⑥ 生きものに被害を与える酸性度の強い雨への対策を進める	42	26.6%
⑦ 民間団体と協力して環境を守る取り組みを進める	44	27.8%
⑧ その他	0	0.0%
⑨ 無回答	5	3.2%
小計	158	100.0%



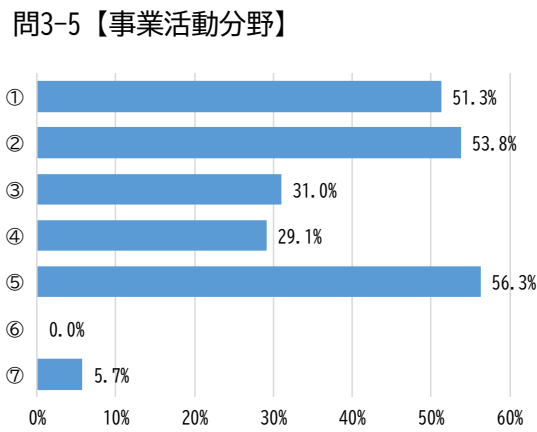
その他

なし

【事業活動分野】

回答者の中で最も多かったのは、⑤で 56.3%となっており、環境を大切にする意識が高いといえます。

項目	回答数	%
① 地球環境のことを考えた農林水産業を盛んにする	81	51.3%
② 環境にやさしい商工業などを盛んにする	85	53.8%
③ 環境のことを考えた運輸業・建設業を盛んにする	49	31.0%
④ 環境のことを考えた工業を盛んにする方針を決める	46	29.1%
⑤ 会社に対して、環境を大切にする考えを広める	89	56.3%
⑥ その他	0	0.0%
⑦ 無回答	9	5.7%
小計	158	100.0%



その他

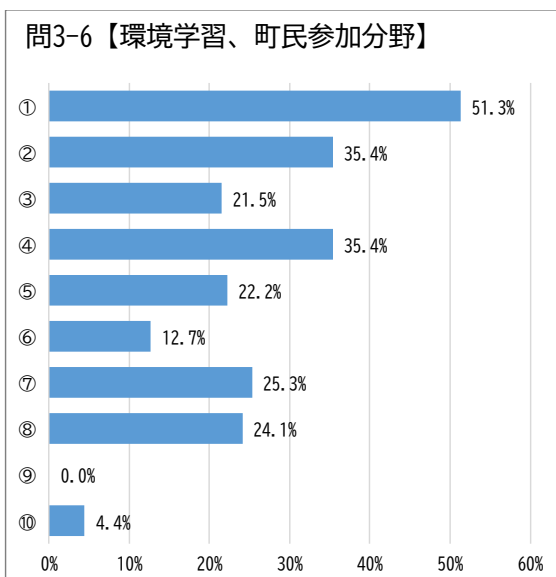
なし

町民アンケート（小学生）

【環境学習、町民参加分野】

回答者の中で最も多かったのは、①で 51.3%となっており、環境学習の推進が求められています。

項目	回答数	%
① 学校における環境学習の推進	81	51.3%
② 環境学習の機会と場所をつくる	56	35.4%
③ 環境学習を行なってくれる人を育てる	34	21.5%
④ 環境に関する情報のお知らせ	56	35.4%
⑤ 環境学習を進める組織としくみづくり	35	22.2%
⑥ 町民ぐるみで環境活動を進めるためのしくみづくり	20	12.7%
⑦ 環境問題に取り組む町民団体が活動できる場所をつくる	40	25.3%
⑧ 環境問題に取り組む人を育てることや町民団体を支える	38	24.1%
⑨ その他	0	0.0%
⑩ 無回答	7	4.4%
小計	158	100.0%

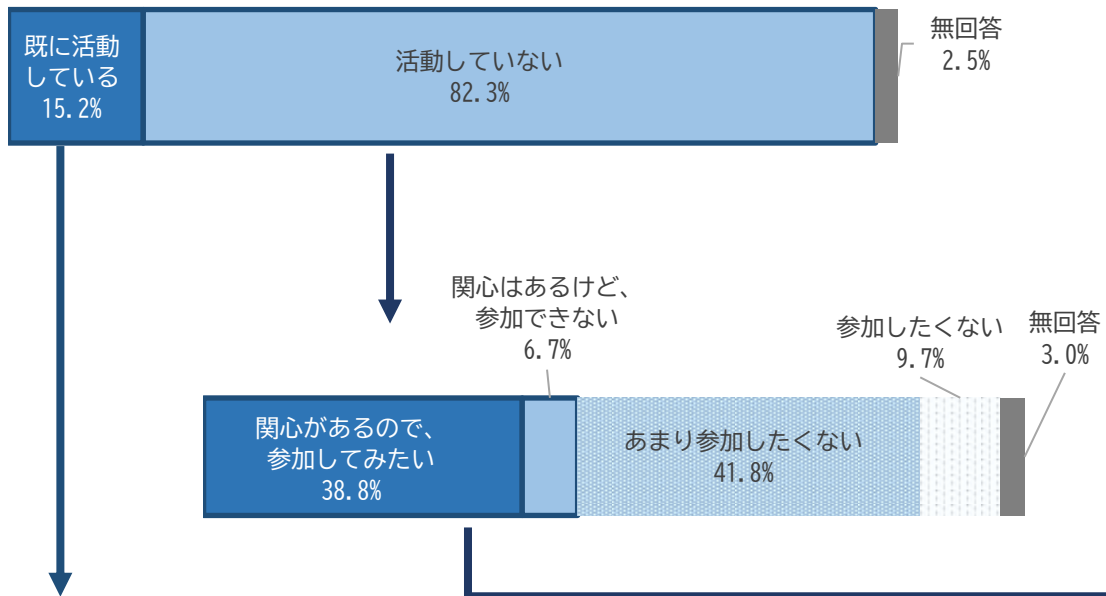


その他

なし

町民アンケート（小学生）

問 4（1）あなたは環境を守る活動に参加したいと思いますか。【選択は1つ】

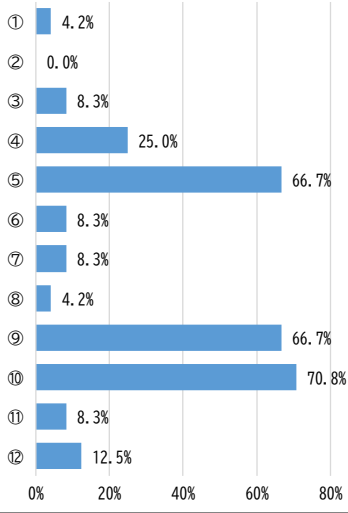


問 4（2）あなたは、現在どのような環境を守る活動を行なっていますか。

【複数回答：いくつでも】

項目	回答数	%
① 環境問題についてのお話し会	1	4.2%
② 自然観察会	0	0.0%
③ 自然の山や野生の動物、植物を守る活動	2	8.3%
④ 花だん作りや木を植える運動	6	25.0%
⑤ 自分の住んでいるところのそうじ活動	16	66.7%
⑥ 森林を守る活動	2	8.3%
⑦ 川をきれいにする活動	2	8.3%
⑧ 環境基金など環境を守るための寄付	1	4.2%
⑨ ごみの分別をきちんとする	16	66.7%
⑩ 買い物に行く時は買い物袋を持っていく	17	70.8%
⑪ その他	2	8.3%
⑫ 無回答	3	12.5%
小 計	24	100.0%

問4-2 現在行なっている環境活動



その他

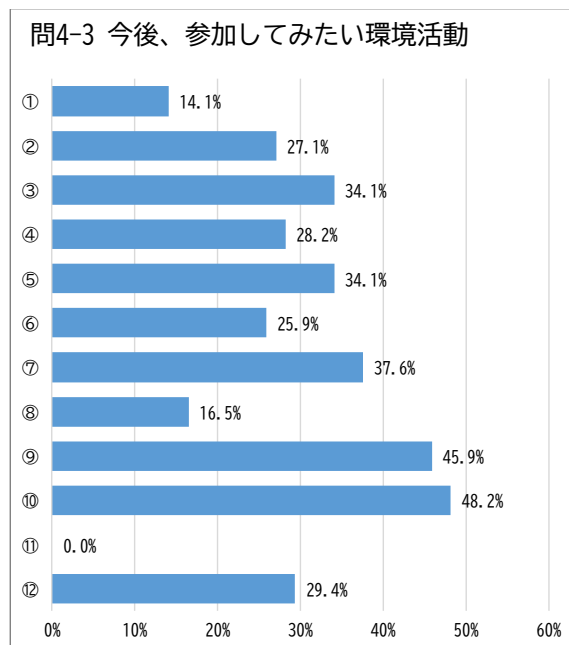
- ・ ゴミひろい活動
- ・ 他のちいきのごみひろい

町民アンケート（小学生）

問4（3）今後、参加してみたい環境を守る活動はどれですか。【複数回答：いくつでも】

回答者の中で最も多かったのは、⑩で買い物など普段の生活をしていくうえで進められる環境活動への意欲が高いといえます。

項目	回答数	%
① 環境問題についてのお話し会	12	14.1%
② 自然観察会	23	27.1%
③ 自然の山や野生の動物、植物を守る活動	29	34.1%
④ 花だん作りや木を植える運動	24	28.2%
⑤ 自分の住んでいるところのそうじ活動	29	34.1%
⑥ 森林を守る活動	22	25.9%
⑦ 川をきれいにする活動	32	37.6%
⑧ 環境基金など環境を守るための寄付	14	16.5%
⑨ ごみの分別をきちんとする	39	45.9%
⑩ 買い物に行く時は買い物袋を持っていく	41	48.2%
⑪ その他	0	0.0%
⑫ 無回答	25	29.4%
小計	85	100.0%



その他

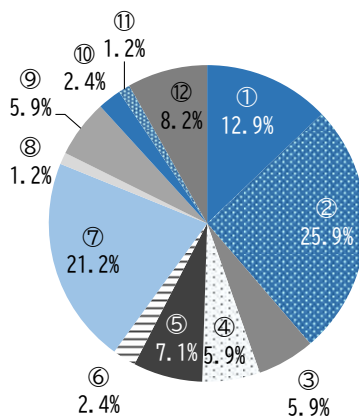
なし

町民アンケート（小学生）

問5 町民の環境活動をもっと盛んにするために、特にどのような取組が進められることを望みますか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、②で 25.9%となっており、環境に関するイベントの開催が求められています。

項目	回答数	%
① 環境に関する様々な情報のお知らせ	11	12.9%
② 環境をテーマにしたイベントなどの開催	22	25.9%
③ 環境活動をする場所と機会の充実	5	5.9%
④ 環境活動への助成・支援	5	5.9%
⑤ 環境活動を支援するためのお金の準備	6	7.1%
⑥ 環境活動を手助けする人や相談する所の充実	2	2.4%
⑦ 小中学校等や地域が一緒になって行なう環境活動の推進	18	21.2%
⑧ 町民(活動団体)や事業者が行なっている環境活動を紹介する場や機会の充実	1	1.2%
⑨ 役場、会社、町民(活動団体)のつながりを作る	5	5.9%
⑩ 環境活動に対する町民や活動団体への表彰	2	2.4%
⑪ その他	1	1.2%
⑫ 無回答	7	8.2%
小計	85	100.0%



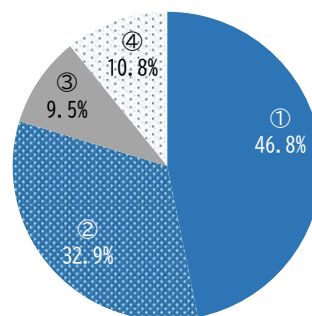
その他

・環境にはいりよする日を作る。

問6 あなたは「SDGs」という言葉を知っていますか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、①で 46.8%となっており、今後は内容を周知していくことが必要といえます。

項目	回答数	%
① 言葉も内容も知っている	74	46.8%
② 言葉は知っているが具体的な内容は知らない	52	32.9%
③ 知らない	15	9.5%
④ 無回答	17	10.8%
小計	158	100.0%

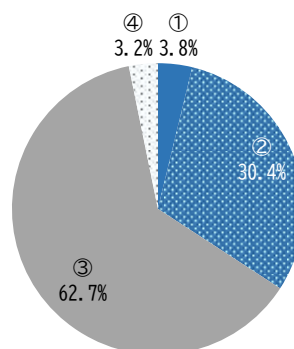


町民アンケート（小学生）

問7（1） あなたは「カーボンニュートラル」、「ゼロカーボン」、「脱炭素」（以下、「カーボンニュートラル」という。）という言葉を知っていますか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、③で 62.7%となっており、半数以上が知らない結果となっているため、カーボンニュートラルを進めていくためには、周知が必要といえます。

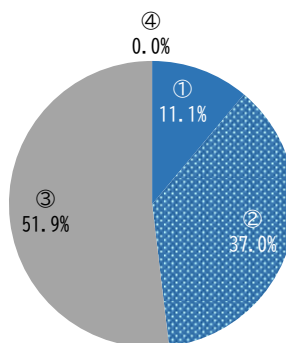
項目	回答数	%
① 言葉も内容も知っている	6	3.8%
② 言葉は知っているが具体的な内容は知らない	48	30.4%
③ 知らない	99	62.7%
④ 無回答	5	3.2%
小計	158	100.0%



問7（2） あなたはカーボンニュートラルが何を目標としているか知っていますか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、③で 51.9%となっており、目標の周知が必要といえます。

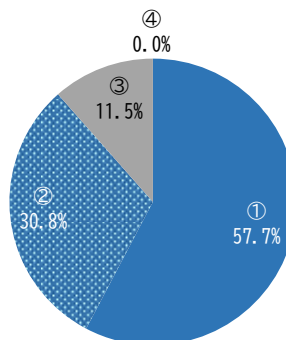
項目	回答数	%
① 知っている	6	11.1%
② 聞いたことはある	20	37.0%
③ 知らない	28	51.9%
④ 無回答	0	0.0%
小計	54	100.0%



問7（3） あなたは、カーボンニュートラルは必ず達成すべきと考えますか。【選択は1つ】

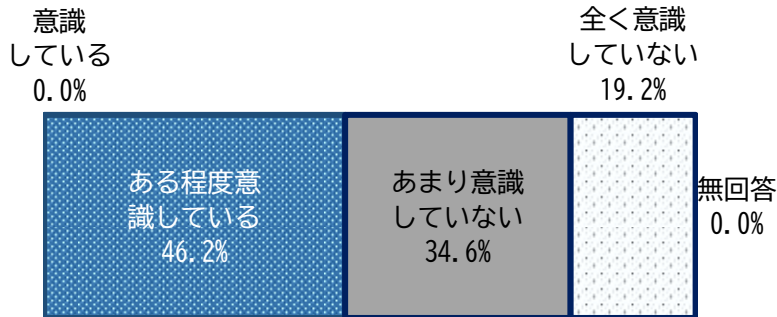
回答者の中で最も多かったのは、①で 57.7%となっていますが、②が 30.8%いたことから、カーボンニュートラルを進めていくにあたり経済活動への配慮が必要といえます。

項目	回答数	%
① 必ず達成すべき	15	57.7%
② 経済を優先した中で達成すべき	8	30.8%
③ そうは思わない	3	11.5%
④ 無回答	0	0.0%
小計	26	100.0%



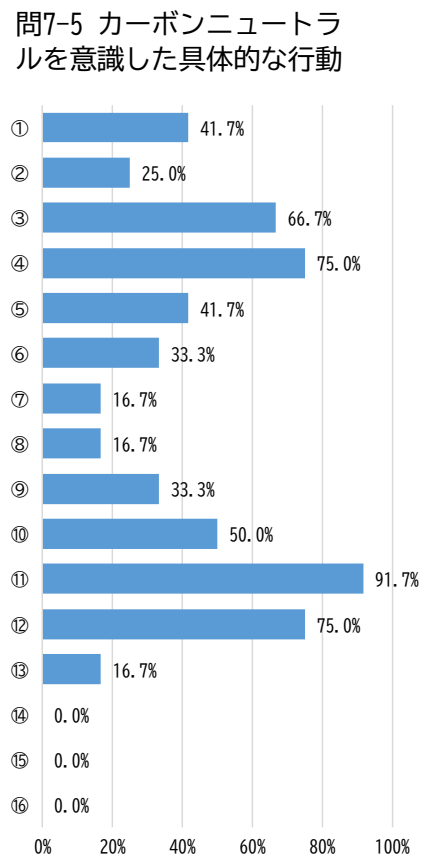
町民アンケート（小学生）

問7（4） あなたやあなたの家族は暮らしの中でカーボンニュートラルを意識した行動をしていますか。【選択は1つ】



問7（5） 具体的にどのような行動をしていますか。【複数回答：いくつでも】

項目	回答数	%
① 家電製品の消費電力削減に取り組んでいる	5	41.7%
② 照明はLED を利用している	3	25.0%
③ 冷暖房を極力使用しない又は設定温度は控えめにしている	8	66.7%
④ 照明をこまめに消している	9	75.0%
⑤ 冷蔵庫にもものを入れすぎない	5	41.7%
⑥ 洗濯にお風呂の残り湯を使用する	4	33.3%
⑦ エネルギー効率の高い家電製品を使用している	2	16.7%
⑧ 高断熱の窓や壁を採用している	2	16.7%
⑨ ごみの減量化を図っている	4	33.3%
⑩ 食品ロス削減を意識している	6	50.0%
⑪ マイバッグを利用している	11	91.7%
⑫ リユース、リサイクルを意識している	9	75.0%
⑬ ハイブリット車や電気自動車を利用している	2	16.7%
⑭ できるだけ自動車の利用を控え、公共交通機関や自転車・徒歩で移動している	0	0.0%
⑮ その他	0	0.0%
⑯ 無回答	0	0.0%
小計	70	100.0%



その他
なし

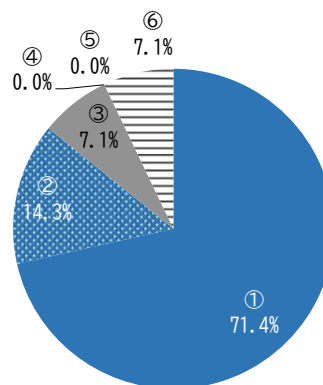
町民アンケート（小学生）

問 7（6） カーボンニュートラルを意識した行動に取り組めていない理由はなんですか。

【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、①で 71.4%となっており、目標を踏まえて具体的な取組み内容について、情報提供する必要があります。

項目	回答数	%
① 何をしたら良いのかわからない	10	71.4%
② 難しそうだから	2	14.3%
③ 手間や費用がかかるから	1	7.1%
④ 個人で取り組んでも意味がないと思うから	0	0.0%
⑤ その他	0	0.0%
⑥ 無回答	1	7.1%
小 計	14	100.0%



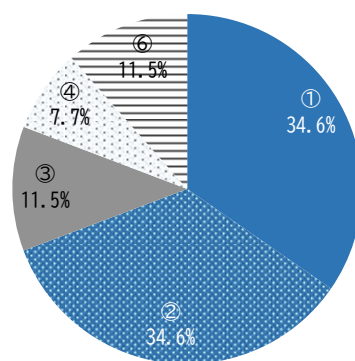
その他

・カーボンニュートラルをしらない

問 7（7） どうしたらカーボンニュートラルに繋がる行動が増えると思いますか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、①、②で 34.6%となっており、目標を踏まえて具体的な取組み内容について、情報提供する必要があります。

項目	回答数	%
① カーボンニュートラルの目的がもっと浸透する	9	34.6%
② カーボンニュートラルに繋がる行動の情報提供が増える	9	34.6%
③ カーボンニュートラルに寄与する対象商品の購入やサービスの導入(ポイント制度等)	3	11.5%
④ カーボンニュートラルに寄与する対象商品の購入やサービスが二酸化炭素の削減に貢献されているかどうかの表示がある	2	7.7%
⑤ その他	0	0.0%
⑥ 無回答	3	11.5%
小 計	26	100.0%



その他

・学校などで特別授業をし、カーボンニュートラルに対する関心を深める。

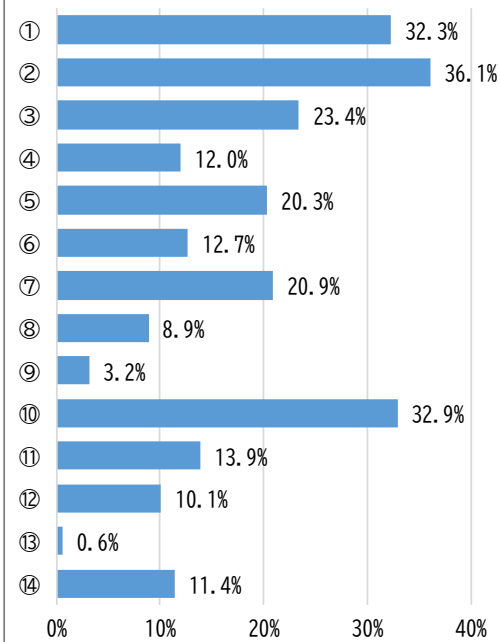
町民アンケート（小学生）

問8 さつま町について情報を取得しやすい媒体はどれですか。【複数回答：3つ】

回答者の中で最も多かったのは、②で36.1%となっており、次いで⑩で32.9%となっていることから、町からの配布物を学校の環境学習に活用することが有効といえます。

項目	回答数	%
① 広報さつま	51	32.3%
② 町からの配布物(チラシや冊子)	57	36.1%
③ さつま町ホームページ	37	23.4%
④ さつま町公式YouTube	19	12.0%
⑤ SNS(Facebook、LINE等)	32	20.3%
⑥ 防災行政無線	20	12.7%
⑦ 新聞記事	33	20.9%
⑧ ラジオ	14	8.9%
⑨ 自治会などの掲示板	5	3.2%
⑩ 学校の授業や先生	52	32.9%
⑪ 家族や親戚	22	13.9%
⑫ 公民館・児童館	16	10.1%
⑬ その他	1	0.6%
⑭ 無回答	18	11.4%
小計	158	100.0%

問8 さつま町について情報を取得しやすい媒体



その他

・テレビ

町民アンケート（小学生）

問 10 さつま町のよりよい環境づくりに向けた取り組み、環境を守る活動に参加できるような仕組み等に関するアイデアがあればお書きください。

- ・とりくみをする時は、チラシなどで知らせる。
- ・環境づくりのための学習会的なのを、開いても人があつまるか分からないから、小、中、高での学習として取り組む。
- ・ごみは、しっかりとごみばこのところにすてる。
- ・かんぱんを立ててみんなに伝える。
- ・ごみひろいをする。
- ・かんきょうを守る活動をする時は SNS などでお知らせする。
- ・歩いて帰るときにゴミをみるのでしっかりきまったところにすてるのを広報さつまとかにかいたらみんな守ってくれると思います。
- ・さつま町のたびをしながら活動にとりくむ。
- ・森林を増やし空気をきれいにしたりする。
- ・ごみをすてたりせずに、川や空気を大切にする。森林を多く育てる。
- ・さつま町のみ力の1つが緑が多く、自然豊かな所だと思うから、木や花を植えて、緑豊かになればいいと思う。
- ・自然や動植物を守る活動や子どもでも積極的に参加できるような環境を守る活動ができてほしい！川や山で、ごみひろい、公共の場所での花や木を植える活動。SDGs の活動でできることがあれば達成できるように私たちにできることを少しでもする。
- ・学校、または、地域で、友達と参加できるような環境問題を考えるイベントをしてほしい（ゴミ拾い、植林活動）。
- ・木や花などの植物を積極的に植える、・川などの水をもっときれいにして生き物を増やす、・環境に関する授業を増やす。
- ・ポイ捨てを減らす取り組みをしてほしい。
- ・だれでも気楽に参加できる環境づくりの場を設ければいいと思う。
- ・一カ月に一度空カンひろいやごみ集めにとりくむ。少しゴミが多く感じるのでこまめにごみ集めをする。
- ・人や動植物のすごせる場所を作る。
- ・定期的に地域でごみ拾いなどをする。
- ・清そう活動などの地域で取り組む機会を増やす。
- ・今ある自然をもっとゆたかにし（植林など）その自然を大切にする。
- ・川のゴミをひろう。
- ・マクドナルドがほしい。理由は、川内や出水のマクドナルドに行くまでの車のガソリンを使うから。

町民アンケート（小学生）

- ・マクドナルドがほしいです。理由は、マックまでガソリンを使って食べに行かなきゃいけないからマクドナルドがほしいと考えています。
- ・ごみ拾いをするボランティアをしてほしい。
- ・さつま町は、木より、竹の方が多いと思うから、竹をもっと利用した方がいいと思う。
- ・森林のせいびについて。
- ・町内で、ごみ拾いを積極的にする。
- ・ごみをしっかり処理する。
- ・おまつりのようなたのしくできるせつめい会をして、無料体験会のようにじっしする。学校のじゅぎょうでじっしする。
- ・学校のじゅぎょうに導入したりする。
- ・楽しく、分かりやすいような説明会などを開く。学校の授業で取り入れる。
- ・学校の授業で環境について考える。
- ・ごみ拾いをする。
- ・ありません。
- ・学校などでプリントや授業などで知らせる。
- ・特になし
- ・ないです。
- ・よく分かりません。
- ・ありません
- ・資源を大切にする。
- ・みんながすぐにできるような簡単なことから取り組んで、少しでも環境のことを意識させる。
- ・ごみ拾いをするボランティア
- ・ぼくたちが木を植える体験ができるイベントや、未来で木を植えたりして環境を守る人を育てる勉強会などをしたらいいと思う。
- ・地いきでの集まりのときなどを利用して、講演会などを開き、1年に一回、または2年に一回という感じで、ウォークラリーがてら、観察会などを行う。
- ・よりよい環境づくりに向けた会をひまわり館とか盈進で話し合う。
- ・新聞やチラシなどで活動内容について書く。
- ・ゴミひろいをする。ゴミを分別する。
- ・一人一人が環境に対する、意識をつくる。
- ・公民会などで定期的に SDGs に対する取組みを呼びかける。
- ・学校で、環境のことについての授業などをしたらいい。
- ・環境問題に取り組んでいる会社や工場の見学をたくさん増やす。そしたら、大人も子どもも、意識が高くなると思う。
- ・学校のじゅぎょうで環境を守る活動をする。

- ・今のじょうきょうでなくごみ拾い大会などを開いてもっと SDGs にくわしくしたりしてもらおう機会をもうければ良いと思う。毎月、一回社会の勉強会を開いたりしたら良いと思う。
- ・地区でごみ拾いがあるように川をきれいにする取り組みをしてみたらいいんじゃないでしょうか。
- ・地いきの人たちと森を見に行き、自分たちができることを決めて実行する活動。
- ・川内川の周りをきれいにする環境活動があったらいいと思いました。
- ・各地域で、清掃や花などを植える活動を実施する。
- ・学生がかいた環境を守る活動の様子の絵を使ったポスターをはる。
- ・環境づくりをもっとみんなに知ってもらえるように2ヶ月に1回そのようなイベントを開く。
- ・もっとよりよい環境づくりを目指すために、具体的にどのような取り組みをしているのか、知ってもらわないといけないと思います。
- ・花に水をやる。・週一回参加できるようにする。
- ・さつま町にある道路や道におちているペットボトルなどのごみを集めて、分別して捨てる。
- ・今の「よりよい環境づくりに向けた取り組み」では、さつま町はよりよい環境にならないと思います。私はよく広報さつまをみるので、それに「環境づくりにご協力ください。」と子どもにも分かりやすくのせておけばいいと思います。「今月はこれがんばろう。」というように、1ヶ月ごとに、目標を変えて行けば、「今度は何だろう？」とワクワクできると思います。他、子供達は、よくユーチューブを見ると思います。ユーチューブに色々なせていくとすばらしいと思います。子供たちが分かれば、大人の方でも分かると思います。広報さつまはどちらかという、大人が見るものだと思うので、表紙の文字とかを、すべてひらがなにしたりすれば、いいんじゃないでしょうか。私などの意見でよりよい環境がつかれますように～♪
- ・環境を守る活動に参加してくれるには、ごみを多くもらった人にプレゼントなどもらう。がんばった人にも、さんかしょうをあげる。
- ・地域ごとにそうじや自然を守る会などを行う。
- ・ちゃんとごみの分別をしたらしょうひんけんをもらって、しょう品をもらえるようにする。
- ・さつま町のほうそう（朝にあるやつ）で、「場所、時間、どのようなことをするのか」をほうそうすれば、参加しやすい。
- ・ないです。
- ・何もありません。
- ・みんなで、できる環境を守るための活動や機会をつくる。
- ・ありません。

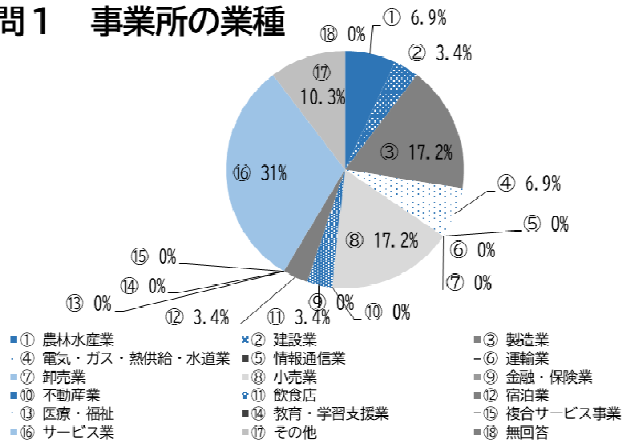
町民アンケート（小学生）

- ・もう少し川をきれいにする。→きれいにするように！町の人々に話をする（できれば）。
- ・特にありません。
- ・授業中にやるようなきょうみはあっても一人じゃいけない人のためにできるようにすればいいと思う。
- ・なにもありません。
- ・さつま町は、これといった、買い物をすることができない。宮ノ城以外の場所は、どいなかでなにもない。
- ・学校の授業などで環境を守ることにしてお話すればみんながちょっとは取り組んでくれると思う。・イベントなどをしたらいいと思う。
- ・たくさんあつめた人には、プレゼント。
- ・ゲームかんかくでする。
- ・ごみ拾いをみんながするためにたくさんごみを拾った人にごほうびをあげるようにする。
- ・ゲームけいしき。・ごほうびをもらえるようにする。
- ・さいごに、おやつをもらう。
- ・ごみひろい。
- ・ゲーム形式で行う。
- ・清そう活動（だれでもできる）。（平日、休日いつでも参加したり、役場の人とかがまとめたりして、身近な所とかをきれいにする。小学生、中学生とかは最後に図書券とかがもらえる。）
- ・ごほうびにおやつをもらえる

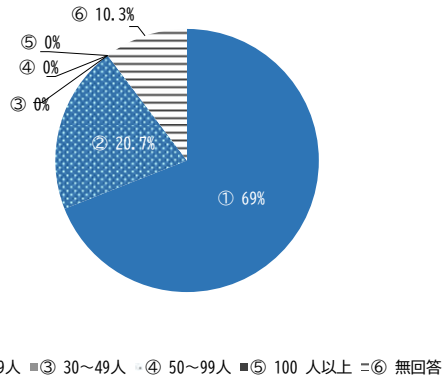
事業者アンケート

(4) 事業者アンケート

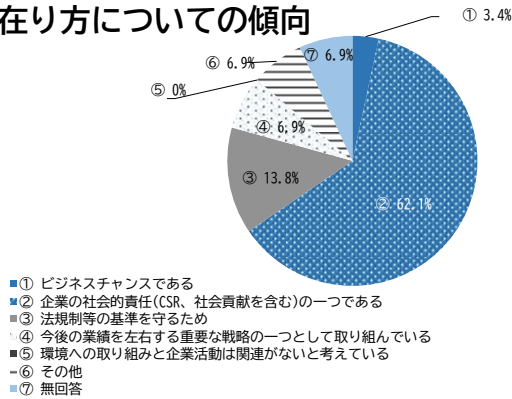
問1 事業所の業種



問2 事業所の従業員数



問3 企業の環境問題と企業活動の在り方についての傾向



事業者アンケート

問4 貴事業所では、現在、環境に関する活動に取り組んでいますか。また、今後はどのようにお考えですか。【選択は1つ】

現在取り組んでいる活動で最も多かったのは、「7. 照明や水道の節約」で75.9%となっており、同率で「18. 事業所内の資源ごみの分別収集」となっており、普段の生活からできる活動が事業所内でも浸透しているといえます。

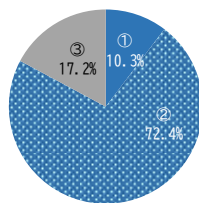
また、今後取り組んでいく活動として最も多かったのは、「16. 再生紙の使用」で62.1%となっており、資源循環への意欲が高まってきているといえます。

【現在】

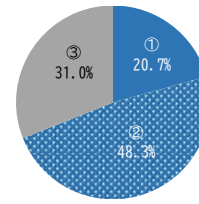
【今後】

1. 環境に関する経営方針の制定と公表

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	3	10.3%
② 取り組んでいない	21	72.4%
③ 無回答	5	17.2%
小計	29	100.0%

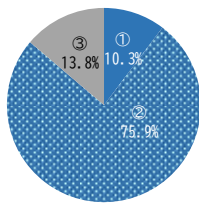


項目	回答数	%
① 取り組む	6	20.7%
② 取り組まない	14	48.3%
③ 無回答	9	31.0%
小計	29	100.0%

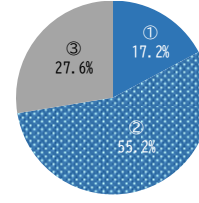


2. 環境に関する目標の文書化

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	3	10.3%
② 取り組んでいない	22	75.9%
③ 無回答	4	13.8%
小計	29	100.0%

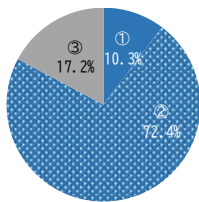


項目	回答数	%
① 取り組む	5	17.2%
② 取り組まない	16	55.2%
③ 無回答	8	27.6%
小計	29	100.0%

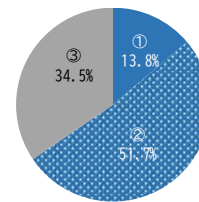


3. 具体的な行動計画の作成と公表

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	3	10.3%
② 取り組んでいない	21	72.4%
③ 無回答	5	17.2%
小計	29	100.0%

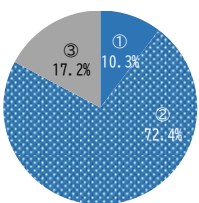


項目	回答数	%
① 取り組む	4	13.8%
② 取り組まない	15	51.7%
③ 無回答	10	34.5%
小計	29	100.0%

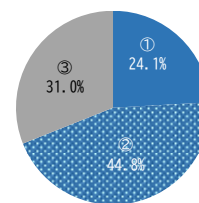


4. 事業所内の環境担当者の配置

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	3	10.3%
② 取り組んでいない	21	72.4%
③ 無回答	5	17.2%
小計	29	100.0%



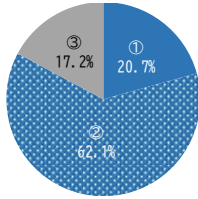
項目	回答数	%
① 取り組む	7	24.1%
② 取り組まない	13	44.8%
③ 無回答	9	31.0%
小計	29	100.0%



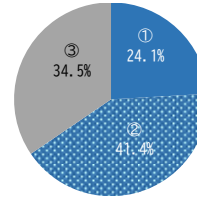
事業者アンケート

5. 社員への環境教育の実施

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	6	20.7%
② 取り組んでいない	18	62.1%
③ 無回答	5	17.2%
小計	29	100.0%

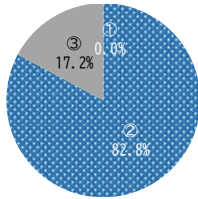


項目	回答数	%
① 取り組む	7	24.1%
② 取り組まない	12	41.4%
③ 無回答	10	34.5%
小計	29	100.0%

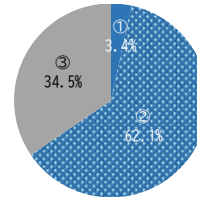


6. 環境関連表彰制度の実施

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	0	0.0%
② 取り組んでいない	24	82.8%
③ 無回答	5	17.2%
小計	29	100.0%

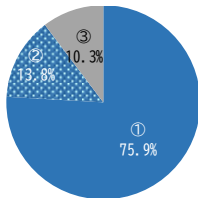


項目	回答数	%
① 取り組む	1	3.4%
② 取り組まない	18	62.1%
③ 無回答	10	34.5%
小計	29	100.0%

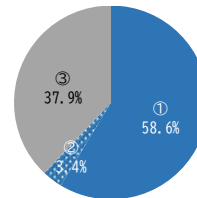


7. 照明や水道の節約

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	22	75.9%
② 取り組んでいない	4	13.8%
③ 無回答	3	10.3%
小計	29	100.0%

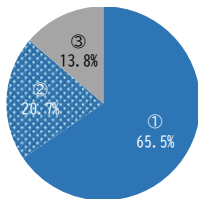


項目	回答数	%
① 取り組む	17	58.6%
② 取り組まない	1	3.4%
③ 無回答	11	37.9%
小計	29	100.0%

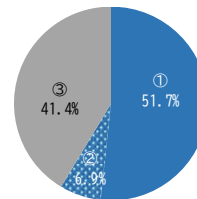


8. 冷暖房のこまめな調節

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	19	65.5%
② 取り組んでいない	6	20.7%
③ 無回答	4	13.8%
小計	29	100.0%

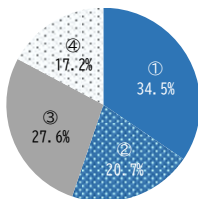


項目	回答数	%
① 取り組む	15	51.7%
② 取り組まない	2	6.9%
③ 無回答	12	41.4%
小計	29	100.0%

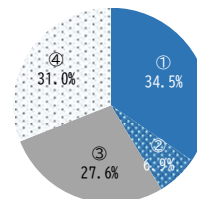


9. 梱包の簡素化

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	10	34.5%
② 取り組んでいない	6	20.7%
③ 業務内容と関係ない	8	27.6%
④ 無回答	5	17.2%
小計	29	100.0%

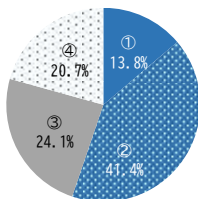


項目	回答数	%
① 取り組む	10	34.5%
② 取り組まない	2	6.9%
③ 業務内容と関係ない	8	27.6%
④ 無回答	9	31.0%
小計	29	100.0%

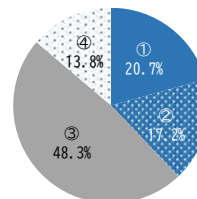


10. 太陽光や風力発電等の自然エネルギーの活用

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	4	13.8%
② 取り組んでいない	12	41.4%
③ 業務内容と関係ない	7	24.1%
④ 無回答	6	20.7%
小計	29	100.0%



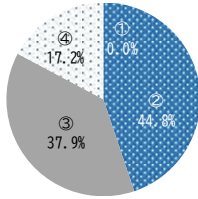
項目	回答数	%
① 取り組む	5	17.2%
② 取り組まない	9	31.0%
③ 業務内容と関係ない	7	24.1%
④ 無回答	8	27.6%
小計	29	100.0%



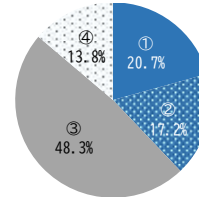
事業者アンケート

11. 廃棄物発電や廃熱・温排水などの未利用エネルギーの活用

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	0	0.0%
② 取り組んでいない	13	44.8%
③ 業務内容と関係ない	11	37.9%
④ 無回答	5	17.2%
小計	29	100.0%

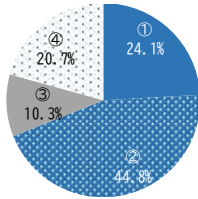


項目	回答数	%
① 取り組む	3	10.3%
② 取り組まない	8	27.6%
③ 業務内容と関係ない	11	37.9%
④ 無回答	7	24.1%
小計	29	100.0%

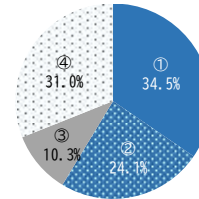


12. 省エネルギー型の設備・低燃費車などの導入

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	7	24.1%
② 取り組んでいない	13	44.8%
③ 業務内容と関係ない	3	10.3%
④ 無回答	6	20.7%
小計	29	100.0%

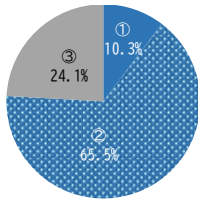


項目	回答数	%
① 取り組む	10	34.5%
② 取り組まない	7	24.1%
③ 業務内容と関係ない	3	10.3%
④ 無回答	9	31.0%
小計	29	100.0%

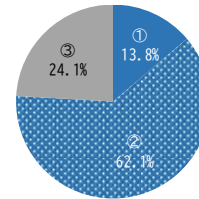


13. マイカー通勤の自粛

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	3	10.3%
② 取り組んでいない	19	65.5%
③ 無回答	7	24.1%
小計	29	100.0%

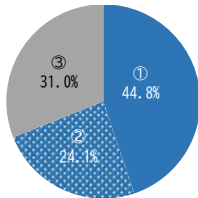


項目	回答数	%
① 取り組む	4	13.8%
② 取り組まない	18	62.1%
③ 無回答	7	24.1%
小計	29	100.0%

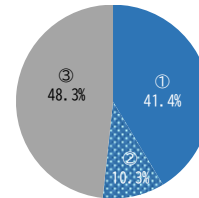


14. 「クール・ビズ」「ウォーム・ビズ」の奨励

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	13	44.8%
② 取り組んでいない	7	24.1%
③ 無回答	9	31.0%
小計	29	100.0%

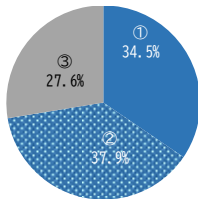


項目	回答数	%
① 取り組む	12	41.4%
② 取り組まない	3	10.3%
③ 無回答	14	48.3%
小計	29	100.0%

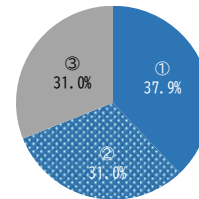


15. OA 機器利用促進によるペーパーレス化

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	10	34.5%
② 取り組んでいない	11	37.9%
③ 無回答	8	27.6%
小計	29	100.0%



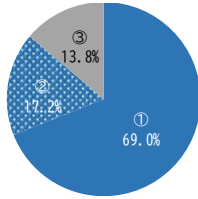
項目	回答数	%
① 取り組む	11	37.9%
② 取り組まない	9	31.0%
③ 無回答	9	31.0%
小計	29	100.0%



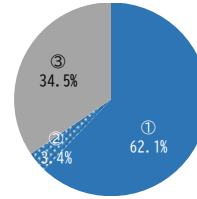
事業者アンケート

16. 再生紙の使用

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	20	69.0%
② 取り組んでいない	5	17.2%
③ 無回答	4	13.8%
小計	29	100.0%

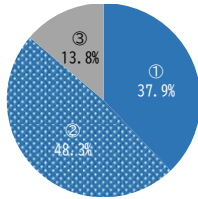


項目	回答数	%
① 取り組む	18	62.1%
② 取り組まない	1	3.4%
③ 無回答	10	34.5%
小計	29	100.0%

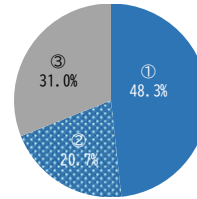


17. リサイクル製品の使用

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	11	37.9%
② 取り組んでいない	14	48.3%
③ 無回答	4	13.8%
小計	29	100.0%

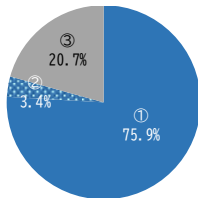


項目	回答数	%
① 取り組む	14	48.3%
② 取り組まない	6	20.7%
③ 無回答	9	31.0%
小計	29	100.0%

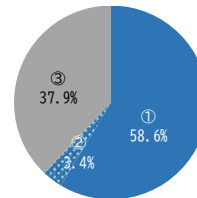


18. 事業所内の資源ごみの分別収集

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	22	75.9%
② 取り組んでいない	1	3.4%
③ 無回答	6	20.7%
小計	29	100.0%

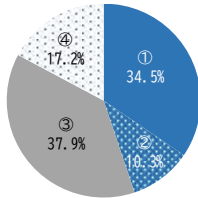


項目	回答数	%
① 取り組む	17	58.6%
② 取り組まない	1	3.4%
③ 無回答	11	37.9%
小計	29	100.0%

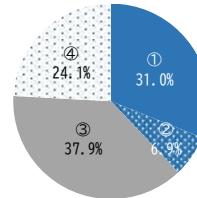


19. 廃棄物の再利用・再資源化

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	10	34.5%
② 取り組んでいない	3	10.3%
③ 業務内容と関係ない	11	37.9%
④ 無回答	5	17.2%
小計	29	100.0%

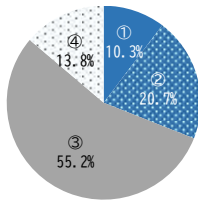


項目	回答数	%
① 取り組む	9	31.0%
② 取り組まない	2	6.9%
③ 業務内容と関係ない	11	37.9%
④ 無回答	7	24.1%
小計	29	100.0%

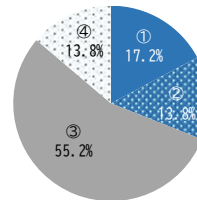


20. 自社製品の回収・リサイクル

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	3	10.3%
② 取り組んでいない	6	20.7%
③ 業務内容と関係ない	16	55.2%
④ 無回答	4	13.8%
小計	29	100.0%



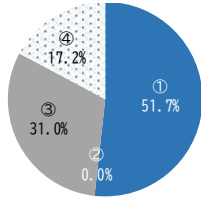
項目	回答数	%
① 取り組む	5	17.2%
② 取り組まない	4	13.8%
③ 業務内容と関係ない	16	55.2%
④ 無回答	4	13.8%
小計	29	100.0%



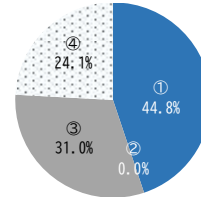
事業者アンケート

21. 産業廃棄物の適正処理

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	15	51.7%
② 取り組んでいない	0	0.0%
③ 業務内容と関係ない	9	31.0%
④ 無回答	5	17.2%
小計	29	100.0%

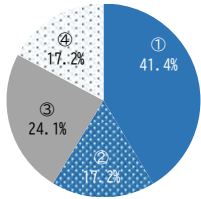


項目	回答数	%
① 取り組む	13	44.8%
② 取り組まない	0	0.0%
③ 業務内容と関係ない	9	31.0%
④ 無回答	7	24.1%
小計	29	100.0%

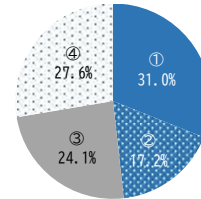


22. 敷地内の緑化

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	12	41.4%
② 取り組んでいない	5	17.2%
③ 業務内容と関係ない	7	24.1%
④ 無回答	5	17.2%
小計	29	100.0%

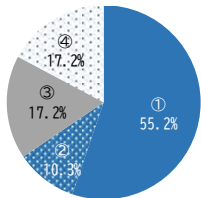


項目	回答数	%
① 取り組む	9	31.0%
② 取り組まない	5	17.2%
③ 業務内容と関係ない	7	24.1%
④ 無回答	8	27.6%
小計	29	100.0%

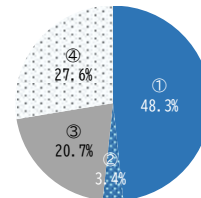


23. 事業所周辺の環境に対する苦情等の対応

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	16	55.2%
② 取り組んでいない	3	10.3%
③ 業務内容と関係ない	5	17.2%
④ 無回答	5	17.2%
小計	29	100.0%

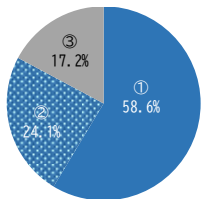


項目	回答数	%
① 取り組む	14	48.3%
② 取り組まない	1	3.4%
③ 業務内容と関係ない	6	20.7%
④ 無回答	8	27.6%
小計	29	100.0%

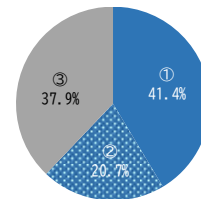


24. 地域の清掃活動への参加・支援

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	17	58.6%
② 取り組んでいない	7	24.1%
③ 無回答	5	17.2%
小計	29	100.0%

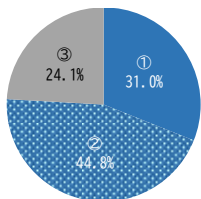


項目	回答数	%
① 取り組む	12	41.4%
② 取り組まない	6	20.7%
③ 無回答	11	37.9%
小計	29	100.0%

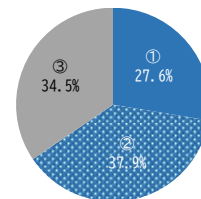


25. 地域の緑化活動への参加・支援

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	9	31.0%
② 取り組んでいない	13	44.8%
③ 無回答	7	24.1%
小計	29	100.0%

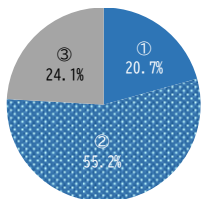


項目	回答数	%
① 取り組む	8	27.6%
② 取り組まない	11	37.9%
③ 無回答	10	34.5%
小計	29	100.0%

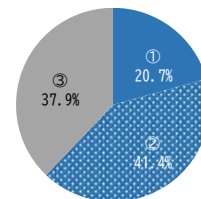


26. 環境に関する勉強会等への参加・支援

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	6	20.7%
② 取り組んでいない	16	55.2%
③ 無回答	7	24.1%
小計	29	100.0%

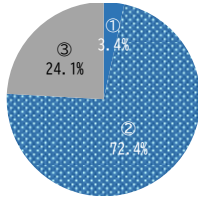


項目	回答数	%
① 取り組む	6	20.7%
② 取り組まない	12	41.4%
③ 無回答	11	37.9%
小計	29	100.0%

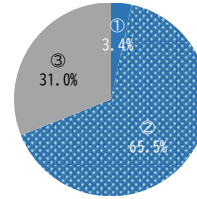


27. 環境に関する講座等の開催

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	1	3.4%
② 取り組んでいない	21	72.4%
③ 無回答	7	24.1%
小計	29	100.0%

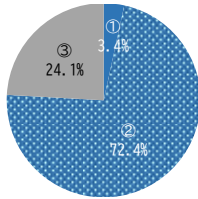


項目	回答数	%
① 取り組む	1	3.4%
② 取り組まない	19	65.5%
③ 無回答	9	31.0%
小計	29	100.0%

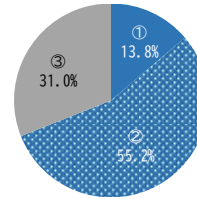


28. 環境に関する基金・団体の設置または支援

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	1	3.4%
② 取り組んでいない	21	72.4%
③ 無回答	7	24.1%
小計	29	100.0%

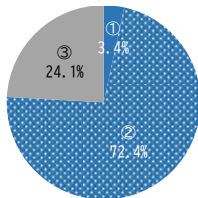


項目	回答数	%
① 取り組む	4	13.8%
② 取り組まない	16	55.2%
③ 無回答	9	31.0%
小計	29	100.0%

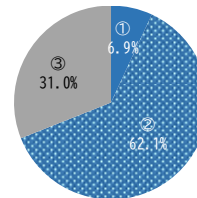


29. 環境に関するキャンペーンの実施

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	1	3.4%
② 取り組んでいない	21	72.4%
③ 無回答	7	24.1%
小計	29	100.0%

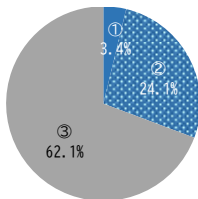


項目	回答数	%
① 取り組む	2	6.9%
② 取り組まない	18	62.1%
③ 無回答	9	31.0%
小計	29	100.0%

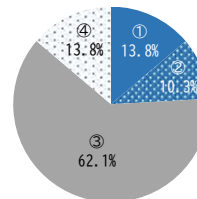


30. 環境に配慮した製品の研究や開発及び販売

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	1	3.4%
② 取り組んでいない	7	24.1%
③ 業務内容と関係ない	18	62.1%
④ 無回答	3	10.3%
小計	29	100.0%

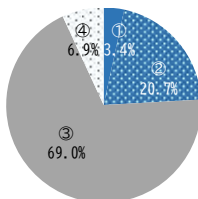


項目	回答数	%
① 取り組む	4	13.8%
② 取り組まない	3	10.3%
③ 業務内容と関係ない	18	62.1%
④ 無回答	4	13.8%
小計	29	100.0%

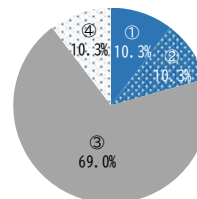


31. 再利用することを考慮した製品の製造・販売

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	1	3.4%
② 取り組んでいない	6	20.7%
③ 業務内容と関係ない	20	69.0%
④ 無回答	2	6.9%
小計	29	100.0%

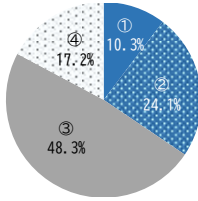


項目	回答数	%
① 取り組む	3	10.3%
② 取り組まない	3	10.3%
③ 業務内容と関係ない	20	69.0%
④ 無回答	3	10.3%
小計	29	100.0%

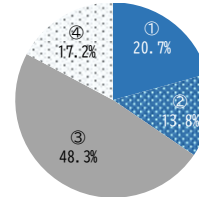


32. 薬品・化学物質の使用抑制

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	3	10.3%
② 取り組んでいない	7	24.1%
③ 業務内容と関係ない	14	48.3%
④ 無回答	5	17.2%
小計	29	100.0%

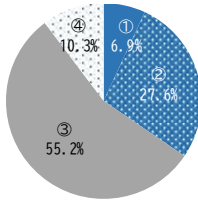


項目	回答数	%
① 取り組む	6	20.7%
② 取り組まない	4	13.8%
③ 業務内容と関係ない	14	48.3%
④ 無回答	5	17.2%
小計	29	100.0%

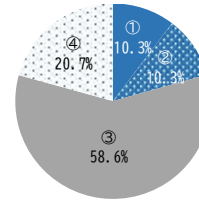


33. 環境アセスメント（環境影響評価）の実施

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	2	6.9%
② 取り組んでいない	8	27.6%
③ 業務内容と関係ない	16	55.2%
④ 無回答	3	10.3%
小計	29	100.0%

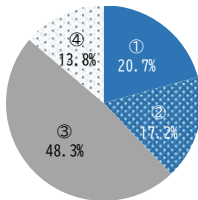


項目	回答数	%
① 取り組む	3	10.3%
② 取り組まない	3	10.3%
③ 業務内容と関係ない	17	58.6%
④ 無回答	6	20.7%
小計	29	100.0%

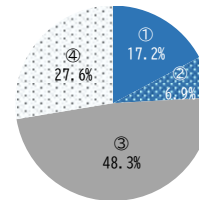


34. 公害防止対策（大気、水質、騒音、振動、悪臭等）

項目	回答数	%
① 取り組んでいる	6	20.7%
② 取り組んでいない	5	17.2%
③ 業務内容と関係ない	14	48.3%
④ 無回答	4	13.8%
小計	29	100.0%



項目	回答数	%
① 取り組む	5	17.2%
② 取り組まない	2	6.9%
③ 業務内容と関係ない	14	48.3%
④ 無回答	8	27.6%
小計	29	100.0%



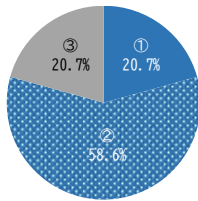
問 5 事業者の皆さんが自主的に環境保全の取り組みを継続的に進めていくための仕組みとして、「環境マネジメントシステム」がありますが、このことをご存知ですか。また、貴事業所の現在の取り組み状況及び今後の予定はいかがですか。【選択は1つ】

「認知度」について回答者の中で最も多かったのは、ともに②となっていました。また、「取り組み状況と今後の予定」ではともに③が最も多く環境への関心が高いといえます。

1. ISO14001 規格

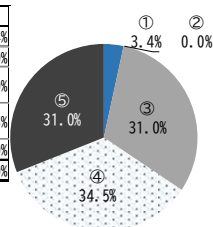
【認知度】

項目	回答数	%
① 知っている	6	20.7%
② 知らない	17	58.6%
③ 無回答	6	20.7%
小計	29	100.0%



【取り組み状況と今後の予定】

項目	回答数	%
① 既に取り組んでいる	1	3.4%
② 取り組む予定である	0	0.0%
③ 取り組む予定はないが関心はある	9	31.0%
④ 取り組む予定はなく、関心もない	10	34.5%
⑤ 無回答	9	31.0%
小計	29	100.0%

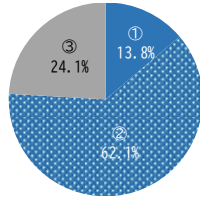


事業者アンケート

2. 環境活動評価プログラム（エコアクション 21）

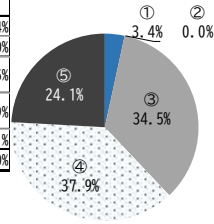
【認知度】

項目	回答数	%
① 知っている	4	13.8%
② 知らない	18	62.1%
③ 無回答	7	24.1%
小計	29	100.0%



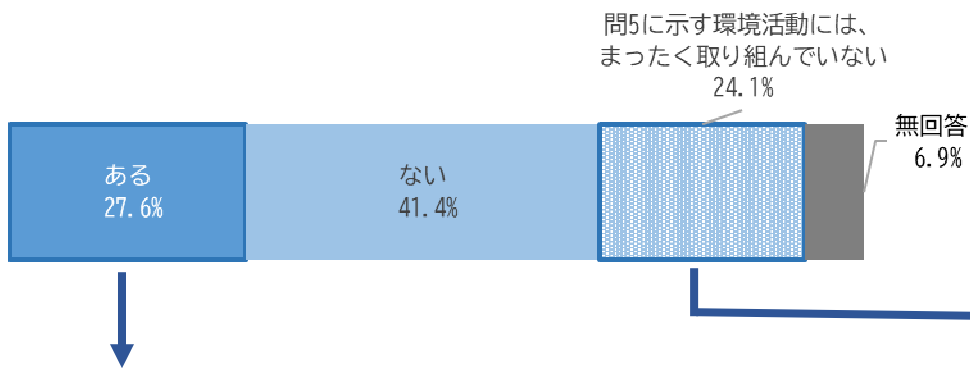
【取り組み状況と今後の予定】

項目	回答数	%
① 既に取り組んでいる	1	3.4%
② 取り組む予定である	0	0.0%
③ 取り組む予定はないが関心はある	10	34.5%
④ 取り組む予定はなく、関心もない	11	37.9%
⑤ 無回答	7	24.1%
小計	29	100.0%



問6 (1) 貴事業所が環境活動を進めるうえで、問題となっていることがありますか。

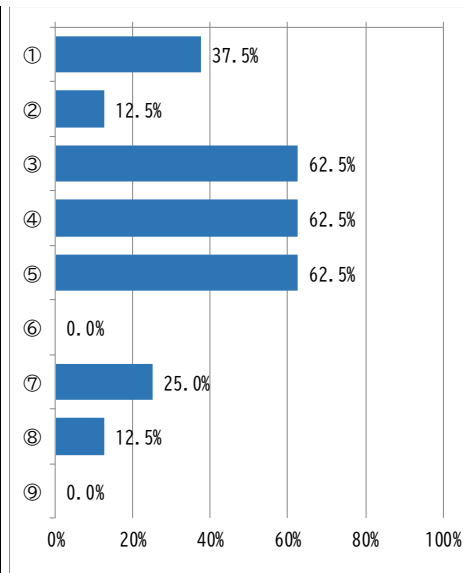
【選択は1つ】



問6 (2) あなたは、現在どのような環境活動を行なっていますか。

【複数回答：いくつでも】

項目	回答数	%
① 資金が不足している	3	37.5%
② 人材が不足している	1	12.5%
③ ノウハウが不足している	5	62.5%
④ 手間や時間がかかる	5	62.5%
⑤ 環境活動に関する情報が不足している	5	62.5%
⑥ 取引先や消費者の協力が得られない	0	0.0%
⑦ 事業所内に町民や行政などと協力して対策を推進するための組織が	2	25.0%
⑧ その他	1	12.5%
⑨ 無回答	0	0.0%
小計	8	100.0%



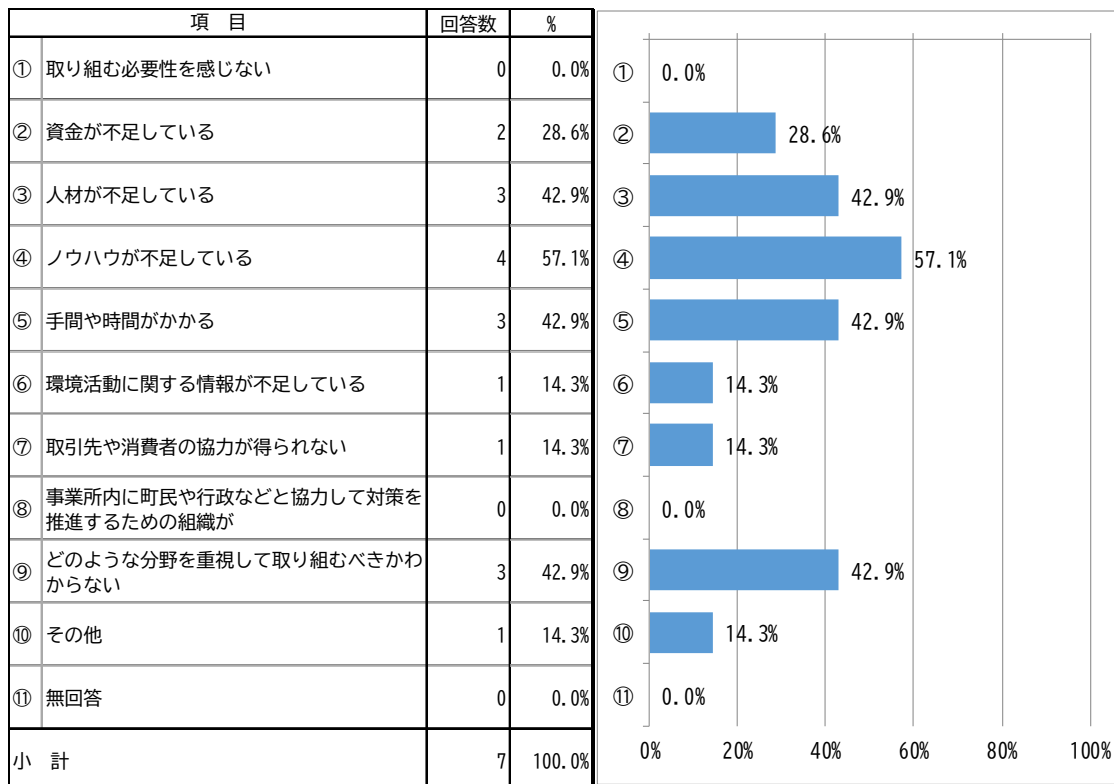
その他

・ネオグローバル企業の新たな策略である。

事業者アンケート

問6(3) 貴事業所が環境活動にまったく取り組んでいない理由は、何ですか。【複数回答：いくつでも】

回答者の中で最も多かったのは、④で 57.1%となっており、具体的な取組み内容を行うためのノウハウがないことがいえます。一方で①と回答した事業所がなかったことから環境活動への関心は高いといえます。



その他

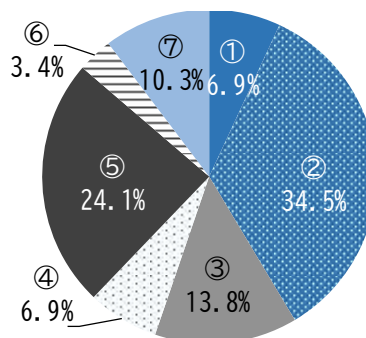
・事業を維持するので精一杯で余裕がない。

事業者アンケート

問 7 (1) 今後、カーボンニュートラルに向け、貴事業所で取り組む必要があると思いますか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、②で 34.4%となっており、取り組みへの意欲があるといえます。

項目	回答数	%
① 大いに取り組む必要がある	2	6.9%
② 多少取り組む必要がある	10	34.5%
③ あまり取り組む必要はない	4	13.8%
④ 全く取り組む必要はない	2	6.9%
⑤ わからない	7	24.1%
⑥ その他	1	3.4%
⑦ 無回答	3	10.3%
小計	29	100.0%



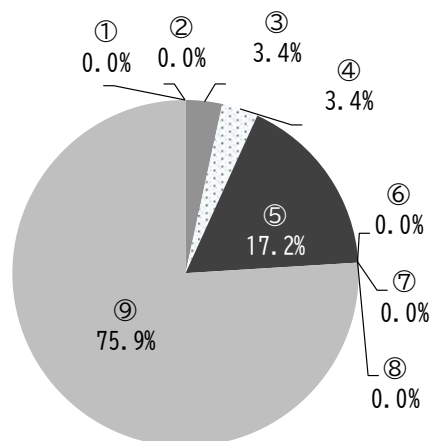
その他

・必要はあると思うが、本当に余裕がない。

問 7 (2) 貴事業所が必要と思われる取り組みの程度は、何ですか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、⑤で 17.2%となっており、できることから進めていく事業所が多くあります。一方で無回答が 75.9%あることから、日々の経済活動の中で取り入れられる具体的な取組み内容を周知していく必要があります。

項目	回答数	%
① 温室効果ガス削減に資する産業に参入し、新たな事業の柱として位	0	0.0%
② その時点での環境法規制を上回る水準での温室効果ガスの排出削減	0	0.0%
③ その時点で求められる環境法規制の水準程度	1	3.4%
④ 取引先から求められる程度の水準	1	3.4%
⑤ 日常の事業活動の範囲内でできる程度	5	17.2%
⑥ 現状の取組みで十分なので、追加的に取り組む必要性を感じない	0	0.0%
⑦ 特に取り組む必要性を感じない	0	0.0%
⑧ その他	0	0.0%
⑨ 無回答	22	75.9%
小計	29	100.0%

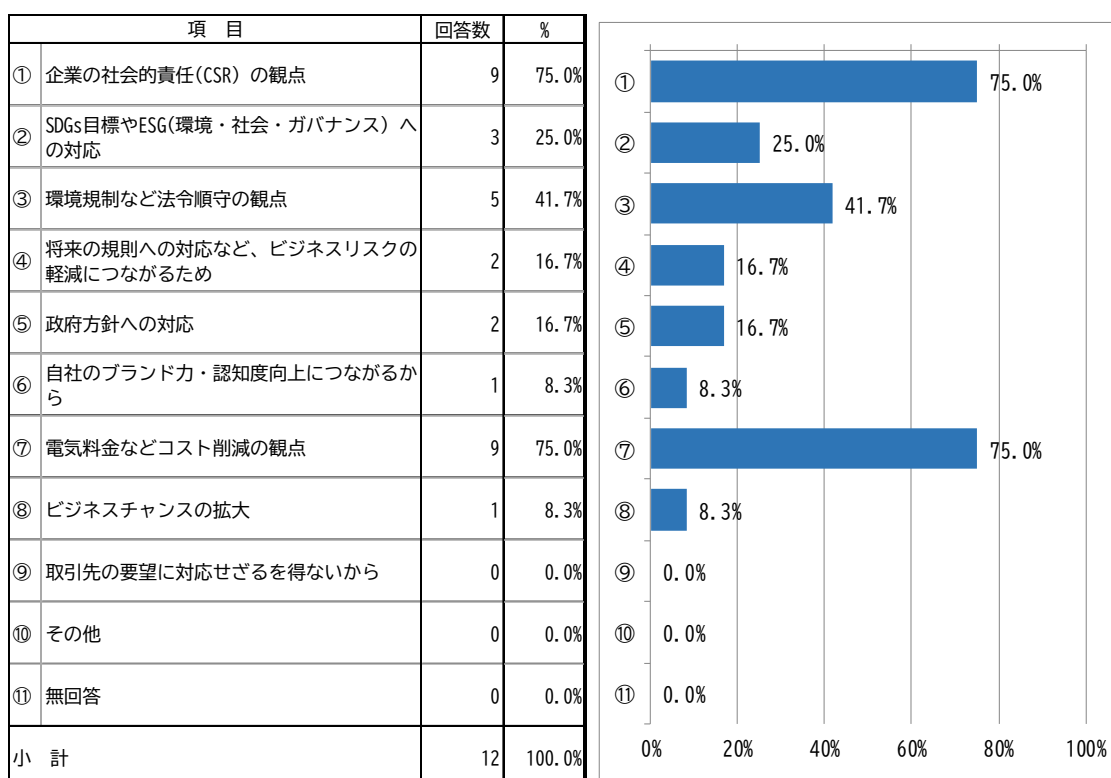


事業者アンケート

問7(3) 貴事業所が取り組む必要がある理由はなんですか。【複数回答：いくつでも】

(問7(1)で「大いに取り組む必要がある」、または「多少取り組む必要がある」と回答した人のみ回答)

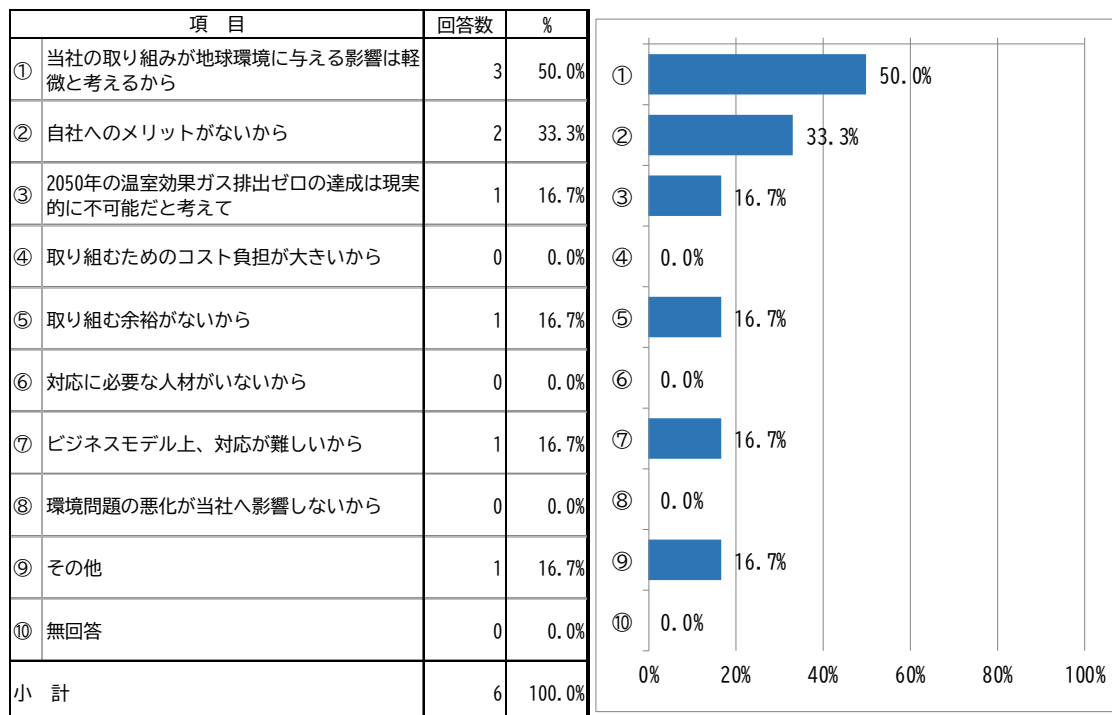
回答者の中で最も多かったのは、①、⑦で75.0%となっており、社会的責任の観点及びコスト削減の観点から取り組める内容を周知することが有効といえます。



事業者アンケート

問7(4) 貴事業所が取り組む必要がない理由はなんですか。【複数回答：いくつでも】
 (問7(1)で「あまり取り組む必要はない」、または「全く取り組む必要はない」と回答した人のみ回答)

回答者の中で最も多かったのは、①で 50.0%となっており、半数が取り組みによる影響が軽微だと考えています。



その他

- ・スマートシティースーパーシティー構想は国民のためではないから。

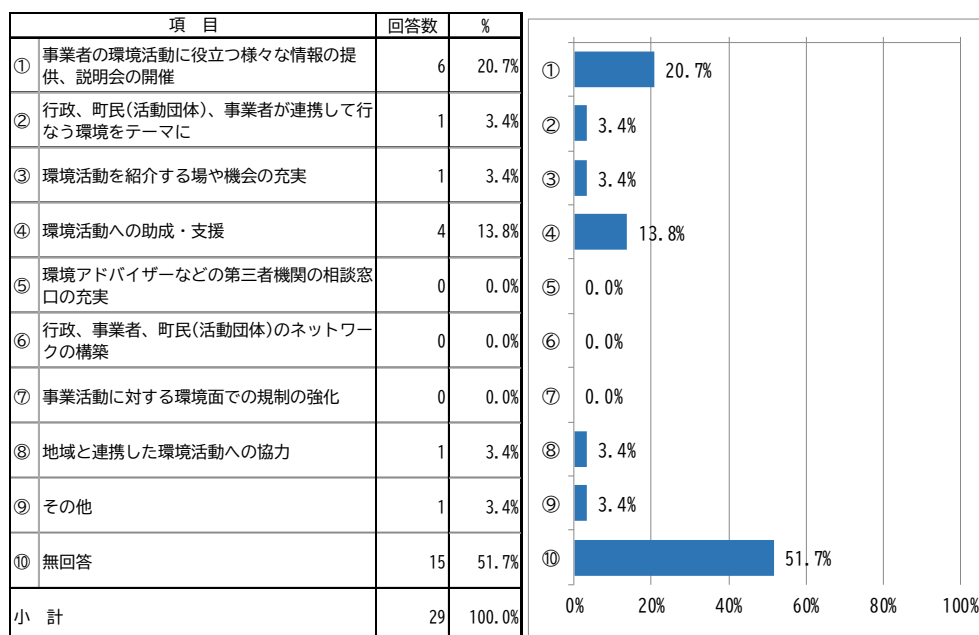
事業者アンケート

問8 さつま町内の事業者の皆さんの環境活動をより活発にするために、特にどのような取り組みが進められることを望みますか。【選択は1つ】

「行政に望むこと」で回答者の中で最も多かったのは、①で 20.7%となっており、環境活動に役に立つ情報提供が求められています。

「事業所としてできること」で回答者の中で最も多かったのは、⑧で 41.8%となっており、環境活動への参加の意欲は高いといえます。

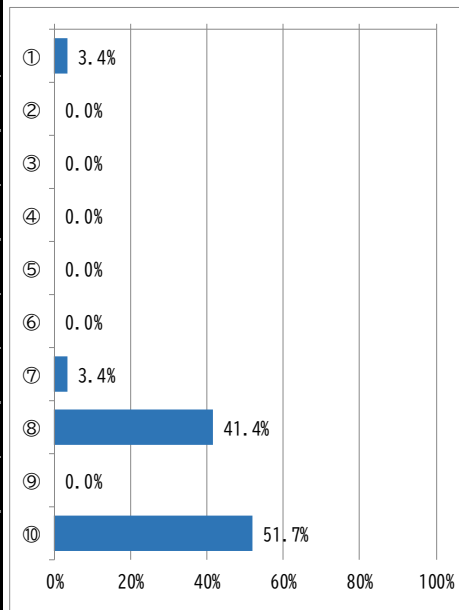
【行政に望むこと】



事業者アンケート

【事業所としてできること】

項目	回答数	%
① 事業者の環境活動に役立つ様々な情報の提供、説明会の開催	1	3.4%
② 行政、町民(活動団体)、事業者が連携して行なう環境をテーマに	0	0.0%
③ 環境活動を紹介する場や機会の充実	0	0.0%
④ 環境活動への助成・支援	0	0.0%
⑤ 環境アドバイザーなどの第三者機関の相談窓口の充実	0	0.0%
⑥ 行政、事業者、町民(活動団体)のネットワークの構築	0	0.0%
⑦ 事業活動に対する環境面での規制の強化	1	3.4%
⑧ 地域と連携した環境活動への協力	12	41.4%
⑨ その他	0	0.0%
⑩ 無回答	15	51.7%
小計	29	100.0%

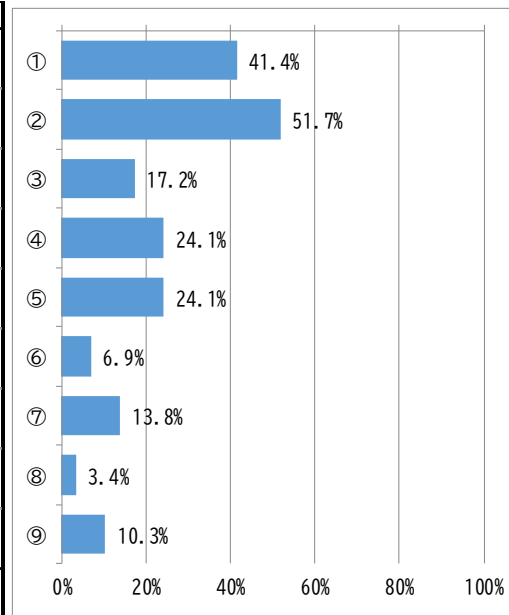


問9 環境をよりよくしていくために、今後、さつま町はどのような施策を重点的に進めていくべきだとお考えですか。【複数回答：分野ごとに3つ】

【自然環境分野】

「回答者の中で最も多かったのは、②で 51.7%となっており、自然の活用为重点をおいた施策が求められています。」

項目	回答数	%
① 優れた自然の保全	12	41.4%
② 優れた自然の活用	15	51.7%
③ 農林漁業地域の良好な景観の保全	5	17.2%
④ 無秩序な開発の防止	7	24.1%
⑤ 森林の荒廃防止	7	24.1%
⑥ 多様な動植物の生息場所の保全	2	6.9%
⑦ 国や県との連携による野生動植物の保護・管理(害獣駆除を含む)	4	13.8%
⑧ その他	1	3.4%
⑨ 無回答	3	10.3%
小計	29	100.0%



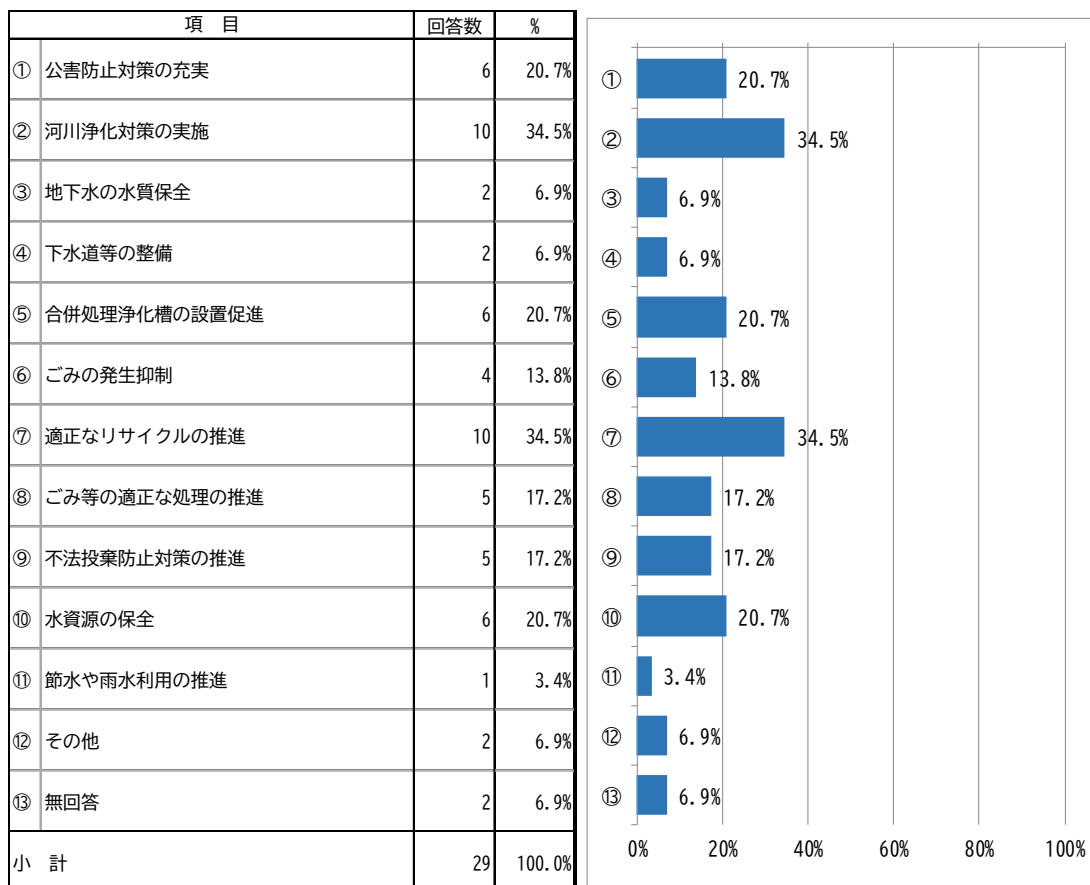
事業者アンケート

その他

・わかりません

【生活環境分野】

回答者の中で最も多かったのは、②、③で 54.5%となっており、河川の保全、資源循環への意欲が高いといえます。

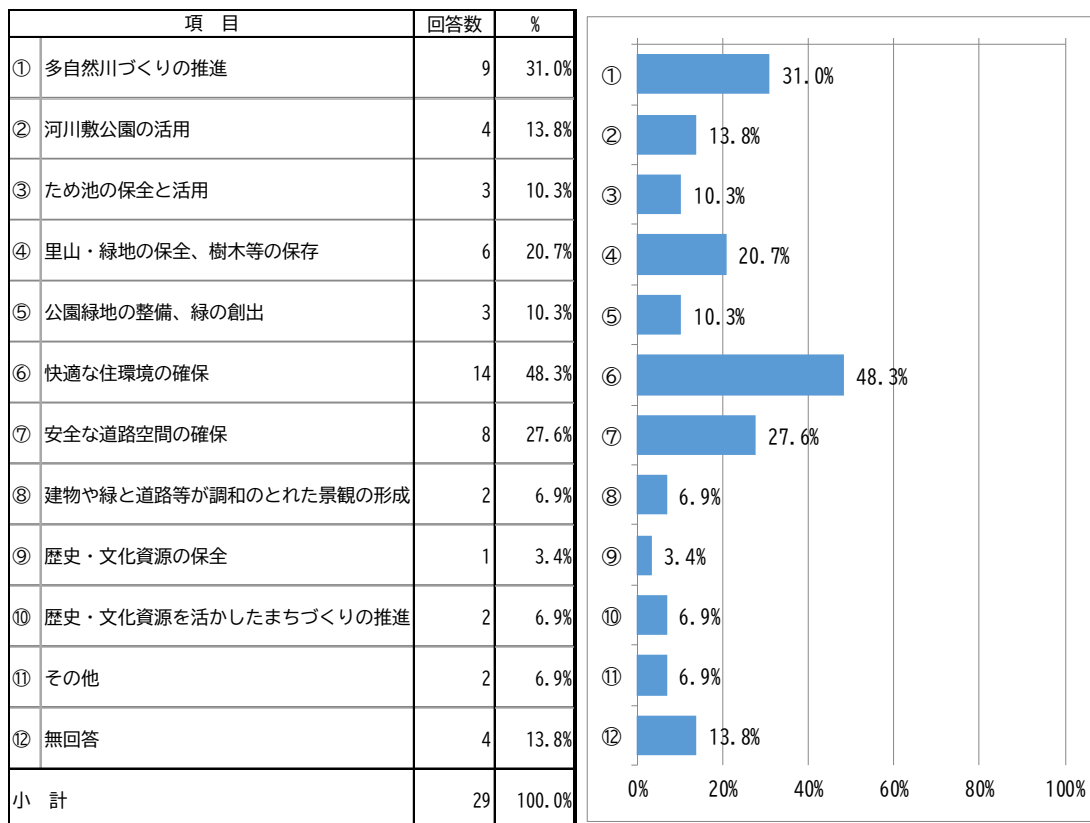


その他

・自宅周辺や田などで野焼きをされる方がひじょうに多く、ケムリが臭い！不快です。
 火事等にも不安！対策、注意喚起の徹底を強くのぞみます！！
 ・わかりません

【景観、歴史・文化的環境分野】

回答者の中で最も多かったのは、⑥で 48.3%となっており、快適な生活環境の確保が求められています。



その他

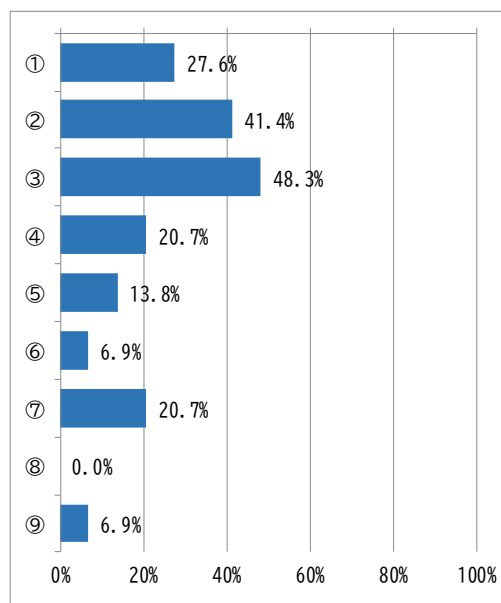
- ・町民が(若い世代)、結婚子育てを安心して行える町づくり
- ・わかりません

事業者アンケート

【地球環境分野】

回答者の中で最も多かったのは、③で 48.3%となっており、クリーンエネルギーの活用が求められています。

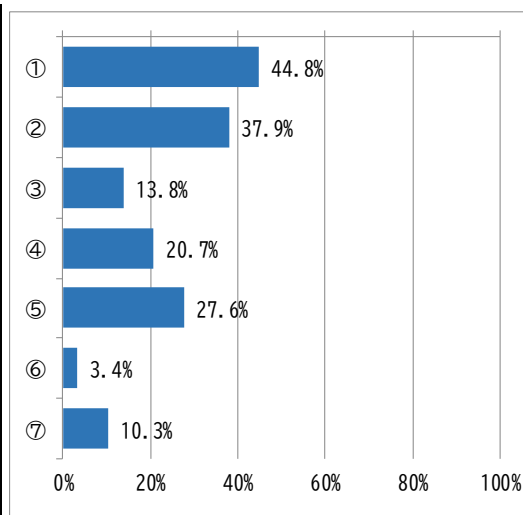
項目	回答数	%
① 環境に配慮したライフスタイル・ビジネススタイルの推進	8	27.6%
② エネルギーの省力化・効率化の促進	12	41.4%
③ クリーンエネルギーの利用促進	14	48.3%
④ 二酸化炭素吸収源としての植林や緑化	6	20.7%
⑤ オゾン層保護対策の推進	4	13.8%
⑥ 酸性雨等に係る対策の推進	2	6.9%
⑦ 民間団体等の連携による活動の推進	6	20.7%
⑧ その他	0	0.0%
⑨ 無回答	2	6.9%
小計	29	100.0%



【事業活動分野】

回答者の中で最も多かったのは、①で 44.8%となっており、事業活動を確立したうえで地球環境への配慮が求められています。

項目	回答数	%
① 地球環境に配慮した農林水産業の確立	13	44.8%
② 環境への負担の少ない商工業等の確立	11	37.9%
③ 環境に配慮した運輸業・建設業の確立	4	13.8%
④ 環境に配慮した工業振興方針の確立	6	20.7%
⑤ 事業者に対する環境管理意識の啓発	8	27.6%
⑥ その他	1	3.4%
⑦ 無回答	3	10.3%
小計	29	100.0%



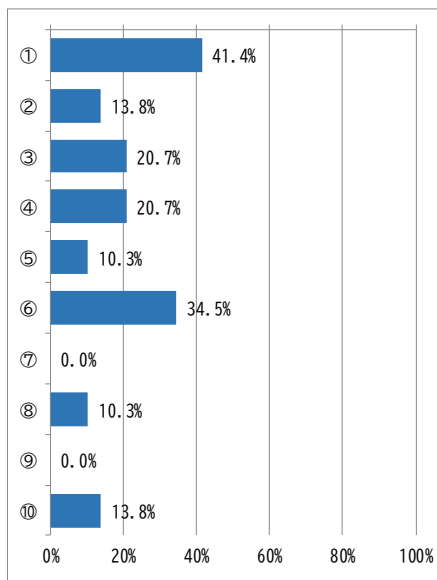
その他

・わかりません

【環境学習、町民参加分野】

回答者の中で最も多かったのは、①で 41.4%となっており、環境学習の推進が求められています。

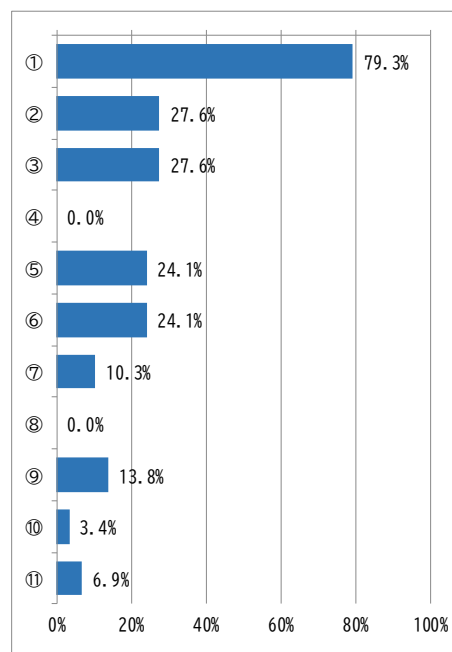
項目	回答数	%
① 学校における環境学習の推進	12	41.4%
② 環境学習の機会と場の創出	4	13.8%
③ 環境学習の指導者の育成	6	20.7%
④ 環境に関する情報の提供	6	20.7%
⑤ 環境学習を推進する組織としきみづくり	3	10.3%
⑥ 町民協働で環境活動を推進するためのしくみづくり	10	34.5%
⑦ 環境問題に取り組む活動団体の拠点づくり	0	0.0%
⑧ 環境問題に取り組む人材の育成や活動団体の支援	3	10.3%
⑨ その他	0	0.0%
⑩ 無回答	4	13.8%
小計	29	100.0%



問 10 さつま町について情報を取得しやすい媒体はどれですか。【複数回答：3つ】

回答者の中で最も多かったのは、①で 79.3%となっており、必要な情報を広報さつまに記載していくことで、住民に広く周知することができるといえます。

項目	回答数	%
① 広報さつま	23	79.3%
② 町からの配布物(チラシや冊子)	8	27.6%
③ さつま町ホームページ	8	27.6%
④ さつま町公式YouTube	0	0.0%
⑤ SNS(Facebook、LINE等)	7	24.1%
⑥ 防災行政無線	7	24.1%
⑦ 新聞記事	3	10.3%
⑧ ラジオ	0	0.0%
⑨ 自治会などの回覧板	4	13.8%
⑩ その他	1	3.4%
⑪ 無回答	2	6.9%
小計	29	100.0%



事業者アンケート

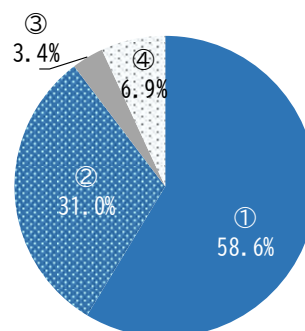
その他

・なし

問 11 貴事業所は「SDGs」という言葉を知っていますか。【選択は1つ】

回答者の中で最も多かったのは、①で 58.6%となっており、広く浸透しつつあるといえます。

項目	回答数	%
① 言葉も内容も知っている	17	58.6%
② 言葉は知っているが具体的な内容は知らない	9	31.0%
③ 知らない	1	3.4%
④ 無回答	2	6.9%
小計	29	100.0%



問 12 さつま町のよりよい環境づくりに向けた取り組み、環境行政に対するご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

- ・目は通して読みましたが、書ける所がございません。役にたてずごめんなさい。毎日ご苦労様です。あしからず。
- ・ mRNA ワクチンをいつまで町民へすすめますか？日本中、世界中で戦後最大の死者数を出しています。町、独自で情報は調べないのですか？国からのトップダウンに従うのみですか？人口は加速的に減少していないでしょうか？さつま町の今と未来が心配です。親世代が亡くなってしまえば、若い世代はもっと町をはなれませんか。
- ・ 記入に時間がかかっております。ボランティア、無料は存在しません。
- ・ 国道、町道等、樹木や草がおい茂り、道路幅がかなり狭くなっております。町外がかなり狭くなっております。町外からのお客様又スポーツ関係の方々が来町された時、かなり印象、景観が悪いのでは？と思っております。早急に対策をお願いします。
- ・ 意見をくみとっていただける場が欲しい。